

ル者ナリ十分ヲ經レバ培養基上ニ於ケル發育ヲ制止ス故ニ此點ニ於テハ本品ハ確然硝酸銀及「プロタアルゴール」ニ優レリ培養基ノ發育ヲ害スル性ニ關シテモ「アルゴニン」ニ優レリ「ドクトル」フェルジナンドコルフエルド氏ハ二十九名ノ淋疾患者ニ一日三回四分一ノ液ヲ注射シ後チ増量シテ一ノ半ノ液ヲ注射シ藥液ヲ二乃至十分間尿道ニ留滯セシメタリ本品ハ前尿道炎ニ良效ヲ奏シ後部ニ侵襲スルヲ防止ス」亞急性尿道後部炎ニ於テモ亦本品ハ良效アリ

慢性尿道炎ニハ「ラルギン」ハ從來ノ諸藥殊ニ硝酸銀ニ比スレバ劣レリト雖モ「プロタアルゴール」及他ノ銀蛋白化合物ト同效アリ

又「ドクトル」シユフタン及アウフレヒトノ兩氏ハ本品ノ半%溶液ヲ淋疾、攝護腺炎、膀胱病ニ用ヒ患者ノ分泌物ヲ正シク顯微鏡下ニ検査セリ尙刺戟ヲ存シタル第一週ニ於テハ一日三回此溶液ヲ尋常ノ淋疾注射器ヲ以テ注射シ後ニハ四十乃至五十立方仙迷ノ溶液ヲ容ル、注射器ヲ以テ一日一回注射シタルニ輕キ灼熱ノ外毫モ刺戟症狀ヲ認メナリシカ毎常溶液ハ半時間尿道中ニ止メタリキ其奏效ハ一定セス時トメハ卓效アレモ亦時トメ寸效ナキコアリ同氏等ハ本品ヲ以テ他ノ銀蛋白化合物殊ニ「プロタアルゴール」ト同效アリトセリ

「プロフェッソル」フインゲル氏ハ最熱心ニ淋疾ニ賞用セリ即チ〇、二五%—〇、五%ノ液ヲ漸次ニ増強シ朝及晝其十立方仙迷ヲ五乃至十分時夕ニハ十五乃至三十分時尿道内ニ留ムベシ淋疾ノ終期ニハ唯晝間ノミ瀰久「ラルギン」注射ヲ行ヒ同時ニ收斂劑例之〇、〇五—〇、四%

ノ「アルゲンタミン」〇、二%ノ石炭酸、〇、二—〇、五%ノ過滿俺酸加里〇、一—〇、二%ノ硝酸銀〇、二%ノ皓礬ヲ用ユベシ〇アルムクウイスト氏ハ小兒及大人ノ眼膿漏ニ一日四五回二%ノ液ヲ結膜囊内ニ塗布シタリシドネー氏ハ眼險結膜炎及淚囊炎ニモ用ヒタリ其他硝酸銀ニ代ヘテ殊ニ急性傳染性結膜炎及急性「トラホーム」ニモ用ユ

〇「ラルギン」〇、五—三、〇 水二〇〇、〇

右褐色壘ニ容ル一日三回尿道注射

「ドクトル」蘆原信之氏ハ最近ニ於ケル急性淋疾ノ療法(軍醫學會雜誌第百二十六號)醫學士佐藤達二郎氏ハ淋疾ノ治療法(順天堂醫事研究會雜誌第三百二十八號)海軍軍醫少監山口猪之吉氏ハ急性淋疾ノ治療法(成醫會月報第二百二十八號)ニ於テ各「ラルギン」ニ就テ報告セリ

〇「ラクトペプシン」Lactopepsin.

本品ハ白色ノ粉末ニシテ特効劑トシテ消化不良、胃病、小兒虎列拉、慢性下痢ニ用ユ秘密藥ニシテ乳糖、百弗聖、「バンクレアチン」「ヂアスターゼ」及乳酸ヨリ成ル者タリ

〇「ランジア」(鎮痙藥トシテ同丁幾十五滴ヲ用ユ)

〇「ラクナンテス、チンクトリア」根(鎮痙藥)

〇「ラミーン」(止血藥トシテ皮下注射ス)

〇「ラウウォルフイア」(皮膚病、梅毒性潰瘍ニ用ユ)

○「ランタニン」Rantamin.

ブイ、サー及ネグレタ氏ハ「ランタナ、ブラジリンシス」ヨリ解熱ノ效アル一種ノ類鹽基ヲ創製シ之ヲ「ランタニン」ト名ケタリ該藥ハ血行ヲ遲徐ナラシメ新陳代謝ヲ減退セシメ體溫ヲ著シク下降セシムルノ作用ヲ有ス本品ノ他藥ニ卓越スル所ハ胃弱患者ニ與ヘテ少シモ障害ナク間歇熱ニ規尼涅ノ寸效ナキ場合ニ「ランタニン」一、八ヲ與ヘ截瘧セシムルヲ得ルニアリ通常解熱藥トシテ用ユルニハ一、〇—一、二九劑トナシ投スルヲ最モ良トス而シテ間歇熱ニハ極熱期直後ニ與フルヲ要ス

○無花果 *Ficus Carica*

本品ハ半バ乾燥セル無花果ノ實ニ砂糖及護膜ヲ含有ス梨子形瓢肉アリ臍點アル頂部ト數多ノ細小ナル核子トヲ有ス本品ノ大量ハ緩下ノ效アリ本品ヲ溫乳中ニ軟化シテ齒齦ノ膿瘍ニ貼シ其成熟ヲ催スニ用ユ煎劑トナシ咽喉頭及喉頭ノ加答兒ニ含嗽及内用セシム煎劑ニハ二〇、〇水二〇〇、〇—五〇〇、〇トナス

○「ムダール」根 *Mudar.*

癩痢及有毒動物ノ咬傷、象皮病等ニ用ヒ又吐根ノ代用品トス用量ハ〇、一一〇、二ヲ内用セシム

○「ムターゼ」 *Mutase.*

本品ハ莢豆質及蔬菜ヨリ製シタル品ニシテ植物蛋白五十八% 磷酸二%ヲ含ミ黃色無臭苛棘ノ

味アル粉末ナリ滋養力アル肉製劑ニメ一日數回一咖啡匙ヲ純品或ハ肉汁、乳汁等ニ加ヘ暫時煮沸シテ用ユベシ

○「ムカムベ」(痔疾、白帶下、淋疾ニ用ユ)

○「ムクナ」(南米ニ於テ痔疾ニ用ユ)

○「ムイラ、ブアマ」(催淫劑トシテ淫痿ニ用ユ)

○「ムルング」(麻醉藥)

○「ムルラヤ」(強壯劑及健胃劑)

○「ムチシア、ウイチエフオリア」(呼吸器病及肺結核ニ用ユ)

○無患樹 *Sapindus mukerossi garhu.*

無患樹ハ和名ヲ「ムクロジ」「ムク」「ツブ」「モイゲシ」等ノ數名アリ本邦到ル所ニ産シ多クハ深山ニ生スル喬木ナリ葉ハ狭ク鋸齒ナク冬ニ至リテ凋落ス夏月黃白色ノ小花ヲ開キ後チ實ヲ結フ其核圓クノ硬シ其核外ノ肉ハ黃色ヲ呈シ熟スレバ皺裂ヲナス  
醫學士森島庫太氏ハ此果肉中ヨリ「ザボニン」質ヲ發見シ東京醫學會雜誌第九卷第一號ニ報告セリロラゼンタール氏ニ從ヘハ昔日歐洲ニ於テ此果實ヲ醫藥トシテ萎黃病、加答兒、出血ニ内用外用セリト今日ハ用ユル人ナシト雖モ石鹼ニ代用スルヲ盛ナリベルナルデン氏ハ石鹼ヨリ六十倍ノ效力アリト云ヘリ

○「ムルレ」油(梅毒性潰瘍等ニ用ユ)

ランタニン 無花果 ムダール根 ムターゼ 無患樹

催睡薬

○「ムナムナ」(通經藥トノ殊ニ不妊症ニ用ユ)

○「ウレタン」 *Urethannum*.  $NH_2O.CC_2H_5$  「エチルウレタン」「カルブアミン」酸「エチルエーテル」

**性状** 本品ハ無色柱狀ノ結晶ニシテ一種清涼ノ味アリ四十八度乃至五十度ニ溶解シ百七十乃至百八十度ニ沸騰シ分解セスノ昇華シ之ヲ燃燒スルキハ僅ニ光輝ヲ放チ痕跡ヲ止メス水酒精、依的兒、嘔囉仿謨ニ容易ニ溶解シ中性反應ヲ以テ澄明ニ溶解ス強硫酸ヲ加フレバ本品ハ無色ノ液トナル之ヲ熱スルキハ無色無臭ノ瓦私ヲ發生ス本品ニ加里滷汁ヲ加ヘ温ムレバ安母尼亞ヲ發生ス

**應用** 催睡藥トシテ殊ニ肺癆家、酒客、精神病ニ用ヒテ其催フセル睡眠ハ安靜ニ醒後善良ヲ呈シ作用ハ甚強劇ナラズ持續短シトス其優レル所ハ甚溶解シ易キト不快ノ味ナキニ在リ全ク不快ノ副作用ナキカ故ニ小兒科ニ適スル者トス甚習慣シ易シ大人ニハ二、〇—四、〇ヲ與ヘ小兒ニハ〇、五ヲ芳香性水溶液ニ加用ス

○「ウレタン」四、〇 水四〇、〇 橙皮舎二〇、〇

右每半時乃至二時一食匙、催睡ニ至ルマテ與フ

○「ウラール」 *Uraurium*. 「クロラールウレタン」

白色ノ結晶ニシテ水ニ溶ケズ酒精及依的兒ニ溶ケ難ク苦味アリ百度乃至百五度ニ溶解ス催睡藥トシテ持續セル安眠ヲ催シ格魯刺兒ノ如キ不快ノ副作用ナシ又ランガルト氏ニ從ヘハ其效確實ナラズシテ抱水格魯刺兒ヨリ微弱ナリトス肺癆家、酒客、精神病ニ一回二、〇—

催睡

處方

三、〇ヲ「オプラート」ニテ與フ

○「ウラグアラ」 *Uraguara*.

本品ハ「ブラジル」ニ産スル植物ニシテ肺患ノ特效劑トナシ其丁幾十滴ヲ一日三回與フレバ食慾ヲ増進シ營養機能ヲ旺盛スル效アリ

○「ウレア」 *Urea* (尿素)

本品ハ利尿ノ作用アルヲ以テクレムベル氏ハ肝臟硬化症ニ賞用セリ

○純「ウレア」一〇、〇 水二〇〇、〇

右每二時一食匙

○「ウラオン」 *Uranium*.

本品ノ鹽類ハ近時蜜尿病ニ賞用スル所ナリト雖モ其毒性アルヲ以テ内用スルキハ加答兒性炎及往々實質性腎炎ヲ發スルコトアリ其應用ニ臨ミ注意ス可シ

○「ウリチエジン」 *Uricidin*.

本品ハ枸橼酸曹達、硫酸曹達、食鹽、枸橼酸里丟謨ヨリ成レル製劑ニシテ尿酸ヲ溶解スル性アリ痛風ニ一、〇—二、〇ヲ一日二回投ス

○「ウイビスクス」(尿閉、淋疾等ニ用ユ)

○「ウアバイン」 *Uabain*.

亞非利加ニ産スル「ウアバイン」樹ニシテ結晶性ノ糖原質則チ「ウアバイン」ヲ含有ス

ウレタン ウラール ウラグアラ ウレー ウラオン ウリチエジン ウアバイン

「ウアバイン」ハ白色ノ結晶ニシテ眞珠様ノ光輝アリ苦味ヲ覺エ冷水ニ溶ケ難キモ熱湯及濃厚ナラザル酒精ニ溶ケ難シ本品ハ心病、喘息、痙攣ニ用ヒ又實麥答利斯及「ストロファンツス」ノ良代用劑ナリ本品ノ用量ハ未ダ詳カナラズト雖モ概シテ「ストロファンツス」ヨリモ強劇ナルヲ以テ謹慎ヲ加フベシ皮下注射スルモ心臓ニ奏效アルヲ見ル用量ハ水溶液トナシ痙攣ニ三十分一乃至十五分一「ミリ」瓦ヲ單用シ或ハ貌魯謨加里或ハ抱水格魯刺兒ニ伍用シ一日量八分一「ミリ」瓦ナリ

○「ウレキシ」 Ulexinum.  $C_{11}H_{11}N_2O$ .

帶黃白色ノ結晶ニシテ引濕性アリ嘔囉仿謨ニ溶ケ易ク水ニ溶ケ難シ氣中ニハ分解セス揮發シ其貌魯謨水素酸「ウレキシ」ハ甚溶解シ易シ強劇ノ利尿劑及斯篤里幾尼涅ノ解毒劑トス用量ハ〇、〇〇二五—〇、〇〇一ヲ用ユ

○「ウロスチグマ」(梅毒ニ用ユ)

○「ヴァイブルヌム、ブルニフオリウム」 Viburnum prunifolium.

本植物ノ根皮ヨリ製セル流動越幾斯ハ子宮ノ強壯劑及鎮靜藥トシ殊ニ流産ニ用ユデビール氏ハ此越幾斯ヲ常習流産ノ制止ニ賞用セリ此場合ニハ半茶匙ヲ毎三時ニ與ヘ殊ニ將ニ月經ノ來ラントスル四日前ヨリ其停止スル後四日マテ持長ス月經異常、月經休止間ノ出血、分娩後ノ子宮痙攣等ニ〇、五—二、〇ヲ一日四乃至五回處ス

○「ヴァイブルヌム、ラブルス」(鎮靜藥トシ根ノ煎劑五、〇—二〇、〇)

○「ウロフェリン」 Urophelin.  $C_7H_7N_3O_2I_2 + C_6H_5(OH)COOLi$ .

本品ハ「チヲプロミン、リチウム」抱合物ニシテ製劑アリ即チ撒里矢爾酸「ウロフェリン」及安息香酸「ウロフェリン」ニシテ白色粉末狀ノ物質ヲナシ水ニ溶解シ「ヂウレチン」ト同シ利尿ノ效アレモ少量(其二分一乃至二分二)ニ足レリグラーム氏ハ利尿劑トシ「ジウレチン」ニ代ヘ腎臟炎及心臟病ニ賞用セリ一回量一、〇—一日量三、〇—四、〇溶液或ハ散劑トス

○撒里矢爾酸「ウロフェリン」一〇、〇 水二五〇、〇

右一日三四回一食匙

○「ウロシン」 Urosin.

本品ハ規那皮ヨリ得タル水及酒精ニ溶解スル規那酸ニシテ元來錠劑トナシテ販賣セラル其各錠ニハ枸橼酸里丟謨〇、一五規尼涅酸〇、一五白糖〇、三ヲ含有セリワイズ、ステルンフェルド氏等ハ尿酸體質及痛風ニ賞用セリ即チ尿酸ノ生成ヲ妨ケ或ハ全ク之ヲ制減スレバナリ本品ハ粘稠ナルヲ以テ種々ノ製劑トナシテ用ヒラル

(イ) 五十%ノ「ウロシン」溶液 一日量六、〇—一〇、〇

(ロ) 「ウロシン」錠(各錠〇、五ヲ含ム) 爽快ノ味アリ水ニ溶解スルキハ忽チ泡沸ス一日量六乃至十個

(ハ) 沸騰「ウロシン」 其一小茶匙ハ一瓦ニ同シ一日三乃至五茶匙

(ニ) 「ウロシン」水 各壘純炭酸水約三百六十立方仙迷中ニ「ウロシン」三、〇ヲ含ム

ウレキシ、ヴァイブルヌム、ブルニフオリウム、ウロフェリン、ウロシン

日一二擧ヲ用ユ

○「ウローネ」Urol.

本品ハ規那酸尿素(尿素二分規那酸一分)ニ水及稀酒精ニ容易ニ溶解シ酸性反應アリノ  
ルデン氏ハ痛風、尿石、腎石ニ一日量二、〇—六、〇ヲ取り早朝空心時其半量、他ノ半量ヲ夜  
間就寢前ニ二百瓦ノ温湯ニ加用セシム

利尿及尿酸  
溶解劑

○「ウロトロピン」Urotropin, (CH<sub>2</sub>)<sub>6</sub>N<sub>4</sub>「ヘキサメチレン  
テトラミン」

**性状作用** 本品ハ安母尼亞性トナセル「フォルムアルデヒッド」液ヲ蒸發シテ得タルモ  
ノニ白色ノ「ヘキサメチレン」ノ結晶ヲ含ミ溶ケ易シ本品ハ利尿及尿酸溶解  
ノ作用アルヲ以テ尿ヲ種々ノ狀況ニ變化セシム依テ之レヲ「ウロトロピン」ト名ケタリ之ヲ  
内用スルキハ速ニ尿中ニ移行シ已ニ十五分ヲ經レバ尿ニ靛魯謨水ヲ加フルニ橙黃色ノ靛魯  
謨「ウロトロピン」ノ沈澱ヲ生スルヲ見ルベシ本品ノ服後排泄スル尿ハ久シク清澄ニシ且酸  
性ナリ大量ノ服後(一日量六、〇ヲ投ス)ハ膀胱部ノ灼熱、尿意頻數、血尿等ノ如キ副作用ヲ  
來スコアリ

**應用用量**

「プロフエラソル」ニコライエー氏ハ尿酸體質、レヲポルトカスベル氏ハ磷酸  
尿頑固ノ化膿性膀胱炎、マルチンメンデルソン氏ハ慢性腎盂炎ニ用ヒタリワラル氏ハ慢  
性痛風ニ豫防藥トシテ大量ヲ與ヘ良效ヲ得タリ用量ハ〇、五ヲ一蓋ノ水ニ溶シ朝夕ニ用ヒ  
後ニハ晝間ニモ亦之ヲ投ス痛風豫防ニワラル氏ハ久時間(數月間)毎朝一、〇—二、〇ヲ半

窒扶新性勝  
胱炎ニ於ケ  
ル效用

「リーテル」ノ水ニ加ヘテ用ヒタリ

小兒ニハ一回量〇、二—〇、四宛一日三乃至五回投シ一日量〇、六—二、〇トス「ドクトル」  
ホルトンスミツス氏ハ窒扶斯患者ニ發シタル膀胱炎、(尿中ニ窒扶斯菌アル窒扶斯ハ多クハ  
危険ナリ)ニ賞用セリ即チ同患者ノ膀胱炎ニ於テ本品服用ノ前後ニ其尿ヲ檢セシニ二十四  
時間中ニ本品二、〇ヲ投セシニ窒扶斯菌消失スルヲ見タリ依テ同氏ハ本品ノ持長ハ膀胱炎  
ヲ治セシムル者ニシテ(其再發ハ血液ヨリ來ル者トス)之ニハ本品四、〇ニテ足レルヲアリ  
然レモ少クモ一週間一日二回〇、六六ヲ用ユルヲ確實トスト云ヘリ

- 「ウルチコール」(慢性蕁麻疹ニ毎二時一食匙ヲ用ユ)
- 「ウルチカ、ジヲイカ」(止血藥)
- 「ウアニルリン」(消化不良ニ用ユ)
- 「ウエラーメ」(創傷梅毒性潰瘍等ニ用ユ)
- 「ウエルノニア」(實麥答利斯ノ如キ效アリ)
- 「ウイタリン」(防腐藥即チ硼酸ノ屈利設林溶液ナリ)
- 「烏頭(トリカブト)」

本品ハ漢家ノ賞用スル貴藥ナリ單ニ鎮痛藥等ニ用ユヘキノミ主成分ハ「アコニチン」ナリ

- 「ウイアイリン」(強壯劑)
- 「ウインカ、マヨル」(月經過多)

ワロール ウロトロピン 烏頭

○「ウイスタム、マルブム」(鎮痲藥)

○「ノゾフエン」*Nosophen*. 四沃度「フエノー」  
「アタレイン」  $C_{10}H_{10}I_2O_4$   
**性状** 本品ハ帶黃白色無臭ノ粉末ニシテ空氣及濕潤ニ依テ變化セズ水及酸類ニ溶解セズ嘔  
囉仿痲及依的兒ニ容易ニ溶解シ酒精ニ溶ケ難シ亞兒加里ニハ藍色ヲ以テ容易ニ溶解シ之ヲ  
煮沸スルニ分解スルコトナシ二百二十度ニ熱スルカ或ハ強硫酸ヲ以テ煮沸スルキハ沃度ヲ放  
離ス

**作用及應用** 本品ハ沃度仿痲ノ無臭無毒ナル代用劑ニシテ創傷ヨリ吸收セラル、ト雖  
モ體中ニ於テハ沃度ヲ分離セサルカ故ニ糞便中ニハ分解セザル「ノゾフエン」トシテ排泄セ  
ラル本品ハ外科治療、急慢ノ中耳炎、鼻、梅毒性潰瘍、鼻咽喉及喉頭ノ吹入ニ外用ス其他軟  
下疳ニ撒布ス○内用ニハ急慢ノ腸胃加答兒ニ本品ヲ用ユルニ殺菌ノ效ヲ奏ス

**用量** 撒布末ニハ純品ノミヲ用ヒ或ハ中性粉末ヲ伍用ス吹入モ亦然リ」大人ニハ一日三  
回〇、三—〇、五「小兒ニハ〇、〇五—〇、二ヲ内用ス」本品ノ三%ノ「ガーゼ」ハ十%ノ沃度仿  
痲「ガーゼ」ニ代用スベシ

○「ノイロジン」*Neurodin*. 「アチエナール、マ、チキ  
セフエニールウレタン」

本品ハ無色無臭ノ結晶ニシテ冷水千四百分、沸湯百四十分ニ溶解シ八十七度ニ溶解ス本品ハ  
神經痛藥トシテ坐骨神經痛、三叉神經痛、脊髓癆ノ疼痛、偏頭痛、諸種ノ原因ニ由ル頭痛ニ賞

用ス本品ノ良效ハ屢確定セシ所ニシテ解熱ノ性能アレモ鎮痲ノ效ニ比スレバ劣レリ副作用ト  
シテ發汗、惡心、眩暈ヲ發スルコトアリ用量ハ一、〇—一、五—二、〇ヲ散劑トシテ與フ

○「クロトノール」*Acidum crotonicum*.

本品ハ巴豆油ノ成分ニシテ褐色稠厚油狀ノ揮發セザル液ナリ強ク把抓スル如キ味ト臭氣アリ  
強酸及亞兒加里ニ遇ヘバ「クロトノール」酸ハ分解セラル、極メテ毒性アリ皮膚ニ塗布ス  
レバ劇シク發泡スルヲ以テ發泡劑トシテ外用シ内用ニハ下劑トシテ〇、〇—一ノ丸劑トナシ與フ  
下泄ノ效確實ナレモ直腸ニ不快ノ灼熱ヲ起ス

○「クロトン」酸(催眠ノ效アレモ無用品ナリ且前者ト混同ス可ラス)

○「グルン」*Balsamum Guttin*.

稠厚ナル液ニシテ透過光線ニハ赤褐色透明ナルモ落射光線ニハ綠色混濁ス臭味共ニ骨拜巴拔  
兒撒痲ニ類シ嘔囉仿痲、依的兒油ニハ混和シ酒精、依的兒等ニハ唯一部分溶解スルノミ五倍  
ノ水ヲ加ヘ強ク振盪スルキハ乳和ヲ生シ熱スルモ亦透明トナルコトナシ皮膚病殊ニ象皮病ニ  
用ヒ又淋疾ニ一日三乃至四回其依的兒性油〇、三—一、五ヲ與フ

○格魯刺兒抱合物

(イ)格魯刺兒亞密度(「クロラールフォルムアミット」ヲ見ヨ)

(ロ)格魯刺兒安母尼紐護

*Chloralaminonium*.



白色結晶様粉末ニシテ格魯刺兒様ノ臭味アリ冷水ニ溶ケ難キモ酒精ニ溶ケ易ク溶解點ハ約六十四度ナリ催睡藥及鎮痛藥トシテ用ユ抱水格魯刺兒ヨリモ心臓及呼吸器ニ感作スルコト少キカ故ニ之ニ優レリト云フモ未タ汎用スルニ至ラス用量ハ一、〇—二、〇ナリ

(ハ) 格魯刺兒亞密兒(知覺麻酔藥)

(ニ) 格魯刺兒密度(催睡藥ニシテ) 用量〇、二五—一、五

(ホ) 樟腦化「クロラール」(「シ」ノ條下ヲ見ヨ)

(ヘ) 「クロラール」(「シ」ノ條下ヲ見ヨ)

(ト) 格魯刺兒薄荷腦(麻酔藥トシテ) 神經痛、偏頭痛等ニ用ユ

(チ) 格魯刺兒「フェノール」(「フェノール」ニ三分抱水格魯刺兒一分ヨリ成ル)

(リ) 格魯刺兒「チモール」(偏頭痛等ニ用ユ)

○ 格魯刺兒「カルブアミッド」(催睡劑)

○ 格魯刺兒樟腦屈利設林(軟下疳ニ用ユ)

○ 格魯刺兒「フナルムアミッド」(Choralforminid)

**性状** 格魯刺兒「フナルムアミッド」ハ白色光輝アル無臭ノ結晶ニシテ微ニ苦味アリ百十四度乃至百十五度ニ熔融シ徐々ニ冷水約二十分、酒精一、五分ニ溶解ス水溶液ヲ六十度以上ニ熱スルキハ此化合物分解セラレテ格魯刺兒ト「フナルムアミッド」トナル、曹達瀉汁ヲ加ヘ熱スルキハ本品ノ結晶ハ嚙嚙仿謨ヲ析出シテ澄明ノ液トナル「本品ノ酒精溶液(一分ト十分)

催睡藥

ハ藍色「ラクムス」紙ヲ紅變ス可ラス硝酸銀液ヲ加フルモ忽チ變化ス可ラス熱灼スルキハ本品ハ燃燒スヘキ蒸氣ヲ發生セズ揮散スヘシ」注意シテ貯フヘシ

**作用及應用**

本品ハ身體中ニ於テ格魯刺兒及「フォルムアミッド」ニ分解スルカ爲メニ抱水格魯刺兒ノ如ク催睡ノ效アリ本品ハ應用スヘキ催睡藥ニシテメーリング氏ハ抱水格魯刺兒ニ優レリトセリ蓋シ本品ハ消化ヲ害セズ且同時ニ分解シタル「フォルムアミッド」ノ興奮作用ノ爲メニ呼吸、心臓及血壓ニ影響セサルカ故ニ心臟病ニ投スルモ危險ナシ催睡ノ效力ハ抱水格魯刺兒ヨリ弱クシテ本品約二、〇ハ抱水格魯刺兒二、〇ニ均シキ催睡ノ效アリ

**用量**

一、〇—四、〇ヲ散劑トシ「オブラート」ニ包ミ或ハ水溶液トナシ調味藥(橙皮舍)ヲ加ヘ或ハ白糖ヲ加ヘタル赤葡萄酒ニ和シテ投スヘシ此散劑ヲ製スルニハ六十度以上ニ溫熱ス可ラス大人ノ催睡量ハ最多キモノ二、〇—三、〇トス(極量一回四、〇—二日八、〇)

○「クロラール」(Chloralose 「アンヒドロゲン」)

催睡藥

**性状** 本品ハ細小針狀結晶ニシテ冷水ニ溶ケ難ク(即水千分中僅ニ六乃至八分溶解ス)熱湯及酒精ニ容易ニ溶解ス百八十四度ニ溶解シ分解スルコトナク揮散ス

**作用及應用**

本品ヲ内用スルキハ睡眠ヲ催ス若シ犬ニ與フレハ之ト同時ニ反射機充進ス血壓ニハ影響セスリシエー及ハンリヤー氏ハ之ヲ催睡藥トシテ賞用セリ人ニ於テ睡眠作用ハ屢確定セラレタリト雖モ大人ニ本品〇、五以上ヲ投スレバ屢不快ノ副作用即チ手、腕ノ振顫、攣縮、劇甚ノ呼吸困難ヲ起スヲ以テ適當ノ藥品ト爲ス可ラザルカ如シ之カ應用ハ要

格魯刺兒「フナルムアミッド」(クロラール)

スルニ頗ル注意ヲ須要トス

用量 ○、二—〇、五ヲ散劑トシ「ラブラート」ヲ以テ服セシム

○「クロラール、コッフエイン」(針狀結晶ニシテ利尿劑一回〇、一五—〇、三トス)

○「クロラール、フォルトフォルム」(無味ノ局所知覺麻酔劑)

○「クロロトン」Chloron.

本品ハ白色結晶ニシテ樟腦ノ香氣アリ水ニ溶ケ難ク酒精及依的兒ニ溶解スドナルド氏ハ催睡劑トシ〇、六五—〇、八ヲ必要ナルキハ毎二時ニ投セリ同氏ニ由レバ大量ヲ與フルモ亦危險ナシト

○「クロロリン」(粗略ノ消毒劑トシテ用ユ)

○格魯兒化「メチール」: *Methylum. chloratum. CH<sub>3</sub>Cl.*

格魯兒化「メチール」ハ無色依的兒様香氣アル瓦私ニシテ綠色ノ火焰ヲ放チテ燃燒ス本品ハ四分ノ水、三十五分ノ酒精或ハ「メチールアルコール」ニ溶解シ又依的兒、嘔囉仿謨ニモ容易ニ溶解ス流動性格魯兒化「メチール」ノ蒸發スルキハ其周邊ハ異常ニ溫氣ヲ奪ハレ所謂蒸發的寒冷ヲ起ス

流動性格魯兒化「メチール」ハ其寒冷ヲ起ス性質ニ基キテ局所知覺麻酔劑トシテ用セラル而シテ本品ハ齒痛、顔面神經痛、肋間神經痛、坐骨神經痛、筋攣麻質斯ニ與フルニ一回又ハ數回ニシテ已ニ疼痛消散ス其他知覺脫失ノ持續間ニ小手術例之、瘰癧ノ切開等ヲ行フニ疼痛ヲ感セ

局所知覺麻酔藥

シムルコナシ

○格魯兒化「メチール」: *Methylum. chloratum. CH<sub>3</sub>Cl.*

純粹ノ格魯兒化「メチール」ハ無色嘔囉仿謨様香氣アル液ニシテ其溶解ノ比例嘔囉仿謨ノ如シ本品ハ嘔囉仿謨ノ如クニ容易ニ發火セサルモ其蒸氣ハ綠色ノ燭ヲ放ツ酒精及依的兒ニ容易ニ溶解ス光線及空氣ヲ遮リ貯ヘサル可ラス

本品ハ屢嘔囉仿謨ノ代用トシテ用セラル、モ之カ如ク速ニ麻酔セサレモ之ニ優ル點ハ恐クハ格魯兒ヲ含ムコナシガ爲メ嘔囉仿謨ノ如クニ脈搏及呼吸ヲ危害セサルニ在リ但シ此問題ハ未タ確定セシモノニアラス

○格魯兒化「エチール」: *Aethylum. chloratum. C<sub>2</sub>H<sub>5</sub>Cl.* 格魯兒化依的兒

本品ハ無色流動シ易キ液ニシテ固有ノ爽快ナル香氣灼クカ如キ甘味アリ水ニ僅ニ溶クルモ酒精ニハ容易ニ溶解ス○本品ハ毛細硝子管(一管ニ十瓦ヲ容ル一回ノ量トス)ニ入レテ販賣セラル、者ニシテ局所寒冷的知覺脫失劑トシテ小手術ニ供セラル則チ此毛細管ヲ折リテ下方ニ尖端ヲ向ハシメテ局部ニ接著スルナリ

ルーギール氏ハ本品ヲ肋間神經痛ニ外用シエールマン氏ハ小切開、小腫瘍ノ摘出ニ用ヒガンス氏ハ神經痛ニ稱用セリ醫學士田中苗太郎氏ハ舌癌摘出後ニ發生セル頸腺癌摘出ニ試ミタリ同氏ハ自體ニ試ミシニ四五密立方ヲ一硝子管中ニ入ル、藥液ニテ麻酔セシメ得タリ麻酔ハ數分時ニシテ消散スルカ故ニ小手術ニ適スト中外醫事新報第三百三十七號ニ報セリ

局所知覺麻酔藥

麻酔藥

クロロトン 格魯兒化メチール 格魯兒化メチール 格魯兒化エチール



本品ノ全身  
麻酔法ノ狀

近時本品ヲ全身麻酔ニ用ヒ良效ヲ得タリ即チヨセフ、ビルヘル氏ニ由レハ此麻酔ハ一般ニ患者ノ全ク無知覺ニ至ルヲ速ニ來ルト之ヨリ其醒覺スルヲ速ナルトニ由リ特色トス初メテ之ヲ吸入スルヤ直チニ眩暈感覺、五官機能ノ消失、完全ノ神識亡失ヲ致ス而シテ本品ノ作用神速ナルヲ以テ一般ニ其興奮短キモ多クハ抗拒運動ヲ起ス然レモ騒狂狀觀念及高キ叫聲ヲ發スルハ稀ナリ通常興奮ハ麻酔ノ開始後半分乃至二分ニ發シ其持續ハ全ク麻酔ニ至ルマデ四十五秒乃至二分時ニ限ル者ナリ之ニ反シテ患者麻酔ノ全持續間決シテ安靜ナラザル者數多之アリ概シテ麻酔開始後全ク感覺ヲ失フニ至ルマテ一分半持續シ而シテ手術ヲ始メ得可シ又百四十一回中唯八回ハ麻酔不全ニシテ疼痛ヲ輕ク感知シタル者アリ從來此方法ニ由リテ行ヘル患者百六十一名ニ於テハ肺臟及心臟ノ注意スベキ症狀ヲ實驗セザリキ即脈搏ハ一般ニ充實ノ強ク嘔吐ヲ來スヲ稀ナリ若シ吐スルモ醒覺後ニ來リ一回ノ後ハ全ク爽快トナル而シテ嘔吐ハ決シテ嘔嚙仿謨麻酔後ノ如ク劇カラス又患者ハ嘔嚙仿謨或ハビルロート氏混合液應用後ノ如ク再ヒ本品ノ麻酔ヲ行フニ當リ毫モ嫌厭或ハ惡心ヲ存留セズ此麻酔ノ特色ハ長ク神識朦朧ヲ持續スルヲナク忽チ醒覺スルニ在リ即チ吸入覆面ヲ除キ尙麻酔セル患者ヲ喚起スルヤ忽チ眼目ヲ動カシ暫時ニ全ク神識ヲ恢復ス通常患者ハ不快ノ作用ヲ感セスシテ手術臺ヨリ離レ自家ニ歸ルヲ得ベシ此件タルヤ本品ノ頗ル外來治療ニ適スル所ナリ唯甚稀ニハ頭痛及眩暈ヲ訴フルヲアルノミ本品麻酔ノ大裨益ハ其速ニ發シ來ルト亦其速ニ消散スルトニ在リテ長ク持續スル麻酔時期ニ達シ難シ故ニ此麻酔ハ主トシテ短時間ノ手術ニ適ス

本品麻酔ノ  
長所

麻酔劑

本品ノ麻酔の吸入量ハハツケル氏ニ從ヘハ平均八、〇—一〇、〇ナリトス又本品ハ齒科ニ於テモ亦局所麻酔ニ賞用セラレ

○格魯兒化「エチレン」*Aethylenum chloratum*.  $C_2H_4Cl_2$ .

本品ハ無色嘔嚙仿謨ノ臭氣アル揮發シ易キ甜味ノ液ニシテ八十五度ニ沸騰シ之ニ「アニリン」及加里澗汁ヲ加ヘテ熱スルモ惡臭ノ「イゾニトリール」ヲ發生セス（嘔嚙仿謨ト異ナル所ナリ）光ヲ防キ注意シテ貯フベシ

本品ハ嘔嚙仿謨ノ如ク吸入セシメ鎮痛性塗擦料、其他吸入の知覺麻酔劑トス之ヲ嘔嚙仿謨ヨリモ危險ナラズト云フハ至當ナラズ

○格魯兒化「エチレン」*Aethylenum chloratum*



麻酔

本品ハ無色嘔嚙仿謨樣臭氣アル甜味ノ揮發シ易キ液ニシテ八十五度半ニ沸騰ス本品ニ強硫酸ヲ加ヘ振盪スルキハ之ヲ褐色トナスフエリング氏液ヲ加ヘ熱スルキハ還元セス「アニリン」及加里澗汁ヲ加ヘ熱スルモ惡臭ノ「イゾニトリール」ヲ發生セズ光ヲ防キ注意シテ貯フベシ  
本品ハ「イソブライヒ氏」ニ從ヘハ嘔嚙仿謨ノ如ク吸入の知覺麻酔藥トシテ用ユルニ之ヨリモ危險ナラズト云フ

○格魯兒「フェノール」*Chlorphenol*.

本品ハ白色ノ結晶ニシテ水ニハ僅ニ溶解シ酒精、依的兒、亞兒加里ニ容易ニ溶解ス○チユリロ

格魯兒化エチレン 格魯兒化エチレン 格魯兒フェノール

フ氏ハ丹毒ニ賞用シシマノフスキー氏ハ咽頭病、喉頭病并ニ口内及咽頭粘膜ノ慢性肥厚ニ用ヒタリ又狼瘡及梅毒性眼炎ニ投ス丹毒ニハ二%ノ軟膏、眼科ニ於テハ一—二%ノ液ヲ結膜下ニ注射ス口内粘膜ニハ五乃至二十%ノ屈利設林溶液ヲ塗布ニ供シ狼瘡ニハ加温シテ塗布ス

○格魯兒「フェノール」一、五 屈利設林

三〇、〇

右塗布料

○格魯謨酸 *Acidum chloricum.*

○格魯兒「フェノール」 「ラノリン」 「ワ

ゼリン」 澱粉 各一〇、〇

右泥劑トス(狼瘡)

足汗制止藥

近時格魯謨酸ハ足汗ヲ制止スルニ良效アリ即チ五%ノ液ヲ足趾及足趾間ノ皮膚ニ塗布スルハ其部分ハ堅硬乾燥スルニ由リ著ク兵卒ノ進軍ヲ容易ナラシム○豫メ清潔トナセル創傷ナキ足ニノミ應用ス可ク又本品ハ充分純品ナラサル可ラズ之ヲ以テ足汗ヲ制止スルモ更ニ不快ノ副症狀ヲ經驗セズ之ヲ行フニハ醫家ノ監督ヲ受ク可シ

○格魯兒石灰 *Calcium chlorata.*

本品ノ一%液ヲ慢性白帶下(殊ニ淋毒性)ノ洗滌料ニ賞用ス此品ハ他ノ防腐劑ニ比スレバ粘液ヲ溶解シ去リ凝固スルコトナシ

○格魯兒加兒叟謨 *Calcium chloratum.*

本品ハ水ニ溶解ス近時諸家ハ尋麻疹ニ一日三回一、八宛投シ五日ノ後ニハ一回量〇、六ヲ用

ヒ最後ニハ〇、二ヲ投シ良效ヲ得タリ

○「クロラールバチット」 *Chloralacid.*

本品ハ蛋白ニ格魯兒ヲ通シテ製シタル三%格魯兒ヲ含メル溶解性無味ノ粉末ニシテ慢性無力性胃加答兒、胃痛、營養障礙ニ用ヒラル用量ハ〇、五—一、〇—二、〇ヲ水ニ溶シテ食前ニ投シ一日六、〇ニ至ル又胃ノ洗滌ニハ早朝空心時ニ半咖啡ヲ水百五十瓦ヲ加ヘ行フ

○格魯兒拔留謨(心臟病ニ用ユ)

○格魯兒「アルミニウム」 *Aluminium chloratum.* 又「クロラール」

本品ハ無色酸性ノ液ニシテ此製劑ハ硫酸鹽、鐵、石灰ヲ交ヘ不純ナル者多シ之ヲ「クロラール」ト稱スルヲ以テ抱水格魯兒ト誤ル可ラス

本品一乃至三分水一〇〇、〇ナリ

○格魯兒金那篤留謨 *Auro-natrium chloratum.*

近時ゲ、ウエ、ラッヘル氏ハ痲咳ニ賞用セリ則チ小兒ノ年齢ニ從ヒ五乃至八滴ヲ少許ノ水ニ加ヘ毎二時ニ與ヘ若シ二三日ヲ經ルモ發作ノ數ヲ減セザルキハ用量ヲ増ス可シ其良效ハ殊ニ夜間安眠時ニ現ハル

○格魯兒金 *Aurum chloratum.* 腐蝕金

本品ハ黃色稜柱狀結晶、或ハ結晶性粉末ニシテ潮解シ易ク水及酒精ニ溶ケ易ク容易ニ分解セ

消毒劑

腐蝕劑

格魯謨酸 格魯兒石灰 格魯兒加兒叟謨 格魯兒金 格魯兒金那篤留謨 格魯兒金

クロラールバチット 格魯兒アルミニウム

ラル

本品ハ局所ヲ腐蝕スルコト格魯兒金那篤留謨ヨリ甚シキモ癩痕ヲ殘サス腐蝕劑トシテ腫脹狼瘡潰瘍、梅毒ニ用ヒラシムルコトフ氏腐蝕泥ノ成分トス内用ハ格魯兒金那篤留謨ノ如シ本品ハ多クハ他ノ腐蝕劑ト兼用シ軟膏ニハ一分脂肪或ハ脂油十五分トス○内用ニハ〇、〇〇一〇、〇〇五〇、〇一ヲ丸劑或ハ溶液トナシ毎日一二回與フベシ但内用スルハ稀ナリ

○格魯兒金 格魯兒亞鉛 格魯兒化貌魯謨 格魯兒化安知母尼液 各三、〇 甘草末 適宜

右爲軟泥、此泥劑ヲ布片ニ一二密塗布シ之ヲ膿潰部分ニ貼シ其壞死組織ヲノ脱落セシムベシ是レ即チラシムルコトフ氏腐蝕泥ナリ(癌腫)

○格魯兒「バラジウム」 *Palladium chloratum.*

本品ハ黑褐色ノ物質ニシテ水ニ溶解スソリスコヘン氏ハ肺結核ニ用ヒタルニ食欲及營養狀況佳良トナリ咳嗽、發熱及結核菌減少セリ同氏ノ用ヒタル量左ノ如シ

○格魯兒「バラジウム」〇、七五 餾水二八、〇  
右五乃至十滴ヲ水ニ加ヘテ食前ニ用ユ

○嘔囉仿謨水 *Aqua Chloroformi.*

餾水ニ過剩ノ嘔囉仿謨ヲ加ヘ振盪シ一時間放置シ次ヲ瀉取ス可シ凡一%ノ嘔囉仿謨ヲ含有ス

鎮靜及鎮痙藥

應用

鎮痙藥及鎮靜藥トノ與ヘ又小兒ノ痙攣ニ吸入セシム此目的ニハ一食匙ノ溫湯ニ小兒年齡ノ二倍ニ當ル數滴ノ嘔囉仿謨水ヲ加ヘ毎日吸入セシムルニ在リ若シ八日ヲ經ルモ此療法ニ由テ毫モ輕快ニ赴カザルキハ用量ヲ增加シ各齡ニ從ヒ二滴ニ代ヘテ各三滴宛ヲ加フ可シ八日後ニハ發作稀疎微弱トナル痙攣ハ二週ヲ經レハ閉止シ本病ノ加答兒期ニ移行ス又本品ハ胃潰瘍ニ最良ノ劑ニシテ管ニ消毒收斂スルノミナラス同時ニ止血シ且刺戟ヲ緩和スル性質アレバナリ口腔及咽頭ノ病ニモ良效アリ又腸室扶斯ニ效アルヲ見ル則チ嘔囉仿謨水分水十五分ノ者一日三回ニ分服セシムレバ已ニ三四日ニシテ神識朦朧、重聽等消退シ速ニ治愈ニ向フ

醫學士多田貞一郎氏ハ第一醫院ニ於テ八名ノ患者ニ試ミ左ノ成績ヲ得タリ(一)嘔囉仿謨

ハ腸室扶斯治療上、熱ノ經過ニ對シ又神經症狀ニ對シ毫モ效ナシ即チ該病ニ效驗ナシ(二)二名ノ患者ニ興奮作用則チ酒精ニ酔ヘルト同一ノ症狀ヲ檢シ一名ニハ蕁麻疹ヲ發セリ(三)比較的無害ニシテ其味芳烈甘味ナルカ故ニ腸室扶斯療法上、里母那垠ノ代用トシテ試ムルモ可ナリ○氏ハ一種不快ノ臭氣アルヲ以テ薄荷水ヲ加ヘ左ノ處方ヲ與ヘタリ

○嘔囉仿謨一、〇 薄荷水一五、〇 單舍八、〇 水一五、〇  
右一日三回ニ分服、用時強ク振盪スヘシ

○嘔囉仿謨薄荷腦依的兒 *Chloroform-menthol-Aether.*

本品ハ嘔囉仿謨一〇、〇依的兒一五、〇及薄荷腦一、〇ノ混液ニシテ知覺脫失ノ性質アリ小手

格魯兒「バラジウム」 嘔囉仿謨水 嘔囉仿謨薄荷腦依的兒

腸室扶斯ニ效アリ

醫學士多田貞一郎氏ハ第一醫院ニ於テ八名ノ患者ニ試ミ左ノ成績ヲ得タリ(一)嘔囉仿謨

術ニ於テ二乃至六分間知覺脫失セシムルニハ本品ヲ良トス則チ噴霧器ニ由テ一分間散霧セシムルヲ以テ最適當トス

○**嘔囉仿謨**「アンシニツ」 Chloroform-Anschütz.

麻酔劑

本品ハアンシニツ氏ガ撒里失爾酸嘔囉仿謨ヨリ精製シタルモノニシテ其精製法ハ今日十分ナル保證ヲ附シ得ベキ絶對的純粹ナル嘔囉仿謨ヲ造ルニ最良唯一ノ方法ナリ嘔囉仿謨ハ撒里失爾酸化合物ト結合シテ一種ノ結晶様物質ヲ形成シテ撒里失爾酸嘔囉仿謨中ニ存在ス而シテ嘔囉仿謨ハ恰モ許多ノ結晶物中ノ結晶水ト同様ナル役ヲ勤ムルモノナリ故ニ若シ之ヲ熱スル時ハ化學的純粹ナル状態ニテ其中ヨリ分離スルナリ

獨逸國ボン府ノオー、ウイツエル氏ノ報告ニ由レバ現今獨逸國ノ全醫界殊ニ外科醫界ニテハ嘔囉仿謨ト「エーテル」ノ中孰ヲ擇フベキカノ問題ニ就テ大ナル興味ヲ以テ研究シ佛國及瑞西國ニテハ既ニ長ク研究ヲ重ネリ三年前予ガ此等諸國ニ滯在中諸大學ニ就テ觀察スルノ機會ヲ得或ル處ニテハ嘔囉仿謨ヲ賞用シ又他ノ處ニテハ依的兒ヲ賞用セルヲ目撃セリ斯ク各處ニ於テ其意見ヲ異ニスル結果トシテ各其麻酔劑用法ノ技術上吾人ヨリモ卓越セル所アルハ明白ナリ予ノ監督下ニアル病室ニテハ或場合例之虛弱ナル小兒及老人殊ニ又長時間ニ互ル麻酔ヲ要スルガ如キ時ニ用ユルニ適セル良性アルノ故ヲ以テ特ニ依的兒ニ優勝ノ地ヲ附與セリ而シテ此等ノ場合ニハコッヘル氏ノ薦ムル所ノ法ノ如ク最初ニハ嘔囉仿謨ヲ用キ後ニ依的兒ヲ與フ

麻酔ヲ行フニ當リテ若シ嘔囉仿謨ノ應用ヲ止メラレタランニハ一般實行上最大困難ニ遭遇スルナラン故ニ總テノ實地醫家ハ如何ニ純粹ナル麻酔劑ヲ以テ法ノ如ク適當ニ麻酔ヲ行ヒタルトモ單ニ麻酔ヲ行フノミニテモ既ニ到底死ハ免レ難キガ如キ場合ニ遭ハ、即チ初メテ或唯少數ノ臨牀外科醫ノ行ヒタル例ニ從フベキノミ余ハ余ト同ジク嘔囉仿謨ヲ用ユルノ危險ハ唯其應用法ノ當ヲ得ザルニ歸因スルヲ親シク認識セル醫家ニ余ハ化學的絶對的純粹ニシテ且適當ナル取扱ヲナサバ何時迄モ純粹ナルヲ失ハザル一製劑ヲ大ニ推舉セントス或ル特殊ノ場合ニハ如何ニシテモ嘔囉仿謨ニ依頼セザルヲ得ザルヲアルニヨリ依的兒崇信者ト雖亦此信賴スベキ一製劑即撒里失爾酸嘔囉仿謨ヨリ精製セル嘔囉仿謨「アンシニツ」アルヲ知ラバ必ズ喜フアルヲ信ズ

本品ハ今日マデ用キ來レル所謂最良嘔囉仿謨トハ異ナリ優ニ卓越セル者ナレバ當初余ノ考ヘタル如ク本品ノ未ダ世ニ公ニセラレザル前ニ一般ノ嘔囉仿謨ニ施シタル實驗ノ結果ヲ敷衍シテ本品ニ及ボスハ誤レリト思ハザルヲ得ズ本劑ヲ使用スルニ當リテハ動モスレバ全ク嘔囉仿謨ヲ使用シ居ルヲ忘ル、ニ至ル

化學的純粹ナル嘔囉仿謨ノ臭ハ唯些ノ芳香アルノミ之レマデ用キ居ラル、製劑ノ如ク刺戟性ヲ有セズ從テ麻酔開始ノ際呼吸閉止ヲ起サズ又他劑ヲ用ユルニ唯少量吸入ノ後ニ屢見ラル、所ノ咳嗽ヲ來スナシ  
既ニ本品ノ用キラル、以前ヨリ滴下法ヲ以テスレバ興奮期ノ烈シキ現象モ時々無キヲ得タ

嘔囉仿謨アンシニツ

リ此事ハ嘔囉仿謨「アンシユツ」ニテハ普通ノ「ニ」ノ假令患者ガ飲酒家ナリモ唯高聲ニテ言語ヲ發スルニ過キズ

本品ヲ用キタル時ノ麻酔ハ從來ノ嘔囉仿謨ヲ用キタルモ遅ク徐々ニ來ル平均十分乃至廿分ノ後ニ至テ初テ來ル臭素依的兒ニ依リテ麻酔ヲ行フ際ニ來ル如ク腦ノ機能ガ突然中絶スルヲ危シトスル醫家ハ此麻酔作用ノ遲滯ヲ一大利便ト考ヘザルベカラズ吾人ハ脈搏狀態ニ特別ナル注意ヲナセリ而シテ吾人ハ今ヤ嘔囉仿謨ヨリ來ル主要ナル危險即心臟ヲ犯スノ懼ハ其不純物ヲ絶對的ニ除去スレバ避クルヲ得ベキヲ期待スベシト信ス初ヨリ良好ナル脈搏ハ本品應用後不良ニ傾クヲナシ速ニシテ小ナル興奮脈ハ數分時ニシテ既ニ恢復ス非常ナル恐怖ヲ懷キ顔面血色ヲ失ヒタル婦人モ暫ニシテ血色舊ニ復シ鮮紅色ヲ保ツ手術中大量ノ血液損失網膜ノ強牽及腸ノ大手術等ニテハ他ノ何レノ麻酔劑ヲ用ユルモ同様心臟機能上有害ナル影響ヲ及ボスヲ勿論ナリ

以前ニハ腹部ノ手術其他總テ重大ナル手術ノ際殆ド免ル、能ハザリシ呼吸閉止、時トノ一晝夜モ持續スル嘔吐及食物其他強壯劑ヲ口ヨリ攝取スルノ力ヲ失フ等ノ嘔囉仿謨使用後ニ起ル諸難ヲ延ヒテ以テ本劑ノ値ヲ損スルベカラズ人ノ熟知スル如ク依的兒應用後ニハ惡心、嘔吐ヲ來スヲハ甚ダ稀ナルモノナルガ此點ニ於テハ此新嘔囉仿謨劑ハ少クトモ依的兒ト同等ノ價值アルモノナリ驚ク可キハ嘔囉仿謨「アンシユツ」ノ麻酔ノ下ニ手術ヲ受ケタル或ル二三ノ患者ガ醒覺スルヤ否ヤ進ンデ食事ヲ取りタル「ア」リ

嘔囉仿謨使用量ハ平均麻酔時ノ二分乃至三分間毎ニ一立方仙迷ナリ巧ニ加減スレハ其量ハ著シク減セラルベシ長時間ノ麻酔ニハ殊ニ然リ此際ニハ往々一分間ニ四五滴ニテ充分用ニ足ルヲ以テナリ

吾人ガ專ラ滴下法ヲ用ユル「ハ」吾人ノ言ヲ待タズシテ明ナリ此ガ爲ニ用ユル壘ハ何處ノ藥舖ニテモ購ヒ得ラル、單筒小形ノ褐色硝子製滴下壘ナリ一時ニ多量ヲ注ギ患者ノ血液、頭腦中ニ嘔囉仿謨ヲ漲ラス「ハ」吾人現今ノ見地ヨリ非議セザルベカラズ滴一滴絶へ間ナク投下スルモ同度ノ麻酔ヲ起シ得ベク而カモ有毒物ヲ生ズル「ハ」甚少シ（恰モ強キ酒ノ一杯ヲ藥ノ莖ヲ以テ少量宛啜ルル「ハ」比較的大ナル酩酊ヲ來タスガ如シ）而シテ此用法ハ麻酔ノ危害ト後作用ト著シク減ズベシ

滴下法ノミニテ行ハレタル嘔囉仿謨麻酔ニ關スル統計アラバ從來用ヒラレタル統計トハ大差ヲ生ズルナラン嘔囉仿謨麻酔成績ノ從來宜カラザリシモノハ精製ノ不完全ナルガ爲ト其用法ノ當ヲ得ズ寧ロ危險ナル用法ナリシニ歸ス

尙ライブチ「ハ」大學外科教授チルマン氏ハ其著書外科總論中ニ本品ノ絶對的ニ純粹ナルト其麻酔ノ經過良好ナルト及其後作用ノ殆ンド無キトヲ賞賛セリ

醫學士林障氏ハ本品ヲ試用セシニ麻酔ニ陥ル「ハ」速ニシテ醒ムルモ亦早ク飲酒家ハ爽快ニ感シ尿ニ蛋白ノ出ル「ハ」ナシ且此新藥ハ臭氣少ク揮發力強シ然レモ既ニ使用シタル殘物ヲ再ヒ用ユル「ハ」普通ノ嘔囉仿謨ヨリ尙不快ノ副作用アリ蓋シ變化シ易キ者ナラン氏ハ實驗ニ

防腐藥

徴シテ其ノ優レルヲ認ムルモ高價ニシテ「ボンド」金六圓ニ當ルカ故ニ普ク用ヒラレザラント

○「クレオリン」 *Kreolinum.*

**性状** 本品ハ石炭酸製造時ノ副産物ニシテ石炭結晶阿曹篤ヨリ凡テ石炭酸ヲ除去セル後樹脂及曹達ヲ加ヘ製セル者ナリ本品ハ暗褐色舍利別様兒様ノ液ニシテ煙樣臭氣ト初メ芳香性後チ灼樣ノ液ヲ生ス水ヲ加フレバ乳和シ九十六%ノ酒精ト依的兒ニハ適宜ノ比例ニ於テ溶解シ褐色ノ液ヲ生シ濃厚ナルニ從ヒ二色性ヲ呈ス而シテ水中ニ乳和スレバ褐色ヲナシ亞兒加里性水ニハ泥狀黃色ヲ呈シ偏利設林ヲ加フレバ褐色ノ乳和ヲ生ス可シ

○「クレオリン」ハ秘密藥ニシテ其成分公示ナシト雖モビールソン氏ノ分析ニ由レバ炭化水素六六、〇%「フェノール」類(石炭酸)二七、四有機鹽基二、二灰分四、四「ビールソン」氏ノ製劑ヲ分析シ炭化水素五六、九%「フェノール」類二二、二、酸類〇、四那篤留謨二、四「フェノール」ト炭化水素トノ割合一ト二、五オットーベックルツ氏ノ分析ニ由レハ(ビールソン氏ノ製劑)炭化水素五九、六%「フェノール」類一〇、四「ピリチン」鹽基〇、八「アビエチン」酸二二、〇那篤倫二、八水三、四ナリ○ア、ヘント氏ハ石炭酸〇、五無効性芳炭化水素(「ベンゾル」及「ホモローム體」)二、五樹脂酸一、五ヲ混合シ其理學的性状、效用等全ク「クレオリン」ニ同シト云ヘリ

**作用及應用** 本品ハ防腐、消毒、及消臭ノ性アリ下等動物ニ對スル毒物ナリ又收斂及分泌制減ノ作用ヲ有ス本品ハ溫血動物ニハ比較的ニ無毒ナリ少量ヲ内用スレバ腸内ノ腐敗機

「クレオリン」ノ構成

及瓦私發生ヲ防止シ大量ノ後、糞便ハ惡息ヲ失フ又本品服用後ニ排泄ノ尿腐敗セス本品ハフレーネル氏始テ獸病治療上防腐、消毒及寄生物撲滅藥トシテ使用セラレシ所ニシテ石炭酸及他ノ防腐劑ニ代ヘテ汎ク應用セララル○外用 外科及産科ニ於テ防腐、消毒及消臭藥トシテ淋疾、白帶下ノ注入料、膀胱炎ノ洗滌料、丹毒、火傷、凍瘡ノ塗布料實布疔里、格魯布、慢性喉頭加答兒、喉頭結核ノ洗口、塗布、吸入料トシ臭鼻ニ用ヒ結膜炎、角膜炎、角膜潰瘍、外聽道ノ濕疹、膿性中耳炎、皮膚病、濕疹、癢癬ニ外用ス○内用 胃腸ノ異常發酵症、膀胱炎、結核ニ之ヲ與フ

醫學士今井通氏ハ醫科大學第一院ニ於テ十二名ノ「トラホーム」ニ本品ヲ用ヒ實驗シ其病牀日誌ヲ掲ケテ詳論セラレタルガ今其結論ノミヲ掲ケン

「クレオリン」ハ「トラホーム」ニ對シテハ初メ一二週ハ奏效アレモ到底之ヲ以テ全癒ニ赴カシムルヲ能ハサル可シト因テ初メ本品ヲ用ヒ次ニ硫酸銅、硝酸銀ヲ用ユルヲ適當ノ法ナラシムルヲ見タリ

青木純造モ種々ノ眼病ニ試用シタリ唯良效アリシハ角膜實質炎ノミニシテ其刺戟症狀ナキ者ニ一%ノ「クレオリン」ヲ一日三回點眼シ硼酸ノ濕布繃帶ヲ施シ大ニ經過ヲ短縮セシメタルモノ二名ヲ見タリ

「クレオリン」ハ他ノ消毒劑ニ比シテ許多ノ優點アリト雖モ其構造一定セサルカ爲メニ其應用ヲ適正ナラシムル能ハス本品ノ乳和液中ニ浸セル外科器ハ其液ノ不透明ナルカ爲メニ目視

「クレオリン」

スルヲ得ス且其手裏ヨリ滑脱シ易キヲ本品ノ不利ナル點トス  
中毒症ノ例 初産ノ一婦人年齢二十七歳横産ナルヲ以テ截胎摘出術ヲ行ヒ次テ二%ノ液約  
四「リール」ヲ以テ子宮及腔ヲ洗滌シ翌日及第三日モ一%ノ液一「リール」ニテ子宮ヲ洗  
滌セシニ大ナル障害ナカリキ第四日モ前回ノ如ク午後六時半洗滌ヲ行ヒシニ同九時ニ及ヒ  
面色俄然蒼白色トナリ四肢厥冷、嘔吐甚タシ體温三十七度二分嘔吐止マズ大ニ發汗シ其午  
後十一時虚脱ニ陥リ昏睡ヲ呈シテ斃ル

**用量** 外用 創傷ノ洗滌、綿球ノ浸漬、「腔及子宮ノ洗滌ニハ半乃至二%ノ水溶液、「淋疾

ノ注入料、「膀胱洗滌ニハ〇、一—〇、五%ノ水溶液トナス」創面及潰瘍ノ撒布ニハ二、〇硼酸  
一〇〇、〇「含嗽料ニハ〇、五水一〇〇、〇」吸入ニハ〇、一—〇、五水五〇〇、〇「吹入ニハ〇、  
一—〇、五白糖又ハ硼酸一〇、〇ノ者」實布淫里ノ塗布ニハ〇、一—〇、五水一〇、〇「點眼料  
ニハ〇、〇五—〇、一水一〇、〇」軟膏ニハ〇、一—〇、五「ラノリン」脂肪一〇、〇ノ者」丹毒ニ  
ハ稀釋セサル本品ノ塗布、疥癬ニハ五、〇—一〇、〇亞麻仁油一〇〇、〇「或ハ〇、五百露拔  
爾撒謨一〇、〇」腔内綿球ニハ〇、一—〇、二柯々阿酪三、〇—五、〇トス」其他「クレオリン」  
綳帶料及「クレオリン」石鹼トナシ應用セラル  
内用ニハ 〇、一—〇、二ヲ一日數回丸劑或ハ膠囊トナス

處方

- (イ)「クレオリン」〇、一—〇、五 硼酸一〇、〇 薄荷油二十滴
- (ロ)「クレオリン」〇、一 重曹〇、一五

右吹入料

オリン一、五 阿列布油五〇、〇

右患部ニ一筒ヲ注入ス(肋膜肺炎)

(ト)「クレオリン」六、〇 黃蠟 柯々阿酪適宜

右爲六十九、一日ニ五乃至十九宛

(チ)「クレオリン」二、〇 護謨末稀酒精 各二、〇 甘草越幾斯 甘草末各二、五

右爲二百丸桂皮末ヲ衣トス(肺炎)

〇「クレオリン」〇、二五—〇、五 薄荷油 十乃至二十滴 屈利設林 餽水 各一〇、〇

右爲塗布料

防腐藥

「クレソール」ノ三種即チ「アルトクレソール」「メタクレソール」及「バラ、クレソール」ハ石炭釜兒中ニ於テ石炭酸ト共ニ存在スル者ニノ坊間誤テ「百%石炭酸」ト稱スル製劑ノ主成分ヲナス者タリ此製劑ハ石炭酸ニ非ラスノ主トメ「クレソール」ヲ含ムカ故ニ「粗製クレソール」ト稱スルヲ正當トス

クレソール

肝油〇、二

右膠囊一個トス五十個ヲ製シ一日五乃至十個ヲ服セシム

(ハ)「クレオリン」〇、一—〇、五 薄荷油 十滴 水五〇〇、〇

右吸入料

(ニ)「クレオリン」〇、一 水一五〇、〇

右尿道注入料(淋疾)

(ホ)薄荷腦〇、〇三 樟腦〇、一 「クレオリン」〇、〇三

右爲膠囊每食後二箇(肺癆)

(ヘ)薄荷腦二、五 樟腦一〇、〇 「クレソール」

〇「クレソール」 Cresolin. 「クレシール」酸又「クレシロール」

チエ、フレンケル、ヒユッペ、グルベル氏等ハ「クレソール」ハ石炭酸ヨリモ三倍強力ナル消毒作用ヲ具ヘ且毒性僅少ナルヲ證明セリ然レモ消毒薬及防腐薬トシテ純粹ノ「クレソール」ヲ實地上ニ應用セントスルハ其純粹ノ製品ヲ得難キノ憂アリキ故ニ水ニ不溶解ナル粗製「クレソール」ハ配伍物(強硫酸、那篤倫油汁、石鹼)ヲ加ヘテ水ニ溶解性トナシ以テ醫學上ノ目的ニ供セント企ルニ至レリ然リ而シテ多數ノ製劑ヲ得タレモ其構成悉ク同一ナラス隨テ其效力モ各「クレソール」ノ含量ニ係ル者トス此製劑中一二ハ「クレソール」及「リゾール」ノ如ク廣ク使用セラル、ニ至レリ

然ルニ現今ハ已ニ「クレソール」ヲ純粹ニ製造シ得ルニ至レリ且此純品ハ從來ノ品ト異ナリ水ニ溶解シ難カラズ種々ノ「クレソール」ノ溶解力ハ容積ノ%數ニ應ス即チ「タルト、クレソール」ニ、五「メタ、クレソール」〇、五三「バラ、クレソール」一、八ナリ此三種ノ「クレソール」ノ混合物(「トリ、クレソール」ハ約二、五%溶解ス殊ニ「タルト、クレソール」及「トリクレソール」ハ極テ善ク水ニ溶解スルヲ以テ外科的防腐薬トナスニ宜シ其溶解力ハ石鹼ヲ加フレバ尙著シク増進スルヲ得ヘシ此混合物ハ粗製「クレソール」ヨリ製セル劑中ニ於テ其有效ナル「クレソール」ノ含量明瞭ニシ且之ヲ變更シ得ルヲ以テ優レリ

以上ノ所説ニ由リテ創傷療法ニハ純粹ノ「クレソール」製劑ヲ用ヒ粗製「クレソール」劑ノ使用ハ「便器等ノ消毒ニ限レリ」  
「クレソール」製劑

(イ)流動精製「クレソール」 *Kresolum purum liquefactum.*

本品ハ無色ノ石炭酸臭アル液ニシテ酒精、依的兒ニ溶ケ易シ創傷療法ニハ一%ノ水溶液ヲ洗滌料トス

(ロ)「トリ、クレソール」 *Trihesol.*

本品ハ「タルト、クレソール」メタクレソール及「バラ、クレソール」ノ混合物ニシテ無色澄明石炭酸臭アル液ナリ百八十五乃至二百〇五度ニ沸騰シ比重一、〇四二—一、〇四九ニシテ水ニハ二、二—二、五%溶解ス用量ハ前者ノ如シ

〇「トリクレソール」五〇、〇 加里石鹼三五、〇 水一五、〇

右二十立方仙迷ヲ一「リゾール」ノ水ニ加ヘ外科及産科ニ於テ「リゾール」ニ代用ス

(ハ)粗製「クレソール」 *Cresolum crutum*

本品ハ三種ノ「クレソール」及他ノ高級ノ石炭酸一致體、少許ノ石炭酸、炭化水素、「ナフタリ、ピリジン」ノ混合物ヨリ成レリ黄色乃至黃褐色澄明臭アル中性ノ液ニシテ水ニ溶解セシメ酒精及依的兒ニ容易ニ溶解シ水ヨリ重シニ二百立方仙迷ノ測量圓筒ニ粗製「クレソール」十立方仙迷、那篤倫油汁五十立方仙迷及水五十立方仙迷ヲ容レ栓塞シテ振盪スルキハ久時靜定スルモ唯少許ノ雲絮ヲ析出スルニ止ルヘシ今ヤ更ニ之ニ鹽酸三十立方仙迷及格魯兒那篤留膜十瓦ヲ加ヘ豫メ振盪シタル後靜定スルキハ上方ニ集スル所ノ油狀ノ「クレソール」層八、五—九立方仙迷ヲ算ス可シ析出シタル「クレソール」〇、五立方仙迷ニ水三百立方仙迷ヲ



加へ振盪シ格魯兒鐵液〇、五立方仙迷ヲ加フルキハ紫色ヲ呈ス

本品ハ溶解力少許ナルカ爲メ直チニ使用スルニ妙ナラス故ニ「クレソール」石鹼液或ハ「クレソール」水等トナシ用ユベシ

(ニ)「クレソール」石鹼 *Liquor cresoli saponatus.*

本品ハ等分ノ粗製「クレソール」ト加里石鹼トヲ澄明ノ液トナルマテ混合加温スルニ在リ五十%ノ粗製「クレソール」ヲ含有ス褐色油狀ノ液ニノ水、酒精、嘔囉仿謨、屈利設林ニ溶解ス「リゾール」ニ似タル製劑ナリ

**用量** 圓筒、唾壺、便器、糞便等ノ消毒ニハ五%ノ水溶液ヲ用ヒ器械ノ消毒ニハ一—三%創傷療法ニハ一%ノ水溶液一食匙ヲ一「リーテル」ノ水ニ加用ス

多クハ五十%ノ「クレソール」ヲ含メル類似ノ製劑ハ「リゾール」五十%ノ溶解性「クレソール」ラツシツヒ「クレサポール」「クレソールサボナート」「フェノリン」等ナリ

(ホ)「クレソール」水 *Aqua cresolica*

本品ハ「クレソール」石鹼液一分ト水九分ノ混合物ニシテ治療上ニ用ユルニハ通常蒸餾水ヲ用ユベシ常水ヲ以テスルキハ其石灰ヲ含有スルカ爲メ油滴ヲ析出スル能ハサル混濁液ヲ得レバナリ蒸餾水ヲ以テ製セル溶液ハ鮮黄色澄明ニシテ五%ノ粗製「クレソール」ヲ含有ス

**用量** 糞便、圓筒等ノ消毒ニハ稀釋セサル者ヲ用ヒ創傷療法ニハ稀薄セサルモノ或ハ二乃至四分ノ水ヲ加ヘタルモノヲ用ユ

〇格魯兒「サロール」(有力ノ防腐作用アリ)

〇「クレヲフォルム」 *Kresofarm.*

本品ハ結麗阿曹篤ト「フォルムアルデヒッド」ノ集成産物ニシテ新製ノ品ハ帶綠黄色無臭無味ノ粉末ナリ空氣ニ觸ル、キハ黄色トナル水及依の兒ニ溶ケス酒精ニ溶ケ難ク酒精及嘔囉仿謨ノ混合液并ニ亞兒加里液ニ容易ニ溶解ス然ルキハ紅褐色トナル稀薄ノ加里及那篤倫滴汁ニ遇ヘバ數日ニシテ結麗阿曹篤析出セラル本品ハ毒性及腐蝕性ナシ本品ハ結麗阿曹篤ノ適症及腸防腐藥トシ用ユ

〇「クレヲソリッド」(白色無臭味ノ粉末、結麗阿曹篤ノ代用品、一日四回〇、五)

〇「クレヲソ、マグネソール」(結麗阿曹篤劑ナリ)

〇「クレヲソタール、イヒチヤール」 *Kresotal-Jchthyol.*

本品ハ炭酸結麗阿曹篤、「イヒチヤール」各一五、〇屈利設林三〇、〇薄荷水一〇、〇ヨリ成ル者ニシテゴルドマン氏ハ之ヲ肺結核ニ用ヒタリ大人ニハ一日三回食後ニ二十乃至三十滴ヲ葡萄酒又ハ枸櫞水ニ加用ス小兒ニハ一日三回十滴ヲ投シ數週後二十滴ニ増量ス

〇「クレチサール」 *Cresal.* 「マノサール」單寧酸結麗阿曹篤

本品ハ暗褐色引濕性粉末ニシテ水、酒精、屈利設林ニ溶解ス氣道粘膜ノ炎症ニ一日量一、〇—九、〇ヲ散劑又ハ溶液トシ用ユ

〇「クレサロール」 *Kresalol* (撒里矢爾酸「クレシール」エーテル)

クレソール石鹼、クレソール水、クレヲフォルム、クレヲソタール、イヒチヤール、結麗阿曹篤、炭酸

(イ)「ラルトクレサロール」(溶融點低キカ爲メニ集團シ易キヲ以テ治療上ニ適セス)

(ロ)「メタレンザロール」即チ撒里失爾酸、メタクレソール

本品ハ無色無臭ノ結晶ニシテ水ニ溶ケス酒精、依的兒ニ溶ケ易シ無味ナリ七十三度乃至七十四度ニ溶融ス腸管ニ至リ初メテ分解シテ「サロール」トナル故ニ「サロール」ノ如ク腸防腐藥及急性關節痲痺質斯ニ〇、二五—〇、五ヲ散劑トシ一日量二、〇—四、〇ヲ用ユ外用ニハ創傷療法ニ用ユルヲ沃度仿謨ノ如シ

(ハ)「バラクレサロール」即チ撒里失爾酸、バラクレソール

本品ハ無色無臭無味ノ結晶ニシテ水ニ溶ケス酒精、依的兒ニ溶解ス三十九度乃至四十度ニ溶融ス本品ハ腸中ニ至リ撒里失爾酸及「ペ、クレソール」ニ分解ス本品ハ尙將來ノ研究ヲ要ス

〇「グアヤコール」沃度仿謨(結核性關節病ノ注射料)

「クラリン」ハ「クラレ」ノ有效ナル成分ニシテ帶黃褐色無形ノ物質ヲナシ強苦味アリ水、酒精、嘔囉仿謨ニ甚ダ容易ニ溶解ス「クラリン」ハ劇毒物ニシテ麻酔ノ效アリ皮下注射ヲ良トス

〇「グロボン」Globon.

本品ハ帶黃白色無臭無味ノ粉末ニシテ約百%ノ蛋白ヲ含有ス水及八十%ノ酒精ニ溶解ス冷水

ニハ長ク靜置スルキハ溶解ス本品ハ酒精ニ溶解スル性アルヲ以テ之ヲ服用セシムルニ「コシニヤク」酒及中性ノ葡萄酒ニ伍用ス本品ハ營養劑トシテ貧血、肺癆、瘵咳、氣管枝炎、尙癩病、消削病、胃腸加答兒、麻疹ノ恢復期ニ與フ

用量ハ大人ニ一日三四茶匙、三歳以下ノ小兒ニ一日量二、五—三、〇即チ一茶匙、三歳以上ノ小兒ニハ二茶匙ヲ赤酒、亞兒加里水、乳汁等ニ加用ス

〇「グリコゲナール」Cheagenal.

「グリコゲン」ハ水ニ溶解スル白色ノ粉末ニシテフオン、ライデン氏ハ心臟力ヲ増強スルニ賞用シ近時諸家ハ肺癆及心臟衰弱ニ於テ強壯劑トシテ内用或ハ皮下注射ニ供セリ

此目的ニ向テ「ドクトル」レヨリッヒ氏ハ「グリコゲン」ヲ「グリコゲナール」トナシ賞用セリ「グリコゲナール」ハ白色ノ粉末ニシテ臭味ナク水ニ溶解スル酒精及ビ依的兒ニハ溶解セズ水溶液ハ螢石彩ヲ現シ醋酸ヲ加フレバ澄明トナルメルク氏ニ由レバ「グリコゲナール」ハ動物體中ニ存シ頗ル「グリコゲン」ニ類スル物質ニシテ本品ハ「グリコゲン」ニ同シク大量ニハ唯動物體ノ健全ナルキニノミ存在シ疾病殊ニ惡液ニ於テハ少許ノ痕跡ニ至ルマテ消失スレヨリッヒ氏ニ從ヘハ結核ニ於テハ「グリコゲナール」ハ殊ニ速ニ崩壊セラル故ニ身體ニハ此生活上緊要ノ物質ヲ外方ヨリ輸入スルヲ以テ重要ナリトス就中肺癆ニ於テ食慾全ク缺損スルカ或ハ食慾善良ナルニ拘ラス體重減少ヲ認ムルキハ本品ノ服用ヲ指示スル者トス即チ本品ハ速ニ往々應用ノ初日已ニ甚タ盛ニ食慾ヲ奮起セシムル著效ヲ具フ從テ速ニ強壯ノ

感覺ヲ起サシム同氏ニ從ヘハ現今ニ至ル迄此見解ニ於テ「グリコゲナール」ニ代用シ得ベキ藥劑ハ一モ之アルヲ見ス唯胃炎ヲ患フル者ニハ他劑ヲ用ユルノミ又肺癆ニ骨瘍ヲ兼スル者ニモ亦然リ

窒扶斯、産褥熱、手術ヲ加フ可ラザル癰腫、蜜尿病性昏睡等ニ於テモ亦「グリコゲナール」ニ由リテ著シク心臟力ヲ強壯ナラシムルヲ得ベシ而シテ内服ハ皮下注射ニ比スレバ效力微弱ナリ此場合ニハ本品ニ炭酸安母紐誤ヲ配伍シ服セシメ之ニ由テ「グリコゲナール」ノ速ニ「マルトーゼ」ニ變化スルヲ妨止シ且「グリコゲナール」其者トシテ保存セシム可シ又本品ヲ滋養灌腸トナシ用ユルキハ同一ノ目的ヲ達スレヨリヒ氏ハ用法ニ關シテ左方ヲ示シ詳述セリ即チ輕症及中等症ニハ多クハ少量ヲ以テ足レモ或場合ニハ甚頑固ニシテ之ヲ佳良ニ向ハシムルニハ唯大量或ハ甚シキハ最大量（一回三、〇—五、〇）ヲ投ジテ奏シ得ルヲアリ然レモ此ノ如キ場合ノ處置ハ常ニ少量ヲ以テ始メ而シテ其無效ナリシキ初メテ大量ヲ用ユルヲ以テ宜シトス經過甚シク潛遷ナルキハ八日乃至十四日皮下注射ヲ行フカ或ハ同時ニ内服セシムベシ大量ノ注射ハ上腿或ハ胸側ニ行フヲ最良トシ少量ノ注射ハ上膊ニ行フベシ大量ノ注射ニハ通常血清注射器ヲ用ユベシ  
内用量ハ一日〇、六（處方ニアリ）ヨリ一、〇（處方ニアリ）ヲ投ス  
大人ノ皮下注射量ハレヨリヒ氏ニ從ヘハ一日一回〇、〇四トス重症ニハ一回三、〇—五、〇ニ増量スルヲアリ

○「グリコゲナール」〇、二 殺菌餽水一

〇、〇

右毎日一回二筒皮下注射但太トキ針管ヲ用ユベシ

○「グリコゲナール」三、〇 殺菌餽水六

〇、〇

右一回ニ注射ス（重症敗血熱及消耗性肺癆）

○「グリコゲナール」 纈草酸結麗阿曹篤 各〇、三

右一膠囊ニ容ル而シテ二十個ヲ投ス朝夕一個宛

患者若シ其味ヲ厭ヒテ内服ヲ忌ムカ或ハ皮下注射ヲ拒ムキハ其代用劑トシテ一日中ニ八分一乃至四分一磅ノ固形葡萄糖ヲ食セシム此法ハ其味佳良ナルノ外大ニ廉價ナルノ利アリ

○屈利設林 *Glycerinum.*

應用 近時下劑トシテモ「グリー」氏ハ六歳ヨリ七十歳ニ至ル百五十名ノ患者ニ純屈利設林ヲ取リ二立方仙迷ノ注入器ニ入レ護膜管五仙迷ヲ通シ直腸ニ注入スルニ其效著シク其法簡

ニ少シモ疼痛ナク通利ヲ得タリ  
エフ、ライジנגル アナツケル サイフェルト氏等ハ同灌腸ヲ賞用シ厭フ可キ不快ノ副作

下劑トシテ用シテアリ

○「グリコゲナール」二、〇 炭酸安母尼

亞〇、五 常水五〇、〇

右灌腸料

○「グリコゲナール」五、〇 炭酸安母尼

亞三、〇 「サツカリ」〇、一 柯々阿

酪八、〇

右製劑法ニ從ヒ錠劑十個トス毎日二錠

屈利設林灌腸ノ適應症

用ナク常ニ迅速確實ニ效ヲ奏ス其作用ハ屈利設林カ水分ヲ吸收スルノミナラス反射的ニ腸蠕動ヲ亢盛スルニ由ルト云フヨツトボアス氏ハ坐藥中一、〇屈利設林ヲ加ヘ良效アルヲ報告セリ

「ドクトル」アナツケル氏ハ屈利設林ヲ灌腸ノ效アルハ唯糞塊ノ直腸ニ存セル時ニ在リ此時ニ灌腸スレバ全ク生理的ノ排便ニ均シクS字狀彎曲ノ上部及大腸内ノ便ヲ漸徐ニ泄シ去ル者トス是ヲ以テ屈利設林ハ自ら排泄劑タルヲ知ル可シ故ニ腸血行ノ器械的妨害、熱性病ノ便秘アル者、腦脊髓病ノ便秘ニ效アリ又主トシテ坐業家ノ常習便秘、不適當ノ食物等ニ由ル便秘ニモ效アルヲ見ル嵌頓脫腸ニハ極テ初期ニ強度ノ屈利設林灌腸ヲ行フヲ可トス之ニ於テハ余ハ少量ノ純屈利設林ヲ注入スルハ屈利設林坐藥ヲ用ユルヨリモ速ニ善ク奏效スルヲ見タリ此坐藥ニ配伍スル脂肪質ハ屈利設林ノ神經及腸粘膜ニ感應スルヲ稍妨害スル者タリ毎日同時刻ニ此灌腸ヲ行ヒ便通ヲ來スヲ得ルニ至ラバ爾後其作用持續シ一定ノ時日ヲ經ルニ從ヒ其習慣セル時刻ニ便通ヲ催シ來リ復タ屈利設林ヲ要スルヲ稀ナルニ至ル

屈利設林ハ陣痛催進ノ效アリ

直腸ニ灌注セル屈利設林ノ他ノ效用ハ分娩時ニ其陣痛ヲ催進スルニ在リ余ハ屈利設林ヲ灌腸セル後ハ其分娩頗ル速ニ終局スル者ナルヲ覺フルナリ況ヤ將ニ分娩セントスルヤ直腸内ノ便ヲ排除ス可キ者ナルハ人ノ皆知ル所ナルニ於テオヤ夫レ產科醫及產婆ニシテ若シ屈利設林ヲ用ユラバ其陣痛ヲ催進スルノ點ニ於テ復タ遺憾ナキヲ得可シ希クハ產科病院ニ於テハ此點ニ省ミテ實驗セル所ヲ報告アランコトヲ

終ニ屈利設林ハ排便劑トシテ國家ノ經濟上頗ル裨益アル者ナルヲ述ベンニ世人ガ每歲下泄劑ノ爲メニ費ス所其幾何ナルヲ測ル可ラス而シテ其下劑ノ腸管ニ及ホス作用ハ常ニ利益ノミナラザルナリ之ニ反シテ屈利設林ノ價ハ甚低廉ニシテ極テ少量五乃至十滴ノ屈利設林ヲ以テ多クハ奏效ス又使用スルモ患者ヲ來ス者ニ非ラス其用法ニ就テ本品ノ坐藥ハ純屈利設林ヲ灌注スルニ比スレハ頗ル劣レリ然レモ茲ニ注意ス可キハ此小灌腸器ノ管筒ノ構造ノ爲メニ其粘膜ニ損傷ヲ被ラシム可ラザルコト是ナリ

〇著者ノ一人(青木純造)ハ二歳ヨリ七十二歳ニ至ル八十六名ノ患者ニ於テ百二十一回實驗シ十二回ヲ除クノ他ハ便秘ノ急慢性長幼男女ヲ論セス如何ナル場合ニモ適當セル輕便無比ノ法ニシテ特別ニ製スル器ニ代ユルニ尤モ得易ク廉價ナル硝子製尿道注射器ヲ取リ小兒ニハ一、五乃至二、〇大人ニハ四、〇乃至五、〇ヲ入レ(屈利設林ハ粘附ナリテ注射器ノ尖口ヨリ吸入スルコト克ハス必ス活栓ヲ按キ是ヨリ注加スヘシ)直腸中ニ注射スルニ初メハ溫暖或ハ刺痒ヲ覺エ早キハ五分時晚キハ三十分ニテ腹部ノ自覺症ナク軟便ヲ出ス但シ大腸上部或ハ小腸ノ便ヲ出ストクハ此ノ場合ニハカ、ウルマン氏ノ說ニ從ヒ他ノ灌注法或ハ内服下劑ヲ用ユベシ又同氏ノ說ニ由レバ直腸中ニ潰瘍アル者及周圍ニアルトキハ禁忌スベシ

レヲホルト氏ハ腎石患者ニ本品五〇、〇一五〇、〇ヲ投シ(一日一回咖啡或ハ水ニ加用ス)タルニ腎石痛發作短縮セラレ又發作後往々殘留セル腎痛減輕或ハ消散シ新發作ノ再發ヲ防キ良效ヲ得タリ

屈利設林

○屈利設林坐藥 木製模型ニ柯々阿酪ト屈利設林ヲ充實調製スル者ニシテ七十五乃至九十%ノ屈利設林ヲ含有ス其下泄效用ハ唯一、五—二、〇ノ屈利設林ノ含量ヲ以テ發セシムルニ足レリ

○屈利設林百弗聖 *Glycerin-Pepsin.*

本品ハ乳汁ヲ消化シ易カラシムルヲ以テ病者ノ乳汁ニ堪ヘザル者ニ與ヘテ牛乳ノ「カセイ」ヲ消化スル效アリ小兒ニハ食後、十五乃至二十分間ニ十乃至二十滴ヲ與ヘ大人ニハ乳汁ニ二、〇—四、〇ノ屈利設林百弗聖液ヲ加フ

○屈利設林石鹼 *Glycerin saponatum.*

此石鹼ト撒里失爾酸「レゾルチン」結麗阿曹篤、爹兒、亞鉛花、硫黃、沃度仿謨、「イヒチオー」ル「石炭酸」等ヲ混シ皮膚病治療上屢應用ス

○亞硫酸屈利設林(實布徑里ニ塗布ス)

○屈利設林杜松子油(皮膚病ニ用ユ)

○屈利設林膠囊(壞疽創ニ用ユ)

○屈利設林磷酸 *Achim glycerinophosphoricum.*

本品ハ油様液ニシテ水及酒精ニ溶解ス滋養強壯劑ニシテ殊ニ神經系病ニ應用セリ本品ニハ左ノ諸劑アリ

○屈利設林磷酸石灰 一日三回〇、二—〇、四ヲ膠囊ニ入レ又ハ溶劑トス

○屈利設林磷酸規尼涅 ○屈利設林磷酸鐵 ○屈利設林磷酸曹達 一日〇、二—〇、二

五皮下注射

○「グリコニウム」(皮膚病、火傷等ニ用ユ)

○「グロコチール」 *Glycerol* 撒里失爾酸 屈利設林

撒里失爾酸

本品ハ白色結晶性粉末ニシテ熱湯ニ容易ニ溶解シ冷水ニハ僅ニ一%溶解スルノミ屈利設林トハ容易ニ相混和シ又酒精ニ溶解スルモ依的兒、嘔囉仿謨ニハ少量ニ溶解ス又苛性亞兒加里ニ由リテ容易ニ石鹼ヲ生ス此性質ニ由リテ腸液或ハ體內ノ亞兒加里性液ニ由リテ撒里失爾酸ヲ分離シ以テ治效ヲ奏ス

本品ハ撒里失爾酸疾患ニ頗ル效アリ殊ニ外用ヲ可トス「ドクトル」ハ、ラツク氏ハ十%及二十%ノ軟膏トナシ外部ニ塗布スルキハ多量ノ撒里失爾酸吸收セラル、ヲ見タリ同氏ハ十五%ノ巴拉賓軟膏(依的兒ヲ含ムモノ)ヲ製シ患者上腿ノ皮膚ニ塗布シタルニ尿中ニ著明ノ撒里失爾酸反應(尿ニ過格魯兒鐵液ヲ加フレバ紫色ニ變ス)ヲ呈シタリ

同氏ハ之ヲ内用スルキハ胃液ノ爲メ變化セスシテ通過シ腸液ノ亞兒加里ニ由リテ分解セラレ撒酸又ハ撒曹ノ如ク胃ヲ刺戟セスト又本品ハ惡心、嘔吐、食思不振、耳鳴等ノ如キ副作用ナシ

内用ニハ一回量二、〇宛通常「ヨブライト」ヲ以テ一日五回投ス  
○「クロアートル」(皮膚病ニ用ユ)

○「グラチオリン」(峻下劑)

○「グリンデリア、ロブスタ」*Grimmia. robusta.*

北米ノ太平洋沿岸ニ産スル草ニシテ粘膜炎、喘息、慢性氣管枝加答兒、瘧疾、膀胱加答兒并ニ解熱劑ニ供用シ心臟機能ヲ調節シ心動數ヲ減少ス又毒蛇咬傷及傷創ニ外用ス一日數回一、五—三、〇ヲ與フ

○「グアコー」(虎列刺、間歇熱、毒蛇咬傷等ニ用ユ)

○「グアツマ、ウルミフアリア」(收斂劑)

○「グルトール」*Chinol* (「フォルム」又「グルトフォルム」)

本品ハ白色無形ノ粉末ニシテ水ニ溶ケス良好ノ創傷治療劑ニシテ壞疽症ニ此粉末ヲ散布シタル後、「ペプシン」〇、五鹽酸〇、三水一〇〇、〇ヲ以テ濕スベシ是レ「フォルマイン」ノ分解ヲ營マシムルカ爲メナリ

防腐藥

創傷治療劑

「グルトール」ニ就テ「ドクトル」アウグスチン、ヘンリー氏カ數多ノ病例ニ實驗上甚良效アル品トナシ左ノ結論ヲ下セリ(一)「グルトール」ハ生活組織ニ不斷「フォルムアルデヒッド」ノ發生スルニ由リテ奏效シ其防腐性質ヲ具フ(二)本品ハ無臭ニシテ腐蝕性及毒性ナシ之ヲ用ユルモ「フォルムアルデヒッド」溶液ノ使用ニ由リテ發スルカ如キ炎症及他ノ症狀ヲ發起セス(三)外科的創傷、化膿、火傷ニ於テハ本品ハ他ノ粉末狀防腐藥即チ次硝酸蒼鉛「ザロール」、沃度仿謨ニ優レリ(四)本品ハ他ノ防腐藥ノ刺激性及毒性アルヲ忌避スル場合ニ應用スルニ

適ス(五)本品ノ作用ハ壞疽組織ニ在テハ鹽酸百弗聖溶液ヲ加フルニ由リテ確實ナラシムルヲ得ベシ

○「グアエトール」*Guethol* (「エタコール」「アヤコール」「タナトール」  
「グアエトール」「エチール」「ホモクレソール」)

本品ハ爽快ノ香氣アル油樣液ニシテ冷所ニ於テハ無色ノ結晶ニ凝結セラル酒精及依的兒ニ溶解ス效用ハ「グアエトール」ノ如キモノリシテ由レバ之レヨリモ良ナリト云フ一回量〇、一—〇、二五ヲ膠囊ニ容レ或ハ酒精溶液或ハ葡萄酒ニ加用ス外用ニハ等分ニ嚼嚙仿謨ヲ混和シテ其二乃至三立方仙迷ヲ神經痛、神經炎ニ一日二三回塗布ス本品ノ蒸散ヲ防クニハ繻帶ヲ以テ被フベシ

○「グアエトール」四、〇 酒精三〇、〇 ○「グアエトール」一、〇 殺菌屈利設林

水四〇、〇 「コデイン」舍利別三〇、〇 九、〇

右用時ニ臨ミ振盪ス皮下注射料(神經痛)

○「グアエトール」二、〇 殺菌シタル屈利設林二〇、〇

右用時振盪シ毎日此五分ヲ膀胱ニ注入ス(結核性膀胱炎)

尙本品ノ外ニ左ノ諸品アリ

○安息酸「グアエトール」(無色ノ結晶)

○牛酪酸「グアエトール」(無色ノ液體)

祛痰劑

- 磷酸「グアエトール」(無色ノ結晶)
- 撒里失爾酸「グアエトール」(無色ノ結晶)
- 纈草酸「グアエトール」(無色ノ液體)
- 「クイルラヤ」皮 *Cortex quillaja*.

「クイルラヤ」皮ノ有效成分ハ「クイルラヤ」酸及ヒ「サブトクシン」ナル二個ノ「グリコシド」ナリ本品ハ祛痰劑トナシ用ユレハ攝瓦涅ヨリ其效著明ナリ用量ハ五、〇ヲ水二〇〇、〇ニ煎出シ一日數回一食匙ヲ與フルニアリ

肺結核藥

○「グアヤチエチン」 *Guajacitin*.

**性狀作用** 「グアヤチエチン」ハ白色無臭ノ粉末ニシテ水ニ溶ケ易ク苦味アレモ不快ナラズ眞ニ無毒性ニシテ腐蝕セズ患者能ク之ニ堪ユ彼ノ結麗阿曹篤及「グアヤコール」ハ營ニ患者ニ不快ノ脈フベキ臭味ヲ覺エシムノミナラス胃粘膜ヲ腐蝕スルノ害アリ持長スルキハ胃液ノ分泌ヲ妨害シ且食思缺損及消化不良ヲ發セシム是ヲ以テ炭酸結麗阿曹篤及炭酸「グアヤコール」ニ由リテ此等ノ缺點ヲ除カント計レリ然リ而シテ此兩炭酸製劑ハ不快ノ臭味ナク分解セズ胃ヲ通過スルカ故ニ胃ヲ腐蝕セサレモ小腸ニ至リテ亞兒加里性膠液ニ遇ヒテ再ヒ炭酸ヨリ分解セラレテ亦胃ニ於ケルト同シク腸ニ損害ヲ及ボス者ナリ是ニ於テカ「ドクトル」ウイルヘルム、マエルト氏ハ前記兩炭酸製劑ノ良性質アリテ而カモ單純ノ結麗阿曹篤及「グアヤコール」ノ不快ナル缺點ヲ具ヘサル藥劑ヲ製出セリ即チ茲ニ論スル所ノ「グアヤチエチン」是ナリ

**應用**

「グアヤチエチン」ノ肺癆患者ニ殊效アルハ獨逸ニ於ケル諸大家及病院ノ實驗ニ由リテ明ナル所ニシテ本品ハ解熱ノ作用アリ一、〇ヲ投スレバ二三時ノ後體溫二度下降シ患者ヲ苦惱セシムル盜汗速ニ去リ食思著ク亢進シ暫時ニシテ全身調和佳良トナリ咳嗽喀痰急ニ輕快シ苦悶及呼吸困難頗ル緩解シ殊ニ體重甚ク増加ス(一二週間ニシテ五機瓦以上増加ス)アルノルド、ゴルドマン氏ハ本品ト「ライカジン」トヲ左ノ廿六名ニ兼用セリ(重症肺癆六名、輕症二名、慢性肺加答兒ノ著シキ浸潤アル者八名、氣管枝喘息二名、乾性肋膜炎一名、重症肺炎兼氣管枝炎一名)實ニ此兼用ハ輕症ハ勿論重症ニモ假令全治ト稱ス可ラサルモ著シキ輕快ヲ奏セリ

**用量**

一日三乃至八回〇、五ヲ錠劑又ハ散劑トナシ與フベシ極量一日六、〇―八、〇ナリ  
○「グアヤチエチン」〇、五  
右三十包ヲ投シ一日三回食後十五分ニ服用

結核藥及解熱劑

○「グアヤコール」 *Guajacolum*.  $C_{10}H_8O_2CH_2OH$ .

**性狀**

「グアヤコール」ハ其純粹ノ結晶ニ於テハ無色結晶性ノ粉末ニシテ三十三度ニ溶解シ二百零五度ニ沸騰シ比重ハ一、五三四ナリ本品ハ酒精、依的兒、水ニ溶解ス本品ノ一%酒精溶液ニ立方仙迷ニ〇、二%ノ格魯兒鐵水溶液ニ滴ヲ加フルキハ忽チ藍色、速ニ綠色ヨリ黃色ニ變スルヲ見ル所謂純粹ノ流動形「グアヤコール」ハ無色ノ液ニシテ甚ク光線ヲ屈折シ不快

クイルラヤ皮 グアヤチエチン グアヤコール

ナラザル臭氣アリ二百乃至二百零二度ニ沸騰ス比重一、一一七ナリ水ニ溶ケ難ク酒精及依  
的兒ニ容易ニ溶解ス酒精溶液ハ格魯兒鐵ニ對スレバ結晶性「グアヤコール」ノ如シ水溶液ニ  
格魯兒鐵ヲ加フレバ同ジク藍色トナルモ後チ微黃色トナル「光ヲ遮リ注意シテ貯フベシ」

**作用及應用**

本品ハザリー氏ガ結麗阿曹篤ニ代用シテ結核ノ療法ニ内用セリト雖モ  
許多ノ實驗家ノ判定ニ由レバ本品ハ其效著シカラサルカ如シ本品ハ原品ノ儘或ハ脂油或ハ  
酒精ニ溶シテ外布スルニ皮膚ヨリ容易ニ吸收セラル此方法ニ由テ胃ヲ煩ハスヲナクノ大量  
ノ本品ヲ身體内ニ輸送スルヲ得ルナリ屈利設林ニ溶セル本品ハ甚少量ニ吸收セラル、ノミ  
本品ヲ熱病患者ノ皮膚ニ塗布シ當該皮膚部分ヲ氣密ニ閉鎖セル繃帶ヲ以テ被包スルキハ甚  
シキ發汗ニ由テ體溫ハ三四時間内ニ下降シ六乃至八時ニ至テ速ニ再ヒ昇騰ススチ  
オルラ氏ハ此「グアヤコール」塗布法ヲ確實無害ノ解熱法トナセリ然レモ此法ハ必シモ危險  
ナシト謂フ可ラス此作用ハ非常ニ有力ニ體溫下降二三度ニ及ヒ大量ノ用後ハ實ニ五度下  
降ス又此法ヲ屢反覆スルキハ大發汗、體溫再昇時ノ惡寒、大衰弱ノ感覺ヲ起シ大ニ患者ヲ惱  
マス者ナリ亦實ニ虛脱ヲ數回見タリキ但シ皮膚ノ塗布ニハ多クハ善ク堪ユル者ナリ或ハ丹  
毒性潮紅及浮腫様腫脹ヲ呈スルコアリ是レレビン氏ニ由レバ製劑ノ不純ナルニ係ルト云  
フ本品ハ腎臟ニ毫モ感作セスバルド氏ニ從ヘハ丹毒ニ用ユレバ病勢ノ強度及持續ヲ減ス初  
期ノ結核ニハ治療作用ヲ營ム者トス然レモ已ニ空洞アル者ニハ此塗布法ヲ行フ可ラス要ス  
ルニ大ニ謹慎ヲ加フヘシ結核ニ於テハ本品ヲ沃度仿護及有加里布丟油ト共ニ脂油ニ溶解シ

テ皮下ニ注射スルヲ賞用ス(下條ニ處方アリ)又本品ト沃度仿護ヲ結核性關節ニ注射スルコ  
アリ

皮膚ノ結核性潰瘍ニ「ドクトル」アリファイザトス氏ハ左方ヲ用ヒタリ

皮膚結核ニ  
於ケル效用

○流動「グアヤコール」 阿列布油 酒精 各一〇、〇

此液ヲ先ツ結痂ヲ除キ創面ノ荒蕪面ニ十%乳酸液ヲ塗布シタル後一日三回塗布シタリ然ル  
ニ皆能ク之ニ堪ヘ五名ノ患者ニ於テハ數週ニシテ潰瘍全治セリ

本品ノ副  
瘰癧ニ於ケ  
ル效用

又皮膚ノ結核性潰瘍ニハ(右ノ塗布ト共ニ或ハ之ヲ行ハス單純ニ)二十%「グアヤコール」  
ゾーゲン「軟膏」ヲ塗擦セリ(四週間毎日二咖啡匙宛十乃至二十分間全身ノ皮膚ニ塗擦ス)  
淋毒性副瘰癧ニ二十%流動「グアヤコール」軟膏ヲ以テ陰囊ニ塗布シ其綿花繃帶、懸吊帶  
ヲ施シ毎二日ニ此軟膏繃帶ヲ交換セリ六日ノ後此軟膏ヲ止メテ水銀軟膏ト交換ス

醫學士田代義徳氏ハタウウタインレンツゴルドベルク氏等ノ實驗ニ基キ「グアヤコール」  
ヲ數名ノ副瘰癧患者ニ應用シ灰白軟膏ニ勝ルアルモ決シテ之ニ讓ラザル卓效アルヲ確認  
セラレタリ用法(一)本品ヲ直ニ一日二回瘰癧ニ筆ニテ塗擦ス(二)本品屈利設林等分ノ者用  
法前ニ同シ(三)五倍乃至十倍ノ「グアヤコール」軟膏ヲ直チニ瘰癧ニ塗布シ又布片面ニ攤布  
シテ瘰癧丸面ニ貼布ス(醫事新聞第五百二十五號)

**用量**

外用 解熱劑トシテ一、〇—二、〇ヲ皮膚ニ塗布ス第一回ノ塗布ニハ皮膚ノ堪ユル  
ヲ度トシ其白色トナルマテ唯一、〇ヲ用ユルヲ可トス二、〇以上ノ大量(四、〇—六、〇—

グアヤコール



○、○ハ全ク用ユ可ラス丹毒ニハ溫度三十九度以上ノ際朝夕二、○ヲ用ユ」流動「グアヤコ  
 ール」ヲ用ユルニハ之ヲ稀釋セズ或ハ阿列布油ニ混シテ用ユベシ結晶性製劑ハ酒精溶液或  
 ハ油溶液トナシ塗布スベシ此塗布ハ上腿或ハ背部ニ於テ廣ク百平方仙迷許ニ及ボシ同部ハ  
 「グッタペルカ」紙ヲ以テ被フ可シ皮下注射ニハ○、○五—○、一（處方ヲ見ヨ）關節内注射ニ  
 ハ○、五—一、○（處方ヲ見ヨ）トス○内用 ○、○五—○、二ヲ一日三回與ヘ漸次一日量一、  
 ○ニ增量ス膠囊、丸劑或ハ酒精、脂油或ハ肝油ニ加ヘ用ユ」小兒ニハ○、○一—○、○五ヲ一  
 日三回與ヘ一日量○、三トス

(イ)「グアヤコール」一、○—二、○ 酒精  
 三、○

右一回ノ塗布料(解熱劑)

(ロ)「グアヤコール」二、○、○ 阿列布油  
 一、○、○

右皮下注射料(ビイグノール氏液)

(ハ)「グアヤコール」有加里布丟斯油  
 各一、○、○ 阿列布油一、○、○、○

右皮下注射料

(ニ)「グアヤコール」五、○ 有加里布丟

斯油一四、○ 沃度仿謨一、○ 甘扁桃  
 油一、○、○

右皮下注射料

(ホ)「グアヤコール」四、○ 沃度仿謨一、  
 ○ 甘扁桃油一、○

右結核性關節ノ注射料(最多キモ一  
 筒トス)

(ヘ)「グアヤコール」三、○ 甘草根末五、  
 七 屈利設林○、三

右爲六十九、一日三回一二九宛(每丸

肺結核藥

「グアヤコール」○、○五ヲ含ム(肺

結核)

(ト)「グアヤコール」六、○ 甘草根末一

一、四 屈利設林○、六、

右爲六十九、一日三回一二九(每丸

「グアヤコール」○、一ヲ含ム(肺結  
 核)

(チ)「グアヤコール」一、○—二、○ 水一

八、○、○ 酒精二、○、○

(イ)炭酸「グアヤコール」 *Guaiaecolium carbonicum.* (ダウタール)

**性状作用** 炭酸「グアヤコール」(純「グアヤコール」九〇、五%ヲ含ム)ハ白色結晶性無  
 臭殆ト無味ノ粉末ニシテ水ニ溶ケス冷酒精ニ僅ニ溶解シ熱酒精、依的兒、嘔囉仿謨、ベンツオ  
 ールニ容易ニ溶解ス屈利設林、脂肪油ニ僅ニ溶解シ八十六乃至九十度ニ熔融ス本品ニ加  
 里滴汁ヲ加フレバ「グアヤコール」ト炭酸トニ分解ス内服セシムレバ分解セズノ胃中ヲ通過  
 シ腸管内ニ至リテ「グアヤコール」ト炭酸トニ分解シ次テ吸收セラル

**應用** ザイフェルト氏ハ本品ヲ肺癆ニ於テ「グアヤコール」ニ代用シ胃ヲ刺戟セザル製劑  
 トシテ賞用セラル又本品ヲ痲瘋質、關節炎、ニ投シ疼痛、腫脹、熱度緩解シ一般症狀輕快

炭酸「グアヤコール」

セリ

「ドクトル」クロック氏ハ他ノ解熱劑ト共ニ腸室扶斯ニ用ヒタリ殊ニ本品ト共ニ輕キ水治法即チ全身ノ冷水洗拭ヲ行ヘリ此法ニ由リテ患者自ラ爽快ヲ感シ病勢輕快シ速ニ合併症ヲ發セスノ經過シ殊ニ其死亡數ヲ減少セリ（同氏ハ百〇九名ノ患者ニ此法ヲ行ヒ四名ノ死亡者アリシ）此療法ハ凡テ初メヨリ少量ノ甘汞及重曹ニ由リテ便通ヲ與ヘテ行ヘリ其後毎三四時ニウヰドブリッジ氏ノ唱ヘタル膠囊劑（本品〇、二「チモール」〇、〇六六薄荷腦〇、〇三三「ライカリブトール」〇、一六五）ヲ用ヒタリ然レモ多クハベテルス氏ハ此膠囊ニ代ヘテ單ニ本品〇、三ヲ容レ毎三四時ニ投與シタリ本病ノ第一週ニハ「フェナセチン」ニ枸橼酸ヲ配伍シテ投シ熱度ヲ下降セシメ再ヒ上昇スルキハ冷水洗拭ヲ行ヘリ

「ドクトル」センプ、エルト氏ハ之ニ似タル法ヲ行ヒ良效ヲ得タリ先ツ一日間毎二時ニ少量ノ甘汞及重曹ヲ與ヘ次テ炭酸「グアヤコール」及解熱劑トシテ「ザロール」ヲ用ヒ熱度高キキハ海綿洗拭ヲ行ヘリ熱度ノ平均持續ハ二十一日ナリキ四十二名中一モ死亡者ナカリシ

チストル氏ハ本品及甘汞ヲ以テ百七十二名ヲ治療シタルニ五名ノ死亡者ヲ見タルノミ（死亡數三%ナリ）プラナム氏ハ本品ト甘汞ヲ以テセル七十八名中（水治法ヲ行ハス）六名ノ死亡者アリキ（死亡數七、七%）

本品ヲ以テ腸室扶斯ヲ治療シ水治法ヲ行ハザル法ハ「ドクトル」ヘルシエル氏ノ早ク已ニ報セル所ナリ又「ドクトル」エトッフ氏モ本品ノ室扶斯ニ效アルヲ確定シタリキ

用量

〇、二—〇、五ヲ「ラブラート」ニ包ミ毎朝夕ニ與ヘ漸次増量一日量六、〇ヲ投ス

(ロ)「エチレン」化「グアヤコール」*G. aethylenatum.*

本品ハ帶黃白色無臭ノ針狀結晶ニシテ水ニ溶ケ難ク熱酒精ニ解ケ易シ本品ハ結核患者ニ用ユルニ單純ノ「グアヤコール」ヨリモ有效ナリ用量ハ〇、五—一、〇—二、〇ヲ散劑、丸劑トシテ投ス

(ハ)「カコジール」酸「グアヤコーン」*G. kakeodylicum.*

本品ハ帶紅白色引濕性ノ粉末ニシテ蒜樣臭ト微ニ腐蝕スル味トアリ水、酒精、屈利設林、脂肪ニ溶解シ依的兒ニ溶解セズ水溶液ニ硝酸銀ヲ加フルニ黑褐色ノ沈澱ヲ生ス本品ハ結核劑トシテ脂油ニ溶シタル者ヲ皮下注射ニ供ス用量ハ〇、〇三—〇、〇五ヲ皮下注射ス

(ニ) 磷酸「グアヤコーン」*G. phosphoricum.*

本品ハ白色結晶樣粉末ニシテ水ニ溶ケズ酒精、嘔囉仿謨ニ溶解ス「グアヤコール」ト磷酸トノ治效アリ一日三四回〇、一—〇、二五ヲ投ス

(ホ) 亞磷酸「グアヤコーン」*G. phosphorosum.*

本品ハ白色結晶樣粉末ニシテ刺スカ如キ味ト稍烈シカラサル臭トアリ水ニ溶ケ易ク強酒精ニ甚タ溶ケ易シ其他依的兒、嘔囉仿謨、脂肪油ニ溶解ス本品中ニハ「グアヤコール」九二、二五%ト直チニ吸收セラルベキ燐七、七五トヲ含有ス本品ハ結核ニ應用ス

(ヘ) 安息香「グアヤコーン」*(メントツトフ)*

エチレン化「グアヤコーン」 カコジール酸「グアヤコーン」 磷酸「グアヤコーン」  
亞磷酸「グアヤコーン」

(ト)桂皮酸「グアヤコール」 *Guajacolum cinnamyllicum.*

(「チンナミールグアヤコール」又「スチラコール」)

**性状應用** 本品ハ無色無臭無味針狀ノ結晶ニノ百二十度ニ溶解シ水ニハ善ク溶解セス酒精、依的兒、嘔囉仿謨ニ容易ニ溶解ス強キ防腐作用アリ腐敗及醱酵ヲ制止シ創傷及潰瘍ノ治療ヲ催シ内用ニハ慢性膀胱加答兒、淋疾、胃腸加答兒ニ試用シテ可ナリ但ワルツエル氏ハ一日三回〇、二五漸次増量一日量二、四ヲ用ヒ結核ニ投セシニ「グアヤコール」ノ如ク良效アリテ胃ヲ煩ハス「ナシザリ」氏ハ一回一、〇一二、〇一日一〇、〇ヲ用ヒタルニ善ク堪ユルヲ見タリ

(チ)撒里失爾酸「グアヤコール」 *G. salicylicum.* 「グアヤコー  
ルザコール」

**性状應用** 本品ハ白色結晶性ノ粉末ニ臭味ナク殆ト水ニ溶ケス酒精、依的兒、嘔囉仿謨ニ溶解シ易シ六十五度ニ溶解シ酒精製加里滴汁ヲ加フレバ「グアヤコール」加留謨ト撒里失爾酸加留謨トニ分解ス本品ノ酒精溶液ニ格魯兒鐵液ヲ滴加スルキハ混濁ヲ生ス

本品ヲ内服スルキハ腸中ニ至リテ「グアヤコール」及撒里失爾酸ニ分解シテ共ニ容易ニ吸收セラル之ヲ肺癆家ニ與フレバ食思ヲ催進シ消化ヲ善良ナラシムルヲ以テ一回二一、〇一日二一〇、〇ヲ投シ(體重ニ從ヒ増量ス)其他腸ノ防腐藥トス

〇「グアヤチール」 *Guaiacyl.*

本品ハ帶藍灰白色ノ粉末ニシテ酒精、水ニ溶解シ脂油ニ溶解セズ水溶液ハ紫紅色ナリ本品

ハ無毒且無刺激性ノ知覺脫失劑トシテ小外科及齒科ニ於テ「グアヤコール」ニ代エテ五%ノ水溶液〇、五一一、五或ハ十%ノ水溶液一、〇ヲ皮下注射シ五乃至六分ニシテ知覺全ク麻酔セラル

〇「グアヤフォルム」(「グアヤコール」ト「フォルムアルデヒッド」ノ集成物、結核ニ用ユ)

〇「グアヤキノール」(ニ貌魯謨「グアヤコール」規尼涅、結核ニ内用、丹毒ニ外用)

〇「グアヤカンフォルム」 *Guajacampheol.* 樟腦酸「グアヤコール」

本品ハ樟腦酸ト「グアヤコール」トノ化合物ニノ白色針狀結晶ヲナシ臭味ナシ水ニ溶ケス熱酒精及嘔囉仿謨ニ溶解ス本品ハ肺癆家ノ下痢及盜汗ニ亞篤羅必涅ニ代エテ一回量〇、二一〇、四一〇、六一一、〇ヲ投ス有害ノ作用ナクシテ良效アリ

〇「グアヤマイル」 *Guajamar.*

本品ハ白色結晶性粉末ニノ芳香苦味アリ水、酒精、依的兒、屈利設林、嘔囉仿謨ニ溶解ス本品ハ腸消毒藥トノ窒扶斯ニ賞用シ其他或肺病、膀胱炎、慢性下痢等ニ〇、二一一、〇ヲ單用シ或ハ規尼涅、肝油、「ペブシン」等ト伍用ス急性關節痲痺質斯、淋毒性關節炎、火傷、梅毒性潰瘍ニ外用ス

〇「グアヤサノール」 *Guajasanol.* 鹽酸「グアヤコール」  
「サエチールグリココール」

本品ハ白色稜柱結晶ニノ無毒且微ニ「グアヤコール」様臭氣及鹽様苦味アリ水ニ溶解シ能ク

桂皮酸「グアヤコール」 撒里失爾酸「グアヤコール」 「グアヤチール」 「グアヤカンフォルム」  
「グアヤマイル」 「グアヤサノール」

吸收セラル本品ヲアインホルン氏ハ知覺麻酔藥、防腐藥及消臭藥トシテ賞用セリ即チ結核殊ニ結核性下痢其他臭鼻、口内炎、癌腫ニ用ヒ眼科ニ於テハ眼ノ淺在損傷及慢性結膜炎ノ清洗料トシテ用ヒタリ

用量ハ一回量三、〇ヲ「ラブラート」ニテ一日三四回與ヘ或ハ皮下注射トス臭鼻ニハ十乃至十二%ノ液ヲ綿球ニ浸シ用ヒ口内炎、癌腫ニハ二%液、膀胱ノ消毒洗滌ニハ〇、五—一、〇「プロミルレ」ノ液、胃ノ洗滌ニハ〇、二—一、〇「プロミルレ」液、眼科ニハ一%ノ液ヲ用ユ

○「クレフリン」(防腐兼消毒藥)

○過格魯兒鐵液 *Liquor Ferri sesquichlorati.*

醫學博士佐々木政吉氏ハ本品ノ實布埜里ニ偉效アルヲ中外醫事新報第三百二十號ニ報セリ初メニランキンダ、ジャック、レーン、ヒユブネル、ローゼンタール氏ノ所説ヲ掲ケ次ニレヨ、フレル氏ノ報告アリ(第一)單純過格魯兒鐵液ハ實布埜里ノ桿菌ヲ瞬時間ニ撲滅スルニ足ルヘシ水同量或ハ二倍ヲ以テ稀釋スルモ殆ト均シク桿菌ヲ殺滅スヘシ一ト五ノ比例ニ稀釋スルキハ五秒時間觸レシムレバ能ク有效ナリ一ト九ノ比例ノ者ハ尙強キ效力アルモ十分ナラス(第二)實布埜里菌ノ純培養ハ純品ニ觸レシムルキハ十秒時間ニ死スヘシ水ト等分ノ者及一ト三ノ比例ノモノハ二十秒時間ニ殆ト確效ヲ奏ス(用法)日本筆ヲ以テ純品或ハ水ト等分ノ者或ハ一ト二ノ比例ノ者ヲ用ヒ重症ノ者ニハ純品ヲ用ヒテ二回施シ尙重症ノ者ニハ三回乃至五回ニ及フヘシ用後十分乃至二十分間鑽痛ヲ來スベシ此液ニ觸レタル義膜ハ大片

實布埜里ノ塗布藥トノ應用

或ハ小片トナリ剝離シ健全ノ粘膜トナリ體溫多クハ忽チ降リテ平温トナル尙效ヲ助クルカ爲メニ氷罨法、石灰水ノ吸入等對症療法ヲ施スベシ明治廿五年十月ヨリ廿六年三月迄醫科大學第一醫院ニ入リタル六十名中合併症ナキ患者二十三名ニ本療法ヲ行ヒタリ專ラ純液ヲ一日三乃至五回塗擦セリ塗擦時限最短四日最長六十日平均十日而シテ二十一名ハ本品ノミヲ以テ全治シ他ノ二名ハ四十七日六十日ヲ費シ他ノ療法ヲ施シタリト云ヘリ

防腐藥

○過硫酸曹達及加里: *Natriumpersulfat u. Kaliumpersulfat.*

此兩品ハ有力ナル殺菌ノ效力アリ此品ハ酒精醱酵ヲ制止スルノ作用ナケレバ少量ノ本品ヲ加フレバ(〇、一ト一〇、〇ノ比例)肉類ノ腐敗ト尿ノ混濁ヲ防止ス一「プロミルレ」ノ過硫酸鹽ヲ加フルキハ脾脫疽桿菌ノ發育ヲ制止シ二「プロミルレ」ノ液ハ虎列拉「ウイブリアネン」ノ發育ヲ止メ五「プロミルレ」ノ液ハ他ノ微菌ノ發育ヲ制止ス

内用ニ供スルキハ試驗動物ノ胃粘膜ヲ損害スルカ故ニ用ユルヲ得ス之ニ反シテ含嗽水トシテ咽頭炎及水銀塗擦法ノ間口内炎ノ豫防ニ格魯兒酸加里ニ代用シ效アリ(一小刀尖ヲ一盞ノ水ニ加フ)本品ノ主ナル應用ハ綿帶水トシテ他ノ防腐藥ノ如ク三%乃至五%又ハ十%トナシ用ユルニ在リ則チ淺創、裂創、刺創、切創、皮膚潰瘍、癰腫、瘰癧、小手術ノ防腐等ニ用ヒ效アリ

○「グルトイドカプセル」 *Glutoidkapseln.*

「グルトイドカプセル」トハ「プロフェン」ザーラー氏ノ誘導ニ由リテチエ、エフ、ハウスマ

藥物被包劑

過格魯兒鐵液 過硫酸曹達及加里 グルトイドカプセル

ン氏ノ製造セル「フオルムアルデヒッド」ヲ以テ硬化シタル膠囊ヲ謂フナリ此膠囊ノ目的ハ藥物ノ胃液ニ對スル感應及胃ノ吸收ヲ防キツ、腸ニ到ラシムルト胃粘膜ヲ保護シテ藥物ト接觸スルヲ妨クルトニ在リザリー氏ハ「グルトイドカプセル」ヲ連用セシガ其成績ニ由リテ此膠囊ハ實地上貴重ニ汎ク應用スルニ適スルヲ報告セリ

此膠囊ノ硬度ヲ分チテ三種トナセリ  
(一)弱硬度ニ攝氏四十度ニ於テ最少時限一時三十分間「ペプシン」鹽酸ニ抗抵スル力アリ臍曹達液中ニ溶解スルニハ攝氏四十度ニ於テ一時乃至一時三十分間ヲ要ス

(二)中等硬度 最少時限七時間「ペプシン」鹽酸ニ抗抵スル力アリ臍曹達溶液ニ溶解スルニハ二時乃至二時三十分ヲ要ス

(三)強硬度 最少時限十二時間「ペプシン」鹽酸ニ抗抵スル力アリ臍曹達溶液中ニ溶解スルニハ二時半乃至三時間ヲ要ス

此硬度ヲ示スニ短簡ニ「デチャール」數ヲ以テスルヲ宜シトス則チ臍曹達ニ於テ溶解スル時間ノ十分數ヲ用ユルナリ例之二、六硬度ノ「グルトイド、カプセル」ハ二時三十六分ニ臍曹達溶液ニ溶解スルモノナリ是ニ由リテ弱硬度ノモノハ一、〇—一、五ニ中等硬度ノモノハ一、九—二、五強硬度ノモノハ二、五—三、五ナリ

「グルトイドカプセル」ノ診斷的應用

實地上ニ應用スルハ中等硬度及強硬度ノモノ、二種ナリ  
「グルトイドカプセル」ノ診斷的應用 此膠囊ハ胃消化ニ由リテハ溶解セサレモ腸消化ニ由

「グルトイドカプセル」ノ治療的應用

リテ比較的容易ニ溶解スルカ故ニ適示藥ヲ充シタル本品ヲ用ユルキハ腸消化ヲ試驗スルニ適用スルヲ得ベシ乃チ使用セル適示藥ノ反應唾液或ハ尿中ニ現ル、時刻ニ由リテ臍消化ノ官能ヲ決定スルニ足レリ例之此方法ニ由リテ沃度仿謨ヲ投スルキハ一定時ヲ經テ沃度ヲ唾液中ニ證明スルヲ得ベシ健康人ニ於テハ唾液中ニ沃度反應ノ現ル、ハ四乃至六時ノ間ニ在リ此反應現出スルヲ著シク遅延スルヲアランカ此遅延ニ臍胃ノ運動機能不全ノ結果ニ非ラサルキハ臍官能ノ障礙アルヲ決スルニ足レリ

即チザリー氏ノ實驗ニ由レハ反應ヲ發スルヲ遅カリシ四例ニ於テハ原發性臍癌ニ一例ハ癌腫轉移ニ臍自己ハ疾ニ罹ラサリシモ臍管ヲ屈折シタリシヲ見タリト

治療上ノ目的ニ「グルトイドカプセル」ハ主トシテ藥物ノ胃液ノ感應ヲ被ムルヲ防キ或ハ腸ニ至リテ其作用ヲ發展セシメント欲スル防腐性藥品ヲ應用スルニ當リテ用ユベシ甲ノ目的ニハ腸内容ヲ亞兒加里性トナサントスルキ臍製劑其他煖性苦土ヲ之ニ容レテ用ユベシ腸ノ防腐ノ目的ニザリー氏ハ殊ニ「グルトイドカプセル」ニ甘汞或ハ「イトロール」ヲ容レタルモノ又ハ嚼囉仿謨ヲ容レタルモノヲ賞用シ硫酸規尼涅膠囊ヲ殊ニ腸ノ「アメバ」症ニ應用スルニ當リテ賞セラレタリ

他ノ目的ニ於テハ「グルトイドカプセル」ハ藥品ノ胃ニ及ホス有害作用ヲ防キ以テ藥品ニ對スル耐性ヲ充進スルニ在ルノミ此目的ニハ薄荷腦、骨拜巴拔兒撒謨、紫檀油ノ如キ物質是ナリ結麗阿曹篤及「グアヤコール」モ此方法ニ由ルキハ頗ル善ク服用ニ堪ユブラウド氏丸モ亦

然リザリー氏ニ由レハ撒里矢爾酸曹達ノ久服ハ胃ヲ害シ或ハ服用ヲ厭嫌スルヲ以テ撒里矢爾酸ヲ服用シ易カラシムルカ爲メニハ撒里矢爾酸「メチール」ヲ「グルトイドカブセル」ニ容レテ用ユルヲ賞讃セリ

○枸橼酸「コルヌチン」 *Cornu citricum.*

本品ハ麥角ヨリ得タル類鹽基ニシテ水ニ溶解スル帶褐色ノ粉末ナリ子宮出血ニ〇、〇〇五—〇、〇〇一ヲ内用セシム又皮下注射ニハ〇、〇〇二—〇、〇〇八ヲ用ユ

○枸橼酸 *Citric acid.*

本品ト乳糖ト等分ノ者ヲ「ドクトル」ハム氏ハ偶然臭鼻ニ一日三回吹粉器ニ由リテ吹入シ毎朝洗鼻セリ此吹入ヲ行ヘル間ハ惡臭全ク消失セリ

○過酸化水素 *Hydrogenium Hyperoxidatum H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>.*

本品ハ透明ノ液ニシテ收斂苦味アリ酸性反應ヲ呈シ藥用ニ供スル者ハ其水溶液中、二乃至三%或ハ五乃至十%ノ過酸化水素ヲ含有ス而シテ酸素ヲ放離シ易キヲ以テ酸化ヲ起シ易シ強烈ノ防腐兼消毒劑ニシテ其稀薄溶液ヲ消化不良及諸種ノ傳染病(實布淫里等)ニ内用セシメ惡臭創傷ノ洗滌料トナシ又淋疾ニ注入ス

○十%過酸化水素三〇、〇 水三〇、〇

○二%過酸化水素二二〇、〇 屈利設林

昇永〇、〇一五

三、〇

右一日三回尿道注入料(淋疾)

右每半時乃至二時一食匙(實扶淫里)

收斂藥

○「クトール」 *Caol.*

通常ノ「クトール」ハ硼酸鞣酸礬土ノ複合鹽ニシテ黃褐色無形無臭ノ細粉末ヲナシ收斂性ノ味アリ溶解品中ニハ溶解セシム又溶性「クトール」即チ硼酸鞣酸酒石酸礬土ハ前者即チ「クトール」ヲ酒石酸ニ混和シ製シタル者ニシテ善ク水ニ溶解ス溶性「クトール」ハ甚微細ノ粉末ニシテ色ハ前者ヨリハ淡ク又無臭ナリ共ニ收斂作用アリ急性濕疹、皮膚ノ分泌過多、皮膚糜爛、裂瘡、火傷、潰瘍等ニ散布シ又ハ軟膏トナシ用ユ痔疾ニ石炭酸ヲ加ヘタル十五%ノ「クトール」軟膏ヲ貼シ發汗過多ニ散布シ又十乃至二十%ノ「ラノリン」軟膏トナシ又溶性「クトール」ハ十%屈利設林液トナシ濾胞性咽頭炎、子宮内膜加答兒ニ用ヒ凍傷ニハ十%ノ「ラノリン」軟膏ヲ用ユ

○「クトール」四、〇—八、〇 阿列布油一

○「クトール」一〇、〇 亞鉛華一〇、〇

○、〇「ラノリン」ヲ加ヘテ全量四〇、〇

滑石末一〇、〇

○トス

右散布劑トス(皮膚糜爛部)

右爲軟膏外用(急性濕疹)

○溶性「クトール」四、〇 屈利設林ヲ加ヘ全量四〇、〇トス

右綿球ニ浸シ貼用ス(子宮加答兒、濾胞性咽頭炎)

○「クレサミン」 *Kresamin.*

本品ハ「トリクレソール」ト「エチレンジアミン」トノ混合物ニシテ一%ノ「クレサミン」液ハ

防腐消毒劑

枸橼酸 コルヌチン 枸橼酸 過酸化水素 クトール クレサミン

一%ノ「トリクレソール」ト一%ノ「エチレンジアミン」トヲ含有ス無色水明ノ液ニシテ「フエノール」様ノ臭氣アリ暫時空氣中ニ放置スルキハ鮮黃色ヲ呈スレ其固有ノ消毒性質ヲ失フコナシ其反應ハ亞兒加里性ニシテ其度ハ「エチレンジアミン」ノ含量ニ應ス有機性鹽基ヲ加フルニ由リテ「クレソール」ノ溶解力著シク亢進セラル又「クレソール」一分ト「エチレンジアミン」一、八分ノ比例ハ隨意ノ比例ニ於テ混合ス

防腐藥ニシテ皮膚病ニ賞用ス濕性綳帶(四千倍乃至四百倍ノ液)軟膏、瀧久溫浴(三—十二時間)トノ四千倍乃至七十五倍ノモノ等トナシ用ユ

「エチレンジアミン」ハ有機性鹽基ニシテハインリツヒ、エツクスタイン氏ノ用ヒタル濃度ニ於テハ腐蝕及中毒ヲ發セサリシ此「エチレンジアミン」ハ澄明無色ノ液ニシテ比重〇、九七ヲ算シ安母尼亞臭アリ善ク水ニ溶解シ亞兒加里性ナリ著シク蛋白質溶解スル性質アリ(鹽球ハ二%)「エチレンジアミン」液ニ由リテ全ク溶解セラレ又血球ハ半%ノ同溶液ニ由リテ溶解セラレ純粋ノ「エチレンジアミン」ノ消毒力ハ他劑ヨリモ微弱ナリ其濃溶液ニ於テモ幼微機生體ノ發育スルヲ認ム

「ドクトル」ハインリツヒ、エツクスタイン氏ハ本品ニ就テ最精密ナル試驗ヲ施シタル後チ左ノ結論ヲ下セリ

(一)「クレサミン」ニ貴重ナル消毒力アルハシアツフェル氏ノ試驗ト一致シ同時ニ試驗シタル「フエノール」屬ノ製劑トナスヘキ者タリ(二)組織中ノ消毒力及深達作用ハ甚著大ナリ(三)實地上ノ應用ニ適スルハ以上ノ長所ノ外、其無刺激性ナルヲ特ニ利アリトス(四)本品ハ皮膚病科ニ於テ濕疹、膿疱性皮膚炎及膿瘍ニ移行スル皮膚炎、鬚瘡、外皮潰瘍、四肢ノ既ニ抓刮

「クレサミン」ノ皮膚病ニ於ケル效力

或ハ腐蝕セル狼瘡ニ賞用スベキ者トス之カ用法ハ軟膏、硬膏「ムル」及殊ニ溶液(入浴料、綳帶、巻法)トナスベシ

濕性綳帶ニハ本品一分ト水四〇〇、〇—四〇〇〇、〇トナス」軟膏ニハ本品一〇、〇—五〇、〇「ラノリン」一〇〇、〇ノ者ヲ用ヒ浴料ニハ本品一分水四千分ノ比例又ハ一、五%ノ比例トナスベシ殊ニ之カ瀧久浴(三乃至十二時間以上)ハ四肢ノ狼瘡ニ適當ナリトス浴後ハ速ニ患部ニ〇、二五乃至〇、五%ノ「クレサミン」ヲ以テ綳帶スベシ

解熱鎮痛劑

○「クリナフィン」 *Kryofin.*

**性状** 本品ハ「フエナチエチン」ノ如ク「ベ、フエネチジン」誘導體ニシテ「フエネチジン」ト「メチールグリコール」酸トノ集成產物ナリ本品ハ白色結晶狀ノ粉末ニシテ水ニ溶ケ難ク無味無臭ナリ

**應用** 本品ハ解熱及鎮痛劑ニシテ流行性感冒ノ外、窒扶斯、肺炎、其他ノ熱性症ニ用ユルニ血壓亢進シ脈數ハ體溫ニ平行シテ下降シ自覺上ニ良影響ヲ及ホシ不快ノ副症狀(嘔吐、胃障碍、發疹等)ヲ認メス唯一ノ破格ハシユライベル氏カ報告セル増進セル肺癆ニ本品〇、五ヲ投シタルニ熱度速ニ下降シ危重ノ虛脫ヲ發セシ「レナリ患者ハ忽チ恢復セシモ二日ヲ經テ斃レタリ之ヲ剖檢セシニ肺癆ノ外結核性腦膜炎ヲ認メタリキ

「ドクトル」ヒユルリーマン氏ハ腺病性及佝僂病ノ小兒ニ本品ヲ解熱劑トシ(四歲乃至十二

クリナフィン

歳ノ小兒ニ一日量トノ一二回〇、二一〇、五）與ヘタルニ血壓及心機ニ不良ノ影響アラサリキ又不快ノ症狀ヲ認メサリシ  
本品ノ鎮痛作用ハ頗ル好評アリ疼痛アル諸病ニハ殆ト皆良效アリ」唯急性關節痲質斯ニ於テハ其效撒里矢爾酸ニ及ハズ

諸種ノ頭痛、偏頭痛、尿毒性頭痛、腦膜炎、梅毒性骨膜炎等ニハ本品ハ頗ル對症的ノ殊效ヲ奏ス」諸神經痛、神經炎、麻痺質斯性腰痛、肋膜炎、咽頭炎、脊髓癆ノ穿刺痛ニ一日量トシテ三回〇、五ヲ用ヒタルニ速ニ良效アリキアイヒホルスト氏ハ新發ノ坐骨神經痛ニ甚偉效アリト稱セリ

「ドクトル」アルベルトブラテンスタイン氏ハ肺癆ノ久シク高熱アル者ニ本品一回量〇、五  
一、〇ヲ投シタルニ良效ヲ奏シ脈搏及一般調和ニ有害ノ影響ヲ及ボサス却テ體温多クハ速ニ常度ニ下降シ自覺症輕快シタリト

本品ニ催眠ノ作用アリ神經性不眠ノ患者ニ本品ヲ投シテ甚著效アリ

**用量** 用量ハ大人ノ一回量〇、五一、〇ニノ一日量ハ約三、〇トス強壯ノ人ニ於テハ一日量五、〇ヲ投スルモ不快ノ自覺的障礙ヲ呈セス

或場合ニハ副作用トシテ、發汗、蒼青色、惡心ヲ發スルコトアリ

〇「クリスタルローゼ」Crystallose.

本品ハ「ツツケリン」ノ曹達鹽ニ「サツカリ」ヨリモ純粹ナリト云フモ「ツツケリン」中ノ甘

味物六十%ヲ含有スルノ中等大ノ結晶ハ蔗糖一個、大結晶ハ砂糖一食匙ニ同シ

〇「グァヤグイン」(「グァヤコール」ノ代用品)

〇「グァヤコールビペリヂン」(肺癆家ノ食思催進ニ〇、二一二、〇ヲ投ス)

〇「クルリン」Cruvin. (「ロダン」酸銻鉛「ヒノリン」)

收斂劑

此「クルリン」ハ帶赤黃色ノ大顆粒狀ノ粉末ニシテ稍峻烈ノ臭氣アリ水、酒精、依的兒ニ溶解セス七十六度ニ溶解ス多量ノ水ヲ加ヘ稀澱酸ヲ以テ煮沸シ且久シク亞兒加里ヲ加ヘテ熱スルキハ許多ノ蒼鉛化合物ノ如ク一種ノ分解ヲ生スベシ然ラサルキハ此化合物ハ久シク變化セズ久時貯フルヲ得ベシ

下肢ノ潰瘍ニ綿束ヲ以テ本品ヲ撒布スルキハ甚シキ分泌ニ於テハ黃色ノ糜粥、少量ノ分泌ニ於テハ褐色ノ固著シタル痂皮ヲ生シ其潰瘍速ニ癒合スカル、スタインエル氏ニ從ヘハ本品ハ有力ノ肉芽發生ヲ催シ肝臟狀ノ邊緣ヲ具フル頑固ノ潰瘍ニ於テモ之ヲ閉合シテ治癒ニ向ハシムル者ニシテ豫メ潰瘍縁ヲ軟化スルカ爲メニ醋酸亞兒經護水ヲ以テ罨法ヲ行フベシ然ルキハ浮腫及隣部ノ炎症症狀消散ス此本品ハ一日二回少量ニ撒布シ其上ヲ輕ク蓋護繃帶ヲ施シ閉鎖スベシ扁平ニ廣ク蔓延スルカ或ハ深達スル潰瘍ニ於テハ獨リ本品ヲ用ユルカ爲メニ劇痛ヲ來スヲ以テ之ニ等分ノ澱粉ヲ加フルキハ患者好テ之ニ能ク堪ヘ純品ト同シク治效ヲ奏ス小潰瘍ニハ單ニ純品ヲ撒布スベシ撒布スルヤ其瞬間已ニ患者ハ灼痛ヲ訴ヘ(稀ニ久時持續ス)後チ一種ノ快感ヲ覺フ



本品ハ每常治效アリト稱ス可ラサルモ凡テ下肢ノ潰瘍及概シテ梅毒性潰瘍ニハ試用シテ可ナリ

○「クレオゲスト」(消化性結麗阿曹篤) *Kryogest.*

結麗阿曹篤ハ西曆一千八百三十五年始テ佛國ニ於テ内服用ニ供セラレ獨逸ニ於テ大家ゾンメルプロート氏ニ依テ慢性呼吸器病及肺結核ニ用ヒテ其偉效アルコトヲ報告セラレシ以降廣ク之ヲ賞用スルニ至リタルハ夙ニ人ノ知ル所ナリ然レモ結麗阿曹篤ハ可厭臭氣、胃腸内ノ吸收不十分、用法ノ困難及副作用等ノ缺點少ナカラザルヲ以テ近時ハ炭酸結麗阿曹篤、或ハ「クワヤコール」等ノ代用ヲ企ツルニ至リシモ是等ハ多少結麗阿曹篤ノ本性ヲ變セシム於是乎大阪市二宮忠八氏ハ東京醫科大學教授下山博士ノ指導ノ下ニ多年ノ研究ヲ重ネ「ドクトル」ウシナ氏及「ドクトル」ルンゲ氏ガ刺戟性脂肪體ニ處シタル方法ニ基キ本品ヲ完成シ以上ノ缺點ヲ補フコトヲ得ルニ至レリ

**性状** 本品ハ澄明類褐色油狀ノ液ニシテ弱亞爾加里性ノ反應ヲ微シ比重ハ攝氏十五度ニ於テ一、〇八乃至一、一二ノ間ニ在リ而シテ寒冷ニ逢フキハ微ニ浮遊物ヲ析出スルモ常溫ニ復セバ再ビ消滅シ攝氏零下十五度ニ至ルモ凝固セズ酒精、依の兒、殊ニ水及沸湯ニハ隨意ノ比例ヲ以テ澄明ニ溶解シ其溶液ニ難溶性タル普通結麗阿曹篤ノ本性ヲ全ク附與スヘキ特性ヲ有セリ

**應用** 本品ハ毫モ結麗阿曹篤ノ本性ヲ失ハズシテ而モ平等ニ稀釋シ以テ其呼吸ヲ速カナ

ラシムベク容易ニ胃腸中ニ細溶混濁スルノ特性ヲ有スルガ故ニ其丸劑ヲ服用スレハ瞬時ニシテ胃腸中ニ崩解普及シ普通結麗阿曹篤製劑ノ如ク消化機能ヲ障礙スル等ノ憂ナキヲ以テ永ク其服用ヲ持續スルヲ得ヘシ加之普通結麗阿曹篤ノ製劑ハ溶解ノ不良吸收ノ緩慢ナルガ爲ニ服用量ノ大部分ハ未タ全ク消化セサルニ先キダテ依然原形ヲ存シテ體外ニ逸シ隨テ服用全量ノ奏效ヲ收ムルヲ極メテ罕ナリ能ク此缺點ヲ補ヒ醫療上必要ナル目的ノ效果ヲ全フスルモノ實ニ「クレオゲスト」(消化性結麗阿曹篤)ノ特有性トス

**用量** 用量ハ普通結麗阿曹篤ニ同シ而カモ普通結麗阿曹篤丸劑製劑ノ困難ナルニ比シ本品ノ調劑ハ實ニ簡易ニシテ且正確ナリ即他ノ粘著品ノ媒介ヲ要セス單ニ本品ノ所要量ニ甘草末ノ適量ヲ混シテ(少許ノ水ヲ滴加スルキハ一層良好ナル稠度ヲ得ヘシ)能ク研和スルキハ最モ恰好ノ丸劑ヲ得以テ如何ナル細小丸子ト雖モ調製スルヲ得ヘシ而シテ此丸劑ハ永ク貯藏スルモ結麗阿曹篤ヲ析出シ或ハ硬化シテ不溶性ニ陥ルヲナシ故ニ其新古ヲ問ハス水液中ニ攪拌スルキハ容易ニ軟化シテ崩解スルヲ見ルヘシ又能ク水ニ溶解スルヲ以テ外用吸入用等ノ水劑ヲ調製スルヲ容易ナリ殊ニ調劑後ノ器械ハ單ニ水洗シテ清潔ナラシムノ便アリ(醫事新聞六百四十三號抄出)

條處劑

○「クツシン」 *Kassinin.*

**性状應用及用量** 本品ハ帶黃白色樹脂様ノ結晶様粉末ニシテ水ニ僅ニ溶解シ酒精ニ溶解シ易シ本品ハ全ク純粹ノ者ニ非ス但メルク氏ノ「コツシン」ト誤ル可ラズ屈蘇花ニ代用

クレオゲスト クツシン

シテ本品ヲ繼蟲劑ニ賞用ス其味ハ把搔様ニシテ苦シ大量ハ嘔吐ヲ起スアレモ屈蘇花ヨリモ甚不快ナラス

本品一、〇—二、〇ヲ四分シ薄荷油糖或ハ茴香油糖ヲ配伍シ早朝半時間ヲ隔テ、「ヲブラー」ト又ハ膠囊ニテ服セシムルヲ良トス最後ノ服用後ニ蓖麻子油ヲ與フヘシ

○「グリコリン」(屈利設林ノ代用物)

○「クラジン」(消化催進劑)

○「ククルビタ」(冬瓜)(驅糞劑)

○「グアカマカ」(強直症、恐水症、神經性痙攣ニ用ユ)

○「クブレツス」油(痙攣ニ用ユ)

○「グリコグラチン」(屈利設林ト膠質ニ軟膏料)

○「クエブラホ」皮 *Quebracho*.

堅厚扁平ノ重キ一片ヲナシ帶黃褐色ノ片屑ヲ以テ被ハル此皮ハ無臭ニシテ苦味アリ六種ノ類鹽基ヲ含ミ皆解熱ノ性アリ即「アスドビスベルミン」「クエブラヒン」「クエブラヒアミン」、「アスビドスベルマチン」、「アスビドサミン」、「ヒボクエブラヒン」是ナリ其他此皮中ニ「コレステアリン」様物即「クエブラホール」ヲ含有ス此類鹽基ノ含量ハ〇、三—一、五%ナリ本品ノ流動越幾斯或ハ丁幾ヲ解熱劑ニ供シ又肺氣腫、喘息、肺癆、呼吸困難等ニ用ヒ「クエブラホ」樹脂〇、一ヲ丸劑トナシ下痢ニ用ヒ良效アリ「クエブラホ」皮末一日〇、三—一〇、五ヲ與

防痙劑祛痰劑

フ丁幾(一分ト五分)ハ二、〇—四、〇或ハ流動越幾斯一乃至二茶匙ヲ投ス

○「クエブラヒン」(無色ニシテ光線ニ遇ヘハ黃色ノ針狀結晶ヲナシ水ニ溶ケ難ク酒精、依的兒ニ稍溶ケ易シ)

○苦參(クラ、)

本品ハ漢醫ガ用ヒタル苦味健胃劑ニシテ長井博士ハ「マトリン」ナル類鹽基ヲ發見セリ漢醫ハ二、〇—六、〇ヲ用ユ

○「ヤムブール」實 *Jambul*.

蜜尿病藥

**成分** 東印度ニ産スル「シチギウム、ヤムボラヌム」樹ノ子實ニシテ本品ノ成分ハ依的兒性油、樹脂、沒食子酸、脂肪、「クロロフィル」、水ニ溶解スル越幾斯分ナリ未タ其有效成分ヲ分離スルコト能ハス

**性状** 本品ノ乾燥シタル果實ハ長キ腎臟狀ニシテ長徑二乃至二、五仙迷、厚徑一乃至一、三仙迷ヲ有シ高サ一密迷廣サ二密迷ノ環輪ヲ以テ一周セラル其果肉ハ一密迷ノ厚サアリ甘味ニシテ收斂性ナラス色ハ暗褐色ニシテ鮮褐色ノ種子ヲ具フ既ニ乾燥シタル核ヲ振盪スルハ其内ニ種子ノ轉々回轉スルヲ聽ク此種子ハ暗褐色ニシテ長徑一、六乃至二仙迷厚徑七乃至九密迷アリテ胡椒様ナレモ苛烈ナラサル味アリ「ヤムブール」ト稱シ販賣セラル、生藥ハ多クハ種子ノ不整ナル碎片ヨリ成レリ

**應用** 「ヤムブール」實ハ印度ノ醫家ガ近時、蜜尿病ノ療法ニ應用シ已ニ大ニ汎用セラル

クエブラホ皮 ヤムブール實

、ニ至レリグレーゼル氏ハ動物ニ於テ「フロリドチン」ニ由テ發セル蜜尿病ノ經過中ニ「ヤムブール」越幾斯ヲ與ヘタルニ管ニ之ヲ制止スルノミナラズ全治セシムルヲ得タリ諸家ハ蜜尿病ニ良效アルヲ確定シ其特效藥トナサントセリ歐洲醫家ノ本品ニ對スル實驗ハ頗ル不同ニ多ノ症ニハ良好ノ對症的作用アルヲ看過ス可ラスト雖モ或症ニハ全ク無效ナルヲアリ加之、本品ノ應用間、増悪シタル者アリキ好テ大量ヲ用ユルニ及ハズト雖モ大量ニテモ害アルヲナシ唯或症ニ於テハ下痢ヲ認メタルヲアリ

**用量** 粉末トナシタル子實二〇、〇—四〇、〇宛ヲ一日二三回供用スベシ流動製「ヤムブール」實越幾斯モ同量ヲ水或ハ葡萄酒ニ加シ（越幾斯一〇、〇—二〇、〇ヲ水二五〇、〇—五〇〇、〇ニ加フ）「サツカリン」ヲ配伍シ與フベシ

本品ノ樹皮越幾斯即チ流動製「ヤムブール」皮越幾斯ハ「ヤムブール」實越幾斯ヨリモ其效力弱シト雖モ味佳良ニシ且廉價ナリ

- 「ヤトロール」(沃度仿謨ノ代用品ニシテ乾燥防腐劑ニ供ス)
  - 「ヤトロファクタルカス」(峻下劑)
  - 「ヤタイ、アスウ」(白帶下、痔疾ニ用ヒ又祛痰劑トス)
  - 「ヤウナ」(根(肝、腎病ニ用ユ))
  - 「ヤボリン」(亞篤魯必涅ノ如キ效アリ)
- 麻苦涅叟謨抱合物 *Magnesium-verbindingen.*

(イ) 硼酸麻苦涅叟謨(防腐藥)

(ロ) 硼酸枸橼酸麻苦涅叟謨(腎石、膀胱結石ノ溶解劑トシ、〇—二、〇ヲ投ス)

(ハ) 「フロール」麻苦涅叟謨(防腐藥)

(ニ) 撒里失爾酸麻苦涅失亞 *Magnesium salicylicum.*



防腐藥トシ  
腸室扶斯ニ  
當用スベキ  
藥劑

**性状** 撒里失爾酸麻苦涅失亞ハ千八百八十六年偶然ミローネ氏ノ製セル所ニシテフュヒアルド氏之ヲ醫療ニ當用セリ本品ハ無色ノ結晶ニシテ水(一分水十分)及酒精ニ溶解シ其水溶液ハ帶甘苦味アリ著ク酸性ニ反應ス之ニ鹽酸ヲ加フレバ多量ニ撒里失爾酸ノ結晶ヲ生シ稀薄ノ格魯兒化鐵液ニ由テ已ニ甚シク紫色ヲ呈ス水溶液ニ安母尼亞ヲ加ヘ次テ初メ生セル混濁ノ消失スルニ至ルマテ格魯兒安母尼亞ヲ加ヘ次テ磷酸那篤留謨ヲ加フルニ磷酸安母尼亞苦土ノ結晶ヲ析出ス

**應用** フュヒアルド氏ハ本品ヲ以テ腸室扶斯ニ著效アル者トセリ之ト同目的ニ用ユル撒里失爾酸蒼鉛ト共ニ其撒里失爾酸ノ爲ニ防腐ノ效アリ然レモ蒼鉛鹽ニ反シ止瀉セスシテ少ク通利スルノ效ヲ有ス則チ此下泄作用ニ由テ腸中ヨリ傳染毒ヲ驅除スル者トス同氏ハ一日三、〇—六、〇ヲ供用セリ假令多量ノ下痢アル際ト雖モ禁忌ニアラス蓋シ大量(六、〇—八、〇)ニ於テ微ニ緩下ヲ致スノミナレバナリ

麻苦涅叟謨抱合物 撒里失爾酸麻苦涅失亞

○撒里失爾酸麻苦涅失亞一〇、〇 餾水  
二〇〇、〇  
○撒里失爾酸麻苦涅失亞〇、五  
右爲一包與六包每二時一包水ニテ服  
ス(同上)

止血、強壯、  
下泄劑

○滿俺製劑

(イ)硫酸滿俺 *Manganum sulfuricum. Mn. SO<sub>4</sub> (H<sub>2</sub>O)*

**性状** 本品ハ薔薇紅色菱形ノ結晶ニシテ風化シ〇、八分ノ水ニ溶解シ酒精ニ溶解セス水溶液ハ中性ニシテ硝酸拔留膜ヲ加フレバ白色ノ沈澱ヲ生シ硫酸安母尼亞ヲ加フレバ鹽酸ニ溶解セサル帶紅白色ノ沈澱ヲ生ス本品ノ一小塊ニ那篤倫汁ヲ加ヘ乾燥セシメ加熱シテ溶解スルキハ暗綠色ノ殘物ヲ止メ之ヲ水中ニ投スレバ同色ヲ以テ溶解ス本品ハ鐵、亞鉛及亞兒加里ヲ含有ス可ラス

**作用** 軟膏トナシ屢、皮膚ニ外用スルキハ刺戟ヲ營ミ膿疱ヲ生ス粘膜ニ純品或ハ濃溶液ヲ外用スルキハ腐蝕シ稀薄液ヲ用ユルキハ收斂ス純品或ハ濃溶液ノ大量ヲ内用スルキハ胃腸炎ヲ起スベシ一二瓦ヲ投スルキハ下泄ヲ營ミ膽汁ヲ増加ス

**應用** 本品溶液ヲ過格魯兒鐵液ニ代用シ止血劑トシテ出血ニ用ヒ軟膏トナシ疥癬、癩麻質斯、腺腫脹ニ使用ス血中ニ滿俺アルヲ以テ滿俺鹽ヲ萎黃病ニ用ヒテ效アルヲアリ大量ハ下劑ト用ヒラル

**用量** 軟膏ニハ本品一、〇脂肪、「ラノリン」五、〇—一〇、〇トス内用ニハ〇、二—〇、五ヲ

一日三四回散劑、丸劑、溶劑トナシ用ヒ下劑トシテ、〇—五、〇ヲ二回ニ分チテ午前ノ内ニ服用セシム(容易ニ嘔吐ヲ發起スルヲアリ)

○硫酸滿俺二、五 硫酸鐵七、五 炭酸曹達一二、〇 蜂蜜六、〇 單含適宜  
右各丸〇、二ノ重量ヲ有スル丸劑トシ桂皮末ヲ衣トス一日二乃至十九服用(萎黃病)

(ロ) 蓆酸滿俺 *Manganum oxalicum. Mn C<sub>2</sub>O<sub>4</sub> + 2H<sub>2</sub>O*

本品ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ冷水及熱湯ニハ唯僅ニ溶解ス百五十度ニ熱スルキハ本品ハ炭酸、酸化炭素、亞酸化滿俺ニ分解ス

本品ハ貴重ナル乾燥劑ニシテ他ノ滿俺鹽(硫酸鹽、硼酸鹽、醋酸鹽)ヨリモ良效ヲ奏ス

○滿俺鐵「ペプトン」 *Mangan-Eisen-pepton*

古來貧血及萎黃病ノ外體質病殊ニ腺病、尙僕病其他或時期ノ結核、貧血狀態ヲ來ス神經性疾患殊ニ神經衰弱及歇私的里、又已ニ罹レル重症急性熱性病ノ爲メニ來ル衰弱及疲勞狀態、重病ノ恢復期及慢性消耗病ノ經過中ニハ、鐵劑ヲ用ユルハ普ク人ノ知ル所タリ

鐵療法ノ目的ハ病的ニ變化シタル血液ノ性状ヲ改善スルニ在リ而シテ貧血及萎黃病ニ於ケル原因的機轉ニ就キテハ尙明瞭ナラサル所アリト雖モ身體ノ鐵分ニ乏シキハ血液製造器或ハ血液貯藏器ノ官能異常ニ原由スル所アルト其血液ノ病的頹廢或ハ製造減少ニ由來スル者タルヲ考ヘスンバアラズ即チ此病ノ療法ハ人體ノ生活保續上ニ大關係ヲ具フル鐵分ノ缺乏ヲ補給スルニ在リ即チ必要量ノ藥用的鐵分ヲ吸收セラルベキ形ヲ以テ應用スベキノミ

乾燥劑

硫酸滿俺 蓆酸滿俺 滿俺鐵「ペプトン」

鐵劑ノ吸收  
同化ノ作用

近時此件ニ就テ詳ニ講究スル所ニ從ヘバ貧血及萎黃病并ニ他ノ貧血性病ニ於テハ鐵分缺  
乏ノ外ニ鐵ニ均シク血液ノ必要成分タル滿俺甚シキ減少モ亦與テ此等ノ病ニ關係アルヲ知  
レリ  
然リ而シテ應用セラル、鐵劑ノ數ニ至リテハ實ニ夥多ニシテ近時新ニ製造セラレ又ハ改良或  
ハ變更セラレタル鐵劑ノ多數ハ皆此適示ニ應セントスル方針ニ外ナラズ而シテ此改良ニ關シ  
テ殊ニ注目スベキ點ハ其應用セラル、製劑ハ容易ニ吸收及同化セラレ得ルヤ血液製造ニ向  
テ價值アルヤ否ヲ回顧スルコト是ナリ概シテ無機性鐵劑ハ吸收及同化スルコト少クシテ消化シ  
難ク且消化器ノ粘膜炎ヲ刺戟スル性アリテ以上述フル疾病ノ療法ニ用ユルニ適セス其性質最  
モ食用的鐵分ニ類スル有機性鐵劑ハ血液改善ノ利アリテ最モ正當ニテ效果アル療法ニ適應  
スル者トス現今廣ク治療家及製藥家ノ間ニ信セラル、ブンゲ氏ノ說ニ徵スレバ無機性鐵劑  
ハ健全ナル胃腸粘膜炎ヨリシテハ全ク吸收セラレズ或ハ頗ル僅ニ不十分ニ吸收セララル、ノミ  
ニ血液製造ニハ毫モ價值アル者ニ非ラス此點ニ就テ熱心ナル研究家并ニ製藥家ハ孜孜ト  
シテ奮勵シ無機性鐵劑ヲ容易ニ同化吸收セララル、鐵劑ニ由リテ補給セント欲シ先ツ鐵蛋白  
及鐵「ペプトン」ヲ製出スルニ至レリ然レモ此兩者モ亦其結果ハ期スル所ニ副ハザリキ  
要スルニ鐵劑ヲ判定スルニハ緊要ノ問題アリ即チ高度ノ吸收及同化力ト容易ニ消化セラレ  
且其味善良ニシテ不愉快ノ副作用及後作用ヲ呈セサルコト是ナリ吾人ハ此要點ヲ具フル者ハ  
數多ノ實驗上グウデ氏ノ滿俺鐵「ペプトン」ニ如ク者ナシトス

滿俺鐵「ペ  
プトン」ノ  
長所

維納ノ「ドクトル」ヨツト、ウエ、フリーセル氏ハ貧血及萎黃病ニグウデ氏ノ滿俺鐵「ペプト  
ン」ヲ用ヒタルニ血液ノ性質ハ往々比較的ニ加療時間ノ短キニ拘ラス已ニ頗ル著シク善良  
トナリ即チ血液ヲ檢スルニ速ニ赤血球ノ數及「ヘモグロビン」量増加シ且全身狀態甚タ善良  
ニ赴キ體力著シク強健トナレルヲ實驗シタリ本品ハ消化シ易ク吸收及同化作用盛ニシテ有  
害ノ副作用ヲ具ヘサルハ實ニ其長所ニシテ其效力ハ許多ノ場合ニ於テ看過ス可ラサル所ナ  
リ本品ノ性質及構成ニ由リテ考フレバ之ヲ正當ニ判決シ其價值ヲ定ムルコト容易ナリ  
グウデ氏ノ製劑ハ鐵及滿俺ト「ペプトン」ト適應ノ百分比例ニ於テ結合セラレ容易ニ消化且  
吸收セララル、者ニシテ本品ハ實ニ血液製造ニ適合シ必要ノ價值アル者タリ即チ「ペプトン」  
ハ人ノ知ル如ク人工的消化前級物ナルカ故ニ容易ニ消化セラレテ體內ニ輸入セララル而シテ貧  
血及萎黃病ノ人ニ於テ最モ衰弱シ且其減弱微力ナル官能ヲ具フル消化器ノ運營力ニ於テモ  
之ガ消化ニ際シテ毫モ特ニ其勞ヲ要セズ此點ハ甚緊要ニシテ此患者ニ於テハ消化及胃液ノ  
官能減少スルカ爲メニ其營養稍不良トナリ多クハ胃液ノ酸量減少ヲ呈セリ實驗上、滿俺鐵  
「ペプトン」ヲ用ユルニ毫モ消化ヲ害セズ或ハ變セス却テ本品ノ服用ニ由リテ食慾及消化大  
ニ奮起セララル

概スルニグウデ氏ノ滿俺鐵「ペプトン」ヲ以テ患者ヲ治療スルハ血液性狀ノ改善スルト共  
ニ一般狀況及體力亦佳良トナリ患者ノ外貌及食思頗ル佳快ヲ呈シ消化及營養ノ狀況駸々ト  
シテ善良ニ赴キ患者自ラ健強ナルヲ覺ヘ嬉色ヲ呈スルニ至ル胃腸ノ障礙即チ胃部壓重、胃

痛、惡心、不快ナル膨滿ノ感覺、食慾減少、便秘等ハ他ノ無機性鐵劑ノ服用時ニハ屢見ル所ナレモ滿侘鐵「ペプトン」ニ於テハ毫モ之ヲ認ムルコトナシ便秘ヲ起シ胃腸官能ノ怠慢ヲ來タセル場合ニハ特ニ此製劑ヲ處スルハ甚必要ニシテ適當ナル者タリ蓋シ本品ヲ用ユルハ腸ノ蠕動機屢、速ニ奮起シテ活潑トナリ已ニ在セル便秘ヲ調整スレバナリ

殊ニフリーゼル氏ハ往々本品ノ使用後已ニ貧血症狀殊ニ高度ノ無慾狀態、疲倦、睡氣、心悸亢進、頭痛全ク消散スルヲ認メタリ又不眠ヲ患フル者ニ於テハ安眠ヲ得タリキ從來他ノ鐵劑ヲ用ヒテ寸效ナカリシ場合ニモ亦本品ヲ持長シタルニ甚良果ヲ收メ實ニ四週乃至六週ノ後ニハ已ニ全治ヲ確認スルニ至リタリキ

本品ハ原發性貧血及萎黃病ノ外、諸多疾病ノ經過中或ハ續發トシテ貧血ヲ來シタル者ニモ甚良效アリ先ツ腺病及佝僂病ニモ甚タ偉效アリ又貧血ヲ呈スル初期ノ結核、其他衰弱狀態、急性熱性病及衰耗病(肺炎、窒扶斯、他ノ傳染病)ノ恢復期又慢性ニシテ貧血ヲ起ス衰憊的疾患(結核、麻拉利亞、持久スル胃腸加答兒)爾他ノ慢性消化不良ニモ奏效少シトセズ

本品ハ衰弱貧血性ニシテ營養減退シタル小兒及貧血性ノ婦人ニ投スレバ特ニ良效アリトスフリーゼル氏ハ此ノ如キ場合ニハ常ニ本品ヲ處シ多クハ奏效ヲ見タリト云フ

以上記載スル所ニ由リテ見レバ本品ハ現今應用セラル、鐵劑中最モ卓效アル者トシテ注目スヘキ者ト謂フベシ

本品ハ實ニ高度ノ吸收及同化性アリテ消化シ易ク且良效ヲ具フ而カモ不快ノ性質ヲ呈セザ

ルヲ以テ如何ナル患者モ好テ之ヲ服シテ厭ハス能ク之ニ堪ユ本品ノ流動體ナルト味良ナルトハ患者ノ服用ニ便宜ナリ

フリーゼル氏ハ上記ノ諸症ニ必ス他ノ食餌療法ヲ行フト共ニ數週長キハ三ヶ月乃至六ヶ月間大人ニハ毎日三食匙小兒ニハ二三咖啡匙ヲ水或ハ少許ノ葡萄酒ニ加ヘ用ヒシム此療法間ハ生菜、酸味或ハ強鹽味アル食品ヲ禁シ滋養強壯食品ヲ用ヒシメタリ

今左ニ陸軍藥劑監三井良賢氏ノ製シタル滿侘鐵「ペプトン」ノ用法性狀等ヲ掲ク

三井氏製滿侘鐵「ペプトン」

一%及「ペプトン」ニシテ本品ハ決ノ胃腸ヲ障害セズ又腸ノ亞爾加里性ニ影響スルコトナク直接ニ血中ニ吸收サル、カ故ニ重症患者ニ使用スルモ決ノ消化機能ノ障害ヲ發スルコトナシ

本品ヲ服用スルコト僅々八日間早ク既ニ胃ノ機能ニ良效ヲ奏シ食欲大ニ進ミ軀幹亦溫暖ヲ覺エ一般身體ニ爽快ヲ感ス尙ホ之ヲ連用シテ四週乃至六週ニ至レハ體量著シク増加ス可シ

**用法** 小兒ハ十二歳マテ毎日二回一茶匙(五、〇)ツ、大人ハ毎日二三回一食匙(一〇、〇乃至二〇、〇)ツ、水或ハ牛乳等ニ混シ用フベシ

**注意** 茶及葡萄酒等凡テ鞣酸ヲ含有スルモノニ混ス可ラス又之ト同時ニ飲用スルヲ禁ス

本品ノ特性(他ノ偽造品トノ區別) 滿侘鐵「ペプトン」ハ葡萄酒樣濃赤色ノ透明液ニシテ金屬性收斂ノ味ヒナク而モ鐵〇、六%滿侘〇、一%ヲ含有セリ牛乳ニ混スルモ分解スルコトナシ此際若シ凝固物ヲ生スルモノハ遊離若シクハ無機性金屬鹽類ヲ有スルノ證ニシテ消化不良ヲ

誘起スルノ恐レアリ又安母尼亞ヲ加ヘテ沈澱ヲ生シ或ハ黄色血滲鹽ニ由テ藍色ヲ起スモノハ不消化性ノ金屬鹽類ヲ含有スル偽造品ナリ

本品ハ煮沸スルモ決メ凝固物ヲ生ス可ラス若シ之レアルキハ蛋白質ヲ含有スルノ證トス硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシ之ヲ濾過シ後チ此濾液ニ硝酸若シクハ硝酸拔留膜ヲ加ユルニ僅微ノ濁濁ニ止ル可シ若シ其濾液ニ乳様濁濁ヲ生スルモノハ格魯兒ヲ含ミ尙ホ其沈澱ヲ發スルモノハ之ニ反メ硫酸化合物ヲ存スルノ證ナリ偽造品ニハ往々尙ホ磷酸ヲ含有スルコトアリ之ヲ證明スルニハ硝酸ヲ加ユレハ強キ濁濁ヲ生スルカ故ニ先ツ之ヲ濾過シ而シテ後チ「モリブデン」酸安母尼亞ヲ加ユレハ黄色ニ濁濁シ終ニ黄色ノ沈澱ヲ生ス

○偽造滿俺鐵「ペプトン」ハ甚シク金屬性收斂ノ味ヒヲ有シ一時間餘ヲ經過スルモ尙ホ一種不快ノ感ヲ貽ス

○偽造滿俺鐵「ペプトン」ハ那篤倫倫汁ヲ加エテ煮沸スレハ安母尼亞ノ劇臭ヲ放ツ

○偽造滿俺鐵「ペプトン」ハ黄色血滲鹽ヲ加フルニ有機酸滿俺ノ反應タル白色粉狀ノ沈澱ヲ起サスシテ只タ暗綠色ヲ呈ス(有機酸滿俺缺乏ノ證)

○「マルロトキシシ」(「カマラ」ノ如キ效アリ)

○「マナカ」(驅梅藥、利尿劑等トノ一日三回五滴ヲ用ユ)

○「マンドラゴリン」(硫酸亞篤魯比涅ノ效アリ)

○麻黃 *Ephedra vulgaris rich.*

理學博士長井長義氏カ麻黃ヨリ一種ノ類鹽基即チ「エフエドリン」ヲ發見セラレタルハ鹽酸「エフエドリン」ノ條ニ記セルカ如シ宜シク同條ヲ見ルベシ

西尾重氏ハ葛根湯中ノ主藥ハ麻黃ニシテ發汗ノ效ハ全ク該品ニアルヲ思ヒ麻黃二三〇、〇ヨリ越幾斯五〇、〇ヲ製シ發汗ヲ要スル感冒ノ原因ヨリ來ル急性鼻加答兒、急性咽頭加答兒、氣管枝加答兒、癩麻質斯、急性腎炎ニ用ヒ良效アリト是レ必魯加兒必涅、撒里失爾酸曹達等ノ如キ副作用ナキカ故ナリ一回量一、〇—二、〇ハ原品五、〇—一〇、〇ニ當ルト中外醫事新報第三百五十二號ニ報告シタリ

○「マンサ」(麻刺利亞、赤痢ニ甚效アリ)

○「マンツア、ニタ」花(膀胱加答兒等ニ用ユ)

○「マラキン」 *Malakin*. 撒里失爾酸「ハ、フエキチン」

解熱劑

本品ハ鮮黄色ノ小結品ニシテ九十二度ニ沸騰シ水ニ溶ケス冷酒精ニ溶ケ難ク熱酒精ニ容易ニ溶解ス炭酸亞兒加里ニハ溶解セサレモ曹達滲汁ニハ黄色ヲ以テ溶解ス稀薄ノ磷酸(〇、三%ノ鹽酸)ニ遇ヘバ分解シテ撒里失爾酸「アルデヒツド」及「ベ、フエネチジン」トナル

本品胃中ニ至レバ其兩化合物ニ分解セラル虛弱家ニモ用ヒ得ベキ緩和ノ解熱劑ナリ又癩麻質斯藥、神經痛藥トシテ效力尠少ナリ不快ノ副作用ハ未ダ曾テ實驗セス

一日數回〇、五—一、〇ニ日量四、〇—六、〇トス散劑ヲ「ラブラート」ニテ用ヒシム  
○「マイダラクリ」皮(下痢及赤痢ニ用ユ)

健胃藥

○「マムメア」(消化催進劑、清涼劑等トス)

○「マター」(腎病等ニ用ユ其效用咖啡涅ノ如シ)

○「マルチン」 Marine.

「マルチン」ハ醫科大學第一醫院藥局長草野氏麥芽中ヨリ創製セル者ニシテ百弗聖ノ蛋白質ヲ消化スルカ如ク植物性食物ヲ消化スト云フ

「マルチン」ハ無形ノ粉末ニシテ水ニ溶解スレバ酒精ニ溶解セス其澱粉糖化作用ヲ檢スル爲メ小麥粉四〇、〇ニ適宜ノ水ヲ注ギ煮沸シ糊トナシ「マルチン」〇、一ヲ加ヘ攝氏ノ四十度ニ温メシニ半時間ヲ經テ澱粉消化ノ清澄液トナレリ以上論スルカ如ク糖化作用アル故ニ本邦人等ノ如ク植物ヲ常食スル者ノ消化不良ニ良效アリ用法ハ〇、〇五ヨリ〇、一〇、一五ヲ單味ニ與ヘ或ハ百弗聖ニ加ヘ又ハ「バンクレアチン」ニ伍用ス

○「マルチン」〇、三「ベブシン」一、五 番木鱈越幾斯〇、〇三 甘草末適宜

右爲三包毎食前一包宛 (慢性胃加答兒)

營養劑及祛痰劑

○「マルツ」越幾斯 *Extractum Maltis* (麥芽越幾斯即水飴)

本品ハ帶黃褐色ニシテ水ニハ殆ト澄明ニ溶解スル越幾斯ナリ「グリコーゼ」二十%「デキストリン」二十五%含窒素物八%灰分三、五%(主トシテ磷酸亞兒加里土類)ヲ含有ス

**作用及應用** 本品ハ爽快甘味アル消化シ易キ營養品及祛痰劑ニシテ小兒、衰弱家、重病後ノ恢復期ニ多ク用フルモノナリ屢々他ノ強壯劑ヲ配伍ス故ニ民間ニハ此種ノ製劑甚多シ

強壯滋養劑

用量

純品一茶匙或ハ乳汁、麥酒、葡萄酒ニ溶シテ一日數回用ユ

○「マルツ」鐵越幾斯 *Extractum Maltis feratum* (鐵飴煎)

本品ハ「マルツ」越幾斯三十五分ニ枸橼酸亞母尼亞焦性磷酸鐵二分ヲ加ヘ水三分ニ溶シタルモノナリ僅ニ鐵様ノ味アル強壯劑ニシテ一茶匙ヲ一日數回乳汁、麥酒、葡萄酒ニ加用セシム

○「マラリン」 *Malaria*.

本品ハ「ベ、フェネチジン」ト「アチエトフェノン」トノ集成產物ノ枸橼酸鹽ニシテ此成分ノ同等分子量ヲ加熱スルニ由リテ得ル者ナリ「マラリン」ハ帶黃白色輕鬆ノ粉末ニシテ冷水ニハ殆ト溶ケス熱スルハ少量ニ溶解スレバ冷所ニ置クモ再ヒ沈澱セス炭酸曹達ヲ以テ中和スルハ溶液トナシ易シ

「マラリン」ハ毒性僅少ニシテ體重四機瓦ノ犬ニ五日間毎日一瓦ツ、與ヘタレバ毫モ中毒症狀ヲ發セサリキ

本品ハ兎ノ腦ヲ穿刺シ發熱セシメタル後ニ投スルニ著シク體温下降シ約二時ニシテ常温ニ復スレバ再ヒ徐々ニ亢進ス本品ハ催眠力アル解熱、鎮痛、鎮靜劑ニシテ一日二三回〇、五ヲ用ユ但有毒ノ副作用アリ

○桂皮酸 *Acidum cinnamylcum*.  $C_6H_5CH=CH-COOH$ .

**性状** 桂皮酸ハ無色ノ小板狀結晶ニシテ百三十三度ニ熔融シ冷水ニ溶ケ難ク沸湯ニ溶ケ易シ酒精、依的兒ニ容易ニ溶解ス「黃色トナレル製劑」ハ用ユ可ラズ

結核劑

解熱鎮痛劑

マルチン マルツ越幾斯 マルツ鐵越幾斯 マラリン 桂皮酸



作用及應用

桂皮酸ハ高度ノ止血作用アリ甚小量ヲ血液ニ注入スレハ甚シキ白血球增多ヲ起シ注入後ノ一時半乃至二時間ニモ其增多ヲ呈シ八時間ニモ極度ニ達ス皮下注射スルモ作用ヲ呈スレハ頗ル弱度ナリランデル氏ハ結核性患部組織ニ於テ癰疽結成ヲ催ス炎症ヲ發セシムルカ爲メニ桂皮酸ノ注入ヲ行ヘリ結核性關節病ニ於テハ直ニ關節内ニ本品ノ乳和液ヲ注入シ狼瘡ニ於テハ其酒精溶液ヲ狼瘡結節内ニ注入シ結核性膿瘍ニハ套管針ヲ以テ穿刺シ殺菌性〇、七%食鹽溶液ヲ以テ洗滌セル後桂皮酸ヲ屈利設林ニ加ヘテ注射シ其穿刺孔ハ縫合ス可シ肺結核ニハ桂皮乳酸和液ヲ靜脈内ニ注入スベシ慢性症ニモ空洞ヲ證明ス可カラザルモ毎夕稍體溫昇騰アル者ニハ最適當ニシテ又空洞アルモ眞ニ體溫昇騰ナキ症ニハ尙良成績アリ但シ大空洞及稽留熱アル者ニハ效ナシ急性肺癆ニモ亦然リ靜脈内注射ヲ廢止シテ腎部ニ注入ヲ行フモ可ナレハ此ハ奏效少シトス喉頭結核ニハ靜脈内注射ト共ニ桂皮酸ノ酒精性溶液或ハ桂皮酸屈利設林ノ塗布ヲ兼用ス

用量

喉頭結核ノ塗布料ニハ一分酒精十分「膿瘍ノ注射ニハ一分屈利設林十乃至二十分ノ者ヲ用ヒ凡テ此溶液ハ殺菌スヘシ狼瘡結節ノ注入料ニハ一分酒精二十分或ハ古加乙涅ヲ加ヘ其一二滴ヲ注入スヘシ之ヲ休止スルマテ十筒ヲ注射シ平均毎周一回行フヘシ關節内ノ注入及靜脈内注入ニハ五%ノ亞兒加里性乳和液ヲ用ヒ關節内注入ニハ毎二日乃至四日〇、一ヨリ漸次〇、四—〇、五ニ増量スヘシ次回注射ヲ行フノ前ニ時トノ注射後ニ發スル疼痛及腫脹消散セサル可ラス甚知覺過敏家ニ於テハ小量ノ古加乙涅ヲ加フヘシ靜脈内注入ニハ患

者ノ狀況ニ從ヒ用量ヲ加減スヘシ其愈、虛弱ナルト肺ノ變狀廣大ナルトニ從ヒ用量ハ益、小ナルヘシ乃チ注射器劃度ノ一分ノ半ハヲ以テ始ム其重症ニ於テハ〇、七%食鹽液ヲ加ヘ稀釋シタルニ、五—一%ノ乳和液ヲ取り注射器ノ半分度乃至一分度ヲ注射スヘシ此注射ハ毎二日或ハ毎周二回行フヘシ漸次用量ヲ増シ半分度或ハ一分度ニ至ルベシ(〇、二五—〇、四ニ至ル)唯強壯家ニハ此量ヲ超過スルヲ得可シ重症ニ於テハ〇、一—〇、一五立方仙迷ヲ用ユベシ注射ハ嚴重ニ監視シツ、防腐のニ頭靜脈或ハ膊肘靜脈ニ行フ此注射ヲ終レル後ハ一片ノ殺菌的「ガーゼ」或ハ昇汞「ガーゼ」ヲ綑帶ニ由テ固定シテ刺孔ヲ被覆スヘシ

〇桂皮酸 鹽酸古加乙涅 各一、〇 酒精二〇、〇

右注入料

〇微細ニ粉碎セル桂皮酸五、〇 甘扁桃油一〇、〇 卵黃一個 食鹽液(〇、七%)適宜 右乳和液一〇〇、〇トナス

桂皮酸ニ若干ノ扁桃油ヲ加ヘ最微細ニ研合シ後同油ノ殘餘ヲ追加シ斷エス攪拌シツ、卵黃ヲ加ヘ尙攪拌ヲ持續シツ、食鹽液ヲ加ヘ重量一〇〇、〇ニ至ルヘシ之ヲ使用スル前此乳和液ニ七、五%ノ曹達汁ヲ加ヘテ著シク亞兒加里性トナス可シ

〇牽牛子 (「アサガヲ」)

俗間ニ於テハ牽牛花ノ種子ヲ下劑トナシ用ヒタリ平野一貫氏ハ「コンウオルヅリン Convolvulin C<sub>11</sub>H<sub>18</sub>O<sub>6</sub>」ナル有效成分ヲ發見セリ

○結麗阿曹篤

*Kryosolium*

(尙炭酸結麗阿曹篤及炭酸「グアヤコール」  
及「グアヤエチン」ノ條ヲ參考ス可シ)

近時肺結核ノ療法上「ツベルクリン」ニハ多大ノ望ヲ期ス可ラザルニ至レルヲ以テ現今モ尙結麗阿曹篤療法ヲ以テ主眼ノ者ト爲サ、ルヲ得ヌ今日醫家ノ結核患者ニ接スルヤ皆本品ヲ投ゼザルハナシ實ニ結麗阿曹篤療法ハゾンメルブロート氏ノ唱道ニ基ク者ニシテ、九年前五千餘名ノ結核病患者ニ結麗阿曹篤療法ヲ施シ咳嗽喀痰ノ減少、日晡潮熱、盜汗ノ減退、肺臟理學的變化、會厭溼潤ノ消散ヲ來スヲ實驗シ他ノ對症療法ヨリモ遙ニ著效アルヲ認メラレタリ然レモ本品ハ使用上利害ナキヲ能ハス一方ニハ本療法ニ由テ消化機善良ニ赴キ營養佳良トナリ肺患部及一般狀況ノ佳候ヲ呈スルヲ見、他方ニハ大量ノ本品ヲ投スルモ空洞、氣胸等ヲ生シ加之初起ノ肺癆ニシテ急性ノ經過ヲ取ルコト云フ然リ而シテ大量ノ本品ヲ連用スルキハ遂ニ中毒作用ヲ來スハ必然ノ結果ニシテ實ニ其多量ハ胃ヲ腐蝕シ胃腸炎ヲ起スニ由テ斃ル故ニ本品ノ腐蝕作用ニ堪ユル消化器アル患者ニ於テ始メテ其服用ノ利即チ完全ノ治癒作用ヲ得ルノミ

醫學士西廣吉氏ガ醫科大學第一醫院ニ於テ實驗セラレタル所ニ由レバ或結核患者ハ一日量〇、四—〇、五ニモ已ニ堪フル能ハス惡心、食氣不振、胃部充感、下痢等ヲ訴フルアリ或患者ハ一日量一、〇—二、〇—三、〇ニ堪ヘ病勢久シク停止スルアリ或ハ食思恢復、喀痰咳嗽ノ減少、肺尖ノ加答兒浸潤ノ減少消滅スルヲ見ルアリ又或ハ慢性肋膜炎ノ濁音ノ減少或ハ空洞アル者ノ久シク安寧ナルヲ見ルアリ之ヲ替言スレバ重症ナラサル者ニ奏效アリ又本品ニ

堪ヘサル者及多數ノ重症ニハ效ナクシテ害アリト

通常ノ結麗阿曹篤ハ甚シキ腐蝕性アルト其臭味ノ厭フヘキト眩暈、尿暗色ヲ發スルト體溫ノ變動ヲ起ストニ由リテ内服ノ結果ヲ不良ナラシムル者ナリ是ニ於テカ此等ノ缺點ヲ有セサル炭酸結麗阿曹篤及炭酸「グアヤコール」ヲ用ユルニ至レリ此兩品ハ粘膜ニ對シテ毫モ腐蝕性ヲ呈セスノ全ク無害ナリ甲者ハ緩和油性ノ味アリ乙者ハ全ク無味ナリ炭酸結麗阿曹篤ハ一日量二〇、〇ヲ常量トナス若シ尋常ノ結麗阿曹篤ナラシメハ胃腸炎ニ由リテ斃ル可シ然ルニ炭酸結麗阿曹篤ハ著シキ治癒作用ヲ呈ス」○結麗阿曹篤ヲ服スルキハ嘔吐、下痢等ヲ來ス患者ニモ尙善ク炭酸結麗阿曹篤ニ堪ヘ一日量五乃至十滴ヲ以テ始メ漸次五十滴ニ至ル又半ハ健全ノ消化機アル者ニハ毎日一乃至三茶匙宛單用或ハ肝油十倍又ハ牛乳或ハ甘味ノ葡萄酒ニ和用ス」○炭酸「グアヤコール」ハ己ニ腸結核或ハ消化器衰弱セル者ニ投スルニハ炭酸結麗阿曹篤ヨリモ優レリ是レ無臭味ニシテ惡心嘔吐ヲ發起セサレバナリ炭酸「グアヤコール」ハ一日量一、〇—三、〇ヲ用ユ之ヲ用ユルキハ食思及一般營養ノ狀態速ニ恢復シ體重ハ數週日ニ著ク増加ス而シテ結麗阿曹篤ハ胃中ニ於テ吸收セラル、カ故ニ惡心、嘔吐、消化障礙ヲ起スモノナレモ此兩炭酸劑ハ胃ヲ通過シテ腸ニ至リテ炭酸ト結麗阿曹篤若クハ「グアヤコール」ニ分解シテ吸收セラル然リ而シテ分解ノ起ルヤ甚緩徐ニシテ亦從テ徐々ニ吸收セラレ其作用ハ連綿緩和ナリトス

ジンベール、ホシユアルド氏モ結麗阿曹篤ヲ肺結核ニ用ヒ著效ヲ得タリ用法ハ酒精「リ

トル「中結麗阿曹篤一三、五ヲ含有スル者若クハ二、〇ヲ肝油一五〇、〇ニ混シ一日量トシテ  
 〇、二乃至〇、四ヲ三ヶ月乃至一ヶ年連服セシメ肺癆患者九十三人ヲ治療シ内二十七%ハ治  
 ニ就キ三十%ハ快ヲ覺ヘ十九%ハ奏效ナク二十三%ハ死亡セリ〇又レーウス氏ハ篤留抜兒  
 撒謨〇、二結麗阿曹篤〇、〇五ヲ丸トナシ二乃至三粒ヲ一日量トシ四十%全治シ三十%ノ輕  
 快ヲ得タリト氏ハ以上ノ量ヲ膠囊トナシ用ユルヲ稱用シ即チ喀痰減少、食慾亢進、心身爽快  
 ヲ覺ユルハ本療法ノ結果ナリト而シテ此ノ膠囊ハ第一日ニ一箇第二日二箇爾後八日間ハ三箇  
 第二週中ハ四箇第三週中ハ五箇第四週ハ六箇ヲ供用ス厭フ可キ噁氣、榨喉ノ感、嘔吐等ノ副  
 作用ナキハ二ヶ月間連用スルヲ通例ノ規則トス又氏ハ腺病ニ於テ頸腺腫脹諸藥效ナキ者  
 ニ該品ヲ與ヘ意外ノ良結果ヲ得タリ又氏ハ結麗阿曹篤ヲ用ユル日及量愈、多ケレハ其奏效  
 愈著シト報告セリ

醫學士竹井成憲醫學士若杉喜三郎兩氏ハ肺結核ニ本品ノ效アルハ消化機能ヲ亢進セシメテ  
 身體ノ榮養ヲ旺盛ナラシムルヲ以テ效アリトノ多數學者ノ説ヲ贊シ竹中氏ハ丸劑トナシ或  
 ハ亞砒酸大楓子油ヲ加ヘ膠囊ニ容レ用ヒ效アリト

○亞砒酸〇、二 重曹〇、三四 結麗阿曹篤二五、〇 大楓子油五、〇  
 ノ者ヲ初メハ〇、二ヲ毎食後ニ投シ速ニ增量シテ一日一〇、〇ニ至ル  
 若杉氏ハ初メ少量ヲ與ヘ消化力ニ注意シ消化不良ヲ發セバ一時中止シ再ヒ試ミ尙本品ニ堪  
 ヘサレバ不適當者トシテ與ヘサルヲ可トス氏ハ本品ニ堪ユル者ト雖モ一日六、〇以上ニ達

結麗阿曹篤  
ノ皮下注射

聯合醫學會報告

スルハ往々吞酸、嗜睡、下痢ヲ來タシ喀血ノ度ヲ頻々ニスルガ故ニ注意スヘシト(第一回  
 結麗阿曹篤ノ皮下注射ノ用法 結麗阿曹篤ノ内用ハ屢胃ノ障礙ヲ起シ患者ノ堪ヘサル所ナ  
 ルガ故ニ之カ皮下注射ヲ行フニ至レリ即チギムベルト氏ハ阿列布油ヲ百二十度ノ熱ニ於テ  
 消毒シ之ニ結麗阿曹篤ヲ溶解シ結麗阿曹篤一分阿列布油十五分ノ油劑ヲ背部或ハ胸廓側部  
 ノ皮下ニ注射セシニ患者能ク之ニ堪ヘタリ此皮下注射ノ利益ハ稍大量ノ結麗阿曹篤ヲ體中  
 ニ輸入スルヲ得ベク皮膚ノ吸收甚速ニシ二三分時ヲ經レバ已ニ患者ノ口内ニ本品ノ味ヲ覺  
 ヘ且呼吸ニ本品ノ臭氣ヲ放ツ注射時ノ疼痛ハ微弱ニシ内用ハ胃ヲ害スルモ注射ハ然ラス且  
 胃腸炎ヲ起サス皮下注射ハ其用量ノ精確ナルヲ得ル等ナリギムベルト氏ノ皮下ニ注射セシ  
 分量ハ初メ一ト十五ノ比例ヲ以テ一回三箇之ヨリ漸次毎回一箇增量七箇ニ及ヒ二ヶ月間持  
 續シ其以後ハ一ト九トノ比例ノ結麗阿曹篤油ヲ注射ス可シ

ローゼンブッシュ氏モ結麗阿曹篤ノ皮下注射ヲ稱用セリ其法三%ノ甘扁桃油溶液ヲ二三日  
 間ヲ隔テ第二肋骨若シクハ肩胛棘上窩ニ注入スルニアリト

シエートリグ氏ハ可及的多量ヲ體中ニ輸入セント欲シ十四名ニ此注射法ヲ試ミ左ノ成績ヲ  
 得タリ即チ二十乃至三十%ノ結麗阿曹篤扁桃油四乃至一二、〇ヲ上腿或ハ腹壁ニ注入スル  
 ニ局處ニ於テモ毫モ惡徵ヲ呈スルコトナク毎日一、〇乃至一、五ヲ一ヶ月持續スルヲ得タリ此  
 藥ヲ注入スルトキハ熱候アル肺結核患者ハ大抵一度乃至二、五度ヲ下降セリ

結麗阿曹篤

結麗阿曹篤  
ノ氣管内注射

喉頭及肺結核ニ結麗阿曹篤或ハ「グアヤコール」扁桃油ノ氣管内注射 佛國醫ポター氏ノ報告ニ曰ク氣管及肺ノ粘膜ハ吸收力盛ニ消化器粘膜ノ吸收力ニ優レリ且ツ氣管内ニ蒸餾水及可溶性藥物ヲ注射スルニ善ク之ニ堪ユルハ實驗上既ニ明了ナル所ナリ予ハ此事實ニ基ツキ結核病ニ結麗阿曹篤或ハ「グアヤコール」ノ扁桃油溶液ヲ注射シタリ其法豫メ喉頭ニ古加乙涅水ヲ外用シテ知覺ヲ奪ヒ(或ハ此麻醉法ヲ施サ、ルモ可ナリ)次ニ適宜ニ彎曲シテ尖端ヲ有スル一管ヲ喉頭内聲帶ノ下方迄挿入ス此時輕キ聲門痙攣發作ヲ起スモ忽チ消散スルヲ常トス後チ一乃至二「プロセント」ノ「グアヤコール」或ハ結麗阿曹篤扁桃油ヲ右ノ管ヨリ注射スルヤ始メハ二三滴遂ニハ暫時ヲ經テ一頓ニ三乃至八立方「センチメートル」ヲ注射ス夫ヨリ毎日漸次注射量ヲ増加シテ遂ニ二十乃至二十五立方「センチメートル」ヲ注射スルニ至ル又右ノ如ク喉頭ニ一管ヲ挿入シテ注入スルノ代リニ外方ヨリ直チニ氣管内ニ穿刺シテ右ノ注射法ヲ行フモ可ナリ右ノ注射法ニハ患者善ク堪ユ予ノ此療法ヲ行ヒ得タル成績ハ甚タ佳良ニシテ患者ノ五十「プロセント」ハ全治シ三十乃至四十「プロセント」ハ大ニ輕快セルヲ實驗シタリ(此氣管内注射ノ一項ハ濟生學舍雜誌第六十號ヨリ轉載)

結麗阿曹篤乳劑ノ灌腸法 エルマン及ポッペル氏ハ此乳劑ヲ灌腸シ内用及注射ト異ナリ使用部ニ傷害ヲ生セズ患者能ク之ニ堪ヘ若シ下痢アルキハ之ヲ止ム故ニ内用ニ堪ヘサル者ニ之ヲ灌腸スヘシ

結麗阿曹篤  
ノ灌腸  
法

結麗阿曹篤  
ノ癩病ニ施  
ケル效用

右爲乳劑、半量ヲ灌腸スベシ  
○盧田順造氏ハ三名ノ腐敗性氣管枝炎ニ大量即局方ノ一日極量一、〇ニ超過スルヲ五滴ヲ用ヒ少シモ中毒症ヲ發セズ(三滴ヨリ漸次十三滴ニ至ル)二名ニ於テ意外ノ效ヲ得一名ハ病勢熾ニテ遂ニ死セリト報セリ

醫學士岡田和一郎醫學士宮本叔雨氏ハ結麗阿曹篤皮下注射ノ癩病ニ著效アルヲ東京醫學會ニ豫報シ醫學士山形仲藝氏ハ五人ノ患者ニ此療法ヲ施シ喜フベキ成績ヲ得タリト東京醫學會雜誌ニ報告シ屋葺熊七樋口繁二郎氏ハ皮下注射療法ノ效アルヲ岡山醫學會雜誌ニ報告シ醫學士田代義德氏ハ東京醫學會雜誌第九卷第六號ニ於テ七名ノ患者ニ實驗シ内四名ハ無効二名ハ故アリテ中止シ一名ハ有效ナリト報セリ用法ハ結麗阿曹篤阿列布油等分ノ者ヲ一日一筒乃至三筒宛(結麗阿曹篤一、〇—二、〇)又ハ其以上ヲ注射スルモ毫モ恐ルヘキ害ナシ注射器ハ法ノ如ク消毒シテ必ス皮下結締織中ニ注射シ絆創膏ヲ貼附スルノミニノ發炎スルヲナシ誤テ皮膚ニ入ルキハ壞疽ヲ發スルニ至ル

○「ドクトル」ホッフマン氏ハ一日十乃至二十五滴「ドクトル」イム、ベルト氏ハ一日〇、二乃至〇、四「ドクトル」ゾンメルブロート氏〇、七五醫學士吉益東洞氏ハ〇、五乃至〇、六ヲ極量トセリ日本藥局方ノ極量ハ一回〇、二—二日一、〇ナリ

(イ)結麗阿曹篤一、〇 龍膽丁幾二、五  
酒精二五、〇 「セリー」酒一〇〇、〇

右一日二三回一茶匙ヲ半蓋ノ水ニ加  
用ス屢結麗阿曹篤ノ量ヲ二、〇—三、

○ニ増加ス(肺癆)

(ロ)結麗阿曹篤三、〇 甘草根末五、七  
屈利設林〇、三  
右爲六十九、用法口授(每丸結麗阿曹篤〇、〇五ヲ含ム)(肺癆)

(ハ)純良結麗阿曹篤二〇、〇 再留酒精  
三〇、〇 健質亞那丁幾 咖啡丁幾 各  
一〇、〇 餽水一〇〇、〇  
右振盪シテ牛乳ニ和シ一日三回一食  
匙宛

(ニ)結麗阿曹篤四、〇 蜀葵末 甘草末  
各六、〇 亞刺比亞護謨漿適宜  
右爲百二十九一日三回六丸宛

(ホ)結麗阿曹篤一、〇 鉛糖 阿片 各〇、  
三 甘草末六、〇 亞刺比亞護謨漿適宜  
右爲五十九一日三回五丸宛(〇、一)  
(咳嗽下痢甚シキ時)

(ハ)結麗阿曹篤六、〇 甘草根末一、四  
屈利設林〇、六  
右爲六十九、用法口授(每丸結麗阿曹篤〇、一ヲ含ム)

(ト)結麗阿曹篤九、〇 甘草根末一七、一  
屈利設林〇、九  
右爲六十九、用法口授(每丸結麗阿曹篤〇、一五ヲ含ム)(肺癆)

(チ)結麗阿曹篤〇、〇五 篤留拔兒撒謨  
〇、一  
右爲膠囊卅個一日三回一乃至三箇宛

(リ)結麗阿曹篤 薄荷腦 各〇、〇二五  
黃蠟 甘草末 各適宜  
右爲一丸每食後二丸宛内服  
但シ漸次増加一日一、〇ニ達ス(第一  
醫院方肺癆)

(ヌ)結麗阿曹篤二、五 「サツカリン」〇、

一 汗油一〇〇、〇

○「ケレラソタール」(炭酸結麗阿曹篤ヲ見ヨ)

○「ケファイル」(又「カマ」)

滋養強壯劑

右一日二三回一茶匙乃至一食匙

古來「クミス」ト稱シテ飲料ニ供セル者アリテ魯領亞細亞ノ高地方ニ住セル牧民ノ衝動滋養料トセリ其化學的構成ニ從ヘハ「クミス」ハ亞兒箇保兒性醱酵ニ由レル馬乳ニ外ナラス即チ薰烟セル皮ヨリ製セル大ナル管或ハ木桶ニ新搾ノ馬乳ヲ注キ然ル後一種固有ノ醱酵素ヲ投スヘシ今ヤ醱酵スルキハ馬乳ニ多ク含有セル乳糖ハ「クリコーゼ」ニ變シ進テ酒精及炭酸ニ醱酵スルナリ又山羊、驢馬ノ乳ヲ以テシ或ハ牛乳ヲ用ヒ製スルヲ試ミタリ即チ牛乳、水及乳糖ニ少許ノ醱母ヲ加ヘ「クミス」ヲ製スルヲ得ヘシドユシヤルダンホーメ氏ハ此ノ如キ人工「クミス」ヲ左法ニ從テ製造セリ即チ乾燥醱母、砂糖末、攝氏二十五度ノ水各七、五ヲ一二時間自然ニ放置シ劇シキ醱酵ヲ發セル後十四度乃至十七度ノ乳汁ヲ振盪シツ、此混合物ニ混盪シ爆子ヲ閉塞ス四十八時ノ後、乳ノ醱酵ヲ完結スル者ナリ

○千八百六十七年「ドクトル」シボウイチュ氏ハ「クミス」ニ類セル飲料ヲ製シ之ヲ「ケファイル」ト稱シ清涼及滋養料トナセリ其後十年ヲ經テシユプロウスキ氏ハ「ケファイル」ニ就テ公ニセシモ未タ公衆ノ著目ヲ索ク能ハサリシ其後相次テ千八百八十一年エ、ケルン氏ウエ、エン、ジミトリエー氏詳ニ之ヲ報告シタリ千八百八十四年ハ、ストルフエ氏獨逸化學協會ノ報告ニ於テ此件ヲ提出シタル以來、著ク「ケファイル」ニ著目スルニ至レリ

「クミスト」  
「ケファイル」  
ノ關係

「ケファイル」  
ノ關係

從來「クミスト」「ケファイル」トノ關係ヲ明ニスルカ爲メ此兩物ハ乳汁ノ酸酵ニ同醸母ニ由テ製造スルモノナレド眞ノ「クミス」ハ馬乳ヨリ製スル者トス之ニ反シ「ケファイル」ハ牛乳ヨリ調製スルカ故ニ「ケファイル」ヲ名テ牛乳製「クミス」ト稱スルヲ穩當トス然リ而シテ「ケファイル」ヲ調製スルニハ牛乳ノ外尙、一種固有ノ「ケファイル」醸母ヲ要スルヲ以テ先之ヲ論述セン「ケファイル」醸母 カウカサスノ住民ハ一種固有ノ醸母ニ由テ「ケファイル」ヲ製セリ「ケファイル」ノ創製者ハ何レヨリ此ノ醸母ヲ得タルヤ全ク明ナラス元來、「ケファイル」醸母ハ尋常ノ醸母ニ外ナラザル者ト爲サ、ルヲ得ス千八百八十四年十二月エ、ケルン氏ハモスコウ府ノ帝國萬有學講究會ニ於テカウカサス人ノ用ユル新醸母ヲ報シ其ノ携帶セル「ケファイル」顆粒ヲ示セリ

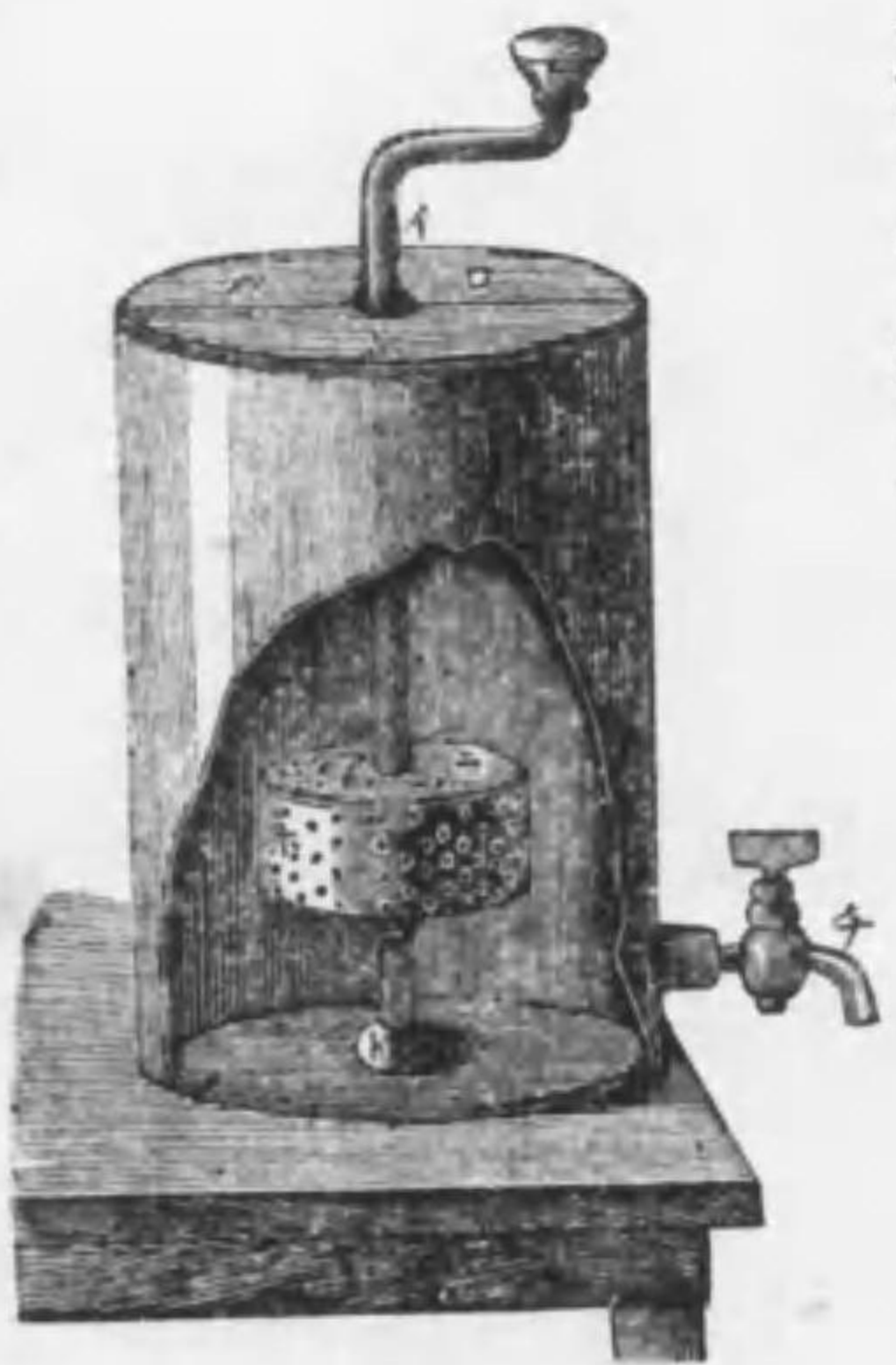
「ケファイル」  
ノ製法

此酵母ヲ顯微鏡下ニ檢スルキハ兩種ノ下等微菌ノ親密ニ混合セル者ニシテ則チ酸酵細胞「サッカミチエスチエレキインア、マイエン」及「パチル、ス」ニ屬スル一種ノ「バクテリア」ニシケルン氏ハ其兩端ニ於テ「スポーレン」ヲ形成セルカ爲メ「ヂスボラ、カウカシカ」ト名ケ此兩體ト共ニ尙ホ圓筒狀或ハ四角形ノ細胞ヲ發見ス  
「ケファイル」ノ製法 乾燥セル「ケファイル」塊ニ攝氏三十度ノ水ヲ注キ四五時間放置スルキハ其容積二三倍ニ膨大シ上面ニ浮遊ス今ヤ水ヲ洗去シ蒸留水ヲ以テ數回振盪スルニ由リ能ク結塊ヲ洗滌スベシ然ル後乾燥セル結塊ニ豫メ煮沸セル乳汁ヲ注キ二十度ニ放冷シ毎時一回此ノ混合物ヲ振盪シ上方ニ浮遊セル微菌ハ器底ニ沈降スルニ至ル、此法ヲ朝夕改新シ舊乳

「ケファイル」  
ノ製造器械

ヲ排除シ水ヲ以テ結塊ヲ清洗セル後新乳ヲ注加シ五乃至七日ヲ經テ混合物ノ臭氣ハ酸敗乳汁様トナリ「ケファイル」塊ハ上方ヘ上昇シテ充分ニ膨脹スルニ至ルベシ而シテ煮沸シタル後、二十度ニ放冷セル乳汁ニ乾燥セル顆塊ヲ注キ時々振盪シテ混合物ヲ半乃至一日放置シ羅紗ニ由テ濾過シ此液ヨリ毎七十五立方仙迷ヲ清淨ナル壘子ニ注入シ之ニ煮沸放冷(二十度)セル乳汁ヲ充タシ善ク閉鎖スベシ  
斯ク充實セル壘子ハ時々振盪シツ、十五度ニ過キサル温ニ於テ放置スルニ其内容ハ一日乃至三日ヲ經レバ食スルヲ得ベシ

第一圖



装嵌シ、開放シ得ル被蓋(ニ)ヲ具フ篩狀ニ穿孔セル器槽(ホ)ヲ附著スル者ナリ之ヲ以テスレバ簡單ニ「ケファイル」ヲ製スルヲ得ヘシ則チ「ホ」ノ器槽ニ順正ニ調製セル「ケファイル」醸母

ケファイル

本品ノ性状

ヲ充實スル後、(イイ)ナル罐内ニ乳汁ヲ入レ「ホ」ナル器槽ヲ把柄ニ由テ回轉運動ヲ起サシムルニ由リ釀母ハ之ヲ包圍セル乳汁ニ傳移スベシ數時ノ後運轉ヲ中止シ「チ」ナル嘴管ヲ經テ乳汁ヲ厚強堅牢ナル塊子ニ移シ容ルヘシ「ケファイル」釀母ノ製法已ニ論セル如ク「ケファイル」顆粒ハ乳汁中ニ發育スル「最良ク其發育ハ春夏ニ強盛ニシテ寒時ニ弱シトス屢、乳汁ヲ交換シ且注流スル「多キニ從テ益其發育熾盛ナリ毎日二三回乳汁ヲ交換スルキハ十四日內ニ釀母ノ量ハ倍加ス而シテ各顆粒ノ大サハ胡桃大ヲ越エザルヲ佳トス

**性状** 良好ノ「ケファイル」ハ外觀甚泡沫様ノ液ニノ爽快ナル酸味及新鮮乳皮様或ハ酪乳様ノ臭氣アリ沈下セル乾酪分ハ極テ微細乳糜様ノ分配ヲ呈シ舌上ニ凝塊ヲ認ム可ラス數時靜定後二液層ニ分ル、キハ塊ヲ靜ニ傾斜シ本來ノ「エムルジオン」ヲ再ヒ生出セシムベシ強烈ノ「ケファイル」ハ稍酸味濃厚ニシテ亦著ク炭酸ヲ含有ス

其飲料トナスニ至ルマテ成熟セルヤ否ハ閉鎖セル塊ニ於テ振盪スルニ發生セル泡沫ノ一二分時ニ消滅スルヲ以テ熱セル者トス

**應用及用量** 「ケファイル」ハ身體ニ向テ乾酪ヲ細微ニ粉碎セシメ著ク「ヘミアルブモーゼ」ヲ輸送スルヲ以テ緊要ナル滋養物タリ其内ニ含有セル炭酸ハ胃粘膜ヲ刺戟シ其他、亞兒簡保兒分ハ同時ニ全身ノ新陳代謝ヲ催起スルノ效アリ乳酸ハ適當ノ方法ニ於テ胃ノ官能ヲ補助シ此ノ飲料中ニ存セル「ジスボラカウカシカ」ハ蛋白消化ノ性質ヲ具フ「ケファイル」ハ營養障礙ニ歸スル所ノ諸狀況ニ稱用スル則チ貧血、羸瘦、脱力ナリ肺癆ニ於テハ一般狀況ヲ亢盛

血液粉末

スルモ本病ヲ治スル能ハス然レモ「ケファイル」療法ノ良效ハ速ニ體重ヲ増加スルニ由テ證明スヘシ又「ケファイル」ハ小兒殊ニ乳兒ノ營養ニ用ヒ得ル者トス之ヲ用ユルニハ始メ凡ソ三百瓦ヲ以テシ徐々ニ「リーター」半ニ增量シ食前暫時或ハ食後ニ一盞ヲ取ラシム而シテ一盞ヲ一齊ニ飲盡サスシテ間斷シテ嚥飲シ後チ少ク運動スルヲ可トス又注意スヘキ者ハ即チ弱「ケファイル」ハ通便ヲ催進スルモ強烈ノ「ケファイル」ハ却テ便秘ヲ致ス者トス「ケファイル」療法ヲ施行スヘキ時間ハ其善ク習慣シテ嚥飲シ美味ヲ覺フルノ際ナリトス若シ之ヲ嫌厭スルニ至ラハ之ヲ休止スベシ

○血液 *Blood*

近時屢血液ヲ治療上ノ目的ニ應用スルニ至レリ殊ニ血液散末則チ乾燥セル牡牛血ヲ用ユ之ヲ製スルニハ牡牛血ノ纖維素ヲ除キ四乃至五時間、蒸發器上ニ熱灼シ次テ溫暖ノ空氣ヲ流通シテ乾潤セシメタル者ニシテ赤褐色無臭ノ粉末ヲナシ水ニ全ク溶ケズ而シテ人工營養法ニ賞用シ萎黃病及衰弱狀態ニ應用ス小兒ニハ一日三回七、〇—八、〇大人ニハ二〇、〇—二五、〇ヲ每食時、水、酒精、乳汁、濃煎咖啡ニ加用セシム貧血及結核ニ血液ヲ服セシムレバ時トノ良效ヲ奏スル「アル」モ屢病者ハ大ニ之ヲ嫌厭スルヲ以テステワルト氏ハ新鮮ナル牡牛血液ノ纖維素ヲ除ケル者三分、麥芽越幾斯二分、屈利設林一分酒精一分ノ混合物ヲ賞用ス此混合劑ハ貧血、食思缺亡、消化不良、急性病恢復期ニ良效アリ一日三回初メ二十滴ヲ與ヘ後チ增量シテ每食時、三食匙ニ至リ小兒ニハ三乃至十滴ヲ

血液灌腸

血球色素丸

用ユ  
血液灌腸 アンチック氏ハ萎黃病ニ朝夕各百廿五瓦ノ纖維ヲ除ケル血液ヲ重湯煎上ニ温メ灌腸スルヲ賞用セリ而シテ之ヲ灌腸スルヤ病者ヲシテ可及的長ク存留セシムルヲ可トス微弱ノ疝痛ヲ發スルキハ三乃至四滴ノ阿片丁幾ヲ加フ可シ此療法ハ八日間之ヲ行ヒ次テ八日間休止シ再ヒ八日間灌腸シ爾後ハ益々休止時間ヲ増加ス○血球色素丸モ亦諸般ノ衰弱狀況ニ用ユ之ヲ製スルニハ纖維ヲ除ケル血液ニ五%ノ食鹽液ノ同量ヲ混シ十八時間乃至二十四時間五度ノ温度扁平ノ皿ニ溶シテ放置ス(夏季ニハ之ニ用ユル室内ニ「フェノール」霏散法ヲ行フ)此時間ヲ經テ上述ノ液ヲ灌瀉シ其沈澱ヲ濾紙上ニ取り之ニ半重量ノ糖末ヲ加ヘ五度ニ乾燥シ丸劑トナス

○「ゲルセミウム」 Gelsmium.

「ゲルセミウム、セムベルウイレンス」ノ根ニシテ神經痛ニ其丁幾(一分ト五分)ヲ用ヒ眼科ニ於テ其生藥ヲ痲麻質斯性虹彩炎、葡萄腫及虹彩脈絡膜炎ニ用フ但シ毒性アルヲ以テ注意ヲ加フ可シ丁幾十乃至八十滴、越幾斯○、二五—〇、五ヲ投ス

○「ゲルセミン」 Gelsminum,  $C_{24}H_{32}N_2O_4$

無形無色無臭ノ粉末ニシテ苦味アリ水ニ溶ケ難ク酒精ニ溶ケ易ク依的兒及嘔囉仿謨ニ甚容易ニ溶解ス神經痛ニ一回量〇、〇〇一ヲ與ヘ漸々増量ス可キモ一日量〇、〇六ヲ超過ス可ラズ  
○酒酸「ゲルセミン」ハ白色小板狀ニシテ水、酒精ニ甚溶ケ易シ

○「ゲラトール」(油、屈利設林、亞膠、水ヨリ成ル軟膏料)

○「ゲラチン」 Gelatine. (白膠)

止血劑

本品溶液ハ止血劑トシテ局所的例之鼻出血、水蛭ノ爲メ或ハ拔牙後ノ出血ニ用ヒ又動脈瘤、胃出血、咯血等ニ内用或ハ皮下注射トシテ諸家ノ賞用スル所ナリ(クルシユマン氏等)此報告ニ由リテメルク氏ハ左ノ「ゲラチン」溶液ノ用法ヲ賞用セリ

内服法 内部出血ニハ温暖ノ「ゲラチン」液(本品十分ニ水百分乃至二百分)ヲ用ヒ最危險ノ場合ニハ毎十五分時ニ一食匙ヲ與ヘ又危險少キ場合ニハ毎日四食匙ヲ一回ニ或ハ一日中ニ分服セシム或ハ「ゲラチン」〇、五—一、〇ノ量ニ分チ一日數回此分量ヲ每使用前ニ熱湯一二食匙ニ溶シテ用ヒシム

外用法 鼻出血ニハ下條ニ記セル處方ニ由リテ製シタル一乃至二%ノ温暖「ゲラチン」液二十乃至三十立方仙迷ヲ加温セル硝子注射器ヲ以テ鼻腔内ニ注入シ或ハ之ニ浸シタル綿球ヲ出血スル鼻孔内ニ挿入シ或ハ患者ヲシテ自ラ其手掌ニ本品ノ温暖液ヲ受容セシメ之ヲ兩鼻孔ニ吸引セシムルヲ最簡短トス

甚シキ月經時出血ニハ「ドクトル」シヤップル氏ハ本品溶液ニ浸シタル綿球栓塞ヲ賞讚セリ動脈瘤ニハ本品溶液二百立方仙迷ヲ臀部ノ皮下組織中ニ注射ス而シテ皮下注射ニ必要ナル液ハ先ツ「ゲラチン」二、〇—四、〇ヲ生理的食鹽液二百瓦ニ溶解シ殺菌法ヲ施セル後此液ヲ尙温メテ注射ス此注射ハ其必要ニ從テ種々ノ時日ヲ隔テ、反覆ス(二日—十日—十五日)



此注射ニハ太キ針管アリテ五十立方仙迷ヲ容ル、注射器ヲ用ユルヲ最簡易トス或ハ漏斗、  
 護尿管及針管ヲ具フル單純ノ食鹽水輸注器ヲ以テスルモ可ナリ此諸般ノ施術ニハ最嚴重ノ  
 防腐法ヲ行フ可キ者トス

「ドクトル」シユワーベ氏ハ重症腎出血ノ一患者ニ於テ他劑ノ效ナキ者ニ本品ノ二%生理的  
 食鹽液二十五瓦ヲ左右鎖骨下部ノ皮下ニ注射シ其後八日間毎日十%本品溶液一「リール」  
 ヲ内用セシメ止血ニ至ラシメタリ之ニ反シ「ドクトル」フロイドワイル氏ハ二名ノ出血性  
 腎臟炎ニ於テハ止血ノ爲メニ行ヘル本品ノ注射ハ雷ニ之ヲ亢進セシノミナラズ却テ蛋白質尿  
 ノ増劇ヲ來セリ氏ハ此實驗ニ由リテ本品ヲ止血劑トシテハ腎臟疾患ニ禁忌ス可シト云ヘリ  
 「ドクトル」ゴッスネル氏ハ頑固ノ腎臟出血ノ一例ニ本品ヲ皮下注射シ止血ノ良效アリシ  
 ヲ報セリ

此患者ハ數月來不明ノ原因ニ由テ血尿ヲ患ヒタリシガ膀胱鏡ニ由テ右輸尿管ヨリ血液  
 ノ漏ル、ヲ認メ膀胱頂ニ於テ潰瘍ヲ存セルヲ見タリシモ其性質ヲ確定スルヲ得サリキ  
 依テ出血性脱膜性腎盂炎(恐クハ結石性)ト診斷シ止血劑ヲ投シ又膀胱内ニ十%本品液  
 ヲ注入シタルモ無效ナリキ依テ上胸部ニ一回本品ヲ皮下注射セシニ(局部及一般ノ刺  
 戟状態ヲ誘發シタリキ)翌日ニ至リテハ三ヶ月來患ヘタル出血靜止スルヲ得タリト

「ドクトル」ハーン氏ハ八日間食物ト共ニ本品ヲ用ヒ腎臟出血靜止セリ毎日本品二百乃至二  
 百八十瓦ヲ用ヒタリ

肺出血ニ「ドクトル」ロビンソン氏ハ本品ヲ内用(四週間毎日肉羹汁二百二十瓦ヲ加エ)セシ  
 メ甚良效ヲ得タリ此患者ハ毎二三ヶ月ニ出血セシモ之ニ由リテ三ヶ月出血セサリキ

大動脈動脈瘤ニハペテルス氏ハ良效アルヲ見タリ即チ從來沃度那篤留護ヲ以テハ無效ナリ  
 シモ約二ヶ月間本品溶液及沃度那篤留護ヲ配伍シタル合劑ヲ内服セシメタルニ約其大サノ  
 半分ニ縮小シ(レントゲン光線ニ由リテ確定セラル)從テ搏動ノ強サヲ減少セリ

○「ゲナソート」 Genasol (縮草酸「グヤコール」)

本品ハ黄色ノ流動シ易キ油様液ニシテ微弱ノ苦味アリ酒精及依的兒ニ溶解ス二百四十度ニ沸  
 騰シ腐蝕性并ニ有害ノ性ナシ「ドクトル」リック氏ハ三年以來種々ノ病症例之萎黃病、妊婦  
 嘔吐、胃擴張、窒扶斯等ニ用ヒテ防腐及強壯ノ性能アルヲ見タリシカ其主效ハ獨リ結核ニ於  
 テ著明ノ局所及一般ノ作用アルノミナラス屢、合併シタル症即チ混合傳染ヲ來タス肺癆ニ  
 於テ存セリトスリック氏ハ結核患者二百十三名ニ用ヒタリ(即チ腺病二十九名、肺尖加答兒  
 百〇三名、増進シタル結核四十二名、化膿性腺結核五名、狼瘡二名、骨、關節、睾丸ノ結核十九  
 名、腦髓、腹部、一般結核十三名)而シテ其中治癒シタル者七十六名、輕快退院者七十三名輕快  
 シテ尙治療ヲ受クル者十七名輕快セサル者八名、狀況不明ノ者十名、死者二十九名(合計二  
 百十三名ナリキ)

肺尖加答兒ニ於テハ「ゲナソート」最著效アリ即チ百〇三名中四十二名即チ四〇、七%治癒  
 セリ本品ノ奏效ハ迅速ニシテ多クハ已ニ數日ニシテ現ハレ原發期ノ結核ニ於テハ多クハ三四週

ニシテ治癒シ咳嗽、盜汗、食思欠散シ喀痰減少シタリ許多ノ肺尖加答兒ニハ本品ヲ六ヶ月以上持續セリ

同氏ハ本品ヲ以テ管ニ無毒有用ノ防腐藥タルノミナラス特效アル結核劑ナリト稱スルヲ得ベシト云ヘリ

本品ヲ内用セシムルニ最良ナルハ〇、二及〇、四ノ膠囊トナスニ在リ肺癆ニハ決シテ一、八以上ヲ用ヒス最モ用ユル量ハ一、二ニシテ〇、二ノ膠囊六個或ハ〇、四ノ膠囊三個ヲ食後ニ投ス「腸防腐ノ目的ニハ多量ノ「ゲラソート」ヲ投スルキハ奏效ヲ期スヘシ腸室扶斯ニ於テハ一日量〇、六―一、二以上ニアラサレハ奏效セズリツク氏ハ膠囊二十乃至二十四個ヲ投シ病勢ヲ挫クコアリ」二歳以下ノ小兒ニハ一日三乃至五回二乃至五滴、二乃至八歳ノ小兒ニハ一日三乃至五回四乃至十滴ヲ粘滑物ニ加用ス若シ便中「グァヤコール」臭アルキハ用量ヲ減少スヘシ膠囊ヲ服スル能ハサル小兒及大人ニハ左方ニ處ス

(イ)「ゲラソート」五、〇―一五、〇 薄荷 酒精三〇、〇 薄荷油若クハ茴香油五  
精三〇、〇 一八滴

右一日三回十乃至二十滴ヲ乳汁、燕

麥漿、果汁、肝油ニ加用ス(二ヶ月乃

至十歳ノ小兒)

(ロ)「ゲラソート」一〇、〇―一五、〇 強 精 各一〇、〇 右一日三回十乃至十五滴

右一日三回五乃至二十五滴

(ハ)「ゲラソート」百露拔兒撒謨 再館酒

精 各一〇、〇

(ニ)「ゲラソート」 額草丁幾 葛斯篤留

謨 丁幾 各一〇、〇

右一日三回十五乃至三十滴

○血清療法 Serotherapia.

(一) 質布垚里血清 此血清ハ本文  
中ニ詳記セリ

(二) 鏈鎖狀球菌病治療血清 ヤルモローカ  
血清 *Serum antistreptococcicum.*

此血清ハ化膿性鏈鎖狀球菌ヲ人ノ血清及肉羹汁ニ培養シ次ヲ培養ヲ交換シテ動物體ヲ通過セシムルニ由リテ得タル者ナリ其效力ハ鏈鎖狀球菌ノ種類ノ異ナルト精密價值ノ決定ノ缺如セルト抗毒體ノ保存力僅微ナルトノ爲メニ同シカラス此血清ハ丹毒、猩紅熱、膿毒症等ニ試用セラル

(三) 驅梅毒血清 *Serum antisyphiliticum.*

此血清ハ第三期及第二期梅毒ノ患者ノ血液ヲ注入シタル動物ヨリ製造シタル者ナリ此血清ハ第二期及第三期梅毒患者ノ臀部ニ毎二日ニ二立方仙迷ヲ注入スベシ

モーレ氏ハ梅毒患者ニ發泡膏ヲ貼シ其水胞内容ヲ取リテ治療用ニ供セリ即チ一般療法トシテ注射シ局所療法トシテ下疳潰瘍ニ瘳法トシテ效アリト云ヘリ

(四) 破傷風治療血清 此血清ハ本文  
中ニ詳論セリ

(五) 結核治療血清 *Serum antituberculosis.* (マラグリアノ氏)

此血清ハ犬、驢馬及馬ニ結核桿菌ヲ接種シタル後其血液ヨリ採收シタル者ニ一立方仙迷中ニハ一千個ノ免疫單位ヲ含有シ體重一「キログラム」瓦ノ「メートル」シワイヘン」ニ對シテ最少ノ結核毒致死量ヲ防禦スル者ナリ毎二日ニ一立方仙迷ヲ皮下注入シ高热ニ於テハ一回量五乃至十立方仙迷ヲ皮下注入スベシ毫モ副作用アラズ

○(六)蛇毒治療血清 *Serum antivenereum* (カルメー氏)

此血清ハ毒蛇ノ毒ニ對シテ免疫シタル馬及驢馬ノ血液ヨリ得タル者ニシテ諸毒蛇ノ咬傷後半時間ヲ經タル者ニ尙效アリ而シテ可能的ニハ咬傷ノ上部ニ結紮ヲ施シ新ニ調製セル格魯兒石灰液(一分ト六十分)ヲ以テ創傷ヲ洗滌シ次ニ小兒ニハ十立方仙迷、大人ニハ二十立方仙迷、甚危険ナル毒蛇咬傷ニハ前量ノ倍量ヲ上腿ニ防腐法ヲ行ヒテ皮下注射シ患者ヲ摩擦シ且温暖ニ被包シ發汗性ノ熱飲料ヲ飲マシメ酒精及安母尼亞ノ使用并ニ咬傷部ノ腐蝕ヲ禁スベシ之ニ反シテ咬傷内部及其周圍ノ三乃至四所ニ上記ノ格魯兒石灰液ノ八乃至十立方仙迷ヲ注入シテ未タ吸收セラレザル毒ヲ撲滅スベシ

○拳參 (「イブキトラノヲ」)

本品ハ最收斂藥ニシテ用量二、〇—八、〇ナリ然レモ内用ニハ注意ヲ要ス且用ユルヲ稀ナリト云フ

○茯苓

本品ハ一種ノ菌蕈性發生物ニシテ漢醫ガ利尿劑トシテ四、〇—一二、〇ヲ用ヒタル者ナリ

○「グラニウム、マクララム」(收斂止血劑)

○「フェルラチン」 *Ferratin*

**性状** 本品ハ有機性鐵抱合物即チ「フェルリアルブミン」酸ニシテ七十%ノ鐵ヲ含有ス本品ハシユミードベルグ氏ガ豚肝ヨリ製出シタル鐵抱合物ト一致ス「フェルラチン」ハ赤褐色無臭無味ノ水ニ溶ケサル粉末ニシテ本品ニ酸類ヲ加フレバ鐵分ヲ放チツ、分解ス此不溶性製劑ノ外ニ尙溶解性製劑即チ那篤留膜「フェルラチン」アリ此品モ亦赤褐色ニシテ水ニ溶ケ易キ粉末ナリ其水溶液ニ石灰鹽ヲ加フレバ「フェルラチン」ハ「カルシウムフェルラチン」トナリ沈澱セラル

**作用及應用** 本品ハ比較的ニ容易ニ吸收セラレ且腐蝕作用ナキガ故ニ久シク持長スルモ善ク胃ノ堪ユル所ナリシユミードベルグ氏ハ小兒及春季發動期ノ處女、營養及血液製造ノ不足ナル徵アルモノ其他從來使用セル鐵劑ニ代テ萎黃病及貧血ニ強壯劑トシテ用ユ然レモ萎黃病ニハ他ノ鐵劑ヨリモ奏效セズ

**用量** 毎日〇、五ヲ散劑トシ一日二回ニ投シ小兒ニハ一日量〇、一—〇、五ナリ溶解性那篤留膜「フェルラチン」モ同量ヲ散劑又ハ溶液トナシ用ユ此溶液劑ハ石灰ヲ含マサル水ヲ以テ調劑シ且乳汁或ハ他ノ流動性食品ヲ加フベシ

○「フェルラトローゼ」 *Ferrulose*

本品ハ有機性鐵劑即チ「フェルラチン」ノ暗褐色ノ溶液ニシテ爽快ノ味アリ近時諸家ハ貧血及

衰弱状態ニ賞用ス一食匙中ニ鐵〇、〇五ヲ含ム一日三回食後一食匙宛、小兒ニハ一日三回一茶匙ヲ投ス

○「フエリチン」(牛膽ヨリ製セル無臭ノ石鹼、凍瘡ニ朝夕塗布ス)

○「フエルロスチブチン」*Ferrostylin*.

止血劑

本品ハ暗黄色結晶性ノ粉末ニシテ水ニ溶ケ易シ此水溶液ハ透明褐色ニシテ皮膚及襪衣等ヲ汚染スルコトナシ本品ハ止血ト防腐ノ效ヲ併有シ之ヲ用ユルキハ血液ヲ凝固スルノミ長ク局部ニ觸ル、モ毫モ腐蝕及結痂ヲ生セス陰部ノ出血、鼻出血、咽頭、齒齦ノ出血、血尿、小出血アル創傷等ニ外用ス(撒布シ又ハ子宮或ハ腔ノ洗滌ニハ十乃至四十%ノ溶液)内用ニハ大人ニ〇、三—〇、五ヲ投ス

○フロム氏「エルゴチン」*Frow's Ergotinum*.

從來麥角製劑ニハ其效力確實ナラサル者多ク實地家ノ大ニ歎息セル所ナリ諸多ノ研究家殊ニコーベルト氏ハ如何ナル物質ガ果シテ麥角中ノ有效分ナルヤヲ檢セシガ其報告ニ由レバ麥角中ヨリ「エルゴチン」酸「スバセリン」酸及「コルヌチン」ヲ發見シ此「コルヌチン」ヲ唯一有效ノ物質トセリ次テケッレル氏モ「コルヌチン」ヲ有效分ト決定シタリケッレル氏ハ世ニ販賣セラル、麥角劑中ノ「コルヌチン」含量ヲ檢定セシニ六種ノ製劑中已ニ〇、〇九五—〇、二四五%ノ差アリ麥角劑ノ效力一致セサルハ此「コルヌチン」含量ノ不同ニ由ルモノトセリ

茲ニ於テフロム氏ハ藥局方ニアル麥角劑ハ「コルヌチン」量極テ少クシテ其效力殆ト皆無ナルヲ發見シタルカ故ニ「コルヌチン」含量多クシテ醫治效用上不良ノ作用アル「スバセリン」酸及「エルゴチン」酸ヲ除去シタル新製劑ヲ製出セリ

フロム氏「エルゴチン」ハ通常ノ麥角製劑ヲ精製シテ流動性麥角越幾ストナシタル者ニシテ其效力常ニ同一ニシテ確實ナリ貯藏ニ耐ヘ味不快ナラズ有毒ノ副作用ナシフロム氏「エルゴチン」一分ハ麥角五分ニ當リ從來販賣ノ麥角劑中最モ「エルゴチン」ニ富メリ

「ドクトル」アルノルドコールドマン氏ハ産科婦人科ニ於テハ麥角ハ必要ノ藥ニシテ多クハ之ニ代用スヘキ品ナシ殊ニ陣痛催進ト止血ニ於テ然リ就中フロム氏「エルゴチン」七滴ヲ和シタル液ヲ用ヒシニ子宮收縮ヲ増進シ且陣痛微弱ヲ治シタルコト少カラズ同氏ハ此量ヲ一回又ハ二回使用シタルニ陣痛漸次増強シ徐々ニ胎兒分娩ヲ來タシ胎盤ノ排出時ノ出血モ比較的少量ニシテ他ノ手術ヲ要セズ分娩後子宮收縮モ佳良ニシテ大出血ナク分娩時及産褥ニ於テモ不快有害ノ副作用ナカリキ

同氏ハ本品ニ由リテ陣痛微弱ニ由ル胎盤ノ殘留ヲ除去シタルコト少カラズ又二例ノ重症大出血患者殆ト頻死ノ者ヲ子宮收縮ト止血トニ由リテ救助シ得タリ輕症ニハ五六滴ヲ水ニ滴シテ半時ゴトニ二三回服セシメテ可ナレハ大出血ノ際ニハ皮下注射ヲ行ヒテ虚脱ニ陥ラントスルヲ救ヒタリ即チ其一例ニハ〇、二宛ニ回注射シ他ノ一例ニハ同量ヲ三回注射セリ此二例ハ恢復時ニ樟腦ヲ皮下注射セリ

氏ハ難産者(自然カ又ハ手術ニ由ルトヲ問ハス)ノ分娩後ニ本品ヲ投セリ(フロム氏「エルゴチン」一、〇水一〇〇、〇橙皮含二〇、〇ヲ毎二三時一食匙内用)

クイツトハウエル氏ハ流産後ノ出血ニ本品ヲ與ヘテ效ヲ得タリ又コールドマン氏モ同效ヲ收メタリ

其他同氏ハ子宮癌ノ手術ス可ラサル者二例ニ溶液又ハ丸劑トナシ與ヘ止血ト鎮痛ノ效ヲ得タリ又筋腫患者ニモ之ヲ用ヒテ可ナリ其他子宮反射ヨリ來ル子宮出血、月經過多症、子宮周圍炎、附屬器ノ疾患ニモ良效アリ

ライレンブルグ氏ハ血管運動神經ニ起因スル神經症、神經痛、頭痛及バセドウ氏病ニモ本品ヲ皮下注射セリ

通常用量ハ二、五ヲ桂皮水二〇〇、〇ニ加ヘタル者二三食匙ヲ用ヒ又ハ〇、二一〇、三ヲ一回注射スルキハ出血全ク止ミ十分收縮ス(一回ノ極量ハ〇、四ニノ一日極量ハ一、五トス)

鎮靜藥

○貌魯謨水素酸 *Acidum hydrobromicum.*

透明無色無臭ノ液ニシテ強酸味アリ貌魯謨加里ノ如キ良好ナル鎮靜藥ニシテ頭痛、半面痛ノ耳鳴及齒痛アル者并ニ不眠及癲癇ニ其稀薄液十滴ヲ食後十五分時ニ與ヘ癲癇及酒客ニハ大量ヲ與フ可シ

○貌羅謨水素酸「スコボラミン」 *Scopolaminum. C<sub>17</sub>H<sub>21</sub>NO<sub>4</sub>·HBr.*

性状 貌羅謨水素酸「スコボラミン」ハ顯著ナル無色八面形結晶ニシテ本品百分ハ硫酸上ニ

於テ百度ニ至レバ重量約十二、三分ヲ失フ又硫酸上ニ乾燥シタル本品ハ百九十度ニ及ヒ熔融ス本品ハ水及酒精ニ容易ニ溶解シテ無色ノ液トナリ藍色「ラクムス」紙ヲ微ニ紅變シ苦カク且把搔様ノ味アリ依的兒及嘔囉仿謨ニ於テハ唯僅ニ溶解ス本品ノ水溶液(一分ト六十分)ハ硝酸銀ニ由テ黃色ニ沈降セラレ曹達滴汁ヲ加フレバ白色ニ濁濁スルモ安母尼亞液ニ由テハ變色セズ本品〇、〇一瓦發煙硝酸五滴ヲ陶器皿ニ容レ重湯煎上ニ蒸發スルキハ其放冷後酒精性加里滴汁ヲ注ギ紫色ヲ呈スル所ノ微黃色ノ殘物ヲ殘ス本品ヲ空氣中ニ熱灼スルキハ殘物ヲ殘サス燒盡ス」注意シテ貯フベシ

作用及應用 エ、シユミット氏ノ検査ニ由レバ販賣ニ供セラレ且從來治療上ニ用ヒラレタル「ヒヨスチン」製劑ハラデンブルグ氏製「ヒヨスチン」ニ非ラスノ皆「スコボラミン」

ヨリ成ル者タルヲ確定セラレタリ故ニ文籍上ニ「ヒヨスチン」ノ生理的作用及治療的應用ニ關スル事項ハ凡テ「スコボラミン」ニ適合ス以上ノ理由ニ由リテ獨逸藥局方委員ハ局方中ヨリ貌羅謨水素酸「ヒヨスチン」ノ條文ヲ抹殺シ之ニ代ユルニ貌羅謨水素酸「スコボラミン」ヲ以テセリ

甚稀薄液ヲ點眼スルキハ瞳孔散大ヲ發スレールマン氏ニ由レハ本品ハ亞篤羅必涅ヨリモ其作用約五倍強シト雖モ其最濃厚ナル者モ作用ノ持續時間ハ亞篤羅必涅ヨリ甚短シ(イルリッヒ氏)本品ハ眼内壓ヲ亢進セサルヲ以テ亞篤羅必涅ニ異ナリトス又「スコボラミン」ハ亞篤羅必涅及「ヒヨスチン」ノ如キ副作用ヲ具ヘスト稱スル說ハ輕々信用ス可ラス本品ヲ内用シ

或ハ皮下注射スルモ大脳皮質ノ興奮性ヲ減退スルヲ以テ亞篤羅必涅ト區別スヘシ本品ハ散腫薬トノ特ニ亞篤羅必涅ヲ用ニ可ラサル症及眼内壓ノ亢進ヲ避ケサル可ラザル症ニ點眼スヘシ皮下注射及内用ニハ鎮靜薬トノ興奮性精神病ニ應用セラル但本品ハ催眠ノ效ナシ

**用量** 點眼料ニハ〇、〇一〇、〇二ヲ縮水一〇、〇ニ溶シタル者トス皮下注射及内用ニハ〇、〇〇〇一—〇、〇〇〇五ナリ(極量一回〇、〇〇〇五 一日〇、〇〇二)

防痼藥

○「**貌羅謨**」アミツド(神經痛薬トメ〇、六ヲ投ス)  
○「**フルオル**」水素酸 *Acidum hydrofluoricum*.

坊間販賣スル「フルオル」酸ハ瓦斯狀ノ「フルオル」水素ヲ水ニ溶解セル者ニ強ク發煙シ且腐蝕スル性アリ此酸ヲ用ユルニ當リ大ニ謹慎ヲ加フベシ蓋シ此蒸氣ハ毒性アリテ死ヲ招ケハナリ近時其防腐作用ヲ具フルヲ以テ肺結核及實布埜里ニ吸入セシメ良效アリ則チ六立方「メートル」ノ室内ニ於テ一五〇、〇ノ「フルオル」酸及二〇〇、〇ノ水ヨリ成ル液ヲ護謨管ヲ經テ唧筒ニ由リ氣中ニ送リ一時間此室内ニ留ラシムルニ在リ

知覺麻酔藥

○「**フルオル**」安母紐謨(解熱劑及截瘡劑)  
○「**フェニール**」醋酸(肺結核及窒扶斯ニ用ユ)  
○「**フェニール**、**プロピオン**」酸(肺癆ニ〇、〇五—〇、一五ヲ用ユ)  
○「**フェニロン**」(安知必林ノ別名)  
○「**貌魯謨化**」エチール *Aethylum bromatum*. C<sub>11</sub>H<sub>16</sub>Br. 貌魯謨化依的兒

本品ハ光線ヲ屈スル無色ノ流動シ易キ比重重キ液ニシテ嘔囉仿謨様香氣ト灼様ノ味アリ水ニ溶ケサルモ酒精、依的兒、嘔囉仿謨、脂肪油及依的兒性油ニ溶解ス本品ハ容易ニ發火セズ○本品ノ蒸氣ヲ吸入スレバ依的兒ノ如ク知覺脫失ヲ起ス者ニシテ脈搏呼吸初メハ疾速トナリ次テ緩徐トナリ血壓下降ス而シテ本品ハ嘔囉仿謨ヨリモ速ニ麻酔ヲ起スモ(已ニ半分乃至一分間)亦速ニ醒覺スルヲ以テ一分ヲ經レハ更ニ吸入セシムルヲ要スルナリ本品ハ十分乃至十五分以上麻酔スルコトナシ神識ハ其麻酔間ニモ存在スレモ疼痛ヲ感スルコトナシ筋ノ緊張ハ麻酔間ニ存在ス故ニ本品ハ十分乃至十五分以上ヲ要セサル小手術即チ切開、異物ノ除去、拔牙近時ハ婦人科ノ小手術例之子宮ノ搔爬術ニ吸入セシム其麻酔ニ必要ノ用量ハ五乃至三十瓦ナリ又歇私的里及癩痢ニハ布片ニ四、〇—六、〇ヲ滴シ吸入セシメ内服ニハ五乃至十滴ヲ糖ニ加ヘ或ハ稀酒精ヲ加ヘ又ハ膠囊ニ包ミ投スヘシ○醫師ハ貌羅謨化「エチール」ヲ以テ有毒ノ貌羅謨化「エチーレン」ト誤ル可ラス○光ヲ防キ注意シテ貯フベシ

醫學士高橋金一郎氏ハエスマルヒ氏假面ニ由リテ本品ヲ患者ニ吸入セシムルニ醒覺スルコト甚早キカ故ニ手術ハ頗ル快速ナルヲ要ス一人ニ二〇、〇以上ヲ要スルコトナシ是レ麻酔及醒覺共ニ嘔囉仿謨ヨリ速ナルヲ以テナリ疼痛、神識、觸覺共ニ同時ニ麻酔スト云フ外科小手術ニ用ユルニ一回モ危險症ヲ發スルヲ見ス香氣ハ酒精ニ似テ甚シカラサルカ故ニ嘔囉仿謨ヨリモ吸收シ易シト七名ノ病牀日誌ヲ掲ケテ本品ノ有效ナルコトヲ中外醫事新報第三百八號ニ報セリ

痲痛劑

分解シタル貌魯謨「エチール」ヲ鑑識スルニ「ドクトル」ルドルフドルン氏ハ左ノ單簡ノ法ヲ用ヒタリ即チ本品分解スルキハ最初ニ極テ有毒且有善ナル貌羅謨、水、素、酸ヲ生ス（此ハ證明シ易キ者トス）濕潤シタル藍色「ラクムス」紙ヲ紅變セザルキハ本品分解セサル者ニメ之ヲ使用スルモ害ナシ若シ貌羅謨水素酸アルキハ藍色「ラクムス」紙上ニ其分解ノ度ニ應シテ著シク紅點ヲ生ス故ニ此酸性反應ヲ呈スル本品ハ痲醉ニ使用ス可ラズ

「ドクトル」エーゲル氏ハ一回ノ痲醉ニ一〇、〇—一五、〇以上ヲ用ユ可ラザルヲ切ニ賞讃セリ何トナレハ氏ハ大量（例之、一回ニ三十瓦ヲ吸入セシメタルキ）ノ後虛脱及蒼青色ノ如キ頗ル危險ノ偶發症ヲ發スルヲ見タレバナリ

○貌羅謨化「エチール」*Aethylenn bromatum. C<sub>2</sub>H<sub>4</sub>Br<sub>2</sub>*

本品ハ無色揮發シ易キ液ニシテ強ク光線ヲ屈折シ嘔囉仿謨様ノ臭氣ト甘味アリ沸騰點ハ百三十一度ニシテ比重ハ攝氏二十度ニ於テ二、一七〇ナリ光ヲ遮リ注意シテ貯フベシ

本品ハドナート氏ガ痲劑ニ賞用セル者ニシテ大人ニハ一日三回〇、一—〇、二ヲ油溶液トナシ與フルヲ最良トシ又ハ扁桃油ト共ニ膠囊ニ混シ投スベシ此製劑ハ貌羅謨化「エチール」ヨリモ著ク毒性アリテ殊ニ腸粘膜炎ヲ刺戟スルヲ甚シキ者タリ

痲醉及解熱劑

○貌羅謨安知歇貌林 *Bromantifebrin* 「モノプロムアチエタニリツド」

本品ハ白色光輝アル針狀ノ小結晶ニシテ無味ナリ百六十五度ニ溶解ス本品ハ貌羅謨ノ鎮靜作用ト「アチエタニリツド」ノ解熱作用トアリ三又神經痛、神經炎、健麻質斯ニ〇、一五—〇、七

鎮靜藥

○貌羅謨金 *Aurum monobromatum.*

五ヲ投ス但治療上ニ試用セラル、ト未タ多カラズ

貌羅謨金ハ帶黃灰白色ノ破碎シ易キ物質ニシテ水ニ溶ケズグウベル氏ニ從ヘバ本品ハ痲劑ニ對スル最良劑ニシテ頗ル速ニ奏效シ發作ノ間歇時ヲ増加シ且毫モ貌羅謨中毒症及消化不良、智力并ニ淫慾減退ヲ來サズ又同氏ハ偏頭痛ニ賞用スルニ發作善良ニ趣ク若シ偏頭痛發作ヲ發セバ速ニ〇、〇〇三ヲ半蓋ノ水ニ加ヘ服セシムルモ其後半時ヲ經テ尙發作アルキハ前量ヲ與フ可シ二ヶ月ノ後ハ發作確然閉止スル者トス

鎮靜藥

○貌羅謨仿謨 *Bromofornium. CHBr<sub>3</sub>* 三貌羅謨「メタン」  
三貌羅謨「ブアルミーレ」

性状 本品ハ澄明無色ノ嘔囉仿謨臭アル液ニシテ水ニハ甚僅ニ溶解シ酒精及依的兒ニ容易ニ溶解ス比重二、五ニシテ沸騰點ハ一五二度ナリ光ニ遇ヘバ分解シテ變色ス其紅色ヲ呈スルモノハ用ユ可ラス

應用 本品ハ嘔囉仿謨ニ似タル作用アレバ實地上ニハ吸入痲醉藥トナシ用ユルニ適セズ内用及皮下注射ニハ睡眠及ビ知覺痲醉ヲ起ス動物試驗ニ於テハ體重每一機瓦ニ〇、一四（皮下注射）ヲ死量トシテ確定スルヲ得ベシ近時ノ實驗ニ由レバ已ニ少量ニシテ痲咳ノ經過ニ甚良效アリ本品ノ内用ハ頻回ニ投スベシ

貌羅謨化エチールン 貌羅謨安知歇貌林 貌羅謨金 貌羅謨仿謨

小兒ニ於テハ一、〇、六、〇ヲ内用スルモ已ニ中毒ヲ發スルヲアリ即チ其症狀ハ麻酔、知覺  
脫失、蒼青症、牙關緊急、體溫下降、初起ノ肺水腫等ニシテ呼吸ニ阻礙ヲ加シ、  
ニ於テハ善良ノ空氣ヲ通シ待期療法ヲ施スベシ大量ノ中毒ニハ人工呼吸法、興奮劑ノ應用、  
依的兒及樟腦ノ皮下注射ヲ行フ

實地上本品ヲ瘧疾ニノミ應用スベキ者ニシテ頗ル發作ノ度數及持續ニ良效アリ又精神病ノ鎮  
靜劑トシテ用ユレモ蛇足タリ

**用量**

滴劑トナシ食後ニ投スルヲ佳適トス其量左ノ如シ

第一歳ノ小兒 一日三回一乃至三滴

第二歳乃至四歳ノ小兒 一日三四回三乃至四滴

第五歳乃至八歳ノ小兒 一日三四回四乃至六滴

即チ必要ノ滴數ヲ一咖啡匙ノ水ニ加フルニ本品ハ水底ニ沈ンテ小球ヲ爲スヲ以テ宜シク注  
意シテ此小球ヲモ嚙下ス可シ又此藥瓶ヲ患兒ノ近傍ニ置ク可ラズ蓋シ從來招キタル中毒ハ  
患兒ハ知ラスノ藥瓶ヲ採リ之ヲ盡ク飲用スルニ由リテ發シタレバナリ大人ニハ一日二三回  
〇、五ヲ膠囊トナシ投ス

(イ) 貌羅謨仿謨 五、〇

右黑瓶ニ入レ一日三四回二三滴 (第一

歳小兒ノ瘧疾)

(ロ) 貌羅謨仿謨 屈利設林 各五、〇 酒

精二〇、〇

右黑瓶ニ容レテ一日ニ三四回六滴乃至

八滴ヲ服用セシム可シ

(第一歳乃至三歳小兒ノ瘧疾)

(ハ) 貌羅謨仿謨十滴 酒精四、〇 水一

〇〇、〇 單舎一〇、〇

右每一二時二小兒匙

(ニ) 貌羅謨仿謨 〇、五

〇「プロマリン」 Bromalinum.

本品ハ無色ノ小葉片或ハ白色ノ粉末ニシテ味ナシ、水ニ溶解ス臭剝ニ代用スバルデット氏ハ  
鎮靜藥トシテ婦人及小兒ニ賞用セラレフエアー氏ハ癲癇ニ用ヒタリ臭剝ヨリ效力弱キモ副  
作用ナシ一回ニ一、〇ヲ用ヒ一日量八、〇マテトス

〇「プロミピン」 Bromopin. 貌羅謨胡麻油

本品ハ黄色ノ油様味アル液(十%若クハ三十三、<sup>1</sup>/<sub>3</sub>%ノ貌羅謨ヲ含ム胡麻油) ニシテ脂肪油ノ  
如キ性質アリ本品一食匙即チ一五、〇ハ貌羅謨一、五(臭剝二、二三ニ同シ)ヲ含ミ一茶匙即  
チ三、五ハ貌羅謨〇、三五(臭剝〇、五ニ同シ)ヲ含ム本品ハ不快ノ副作用ナキヲ以テ他ノ  
貌魯謨亞兒加里ニ優レリ」神經病、殊ニ癲癇、舞蹈病、船暈症、神經衰弱ニ於テ貌羅謨鹽ニ代  
用ス一日二三茶匙ヲ用ユ但シ癲癇ニハ五乃至八茶匙ヲ投ス調味物トシテハ半盞ノ麥酒ヲ一  
回量ニ加ヘ又ハ本品百瓦ニ薄荷油五滴ヲ加フ

鎮靜藥



○「プロモコール」 Bromocoll 二親魯單膠

本品ハ帶黄灰白色無臭無味ノ粉末ニノ二十%ノ親魯謨ヲ含ミ水及稀酸類ニ溶解セズ亞兒加里性液ニ溶解ス有害ノ副作用ナシ

本品ハ神經性疾患、生殖器性神經衰弱、妊婦ノ嘔吐ニ於テ鎮靜及催睡劑トシ臭剝ニ代用ス創傷療法ニ於テ軟膏殊ニ二十%「プロモコール」レゾルビントシテ外用ス又著シク癢痒鎮靜ノ效アルヲ以テ陰門癢痒、毒麻疹、赤色苔癬、濕疹ニモ使用ス内用ニハ一日一、〇—五、〇ヲ散劑又ハ錠劑トス

醫學士黒田尙寛氏ハ本品ヲ各種ノ癢痒性皮膚病ニ用ヒテ常ニ著效ヲ得タリ左方ヲ貼スルニ患者爽快ヲ感シ塗布後乾燥シ易ク綑帶スルニ及ハス

○「プロモコール」 酸化亞鉛 各一〇、〇 トラガント護謨五、〇 屈利設林二、〇 水一〇〇、〇

右泥膏トス外用(土肥氏「プロモコール」泥膏)

又氏ハ腋窩ニ貼スルニ際シ本劑ノ汗液ノ爲メニ流出スルヲ防止スルカ爲メ「タンノフォルム」ヲ加ヘタリ

○「プロモコール」一〇、〇 「タンノフォルム」一〇、〇 亞鉛華一〇、〇 澱粉二、〇 豚脂五〇、〇

右外用

又別ニ可溶性「プロモコール」 Bromocollum Solubile. アリヨセフ氏ハ之ヲ震盪劑トシテ用ユルヲ可トセリ即チ

○可溶性「プロモコール」五、〇—一〇、〇—二〇、〇 亞鉛華 澱粉 各二〇、〇 屈利設林三〇、〇 水一〇〇、〇

右用時震盪シ外用ス之ヲ皮膚ニ塗布スレバ十分乃至十五分ニシテ乾燥附着シ綑帶ヲ要セズ

○「プロモール」 Bromol.  $C_6H_5Br_3HO$ . 「三親魯謨」

**性状** 本品ハ白色ノ結晶樣粉末或ハ絹絲樣光輝アル結晶ニシテ親魯謨臭アリ九十五度ニ溶解シ水ニハ殆ト溶解セス酒精、依的兒、嘔囉仿謨其他屈利設林、脂肪油、依的兒性油ニ溶解ス甘味收斂樣ナリ光ヲ防キ注意シテ貯フベシ

**作用及應用** 本品ハ石炭酸ヨリモ強キ防腐力アリ之ヲ新創面ニ外用スルキハ灼熱ヲ起シ腐蝕シ肉芽アル創面ヲ刺戟シ無力性肉芽ヲ興奮シ結核ニ良能アリ壞疽ニ於テハ消毒性アリテ其脱落ヲ催ス又創傷療法ニ使用シ實布淫里ニ塗布ス本品ヲ内用スルモ胃液ヨリ溶解セラレズ腸ニ至リ始テ漸々溶解スルヲ以テ腸ノ消毒藥トシテ室扶斯、夏季下痢、小兒ノ吐瀉症ニ賞用ス本品ハ三親魯謨化「フェノール」硫酸トナリ尿ヨリ排泄セラル

**用量** 撒布末ニハ純品或ハ滑石ト混和シタルモノヲ用ヒ又油溶液トナスニハ一分ト十分ト軟膏ニハ一分ト十分ノ者「實布淫里」ノ塗布ニハ一分屈利設林二十五分ノモノヲ用ユ〇内

用ニハ一回〇、一〇、五ニノ散劑ヲ「ラブラート」ニ包ミ又ハ丸劑トシテ投ス小兒ニハ〇、〇〇五〇、〇一五ナリ

○「プロモール」〇、一〇、〇 白糖五、 〇「プロモール」一、〇 蠟軟膏一〇、〇

右外用綿帶料

右均分シテ十包トス

○「ブルチン」(ス篤里幾尼涅ノ效アリ一回量〇、一ニノ一日量〇、二ナリ)

○「ブリオニア、アルバ」(肋膜炎ニ用ユ又止血劑トス)

○「ブルラ、グケル」(利尿劑及鎮痙劑トシテ痛、淋疾、遺精ニ投ス)

○「ブルシン」(酸(止血藥))

○「ブルサ、バストリス」(止血藥)

○「フルオルフォルム」(知覺脫失劑)

○「フルチレスチエイン」 *Fluorescinum* 「フタルチン」  $C_{20}H_{12}O_8 \cdot H_2O$

**性状** 本品ハ帶黃紅色ノ結晶性粉末ニシテ水ニ溶ケス亞兒加里ト共ニ結合シテ鹽類ヲ生シ水中ニ投スレハ黃色ヲ呈シテ溶解シ綠色ノ螢石彩ヲ放ツ

**應用** 本品ノ二%亞兒加里液ヲ眼内ニ點滴スルハ角膜上皮ノ缺損セル場合ニハ唯其部分ノミ著色スルヲ以テ確然角膜上皮ノ缺損アルヲ斷定スルヲ得セシム

○「フェルリピリン」 *Ferripyridin* 「フェルロ」(格魯兒鐵安知必林)

眼科診斷用

強壯及收斂

本品ハ格魯兒鐵ト安知必林トノ化合物ニシテ六十四%ノ安知必林ト十二%ノ鐵分トヲ含有ス橙黃紅色ノ粉末ニシテ冷水五分ニ暗紅色ヲ以テ溶解シ熱湯ニハ僅ニ溶解ス出血ニ内用セシメ腐蝕セサル止血藥トシテ出血スル創面ニ綿球ニ浸シテ填充シ其他淋疾ニ用ユシアヤフェル氏ハ生殖器出血、實質性出血ニ賞用セリ本品ハ止血作用ト共ニ收斂性及鎮痛作用アルヲ以テ腔炎、子宮内膜炎ニ頗ル效アリ又流産及分娩後ノ出血、出血性子宮内膜炎、月經過多ニ賞用セリ

ペウニッキー氏ハ耳科ニ賞用セリ即チ耳ノ深部ニ於テ凝結物ヲ生成スルヲ以テ中耳粘膜炎ノ肥厚シタル者モ吸收作用ヲ營ム者トセリ其他急性加答兒性及化膿性穿孔性中耳炎、慢性化膿性中耳炎、慢性耳漏ニノ鼓室ノ肉芽或ハ茸腫アル者ニ用ユ

淋疾ニハ一、五%ノ溶液トシ綿球ニハ二十%ノ液、收斂劑トシハ一、一、五%ノ液ヲ灌注シ其他撒布劑トシ淋毒性腔炎ノ疼痛アル者ニハ吹入ヲ行フ」甚シク出血シ且分泌及疼痛アル手術ス可ラサル癌腫ニハ一回量〇、二、〇、三ヲ内服セシム

耳科ニ於テペウニッキー氏ハ一、二十%ノ液ヲ「ビベット」ニ由リテ點耳セリ而シテ化膿少許ナルハ綿花ヲ挿入シ其甚シキハ二%硼酸液ニ浸シタル綿紗片ヲ挿入スベシ

内用ニハ〇、〇五ヲ一日三乃至四回與フベシ鐵劑トシテ萎黃病、收斂劑トシテ慢性腸加答兒ニ賞用セラル〇本品ニハ腐蝕亞兒加里及炭酸亞兒加里、沃度加里、單寧及單寧酸含有劑并ニ類鹽基鹽ヲ伍用スルヲ禁忌スベシ

フルチレスチエイン フエルリピリン

○「フェルリピリン」〇、六 水一八〇、〇  
橙皮舎二〇〇、〇

右一日三回一食匙(萎黃病)

○「フェルリピリン」〇、六 稀鹽酸五滴

百弗聖五、〇 水二〇〇、〇

右每食後一食匙 (萎黃病ノ消化不

良)

○「フェルラトゲン」Ferrugen (含鐵、スクレイン)

本品ハ帶黃褐色ノ水ニ溶ケザル粉末ニシテ變化セズノ胃ヲ通過シ腸ニ至リテ初メテ漸次ニ吸  
收セラルクレッター氏ハ鐵劑トシテ萎黃病ニ賞用セリ

○「フェルリプトン」Ferripton.

本品ハ純粹ノ雞卵白ヨリ製シタル者ニシテ中性澄明ナル濃褐色ノ液ナリ特ニ臭味ナシ本品ハ  
齒牙ヲ侵サス他ノ有機性鐵劑ニ比スレバ臭味ナキヲ以テ長所トス貧血并ニ爾他ノ衰弱狀態  
ニ於テ水ニ滴加シテ與ヘ又ハ皮下注射トス

○「フェルヘミン」Ferrhaemin.

本品ハ製藥者ヨツト、ヘルテル氏カ新鮮ノ牛血及鐵ヲ以テ製シタル者ニシテ爽快ノ味アル液  
ヲナシ善ク密栓シ冷所ニ貯フルキハ久時保存セラル貧血及衰弱狀態ニ賞用セラル

○「フェルイヒトール」Ferrichol.

本品ハ有機性鐵(三、五%)ト「イヒチヤール」硫基酸(九六、五%)トノ化合物ニシテ無臭無味ノ  
粉末ナリ各錠〇、一瓦トナシ貧血及萎黃病ニ一日三錠ヲ用ヒ後チ漸次増加ス

○「フェノール」樟腦 Camphora. phenylica.

本品ハ無色油狀或ハ稀薄透明黃色爽快ノ臭アル液ニシテ水ニ全ク溶ケス酒精、依的兒、嘔嘔仿  
謨、依的兒性油及脂油ニ溶解ス寒冷ヲ與フルモ凝結スルニ至ラズ

等分ノ油質物ヲ加ヘテ溶解シ水泡疹、癩腫、陰部癢痒ニ外用シ防腐及局所麻酔藥トシテ殊ニ齒  
痛ニ賞用シ皮下ニ注入スレバ初メ灼ク如ク後チ全ク知覺脫失ヲ起ス三分ノ樟腦ト一分ノ

「フェノール」ノ飽和液ノ小量ヲ肺癆ニ於テ肺質内ニ注入シ效アリ用量ハ五乃至十滴ヲ膠囊  
ニ入レ内用セシム

○「フクシン」Fuchsinum. (鹽酸「ロスマニオン」又「ルボン」ロゼイン)

「フクシン」ハ近時醫療上ニ用ユルモ其效、著明ナラズ治療上ニハ全ク純品即チ砒石ヲ含有  
セザル者ヲ用ユ可シ腎病ノ蛋白尿ノ療法ニ〇、〇五—〇、二ヲ丸劑トナシ賞用ス

○「プロミジア」(催睡藥)

○「貌羅謨化」ニッケル(催睡藥及鎮靜藥)

○「プロモフタリン」(消毒藥)

○「フェルランドリウム、アクアチクム」(發汗劑及祛痰劑)

防痲及局所  
麻酔藥

○「フアサカ」葉（呼吸器病ニ用ユ）  
 ○「プノイミン」Pneumin（メチレン結晶阿曹葛）  
 本品ハ黄色無臭味ノ粉末ニシテジルベルスタイン氏ハ肺癆ニ對スル無害且廉價ノ藥劑トシテ一日四五回〇、五—一、〇ヲ散劑トシ水ニテ服セシム或ハ錠劑トナシ（各〇、五）一二個ヲ投ス

○「プロボリン」Propolisin.  
 本品ハ帶赤綠色ノ稀液狀油ニシテ強芳香性沒藥樣臭アリ蜂蜜脂ヨリ乾留ニ由リテ得タル者ニシテ酸素ニ富メル炭化水素ヨリ成リ少許ノ硫黃ヲ含ム（炭素八二%水素一五%酸素三%硫黃〇、一%）蒸氣狀トナシ室内ノ消毒、氣管枝加答兒ノ吸入、水ヲ加ヘテ創傷療法ニ用ユ  
 ○「ファンタルリア」吐劑ニシテ赤痢、肝病等ニ用ユ  
 ○「プロムアマミッド」鎮痛藥トシテ痲質斯、神經痛等ニ〇、六一—一、〇  
 ○「ブソラレア」其子實ヲ健胃劑、其依的兒性油ヲ癩病、皮膚病ニ用ユ  
 ○「ブルメリア」變質驅梅毒藥ニシテ此皮ヲ膿漏ニ用ユ  
 ○「ブレイン」咯血、痔疾ニ〇、〇一—〇、〇二ヲ投ス  
 ○「フィクス、ドリリア」Ficusdolaria.  
 本品ハ「ブラジリア」ニ産スル樹木ヨリ「ババヨチン」ニ類シタル「ペブシン」様ノ乳液ヲ採收シタル者ニシテ十二指腸蟲及貧血ニ賞用ス

○「フェロナール」Veronal

千九百三年ニエミル、フアシエル氏ガ「フェロナール」ノ催眠藥トシテ特效アルコトヲ稱シ治療ノ目的ニ賞用セリ本品ハ美麗ナル無色結晶體ニシテ苦味アリ水ニハ容易ニ溶解ス、諸家實驗ノ結果ハ異口同音ニ其卓效ヲ賞讃シボリ氏ハ催眠藥ノ王ナリト稱シリリーエンフェルド氏ハ此ノ如キ有效ナル催眠劑ヲ得タルヲナシト絶賞セリジョリー氏ハ許多ノ實例ニ於テ本品ノ副作用（翌日ニ至リテ嘔吐、強度ノ渴）ヲ見タルモノ一例ノ如キハ發揚狂ノ興奮期ニニ瓦ヲ投ジテ直チニ鎮靜シタリト云フオッペンハイム氏モ之ト同キ實例ヲ報告シヴウルト氏ハ同ジク狂躁ノ興奮期ニアル患者ニ對シテ一日平均一、五瓦ヲ三回分服セシメテ好結果ヲ得タリト云フメンデル氏ハ患者六十八人ニ總量四三七瓦ヲ使用シ各人ノ量ハ普通〇、三—二、〇多數ハ〇、五—一、〇ヲ與ヘ稀ニハ一、五極メテ少數ニ一、〇ヲ投ジタリ用法ハ單純ノ散劑トシテ若クハ「ラブラート」ヲ用キタリ患者ハ凡テ服用ニ苦ムヲナク敢テ調味藥ノ必要ヲ見ズ爾來益々實驗ノ日ヲ重ね他ノ催眠劑ト共ニ比較研究ヲ遂行セリ同氏ノ實驗セシ患者ヲ類別スル時ハ（一）機能的神經系疾患、歇私的里十七例、神經衰弱症八例、「ヒポコンドリ」五例、神經性喘息一例、（二）器質的の神經系疾患、腦出血二例、腦動脈硬化一例、腦梅毒一例、脊髄癆一例、多發性脊髄硬化一例、震戰麻痺一例、三叉神經痛二例、偏頭痛一例、（三）精神病、幻覺譫妄二例、發揚狂四例、偏執狂二例、痴呆一例、莫兒比涅中毒不眠症二例、酒精中毒症一例、癲癇三例、麻痺狂六例トナス以上ノ實驗ニ徴スレバ本品ハ退行性疾患ニ在リテハ凡テ有

プノイミン プロボリン フェイクス、ドリリア フェロナール

效ニシテ服用後直接ノ作用ヲ呈セザレモ次日猶其效力ヲ有ス神經痛ニ對シテハ殆ド無効ナリ睡眠ハ服用後二十五分乃至三十分間稀ニハ一時乃至三時間ノ後起リ愉快ナル生理的睡眠ヲ催ス本品〇、ヲ五與ヘテ平均五時乃至七時間睡眠スベク猶次日モ其效アリ而シテ本品ハ持長スルモ莫見比涅ノ如ク増量ノ要ナシ純然タル鬱狂患者ニシテ諸般ノ催眠藥寸效ナキ時ニ本品〇、五一一、〇ヲ與ヘ六時半乃至十時間睡眠シタル者アリ神經衰弱、「ヒボコンデリ」麻痺狂、器質的の神經疾患ハ殆ド凡テ皆本品ノ惠ヲ受ケシコト少カラザリキ發揚狂、幻覺譫妄、麻痺狂ニ向テ一瓦ヲ投シ一乃至六時間安眠セシメタリ歌私的里ノ不眠症、癲癇發作（〇、五ヲ投ジ次デ一瓦ヲ與ヘシニ直ニ安靜トナル）等ニモ同結果ヲ得タリ疼痛ノ爲メ不眠アル者ニハ凡テ無効ナリキ

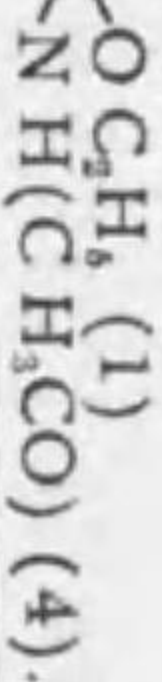
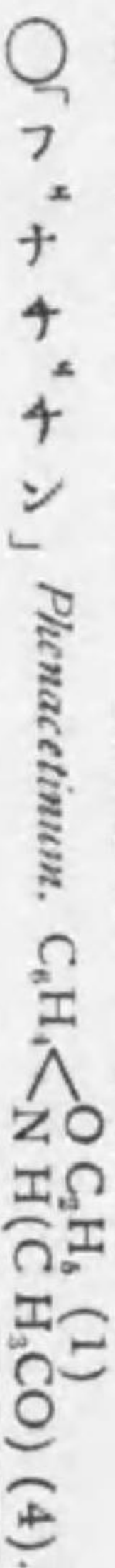
副作用トシテ體温昇騰、血行、消化器系、一般榮養等ノ障礙ハ毫モ認メズ三ヶ月間總量三八、〇ヲ服用セシ患者ニシテ體重十六、「ボンド」ヲ増量セリ尿ノ變化、嘔氣、嘔吐、渴、發疹等ハジョリー氏等ノ言ノ如クナラズ余ガ四十二ノ實例中一〇%ハ不快ノ副作用タル全身違和ノ感、頭重、頭痛、眩暈、發汗等ヲ見タリ此副作用ハ〇、五乃至二、〇ニシテ發セシガ如シ本品ヲ投ズルハ〇、五一一、〇ヲ適量トナス此量ニシテ效ナクンバ増量スルモ益ナシト知ルベシ

- 「フェノサリール」(防腐藥トス石炭酸、撒酸、乳酸、薄荷腦ノ混合物ナリ)
- 「フィルランツス」(強壯、健胃利尿劑トシテ用ヒ又其液汁ヲ創傷及皮膚病ニ粉末

四、〇丁幾八、〇)

- 「フェニールメタン」(結晶性塊ニシテ水ニ溶解シ解熱、鎮痛藥トシテ〇、五ヲ葡萄酒ニ加用ス)

- 「ブルチエア、スマトラナ」(赤痢藥トシテ用ユ)



「フェナチエン」即チ「バラ、アチエトフェニチジン」ハ「ドクトル」オ、ヒンスベルグ氏ノ創製ニ係リカスト氏之レヲ生理的ニ試験セリ「ドクトル」ゲ、コブレル氏本品ヲ解熱劑トシテ試用セリ

**性状** 本品ハ微紅色無味無臭ノ粉末ニシテ水ニハ溶ケ難ク稍屈利設林ニ溶ケ酒精ニハ容易ニ溶解ス殊ニ熱酒精ニ於テ然リトス酸性液、亞兒加里液ニハ溶解セズ亦胃液及膝液中ニ溶解性ヲ試ミタルモ更ニ其成績ナカリキ

健康ナル人ニ「フェナチエン」ノ〇、五一一、〇、七ヲ服セシムルモ更ニ變化ヲ呈セス亦健康ノ體温ニハ更ニ影響セス之ニ反シテ諸般ノ熱性病ニハ已ニ〇、三一一〇、四ヲ與フルモ著シク解熱作用ヲ呈セリ

**應用** 「ドクトル」コブレル氏ガ「フェナチエン」ヲ熱性諸病ニ實驗セルハ左ノ五十回ナリシ即チ結核十二回 格魯布性肺炎十回 腸室扶斯七回 麻疹六回 產熱四回 肋膜炎三回 膿毒症二回 室扶斯再發一回 腦脊髓膜炎一回 急性腹膜炎一回 結核性腹膜炎一回

解熱及鎮靜藥

コブレル氏ノ實驗

盲腸周圍炎一回 子宮周圍炎一回 急性咽喉炎一回○病院ニ於テ試用セル年齢ノ比例ハ多クハ二十歳乃至四十歳ナリシ只麻疹ニ罹レル小兒ニ一回○、二一〇、三ヲ與ヘ解熱ノ效ヲ奏セリ

○上記ノ患者ニ在テハ他ノ麻疹症ノ如ク甚シキ氣管枝炎ヲ兼ネ共ニ三十九度五分乃至四十分五分ノ間ニ稽留スル高熱ヲ呈シタリシ而シテ各病ノ作用ニ於ケル特異感應ハ確定スル能ハス

○「フェナチエチン」ヲ以テ治療セル肺炎患者十人中六回ハ五六日ニ分利シ中一人ハ慢性「ブライト」病ヲ兼タリ中一人ハ尤モ重症ナル兩側肺炎ニ急性腎炎ヲ併發セシ者ニ試用シ良效ヲ奏シ全治退院セリ

○解熱ノ際發スル「チアノーゼ」ハ特ニ注意スヘキモ常ニ目撃セズ亦決シテ虛脱ヲ發セス○肺炎ハ經過中往々心臟衰弱ヲ發スル者ナリト雖モ同患者ニ十回試用スルニ一回モ此症狀ヲ發セザリキ脈搏ノ數ハ溫度下降ト共ニ減退シ脈ハ充實緊張ヲ増セリ

○ホイスネル氏ノ報スル處ニ由レハ一、〇ノ「フェナチエチン」ハ〇、五ノ安知歌貌林二、〇ノ安知必林ニ同ジク體溫ヲ下降スト

○「フェナチエチン」ノ第二ノ作用ハ鎮痛及神經系ノ興奮性ヲ減退スルコト是ナリホイスネル氏ハ偏頭痛、胃痛、坐骨神經痛、三叉神經痛、不眠症ニ用ヒ奏效ヲ得タリローデン氏ハ關節痲質斯ニ用ヒ喉衝腫起疹痛等忽然消失シ撒里失爾酸、安知必林等ニ優ルヲ報告セリ○カル、

神經鎮靜藥

シユープ氏ハ十二名ノ神經症ニ用ヒ左ノ如ク論セリ即チ其ノ尤モ效アルハ半面痛、不明ノ原因ニ由ル頭痛ナリ一回急性關節痲質斯ニ效アルヲ見タリ他ノ神經病殊ニ神經痛ニハ著效ナシ○アドルフオット氏ハ本品〇、五ヲ數多ノ神經性痛ニ用ヒ卓越ノ效アルヲ報告セリ只坐骨神經痛ニハ無效ナルヲ述ベタリ

「フェナチエチン」攝取後ニ於ケル尿ノ關係ヲ述フベシ利尿ノ作用ニハ注目スベキナシ尿色ハ格魯兒化鐵ニ遇フキハ暗黃色ヲ呈シ亞兒加里性銅液ヲ甚ダ強ク還元セリ(必是ニ)「フェナチエチン」ニ由テ決シテ蛋白ノ分泌ヲ經驗スルコトナシ

○コブレル氏ノ經驗ヲ總括スルキハ左ノ如シ

(一)「フェナチエチン」ハ有效ノ解熱劑ナリ(二)更ニ不快有害ノ副作用ヲ發スルコトナシ(三)用量ハ「デチグラム」ニ於テ使用スルヲ得ベシ(四)一回ニ大量〇、五或ハ〇、六―〇、七ヲ頓服セシムルハ時間ヲ分チ或ハ毎二時ニ少量ヲ分服スルヨリ其效著シトス

○ミスラヒリハット氏モ多クノ患者ニ實驗シ良效アルヲ報セリ則チ間歇熱ニ一回量〇、四―〇、六ヲ與フレバ熱一度半下降シ全身頓ニ輕快シ殊ニ頭痛ノ減退速カナリ此際毫モ發汗セス○肺炎ニ五回小兒氣管枝炎ニ十一回用ヒ解熱ノ效ヲ奏スルノミナラス患者ヲノ最モ満足セシメタルハ肺炎ニテハ疼痛ノ鎮靜氣管枝炎ニ於テハ呼吸困難ノ緩解是ナリ凡テ解熱ノ作用ハ服用後一乃至一時間半ヲ經テ始メテ現レ平均四時間内外ヲ持續スルヲ得ベキモノトス是ヲ以テ肺癆病者ノ熱ヲシテ平位ニ存セシメント欲セバ平均一回〇、四ヲ久時連用セシ

ムベシ○氏ガ該藥ヲ鎮痛藥ニ使用シタルハ前後五十四回ニシテ大抵皆神經痛及諸種ノ有痛疾  
 患ニ良效アリキ即チ其四十三回(八十%)ハ疼痛速ニ鎮靜シ其三回(五%)ハ疼痛僅ニ緩解シ  
 其八回(十五%)ハ不幸ニ無効ナリシモ慢性頑固ノ神經痛ニ尤モ卓絶ナル良效ヲ收メタリ  
 其他舌癌ニテ屢、莫兒比涅ノ注射ヲ試ムルモ效ナキ者ニ撒布シ疼痛退キ二時間ヲ持續セリ  
 又痙攣神經性尿崩ニ一日量一、五ヲ連用シ尿量平ニ復シタルヲ見タリ終ニ臨ミ安知必林、安  
 知歇貌林ニ優ル點ヲ左ノ如ク擧ゲタリ(一)毒性ノ缺如(二)不快ノ副作用尤モ稀ナリ(三)胃  
 腸ヲ害セス(四)無味ナル故ニ小兒ニ投スルヲ得ベシ(五)廉價ナリ

チムセン氏  
臨牀實驗

○チムセン氏ノ「クリニキ」ニ於テ報告スルヲ左ノ如シ(一)試用ニ供セシ患者ハ極テ數多  
 ニ即チ猩紅熱、丹毒、結核、脊髄炎、肺炎、癱瘓質斯、胃腸炎、胃痛、神經炎、脊髄癆、偏頭痛、  
 歇私埜里、坐骨神經痛及其他ノ神經痛ナリ(二)該藥ノ長所ハ副作用少ク且全身ニ危害ヲ及  
 ホサズノ久時持長スルヲ得ルニアリ(三)效用ハ(第一)解熱藥タリ而シテ急性熱性病ニ於  
 テ其效著シ其持續一二時ニアル慢性ノ熱病ニ在リテハ屢、效ナシ蓋シ習慣性ニ基キタル者  
 カ(第二)ノ作用ハ神經藥ナリ特ニ全身ノ神經痛、胃痛、偏頭痛、三叉神經痛、後頭神經痛及脊  
 髓癆ニ於テ其效著明ナリトス其他癱瘓質斯劑トシテ賞スヘキニアラス其ノ效撒酸ニ劣ルヲ遠  
 シ(四)用量ハ〇、三—一、〇ヲ一日三四回乃至四回服用セシメタリ(五)副作用ハ輕度ノ惡寒、  
 頭痛及眩暈ナリ其他胃ノ障害即チ惡心、食慾不振、胃痛等ヲ見タルヲ三四回ナリ然レモ此等  
 ハ藥性ノ習慣スルニ隨ヒ漸次消失スル者トス而シテ他ノ報告ニ於テ見聞スルカ如キ「チャノ

本品ノ副作  
用

「セ」、呼吸不利、特異素因等ヲ認メス唯發疹ヲ來タセシヲ之アリ然レモ此等ノ副作用ハ衰  
 弱又貧血ノ患者ニ於テ見ルノミ(六)該藥ヲ投セシ後三十分乃至四十分ヲ經テ強度ノ發汗ヲ  
 見、一二時間ニシテ始メテ解熱作用ヲ呈ス而シテ其最上點ハ服用後四時間ニ於テ之ニ達ス又  
 解熱ト共ニ脈ハ遲緩トナリ稀ニハ不整脈ヲ呈セシヲアリシモ是レ肺結核ノ末期及貧血患者  
 ニ於テノミ然リトス  
 「フェナチニチン」ハ有效無害ト報スル學士多シト雖モ又危險ナル副作用ヲ實驗セラレタル者  
 アリ○リンドマン氏ハ三十四歳ノ婦人甚健ナレモ時々偏頭痛アル者ニ一、〇ヲ與ヘタルニ  
 惡心、眩暈、手足振戦、頭痛一層甚シキヲ以テ尙ホ一、〇ヲ服セシニ惡心、四肢冷却、皮膚粘膜  
 蒼白、冷汗淋漓、呼吸困難、脈搏大ニ六十八至、氷囊、氷片、「シヤンパン」酒等ヲ處シ漸ク輕  
 快スルヲ得タリ

大學第一醫  
院ノ實驗

○醫學士多田貞一郎氏ハ第一醫院ニ於テ十八歳ノ腸窒扶斯(第三週)ニ罹レル男子ニ〇、二  
 五ヲ與ヘタルニ三十九度五分ヨリ三十八度ニ下降シ四時間持續シ別ニ副作用ナシ第四週ニ  
 至リ體溫三十八度七分〇、二五ヲ與ヘタルニ服後七時間ニ全身戰慄ノ如ク冷却、額上冷汗  
 淋漓、口唇「チャノ」ヲ呈シ脈數、細數不整ニシテ力ナシ直ニ樟腦ヲ注入シ湯「タンボ」ヲ  
 與ヘ漸ク輕快シタリ其他、氏ノ肺結核ニ於テ一名ノ副作用ヲ實驗シ左ノ結論ヲ爲セリ(一)  
 恐ルベキ虛脫ヲ實驗セルヲ(二)窒扶斯ニ解熱ノ藥劑ヲ投スルモ其經過依然タルコト「フェナ  
 チニチン」ニ於テモ亦然リト云フヲ(三)發汗ノ副作用アレハ殊ニ肺結核ニハ注意シテ投藥ス

フェナチニチン

ヘシト云フヲ〇醫學士笠原光興氏ハ屢、肺結核ニ投與セシモ其效驗著明ナラス加之〇、二五ヲ頓服セシムルモ既ニ發汗ヲ來タシ且ツ患者不快ヲ感スト聞ク又偏頭痛患者ニ比較的大量ヲ投セシモ全ク效驗ヲ認メサリシト

**用量** 一回ノ用量ハ解熱劑トシテ〇、五—〇、七小兒ニハ〇、一五—〇、三ヲ與ヘ鎮痛劑トシテ大人ニ一、〇—一、五ヲ供シ關節痠痛質斯〇、五—〇、七催睡藥〇、四—〇、六トナシ瘧疾一日量〇、二五—〇、七五流行性感冒一日數回〇、三ヲ投ス

○「フェナチエチン」一、〇

右爲一包、與六包一包服用(偏頭痛)

或ハ一時ヲ經テ更ニ一包

○「フェナチエチン」〇、三—〇、五 白糖

〇、五

右爲一包、與六包、毎夕一二包(解熱劑)

○「フェナチエチン」〇、五 咖啡混〇、一

右爲一包、與六包、臨時一包ヲ投ス(偏頭痛)

○「フェノリド」(解熱鎮痛藥トシテ)〇、三—〇、六ヲ用ユ

○「フェドユレチン」(利尿及鎮痛藥)

○「フェナチエチン」 安知必林「ザロール」

各二、〇

右一日二回鼻内ニ吹入ス(瘧疾)

○「フェナチエチン」〇、三 重曹一、二

右爲一包、與十二包、毎二時一包(温湯ニテ)(感冒及流行性感冒)

○「フェニールヒドドラチン」(解熱劑)

○「フィルリリン」(間歇熱ニ用ユ)

○「フィルモーゲン」Filmogen. 瘧疾液、アチエチン、古魯胃誤

本品ハ「アチエトン」ニ「セルローゼ」ヲ溶解シタル者ニ脂肪油ヲ加ヘタル品ナリ皮膚病ニ於テ此目的ニ用ヒタル藥劑即チ「石炭酸、沃度仿謨、イヒチヤール」等ト配伍シテ塗布セシム

○「フォルトイン」Fortoin.

本品ハ「コトイン」ト「フォルムアルデヒット」ノ製品ニシテ黄色無味ノ針狀結晶ナリ恰モ桂皮様香氣アリ水ニ溶ケス亞兒加里ニ甚溶ケ易ク嘔囉仿謨、「アチエトン」、氷醋ニ容易ニ溶解ス酒精、依的兒ニハ溶ケ難シ本品ハ止瀉劑トシテ殊ニ結核性腸加答兒ニ賞用シ其他扁桃腺ノ化膿及淋疾ニ投ス

止瀉劑トシテ大人ニ一日三四回〇、二五「小兒ニ毎二時乃至三時 或ハ一日三四回〇、一—〇、一

二五ヲ投ス扁桃腺化膿及淋疾ニハ左方ヲ用ユ

○「フォルトイン」〇、五 酒精五、〇 餛水

四五、〇

右塗布料(扁桃腺化膿)

○「フェニールウレタン」 (「オイフォー」ニテ見ル)

○「フォルトイン」一、〇 酒精一〇、〇

餛水一五〇、〇

右振盪スベシ一食匙ヲ水百瓦ニ加ヘ

注射ス(淋疾)



○「フラクトルチア」(嘔吐、惡液、下痢、一般衰弱ニ用ユ)  
 ○「ブテア」(腸内驅蟲劑)  
 ○「ブルチエア」 *Brycea* (Cary)  
 本品ハ「ジャワ」及他ノ熱帶地方ニ産スル植物ニシテ其種子ハ同地ニ於テ卓效アル赤痢藥トシテ賞用セラル果實ハ初メ黒色ノ殻皮ヲ除キ次テ水ヲ加テ黄色或ハ白色ノ核ヲ搗碎シ乳液トナシ用ユ

○「プロウネア」(南米ノウエネヅユラ、コロンビアニ産スル莢豆屬ニシテ快美感覺ノ刺戟劑トシテ賞用セラル)

○「フアルピチス、トリロバ」(下劑)

○「フェノキシカツフェイン」(效用、エトキシカツフェイン)ノ如シ)

○「ブテロスベルムム、スベリフォリウム」(偏頭痛ニ外用ス)

○「フォルマーゲン」 *Formagen*.

本品ハ齒科醫アブラハム氏カ各期齲齒ノ無痛療法ニ賞用セル者ニシテ一時假裝ノ填塞「セメント」トナシ用ユ即チ「セメント」ノ凝固シタル後其中ノ「フォルムアルデヒッド」漸次放離セラレ無痛ニ齒髓ニ感作ス故ニ已ニ久シク劇痛アリシキニモ病的齒髓ニ亦砒石ヲ以テ腐蝕スルヲ要セズ疼痛ナク又勞力ヲ要セス本品ヲ以テ施術スルヲ得

○「フォルムアルデヒット」 *Formaldehydum solutum*.

「フォルマーゲン」  
「フォルモリン」

**性状**

「フォルムアルデヒッド」ハ無色澄明ノ揮發臭アル中性或ハ甚弱酸性ノ液ニシテ水及酒精ニハ隨意ノ比例ニ於テ混和スレモ依的兒トハ混和セズ一、〇七九—一、〇八一ノ比重ヲ有ス「フォルマーリン」ヲ蒸發スルキハ「フォルムアルデヒッド」ハ水ニ溶解セサル固形ノ「バラフォルムアルデヒッド」トナルナリ故ニ五立方仙迷ノ「フォルムアルデヒッド」溶液ヲ重湯煎上ニ蒸發スルキハ水ニ溶解セサル白色無形ノ物質ヲ生スヘク之ヲ空氣中ニ熱灼スルキハ燃燒シテ殘物ヲ留ム可ラス之ニ反シテ豫メ「フォルムアルデヒッド」液ニ安母尼亞ヲ加ヘ甚シク亞兒加里トナシ之ヲ重湯煎上ニ蒸發スルキハ白色結晶性ノ甚水ニ溶ケ易キ「ヘキサメチーレントレトラミン」ヲ留ム可シ「フォルムアルデヒッド」溶液ハ安母尼亞ヲ加ヘタル後硝酸銀液ヲ加フレバ之ヨリ漸次金屬性ノ銀ヲ析出ス亞兒加里性酒石酸銅液ニ「フォルムアルデヒッド」溶液ヲ加ヘ熱スルキハ赤色ノ沈澱ヲ析出シ脱色スベシ四容量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタル「フォルムアルデヒッド」溶液ハ硝酸銀液、硝酸重土液、硫化水素水ニ由テ變化ス可ラス一立方仙迷ノ「フォルムアルデヒッド」溶液ニ一滴ノ定規加里滴汁ヲ加ヘタル後ハ酸性反應ヲ呈ス可ラス五立方仙迷ノ「フォルムアルデヒッド」溶液ニ二十立方仙迷ノ水及十立方仙迷ノ安母尼亞液ヲ加ヘ此液ヲ閉鎖セル器ニ容レ一時間放置シ定規酸液二十立方仙迷及「ロゾール」酸溶液一二滴ヲ加ヘタル後其蓋微色ヲ發スルニ至ルニハ少クモ定規加里滴汁四立方仙迷ヲ費耗セサル可ラス」光ヲ遮リ注意シテ貯フベシ

**作用及應用**

「フォルムアルデヒッド」ハ有力ナル「プロトプラスマ」毒物ニシテ比較的ニ

無毒ノ防腐藥トノ賞用セラルスタール氏ニ由レバ本品ノ二萬倍ノ溶液ハ脾脫疽桿菌ヲ殺シ一千倍ノ溶液ハ脾脫疽芽胞ヲ殺ス瓦私狀タルト水溶液ナルトヲ問ハス甚シク稀釋シタル者ニ於テモ已ニ微菌ニ對スル有力ナル發育制止及撲滅作用ヲ具フ(アロンソン、レエウ氏等)人體ニ對シテハ著キ毒性ナク又流通スル水蒸氣ノ如キ破壞的作用ヲ具ヘス故ニ便所、便器、厩舎居室、車輛、臥蓐、衣服、屋壁、帳幕、臥榻、書籍等ノ消毒ニ供シ又綳帶材料、海綿ノ殺菌、外科器械ノ清洗ニ用ユベシ然レモ本品ハ其滅菌作用遲徐ナルカ故ニ外科治療上消毒藥トナスニ適セス然レモウインケル氏ニ從ヘハ本品ハ婦人科治療上子宮頸ノ單純性及淋毒性白帶下、并ニ產褥ノ子宮内膜炎、子宮ノ分泌過剰ニ於ケル洗滌及塗布ニ效アリト又本品ハ惡性肉腫及癌腫ニ於テハ分泌制止及鎮痛ノ效アリ眼科ニ於テハダグネル氏ハ甚稀釋液ヲ加答兒性結膜炎及膿漏性結膜炎、角膜潰瘍ニ點眼及洗滌スルヲ賞用セリフ、ルデ氏ハ本品ヲ點眼藥ノ殺菌(亞篤羅必涅溶液及「エゼリン」溶液)ニ使用シタリ又動物ノ皮革ハ本品ニ由テ殺メヌヲ得ベシ濃厚液ヲ生活組織ニ塗布スレバ壞疽狀トナラシメ且身體部分ニ屢、塗布スルニ由リテ(鼠ニ於テハ尾、脚、家兎ニ於テハ耳)人ニ於テハ組織増殖ヲ呈シ痛ヲ起サスノ壞死スルニ至ルナリガイロルド氏ハ下疳ニ塗布スルヲ賞セリヒレマン氏ハ瘧疾ニ吸入セシムルヲ可トセリ茲ニ注意スベキハ濃厚ノ「フォルムアルデヒッド」蒸氣ハ甚シク粘膜ヲ刺戟スルニ在リ故ニ其應用ヲ避クヘシハウゼル氏ハ本品ヲ膠質ニ於ケル「バクテリア」培養ヲ貯藏スルニ供セリ「フォルムアルデヒッド」蒸氣ニ由テ培養基ヲ枯死セシメ流動セル膠質ヲ凝固シ其凝固シタ

ル膠質ハ再ヒ流動スルノ性質ヲ失フ其際、生活セル物體及豫メ流動セル膠質ノ外觀ハ視覺上恰モ流動セルカ如キヲ見ル「フォルマリ」ハ未タ曾テ内用ニ供セサレモ「ヤブリン」、ゴンネ氏ハ葡萄酒、麥酒、果物ノ貯藏ニ賞用セラレタリ

秋元洗二氏ハ子宮腔内深部ヲ消毒スル爲メニ濃厚ナル「フォルマリ」瓦斯ヲ發生セシメ子宮腔内ニ通シテ效アリト(第一回聯合醫學會)

水野猪三郎氏ハ子宮内膜炎ニ初メ五十倍ノ「フォルマリ」水ニテ洗滌シ膿汁ノ消失スルニ及ヒ子宮消息子ヲ以テ二十倍水ニ浸セル綿ヲ子宮腔ニ送り三分間其儘放置ス此法ニ由リ高度ノ内膜炎モ三週間ニシテ治セリ(第一回聯合醫學會)

○醫學博士岡田和一郎氏ハ醫事新聞第五百六十七號ニ「フォルマリ」ノ耳科及外科ニ於ケル應用ト題シ泰西諸家ノ報告ヲ摘録シ次テ自家ノ實驗ヲ公ニセリ其要點ヲ抄録スレバ左ノ如シ即チ氏ハルツエー氏ノ說ニ省ミテ慢性化膿性中耳炎(殊ニ有臭性ノ)ニハ必ス先ツ「フォルマリ」洗滌ヲ行ヒシニ其大多數ハ隔日ノ洗滌ニ由リテ概シテ二三週間ニシテ中耳粘膜炎乾燥シ且已ニ肉芽發生セル者ニハ酒精療法ヲ併用シ穿孔ノ大ナル者ニハ硼酸「ナフトール」ヲ吹入シ又時トノハ硝酸銀水ノ注入ヲ併用シテ治癒ニ赴カシメタリ

ハーン氏ハ本品一分乃至五分屈利設林百分ノ液ヲ關節結核、結核性胸膿、流注膿瘍ニ注入シタリ即チ膿瘍腔ハ吸引ニ由リテ排膿シ硼酸水ニテ洗滌シタル後一%「フォルムアルテヒッド」屈利設林(吸引シタル膿汁ノ三分一乃至半量ニ應スル分量)ヲ注入ス而シテ注入後安靜トナス

ベシ術後屢、發熱二十九度以上ノ反應ヲ來タシ多クハ膿瘍内ニ大量ノ液集積セラレ劇痛ヲ發シ爲メニ莫見比涅ヲ要スルコトアリ然レモ此液ハ漸次消失シ約十四日ノ後ハ全ク吸收セラシテ適當ナルハ第二回ノ注入ヲ行ヒ後ニハ尙之カ注入ヲ行フコトアリ毫モ結核性物質ヲ殘存セサルヲ以テ治療ノ目的トス

創傷ノ防腐トシテハ防腐、消臭、乾燥ノ撒布劑トシテ殊ニ挫創、裂創、不潔ナル惡膿性類敗創ニテスケ氏ハ左方ヲ用ヒタリ

○炭末三〇、〇「フォルムアルデヒッド」〇、五 醋酸依的兒適宜滴數

右創傷消毒後多量ニ撒布ス

テスケ氏ニ由レバ此撒布後一二日ニ惡臭消散シ健全赤色ノ肉芽ヲ生シテ缺損部ヲ充實シ治ニ赴キ惡膿ナク分泌少許ナリ終ニ乾痂ヲ生シ一二時ニ脱落シ滑澤ノ癩痕ヲ呈ス氏ハ之ヲ新創面ニモ用ヒ亦他ノ撒布劑ヲ用ヒズト云ヘリ

肺癆ノ盜汗ニハゼナートル氏ハヒルシユフェルド氏ノ初テ唱ヘタル法ヲ賞用セリ即チ殊ニ發汗スル部分ニ毎日若クハ長キ休日ヲ夾ミテ「フォルマリオン」(本品四十%ノ水溶液)ト酒精各等分ノ液一、〇—二、〇ヲ塗布シタル後刺衝性蒸發氣アルヲ以テ直チニ之ヲ被包スベシ而シテ塗布ニハ其部分ヲ變換スベシ斯ク塗布シタル局部ハ暫時ノ後其表皮剝脫シ後ニハ亦發汗セズ然レモ此法ハ患者及家族ヲ惱マス副作用アルヲ以テ盜汗ニハ「グアヤカムフォル」トシテ「ルファイア」丁幾ノ如キ内用劑ヲ優レリトス

「フォルムアルデヒッド」ノ中  
毒例

「ドクトル」クルウベル氏曰ク四十七歳ノ一男子午後十時人事不省ヲ以テ診ヲ請ヘリ同患者醒覺後ノ訴ヘニ由レバ便秘ノ爲メニ「アペンタ」水ヲ約一食匙服用セシニ恰モ膽汁ノ如キ味アリシガ其後忽チ人事不省ニ陥レリト午後十一時頃氏ハ此人事不省ノ患者ヲ診セシニ面色蒼白、全身ニ冷汗ヲ被ムリ呼吸疾速ナルモ心機ハ善良(脈搏七十八)體温三十七度三分ナリ同夜ハ格別ノ異狀ヲ呈セザリシカ翌朝九時頃ニハ多少神識ヲ恢復セシト雖モ尙甚シク精神朦朧タリキ患者ハ斷續的ニ謂ラク「アペンタ」水ヲ飲メリト

依テ該藥ヲ檢セシニ尙「アペンタ」水ノ小滴アリテ微ニ酒精臭ヲ放テリ之ヲ化學的ニ検査セシニ稀薄「フォルマリオン」液ニ「アペンタ」水ヲ混合シタル者ナリキ而シテ其如何ニシテ「アペンタ」水ト標示シタル藥ニ「フォルマリオン」ノ混入シタルヤハ更ニ詳ナラザリキ

患者ハ忽チニ再ヒ昏睡狀ニ陥リシヲ以テ之ニウイールドユンゲル水ヲ飲マシメ屢、醒覺セシメントシタリ午後五時初メテ排尿セシヲ以テ檢尿シタルニ蛋白並ニ糖分ヲ含マサルモ蟻酸ヲ含メルヲ見タリ夕刻ニハ患者活潑トナリ眼瞼、口内粘膜、軟口蓋甚シク潮紅スルニ至レリ同夜安眠後翌日ハ全ク健全爽快トナリ午後ニハ已ニ其業務ヲ操ルニ至リタリキ

**用量** 消毒ノ目的ニハ本製劑ノ二三食匙ヲ「リール」ノ水ニ混和シタル者ヲ使用ス此混合液ハ約一、一、五%ノ「フォルムアルデヒッド」ヲ含有ス消毒セラルベキ物品ハ噴霧器ニ由テ此液ヲ噴注スベシ褌衣ハ此溶液ヲ以テ浸漬シ便器ハ之ヲ以テ洗滌シ海綿ハ此液中ニ置キテ後チ壓搾スベシ此液ヲ以テ器械ヲ清潔ニシタルキハ直ニ善ク之ヲ乾燥スベシ同一ノ混

フォルムアルデヒッド

和液ハ手ノ洗滌ニモ亦用ヒラル又繻帶料、綿、繻帶、「ガーゼ」ヲ殺菌スルニハ溫暖トナセル「フォルマリン」ヲ蒸發セシメ其發散スル蒸氣ヲ當該物體ニ感作セシメ本品ハ物體ニ固形ノ「バラフォルムアルデヒッド」トナリ沈著スベシ而シテ其蒸發スルキハ「バラフォルムアルデヒッド」ハ再ヒ「フォルムアルデヒッド」ニ分解シ其周邊ヲ防腐スル效アリ繻帶物品ハ善ク閉鎖セル貯藏器ニ貯フベシ婦人科ノ洗滌ニハ「リーター」中約一、〇—、五ノ「フォルムアルデヒッド」ヲ含有シタル溶液ヲ使用スベシ此液ヲ製スルニハ此製劑ヲ二倍乃至三倍ノ水ヲ以テ稀釋シ此混合液一食匙ヲ「リーター」ノ水中ニ加フルニ在リトス下疳ニハ稀釋セザル者或ハ二三倍量ノ水ヲ加ヘタル者ヲ用ユ「洗眼水ニハ本品二十五乃至三十滴ヲ水一「リーター」ニ加ヘタル者」瘧疾ノ吸入料ニハ消毒ノ目的ト同一ノ混合液ヲ用ヒ之ヲ一日三回室内ニ於テ十分乃至二十分間噴霧セシムベシ試験管中ノ微菌培養基ヲ殺菌スルニハ本製劑十乃至十五滴ヲ綿栓ニ注キ其上ニ熔融セル巴拉賓ヲ塗布シタル「カウトシユク」製被蓋ヲ被フ

○「フォルムアルデヒッド」三〇、〇 水七〇、〇

右外用 稀釋セザル者ヲ子宮頸ノ腐蝕料トス「洗滌料ニハ一食匙ヲ此溶液一「リーター」ノ水ニ加ヘタル者ヲ用ユ

○附録「フォルムアルデヒッド」消毒裝置

左ニ掲クル裝置ハシエリンク氏ノ製造ニ係ル者ニノ頗ル適當ノ裝置ナリ即チ此小裝置ハ「フォルマリン」消毒消臭燈ニノ自宅ニ於テ使用ス可キ者ニ屬シ衣服ノ消毒、小及中等大ノ

「フォルムアルデヒッド」消毒裝置

圖 二 第

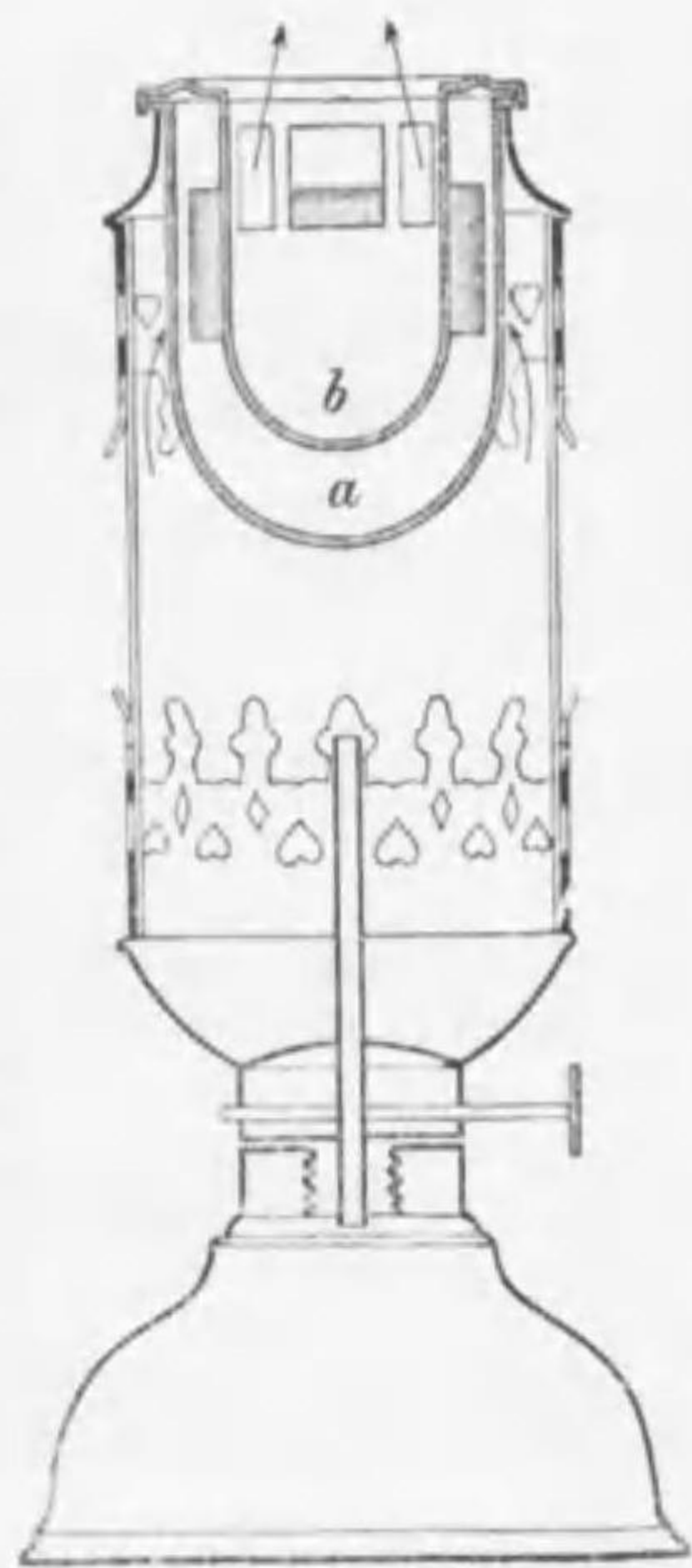


圖 三 第



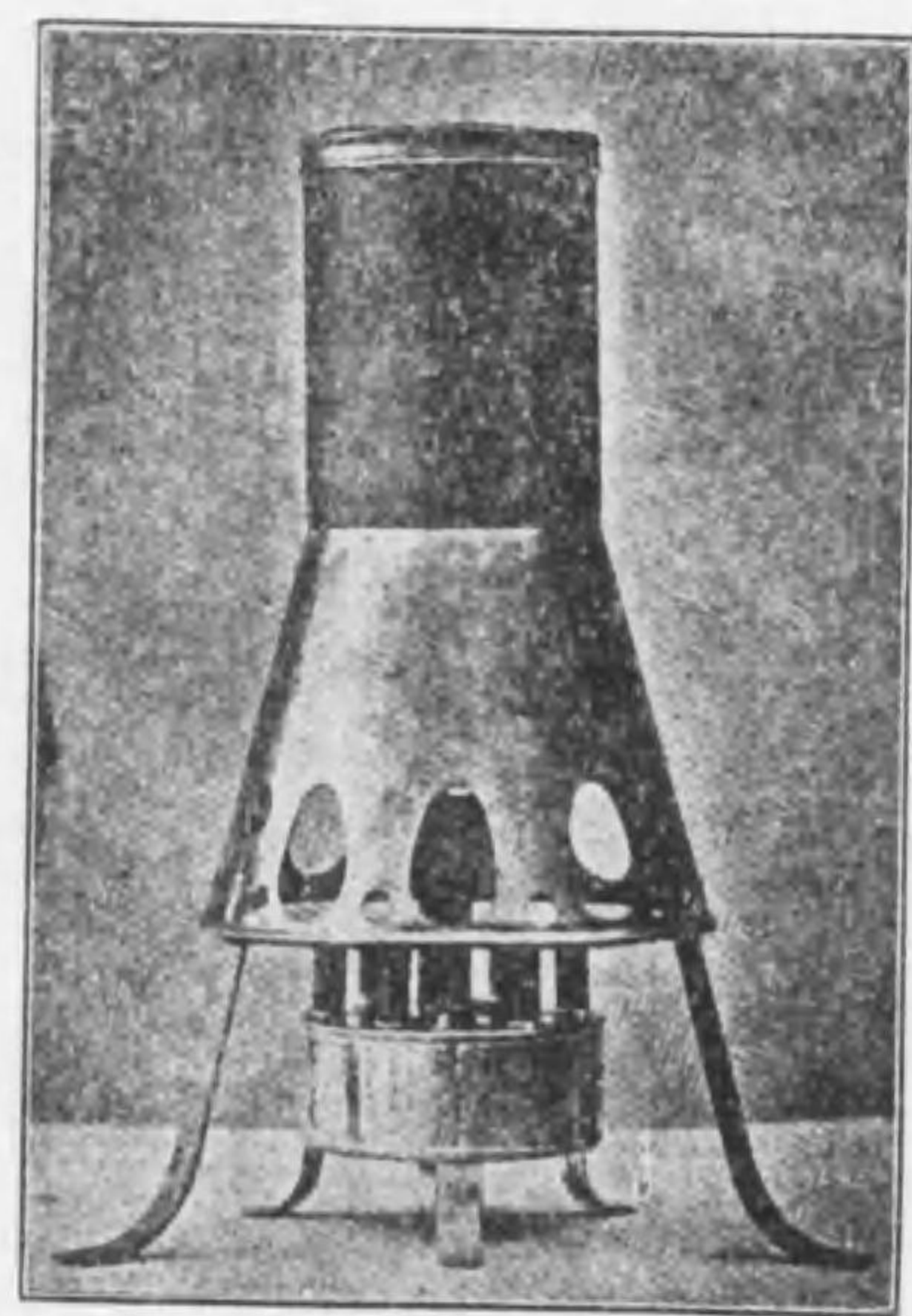
燈臭消毒消シマリマルナフ

居室ノ消毒、抵抗力微弱ノ幼稚有機體ノ殺滅、惡臭ノ消臭ニ應用ス「フォルムアルデヒッド」ハ小球子トナセルモノヲ酒精燈ヲ以テ加熱スルニ由リテ瓦私狀トナシ應用スベシ消毒ノ目的ニハ中等大ノ室ニ於テハ四十乃至五十個ノ小球子ヲ用ユレバ足レリ消毒シタル室内ニ瓦私ヲ發生セシメ十二時乃至二十四時間善ク密閉ス可シ右ノ時間ヲ經過シタル後「フォルマリン」ノ臭氣ヲ除クカ爲メニ室内ニ空氣ヲ通スヘシ

フォルムアルデヒッド消毒裝置

消臭スルニハ居室内ニ小球子一乃至三個ニテ足レリ乃チ此目的ニハ酒精燈ヲ以テ調節スヘキ者ニ右ノ小球子ヲ以テ三乃至四時瓦私ヲ發生セシムベシ此方法ニ由リテ「フォルマリ」蒸氣ノ爲メニ患者ヲ惱マヌク病室ヲ消毒スルヲ得可シ  
貯肉箱、窖藏、獸肉商、鳥肉商、動モスレハ食品ノ腐敗シ易キ食物棚ニ於テハ消毒スルト同時ニ數日間食物ヲ貯藏スルヲ得セシム其貯藏所廣大ナルキハ消毒ニ於ケルガ如クニ施行シ小ナル所ニハ一二個ノ小球子ヲ用ユレバ足レリ

第 四 圖



フォルマルイン消毒器

ナルノミ此器ハ大ナル消毒ノ目的ニ向テ用ユル者ニ廣大ナル場所、居所ノ完全ナル消毒及殺菌、各室ノ周到ノ消毒、抵抗アル芽胞ノ殺滅ニ使用ス脾脫痘桿菌ヲ殺滅スルニハアロンソン氏ノ検査ニ從ヘハ每一立方「メートル」ニ就テ二個ノ小球子ヲ以テ必要トシ最も多クノ

消毒燈ト同原理ニ由リテ構造セラレタル者ナレモ唯之ニ比スレバ面積稍大ナルノミ此器ハ大ナル消毒ノ目的ニ向テ用ユル者ニ廣大ナル場所、居所ノ完全ナル消毒及殺菌、各室ノ周到ノ消毒、抵抗アル芽胞ノ殺滅ニ使用ス脾脫痘桿菌ヲ殺滅スルニハアロンソン氏ノ検査ニ從ヘハ每一立方「メートル」ニ就テ二個ノ小球子ヲ以テ必要トシ最も多クノ

場合ニ於テハ百立方「メートル」ニ對シテ五十個乃至百個ノ小球子ヲ用ユレバ足ル者トス茲ニ注意スヘキハ「フォルマリ」ノ蒸發時ニハ厚キ被蓋ノ内部ヲ殺菌セラレサル者ニ此等ノ物件ニハ從來ノ如ク水蒸氣消毒法ヲ使用セサル可ラス  
此兩装置ノ構造ハ上段ニ掲タル所ノ圖ニ由リテ知ルベシ  
藥學士田原良純氏モ本品ヲ以テ傳染毒ヲ消毒スル一種ノ輕便消毒燈ヲ調製セラレタリ(詳細ハ大日本私立衛生會雜誌第百六十一號ヲ見ヨ)  
又トルレンス氏ノ「フォルムアルデヒッド」消毒燈ヲ用ユルモ可ナリ此燈ノ用法ハ本書卷末ニ稟告セル「診療醫範」ノ治療篇(消毒消臭法)ニ在リ就テ參考セラル可シ

○「フォルマツヨール」Formazol.

本品ハ約八十%ノ「フォルモール」ト少量ノ沃度仿謨、抱水格魯拉兒、「テルピン」、薄荷腦ヲ含ミ無刺戟ニシテ有力且廉價ノ防腐劑ナリ(夫ノ往々刺戟スル高價ノ「フォルモール」劑即チ「イガツヨール」ノ代用劑タリ)本品ハ喉頭、肺ノ結核并ニ慢性氣管枝炎ニ吸入セシム即チ約五十立方迷ノ室内ニ於テ三四名ノ患者ヲシテ同時ニ初メハ二、〇後ニハ四、〇マテ增量シテ吸入セシム

○「フォルムアニリツ」Formalid.  $C_4H_5NH(HCO)$

「フニールフォルムアミッド」

性状 本品ハ無色稜柱狀ノ長針狀結晶ニシテ水ニ稍溶解シ酒精ニハ尙溶ケ易シ四十六度ニ

知覺醉藥

フォルマツヨール フォルムアニリツ

溶解ス

**作用及應用** 本品ハ知覺麻酔藥トシテ喉頭病ノ疼痛及嚥下困難ニ吹入シ口内ノ梅毒性潰瘍ニ塗布及含嗽トナシ尿道鏡ノ挿入時尿道ノ知覺ヲ減スルカ爲メニ尿道ニ注射シ又小手術ニ知覺麻酔ノ爲メニ皮下注射ス内用ニハ解熱劑及知覺麻酔劑トス應用時注意ヲ加フルヲ要ス副作用ハ蒼青色、心機亢進、抑壓感覺ナリ

**用量** 喉頭ノ吹入ニハ本品澱粉等分ノ者「含嗽水、尿道及膀胱ノ注入料、皮下注射ニハ一乃至三%ノ水溶液ヲ用ユ内用ニハ三十九度以下ノ解熱ニハ〇、一五」三十九度以上ノ熱ニハ〇、二五ヲ一日二三回與フベシ知覺麻酔藥ニハ一回量〇、二五「毎日〇、五ヲ散劑トス

○「フォルマリット」Formalith.

本品ハ「フォルマリット」ヲ浸淫セル燧石粉ニシテ販賣セラレ居室ノ消毒及綑帶料ノ調製ニ供ス

○「フォルマン」Forman.

本品ハ「クロールメチールメンチールエーテル」ノ略稱ニシテ數多ノ實驗ニ徴スレバ感冒ニ對シテ頗ル偉效アル者トス實ニ數多ノ輕症感冒ニ於テハ二十四時間ニ全ク消散セシムベク又稍増進シタル感冒ニ於テモ其持續ヲ短縮セシム可シ鼻咽腔ノ加答兒ニ良效アリ殊ニ靜ニ安眠ヲ得セシム又種々ノ急性氣管枝炎ニ良效アリ

本品ハ濕潤ノ空氣或ハ尙速ニハ溫湯ニ觸ル、キハ其構成物タル「メントール」ト「フォルムア

感冒劑

ルデヒッド」トニ分解セラレ同時ニ分解スル鹽酸ハ水ニ溶解シツ、瓦私狀トナリ揮發セラレ輕症ノ感冒ニハ小綿球ニ「フォルマン」ヲ浸シ前鼻孔ニ挿入スレバ足レリ頑固ノ感冒ニハ「フォルマン」吸入器ヲ以テ吸入セシム即チ此器ハ兩鼻孔ニ挿入スベキ硝子(屈曲シタル)アリテ硝子管ノ下端ハ「キユルク」ヲ穿チテ恰モ硝子製酒精燈壺ニ接著セシム而シテ此壺内ニ「フォルマン」錠ヲ容ル、ナリ

○「フォルミン」(「ウロトロピン」ヲ見ヨ)

○「フロリドチン」Phloridinum.  $C_{21}H_{33}O_{11} + 2H_2O$

本品ハ林檎、櫻、梅等ノ樹幹皮及根皮ニ存スル者ニシテ絹糸様光輝アル細小白色ノ結晶ヲナシ漸々眞珠様光輝ヲ放テタル大板狀結晶トナリ帶苦甘味アリ冷水ニハ溶解シ沸湯及酒精ニ溶解シ依的兒ニ溶ケ難シ之ヲ動物ニ與フレハ人工的ニ糖尿ヲ起スヲ得可シ本品ハ間歇熱ニ一日量一、〇—二、〇ヲ與フ

○「フロログルチン」Phlogulinum.  $C_6H_8O_6$

「レゾルチン」ニ單ニ腐蝕曹達(腐蝕加里ニ非ス)ヲ加ヘ熱スルニ由リ製ス無色甘味ノ結晶ニシテ酒精及依的兒ニ溶解シ防腐藥及解熱劑トシ其純品(則チ全ク「ジレゾルチン」ヲ含ム可ラズ)ヲ與フ

○「フラングリン」酸(下劑)

○「フィソスチグマ」(下泄劑)

間歇熱ニ内  
用セシム

防腐解熱藥

強壯劑

○「フェルザン」 Ferzan.

**性状** 近時「ドクトル」アドルフ、ジヨルレス氏ハ牛血ノ赤血球ヨリ特種ノ方法ニ由リテ鐵化合物(鐵〇、四四二五磷〇、一七九瓦蛋白約九〇、〇%ヲ含ム)ヲ製出シ之ヲ「フェルザン」ト名ケタリ本品ハ「シヨコロード」様ノ粉末ニシテ不快ナラザル弱鹹味アリ温湯ニ全ク溶解シ煮沸スルモ酸性「アルブミン」ナル爲メニ凝固セズ

**應用** 本品ハ鐵及蛋白ヲ含メルヲ以テ鐵劑及滋養劑トシテ用ユ可シ鐵分吸收ノ問題ハウインクレル氏ノ動物試驗ニ由リテ明ナリ則チ「フェルザン」ヲ以テ飼養シタル動物ニ於テハ顯微鏡化學ニ由リテ肝及脾ニ鐵分沈著ノ増加スルヲ見テ確定スルヲ得ベシ然リ而シテ人工的胃液ハ本品ニ影響セザルガ故ニ本品ハ腸ニ至リテ初メテ吸收セラル、者ナルヲ認メサル可ラズ本品ノ營養價值ハ人ニ於ケル新陳代謝試驗ニ由リテ「ドクトル」コルナウト氏ノ證シタル所ナリ即チ梅毒初期及第三期ノ貧血、悪性早熟性梅毒ノ貧血及子宮出血ニ由來スル貧血ニ用ユベシ而シテ之カ效力ヲ檢スルニハ血液ノ血球素量、赤血球ノ數、尿尿ニ於テ行フベキ者トスジルベルスタイン氏ハ即チ糞便ニ就テ檢セシニ他ノ鐵劑服用時ニ認ムルカ如キ糞便ノ硫化鐵ニ由來スル暗黒色ヲ呈セサリシト云フ是レ蓋シ「フェルザン」ガ實ニ其大部分吸收セラル、ノ證左ナリトス

本品ハ小兒ノ遺傳梅毒、腺病性貧血ニ用ヒテ著效アリ其效タルヤ恐クハ磷ノ含在ニ關スルヲ少カラザルベシ

營養物トシテ傳染病殊ニ麻疹、猩紅熱、瘧疾後恢復期ノ小兒ニハ少クモ「ソマトーゼ」ト同價ナリ且其吸收ニハ毫モ胃ヲ勞セサルヲ以テ優レリトス

他鐵劑ノ服後ニ現ル、不快ノ病症例之、齒牙ノ損害、食思障礙、下痢ハ「フェルザン」ノ服後決シテ發セズ

**用量** ハ大人ノ貧血及衰弱狀態ニハ一日二三咖啡匙宛四週乃至六週投シ腸弛緩及官能性神經病ニハ毎日四咖啡匙、肺癆及恢復期ニハ一日四乃至十六咖啡匙ヲ食前ニ與フ小兒ノ尪病ニハ一日一二咖啡匙宛一二ヶ月間持長ス

**用法** ハ先ツ本品ヲ硝子杯或ハ皿ニ容レ少許(約二三(食匙)ノ水ヲ加ヘテ能ク混和シタル後煮沸シタル温乳汁ヲ充タシ振盪シ用ユベシ冷乳ニテモ可ナリ又乳汁ニ代ヘテ茶、柯々阿或ハ肉羹汁ヲ加フルモ可ナリ小兒ニハ本品ニ糖水ヲ混和シ且乳汁或ハ柯々阿ヲ加フベシ

滋養劑

○「プロトージェン」 Protogen.

本品ハ溶解性ノ凝固セサル蛋白質ニシテ血清或ハ卵白「アルブミン」ニ「フォルムアルデヒット」ヲ感作セシメテ製ス其卵白「アルブミン」ヨリ製セルモノ即チ「ヲフォプロトージェン」ハ沸湯ニハ一分ト八分トノ比例ニ溶解ス冷水ニモ亦溶解ス本品ハ吸收セラレ易ク且體中ニ於テハ肉類及卵白ヨリモ善ク保貯セラレ同時ニ脂肪ノ吸收ヲ催進ス胃酸缺乏セルトキ及胃ノ

フェルザン プロトージェン

狹窄アル者ニモ能ク用ユルニ堪フ又灌腸ニモ使用スルヲ得可シ灌腸ニハ一日六〇、〇ヲ二回ニ用ユ

○「ブルヌス、ウイユギニアナ」(鎮咳劑)

○「プロピラミン」(萎黃病、痲瘋質斯ニ一、〇—二、〇ヲ水劑トシ用ユ)

○「プチヒヨスチン」(健胃劑)

○「フットキシリン」(Photopylin)

本品ハ綿火藥ノ一種ニシテ酒精、依的兒等分ノ混合液中ニ溶解ス此液ハ透明ニシテ凝固スル後モ亦清澄ナリ五%溶液ヲ古魯胃膜ニ代用ス

○「プロタアルゴール」(Protargol)

殺菌的淋疾  
藥及防腐藥

**性状** 本品ハ銀製劑(銀ト「プロテイン」トノ化合物)ニシテ粉塵様鮮黃色ノ粉末ヲナシ容易ニ水ニ溶解ス殊ニ初メ之ヲ濕シタル後チ冷水ヲ加ヘタル時ヲ然リトス此證明鮮黃色ノ溶液ハ五十%ヲ含ミ全ク中性反應アリ暫時加熱スルモ變セザレモ唯久シク熱スルカ或ハ長ク光線ニ觸ル、キハ暗色トナル本品ハ亞兒加里、硫化亞兒加里、蛋白、食鹽ニ由リテ沈澱セス鹽類ニ由リテ分解セラル強鹽酸ニ遇ヘハ變化セサル「プロタアルゴール」ヨリ成ル沈澱ヲ生スル水ヲ加フレバ再ヒ澄明ニ溶解ス本品ノ銀含量ハ八、三%ナリ

**應用** 「プロフエソル」(ナイセル氏)ハ本品ヲ淋疾ニ用ヒタリ其效甚タ善良ナル有效無害ノ品ニシテ本品ハ從來ノ治淋劑中ノ主位ヲ占ムル者タリ先ツ之ヲ注射スルニハ左ノ如シ(一)男

子急性性淋ニ於テハ唯尿道前部、經久症ニ於テハ尿道後部及攝護腺ヨリ壓出セル雲絮中ニ淋毒球菌ノ存スルヤ否ヲ確定シ(二)其存セル諸症ニハ速ニ注射ヲ始メ瀰久的注射ニ於テハ屢尿道後部ニモ注射ヲ行フベシ屢、此際ニハ特效療法ハ必要ナラサルヲアリ若シ尋常ノ注射治法ヲ行フニ拘ラス數日ノ後尿道後部ノ雲絮中ニ淋毒球菌ヲ證明スルニ及ヒ始テ特效療法ヲ行フベシ(三)注射ハ豫メ排尿セシメテ一日三回行フベシ初メ二回ノ注射ニ於テハ注射ハ唯十分時間尿道粘膜炎ニ感作セシメ第三回ノ注射ニ於テハ二三十分時間藥液ヲ感作セシム其際分泌物多量ナルニ從ヒ屢、新ニ尿道ニ注射スベシ(四)數日ノ後ニハ甚タ速ニ此療法ハ一日一回ノ瀰久的注射ニ制限スルヲ得ベシ(五)此方法ノ便宜ナルハ患者好テ三乃至四週療法ヲ行フヘキヲ了解スルニ至ル已ニ二十四時乃至四十八時ノ後淋毒球菌ヲ發見セサル症ニ於テモ尙一週間ハ一日一回ノ瀰久的注射ヲ行フベシ(六)故ニ醫師ニシテ若シ顯微鏡検査ヲ行フヲ得サル場合ニハ久シク外見上無用ノ療法ヲ行フヲ免レサルベシ(七)藥液ノ濃度ハ初メハ〇、二五%ノ溶液ヲ以テ注射シ能ク之ニ堪ユルヲ見テ漸次ニ左ノ半—一—二—三%ノ濃度ニ增量スベシ(八)輕久症ニ於テハ慢性滲潤ヲ除クカ爲メニ灌射的注射(「アルゲンタミン」一分水二千乃至四千分)ニ由リテ人工的炎症ヲ喚起スルヲ要スルヲアリ然レモ此際ニモ「プロタアルゴール」ハ其著シキ深達作用アルガ爲メニ深ク組織中ニ棲息スル淋毒球菌ニ及ホスニ適スルカ如シ而シテ「プロタアルゴール」ノ應用以來ハ他ニ此ノ如ク善良ニシテ確實ノ速效アル者ヲ見スト結論スルヲ得ベシ

フットキシリン プロタアルゴール



本品溶液調製時ノ注意

外用法 男子急性淋疾ニ對シテナイセル氏ハ淋毒球菌存在ノ確定シタル後ハ速ニ〇、二五%液ヲ以テ注射ヲ始メ三日—八日—十二日ヲ經テ〇、五—一—二—三%ニ増強ス注射ハ一日三回行ヒ藥液ハ初メ二回ハ尿道ニ十分間留メ第三回ノ注射(夜間)ハ二十分乃至三十分留置スヘシ

諸家ハ女子ノ淋疾、初生兒及大人ノ眼淋疾等ニ賞用セリ

此液ハ必スヤ寒冷ニ調劑スベシ蓋シ加温スルカ或ハ全ク煮沸スルキハ其分解ヲ起セバナリメルク氏ハ左法ニ從ヒ本品溶液ヲ調製セリ

〇「プロタルゴール」〇、五—一、〇 屈利設林〇、五—一、〇 食鹽溶液(〇、六%)二〇〇、〇

右黑色壤ニ容ル

此溶液ヲ製スル最良法ハ先ツ初メ屈利設林ヲ乳鉢ニ容レ次ニ「プロタルゴール」ヲ加ヘテ振盪シ乳棒ニテ研合シテ同度ニ滋潤シタル軟泥ヲ生スルニ至ル而シテ之ヲ所要量ノ水ニ溶解スルナリ

「ドクトル」エジヲネック氏ハ本品溶液調製法ニ關シテ常ニ此液ハ新ニ且寒冷(常温ニ於テ)ニ調劑シ寒冷ニ用ヒサル可ラスト云ヘリ蓋シ此點ニ就テ氏ハ左ノ最モ注意スベキ報告ヲ爲セリ則チ本品ノ治療上無効ナリシ本源ハ洗滌、注入、點滴ニ用ユル溶液ヲ加温スルニ在ルヲ知り得タレバナリ爾來氏ハ專ラ體温以上ニ達セサル常温度ノ溶液ヲ用ヒタリ然

本品處方ノ注意

レ此調製溶液ヲ加温スルト加温セサルトヲ問ハス治療上尙緊要ナルハ即チ使用ノ直前ニ溶液其者ハ寒冷ニ製セサル可ラサル、是ナリ是レゴールドマン氏ガ唱エタル所ニノ廣ク之ヲ辨識セザル可ラス

本品ヲ處方スルニハ特別ノ注意ヲ加フベシ何トナレバ適法ニ製セザル溶液ハ患者ニ不利ヲ與フルノミナラズ藥劑師ト世人ノ間并ニ藥劑師ト醫師ノ間ノ感情ヲ異ニスルニ至ルベケレバナリ此溶液ヲ製スルニハ決シテ温湯ヲ用ユ可ラズ其濃稠ナルキハ分解ヲ起シ混濁或ハ沈澱ヲ現出スベシ然レモ亦此ノ如キ他覺的ニ認ムヘキ變化ヲ呈セサルヲアリ此ノ如キ認ム可ラザル變化ハ淋疾注入ニ用ユル溶液ニ於テ殆ト必ス存在スルナリ吾人ハ現今未ダ確然加温ニ由リテ製シタル溶液ニ於テ化學的ニ變化ヲ證明スルヲ得ザレモ而カモ他方法ニ從フモ加温ノ影響ヲ確定スルヲ得ベシ即チ温湯ヲ以テ製シタル本品溶液ハ冷水ヲ以テ製シタル溶液ニ比スレバ其暗色ナルヲ認メン是レ蓋シ本品中ニ含有セル「プロチイン」質ノ酸化スルニ係ル者ナリ注射液トシテ温暖ニ調製シタル溶液ヲ用ユレバ刺戟スルヲ少カラサレモ同溶液ヲ寒冷ニ製シ同患者ニ使用スルニ之ニ堪ヘテ刺戟アルヲナシ是ヲ以テ本品ヲ溶解スルノ目的ニ温湯ヲ用ユルハ必スヤ許ス可ラザル所ナリ

エジヲネック氏ハ屈利設林ヲ加ヘス純水溶液ヲ良トスト云ヘリ蓋シ屈利設林ヲ加フレバ多クハ刺戟作用ヲ認ムレバナリ強テ屈利設林ヲ加フベキ原由ハ毫モ之アラズ「プロタルゴール」ハ淋疾ノ療法ニ向テ復タ用ユ可ラサル「プロセント」數即チ五十%マテ冷水ニ溶

解スルヲ以テナリ

「ドクトル」アッサルアルストレーム氏ハ發病後第八日ニ來リシ急性前尿道淋疾ニ於テ  
 ウエランデル氏ノ頓挫法ヲ行ヘリ初メ四五日間毎日一回二乃至四%ノ本品溶液五、〇—一  
 〇、〇ヲ醫師自ラ注射シ其後三日乃至五日間毎日一二回患者ヲシテ一乃至二%ノ液ヲ注射  
 セシメタリ藥液ハ毎回尿道内ニ十分乃至十五分留滯セシムベシ多クハ注射後忽チ消散スル  
 灼痛ヲ來ス唯一回尿道出血及浮腫ヲ來シ注射ヲ中止シタルノミ或ハ僅ニ暫時出血ヲ來セシ  
 一アリ  
 之ニ反シテ「ドクトル」レラボルドカスベル氏ハ此頓挫法ハ證明スヘキ效ヲ奏セス却テ著害  
 ヲ招クト云ヘリ

「ドクトル」フランク氏ハ男子淋疾感染ノ有力ナル防禦劑トシテ交接後直チニ二十%ノ本品  
 屈利設林溶液ヲ尿道ニ滴入シ少クモ五秒間尿道内ニ留メシム此法ノ良效アルハ「プロフェ  
 ソル」ツァイスル氏ノ確定シタル所ナリ

フランク氏ハ此豫防法ヲ實行スルカ爲メニ點滴器(「プロファイラクトール」)ヲ製シ恰モ鉛筆  
 ノ如ク隨意ニ各自携帯ノ便ヲ計レリ

此器ハ注射器様ノ小管ヨリ成リ「コルベン」トノ小硝杆ヲ用ユ此小管ハ毎回ノ豫防ニ必要  
 ナル二十%本品屈利設林液ノ分量ヲ貯フ而シテ此小管ハ衛生上ノ理由ヨリシテ一回以上使  
 用ス可ラズ即チ小管内容ノ上方ニハ一ノ栓子填塞シアリ之ヲ硝子杆ニ由テ動カシ液ヲ驅

出スヘク流出口ニ於テ生シタル單純ノ閉鎖ハ指頭ニテ壓シテ容易ニ除クヲ得ヘシ此小管  
 ニハ流出口ノ上方ニ膨脹球部アリテ尿道口廣キモ液甚深ク流入スルト尿道粘膜ノ損傷ヲ  
 防止セリ

此目的ニウエランデル氏ハ交接後一二時ニ本品ノ三乃至四%溶液一二瓦ヲ排尿後直チニ尿  
 道ニ注射シ六分乃至十分間留滯セシム此注射ハ粘液膿狀物ヲ泄ラスモ之レヲ淋疾ト誤ル可  
 ラス

「プロフェソル」コップ氏ハフランク氏豫防的「プロタルゴール」療法并ニウエランデル氏ノ  
 豫防的頓挫法ヲ賞讃セシガ殊ニ氏ハ感染的交接後十二時内ニ頓挫法ヲ行ヘリ而シテウエラン  
 デル氏ノ豫防頓挫法ノ用法ニ關シテコップ氏ハ報シテ曰ク小ナル綿ヲ纏ヘル卷綿子ヲ以テ  
 尿道及舟狀窩ノ粘膜面ヲ稍強ク摩擦シ小ナル毛細管出血ヲ生スルニ至リ次ニ二%硝酸銀液  
 或ハ二十%「プロタルゴール」屈利設林ヲ塗布スルニ在リ此塗布ハ翌日モ反覆ス此處置ニ由  
 來スル炎症反應ハ速ニ消散シ其際不良ノ結果ヲ見ルコトアレモ疼痛ハ暫時持續スルノミ

腔及子宮ノ急性及慢性淋ニハメルク氏ノ報告ニ從ヘハルタウー氏ハ二乃至四回腔ヲ一千倍  
 乃至二千倍ノ本品溶液ヲ以テ洗注シ少クモ一日二回尿道ニ〇、二五%ノ本品溶液ヲ注射ス  
 此方法ニ由リテ十二日乃至十四日ヲ經レバ淋毒球毒及炎症消失スルニ至ルベシギアネルリ  
 一氏ハ子宮頸及子宮腔ノ淋疾ハ〇、五%本品溶液ヲ以テ洗滌シ漸次一、〇—二、五%ノ者ニ  
 増強シ用ユ此洗滌後五%ノ「プロタルゴール」、澱粉及護膜ヲ含メル小坐藥ヲ子宮頸ニ挿入

女子淋疾ノ  
預防的本品  
注射ノ必要

本品ノ子宮  
炎局所療法

スレバ十五分内ニ溶流ス其後十%本品溶液ヲ以テ腔ヲ洗滌スベシ終ニ子宮頸ノ前方ニ十%  
本品屈利設林綿球ヲ接著シテ腔内ヲ填塞ス此法ハ第一週ニハ毎日、次週ニハ隔日ニ行ヒ漸  
次收斂藥(一%單寧液)ニ換ユベシ  
淋毒性慢性子宮附屬部疾患ニハ一%本品「ワゾーゲン」ヲ塗擦シ次テ「ヨジピンワゾーゲン」  
ヲ用ヒ良效アリ  
女子生殖器ノ淋疾感染ノ確實無害ノ豫防法トシテコップ氏ハ交接後二十%ノ本品溶液一二  
滴ヲ舟狀窩ニ點滴スルヲ賞用セリ  
女子生殖器ノ豫防的「プロタルゴール」洗滌法ハ二年來ウオルムスノ妓樓ニ於テ行ヘリ爾來  
フエルチツヒ氏(ウオルムス)ニ從ヘハ女子ノ淋疾ハ殆ト全ク消散シタリ  
種々ノ原因ニ由ル子宮炎ノ「プロタルゴール」ノ局所療法ハアルベルトカアロー氏ニ由レバ  
甚良效アリ即チ此療法ハ(ヘガール氏杆ヲ以テ子宮頸管ヲ謹慎擴張シ豫メ乾綿ヲ以テ全子  
宮腔ヲ拭ヒタル後)毎日子宮腔ヲ鈍キ或ハ球頭ノ鍍銀セル金屬小杆ニ十%本品溶液ヲ浸セ  
ル綿ヲ纏ヒタルモノヲ以テ洗拭ス此法ハ十日乃至四十九日平均十五日乃至二十一日ニ及フ  
ベシ而シテ月經時ニハ害アルカ如シ故ニ此法ハ月經ノ經過シタル後ニ開始スヘキ者トス  
カアロー氏ニ由レバ「プロタルゴール」杆ハ賞用ス可ラズ必ス疼痛及ヒ疝痛ヲ起シテ效アラ  
スト  
「ドクトル」朝倉文三氏ハ第二期淋疾ニ〇.五%ノ「プロタルゴール」水ヲ一日三四八時間ヲ

隔テ用ヒ效アルヲ報セリ(皮膚病泌尿器病學雜誌第一卷第三、四、五號)

二十五%ノ溶液ニ於テハ癩疽、裂創、挫創ニ濕溫綳帶トナシ應用ス二%ノ溶液ヲ結膜炎ニ一  
日三回乃至十二回點眼ス

〇「プロタルゴール」〇.五—二.〇 屈利設林〇.五—一.〇 食鹽液(一、二)二〇〇、

右黒瓶ニ容ル注射料(淋疾)

スワットガルト眼科病院ニ於テルツベル氏ハ二年以上八百餘名ノ患者ニ本品ヲ用ヒタリ曰  
ク本品ハ必ス冷液ヲ以テ製シ少量ニ貯フルヲ宜シ凡テ甚シキ分泌物アル結膜炎ニハ之ト共  
ニ亞鉛劑ヲ用ユベシ其經過日數ハ大抵十四日ナリ初生兒膿漏炎ニハ昇汞水ノ洗滌ト本品ノ  
塗布トヲ併用スルキハ效力顯著ナリト

眼科ニ於テハ先ツボーン大學「クリニーク」ニ於ケルエンゲルマン氏ノ報告ニ由レバ初生兒  
眼、淋、豫、防、ニハ千名ノ小兒ニ豫防的ニ二十%本品溶液ヲ點滴セリ(溶液ハ寒冷ニ製シ黒瓶  
ニ容ルベシ)其成績ハ八十%ニ於テハ毫モ分泌ナク或ハ僅ニ分泌アリシノミ已ニ第二日ニ  
ハ消散シタリキ然ルニ硝酸銀點眼後百例中九十六名ハ多少ノ分泌或ハ時トノ異常ノ分泌ヲ  
起シ多クハ第五日ニ至ルマテ(時トノ五日以上)持續シタリ且九回ハ續發加答兒ヲ發セシモ  
「プロタルゴール」療法ニ於テハ一回モ之ヲ見ザリキ是ニ由リテエンゲルマン氏ハ殆ト無刺  
戟性ナル二十%「プロタルゴール」液ハ強刺戟性アル二%硝酸銀液(クレデ氏)ニ比スレバ豫

眼科ニ於テ  
ル效用

防的ノ關係ニ於テハ頗ル優レル者ナルヲ斷定セリ

初生兒化膿性結膜炎ノ豫防法トシテピヲトロウスキー氏ハ十%本品溶液ヲ用ヒタリ氏ハ從前二十%本品溶液ヲ用ヒタルニ其三十五例ハ反應性炎症ヲ發起シタリキ是ニ由リテ氏ハ溶液ノ濃度ヲ半數ニ減シタリ其成績ハ實ニ佳良ニ反應性炎症少ク之ヲ發スルハ十%以下トナレリ

初生兒眼淋ニ於テハレックスハフト氏ハ一日三乃至五回或ハ夜間モ數回五%本品溶液ヲ點眼シテ效アリ爲メニ家族ヲモ安息セシムルヲ得タリ此際ニハ水褌法ハ必要ナラズ同氏ハ分泌物ヲ除クガ爲メニ初メハ毎時五千倍ノ昇汞水ヲ以テ洗滌セリ其他片側ノ疾患ナルキハ豫防トシテ毎日一回健眼ニ五%本品溶液ヲ點眼セリ

其他ジャンネル氏ハ慢性淚囊淋ニ五乃至十%本品溶液ヲアーネル氏注射器ニテ四乃至六回注射シ著ク佳良トナリ分泌頗ル減少セリ又ベルゲンズ氏ハ初生兒眼淋(二%液ニテ毎時點眼)及淚囊化膿(十%液ニテ注射)ヲ實用シヘルマンウエベル氏ハ大人ノ重症眼淋ノ一例ニ用ヒテ良效ヲ得タリト

慢性咽頭加答兒ニアルトウルアレキサンデル氏ハ一%溶液ノ塗布、其他枯草性感冒ニ於テハ半%液ヲ鼻孔ニ注入シ若クハ五%液ニテ鼻粘膜ヲ摩擦セリ此症ニ於テハ其流行時季ノ始メニ三四週間療法ヲ行ハザル可ラス尋常ノ急性感冒ニモ亦ド、ステララ氏ハ十%溶液ヲ毎日塗布シテ效アリト

慢性結痲性及落屑性濕疹、生髮部ノ膿疱性濕疹、火傷、他種ノ皮膚損傷等ニモフロレット氏ハ五乃至十%本品軟膏ヲ用ヒテ效アリ本品ハ硝酸銀ヨリモ乾燥作用ヲ呈シ毫モ肉芽ノ増生ヲ來サス

○内用、「ドクトル」ルヘマン氏ハ本品ヲ嘔吐及疼痛發作アル胃痛、胃潰瘍ノ出血、急慢ノ膀胱炎、淋毒性關節炎及痲瘋質斯ニ内用セシメタリ最後ノ者ニハ撒曹無効ノ者モ速ニ輕快シ服後毫モ消化ヲ害セザリキ唯一回脊髄癆ニ由ル者ニ於テ一年間大量ヲ服セシキ銀病ヲ發セシアルノミ

内用量ハ每丸〇、一トナシ一日六丸(一日三回二丸宛)與へ或ハ急性症ニハ一日二乃至四回〇、五宛(散劑ヲ「ヨブラート」ニテ服セシム概シテ全治療間十二乃至二十一瓦ニ至ル

顯劑藥

○貌魯謨安母尼亞「ルビシウム」 *Rubidium Ammonium bromatum.*

Rd Br(NH<sub>4</sub>Br)<sub>2</sub>

白色結晶樣粉末ニシテ水ニ溶ケ易ク初メ清涼、後チ鹽味ヲ覺フ顯著ノ神經劑及顯劑トシテ用ユルニ毫モ副作用ヲ起スコトナク顯劑ニ良效ヲ奏シ概シテ貌魯謨加里ヨリモ著ク發作ヲ制止スルノ效アリ一日數回二、〇ヲ與へ一日量七、〇—八、〇トス

○「ブラッタオリエンタリス」 *Bhatia Orientalis.*

本品ハ惡臭ノ蟲ニシテ其粉末トナセル者及丁幾ヲ製シ利尿劑トシテ水腫、腎臟炎、肋膜炎ニ應用ス本品ニハ結晶性物質則チ「アンチヒドロピン」ヲ含ム是レ本品ノ利尿效分ナリ用量ハ此粉

利尿劑

貌魯謨安母尼亞「ルビシウム」 *Rubidium Ammonium bromatum.*

解熱劑

末〇、二—一、二或ハ一日量丁幾二十滴ヲ三乃至四回與ヘ五、〇—一〇、〇ヲ一五〇、〇ノ煎劑トシ一日三回一食匙ヲ與フ

〇「フェヂン」 *Phistin*. (後條「コサプリン」ノ條ヲ參考セヨ)

本品ハ「フェナチエチン」ノ硫酸誘導體ニ淡紅褐色輕鬆ノ粉末ヲナシ無臭ニ輕キ腐蝕性鹽味アリ本品ハ水ニ甚タ溶解シ易シ其水溶液ノ色ハ「ピスマルク」褐ノ如シ反應ハ弱酸性ナル新解熱劑タリ其解熱強ク且速ナレ長ク持續セズ内用量〇、五—二、〇ニ一日五、〇—七、〇ナリ

〇「フェルロソール」 *Ferrosol*. (含糖酸化曹達鐵液)

本品ハ新鐵劑ニ〇、七七%ノ鐵分ヲ有ス本品ハ黑褐色澄明ノ液體ニ收斂セザル味アリ酸類、亞兒加里、或ハ鹽類、溫度ノ變化ニ由リテ沈澱ヲ生セス萎黃病、貧血等ニ用量ハ一日三回一茶匙ヲ投ス

〇「ファナジン」酸及「ファナジン」酸曹達 *Vanadinsäure und vanadinsäures Natrium*

強壯劑

近時佛國ニ於テハ「ファナジン」酸及其鹽類ヲ治療上ニ應用セリ其生理的作用及治療的應用ハ其化學的性質ト親密ニ相連繫スル者タリ

「ファナジウム」ハ溶解シ難キ灰白色ノ金屬ニ百度ニ於テモ變化セス通常ノ溫度ニ於テハ甚徐々ニ酸化スルノミ酸素瓦私中ニ熱スルキハ燃燒シテ「ファナジンペンタキレド」トナ

ル鹽類及稀硫酸ニ由リテ侵サレザルモ強硫酸ニハ帶黃綠色ヲ以テ溶解シ硝酸ニハ藍色ヲ以テ溶解ス王水ニモ亦然リ苛性曹達ヲ加フレハ鎔融シテ「ファナジン」酸曹達トナル  
「ファナジウム」ハ酸素ト化合シテ左ノ四種ノ化合物ヲ生ス

亞酸化「ファナジン」( $V_2O_3$ 又ハ  $VO$ )

三酸化「ファナジン」( $V_2O_5$ )

四酸化「ファナジン」( $VO_4$ 又ハ  $VO_3$ )又ハ二酸化「ファナジン」、次亞「ファナジン」酸

五酸化「ファナジン」( $V_2O_5$ )又無水「ファナジン」酸

「ファナジン」ハ酸素ニ遇ヘハ酸性氧化物ヲ生スルノ性質アルニ由リテ之ヲ金屬様物ニ列スレバ其理學的狀況ニ從ヘハ金屬ニ屬セリ故ニ金屬様物ヨリ金屬ニ變スル變遷物ヲ形成スル一原素ナリ

動物ニ數日間大量ヲ投スルキハ下痢ヲ發シ食思ヲ失シ羸瘦シ數日ニノ死ス然レバ甚小量ハ之ニ反對ノ作用ヲ發ス即チ食思亢進シ體重及體力増進ス之ト同一ノ作用ヲ人ニ於テハ小量ノ後ニ認ム即チ食思亢進シ甚シキハ善飢トナリ體重及體力増加ス尿量及排泄スル尿素ノ量増多スルヲ見ル

治療上「ファナジン」酸ハ結核、萎黃病、亞急性及慢性ノ癩麻質斯ニ用ヒテ效アリ即チ食思亢進シ體重増加シ或症ノ如キハ十四日間ニ二乃至三機瓦増加シ身體ノ景況佳良トナル又本品應用ノ適症トシテハ一般ニ怠慢ナル新陳代謝即チ體中ニ於ケル酸化作用緩徐ナル者はナリ

フェヂン フェルロソール ファナジン酸及ファナジン酸曹達

レーレン氏ハ「ファナジン」酸ヲ結核性腕關節病ニ外用シタルニ寸效ナカリキ  
 内用ニハレーレン氏ハ「ファナジン」酸〇、四五密瓦(〇、〇〇〇四五瓦)ヲ一日二回甚稀薄ノ  
 水溶液トナシ用ヒマルツ及マルチン氏ハ「ファナジン」酸曹達一—二密瓦(〇、〇〇一〇〇、〇  
 〇二瓦)ヲ朝夕食前半時ニ投シ「ファナジン」酸曹達二、〇水一〇〇〇、〇ノ液十滴ハ一密瓦ニ  
 應ス

〇「ファンゴ」Fango

「ファンゴ」ハ上部伊太利ノバタグリア地方ニ於テ已ニ久シク用ヒラル、粘土溶(「ファン  
 ゴ」ナル伊太利語ハ「浴粘土」Badeschlammノ義ナリ)ノ謂ニモバタグリアニ於テハ他ノ  
 地方ニ於ケルカ如ク土壤ト温泉水トヲ混合シテ人工ニ調製シタル者ニ非スシテ頗ル大量ニ  
 温泉水ト同時ニ地表ニ湧出シ數多ノ小池ニ貯ヘラル然ルキハ此ノ鑛性粘土ハ其成分及構成  
 ヲ害セスノ他地方ニ輸出セラレ其地方ニ於テハバタグリアニ於ケルト同方法ヲ以テ之ヲ  
 治療的ニ身體ノ患部ニ使用スルヲ得ベシ

「ファンゴ」ハ其構成ニ從ヘバ吾人ノ用ユル鑛性粘土及沼泥ノ種類ニ屬ス故ニ「ファンゴ」  
 ノ化學的性質ハ此等ノ兩品ニ同一ナルモ其理學的性質ハ著シク此兩品ニ優ル即チ其成形的  
 性質ト甚シキ温ノ不良導體ナルトヲ殊ニ唱道スベキ所トス此兩性質ハ「ファンゴ」ノ特ニ  
 疾患アル局部ニ使用スルニ適スル所タリ

「ファンゴ」用法ノ局所用法的作用ハ其温ノ不良導體ナルカ爲メニ頗ル強劇ナルノ外ニ尙

痲瘋質新性  
 疾患及神經  
 痛等ノ外用

「ファンゴ」  
 用法ノ局所  
 用法

一般發汗法ニモ適當スルカ故ニ此熱性粘土ヲ局所ニ應用スルト共ニ三層ノ被巾(布片、護膜  
 布、毛布)ヲ以テ全身ヲ纏包スルナリ是ヲ以テ局所的「ファンゴ」兼全身纏包法ト局所的  
 「ファンゴ」ノミニノ全纏包ヲ行ハサル法トニ分ツ先ツ此方法ニ就テ一言セン全身纏包ヲ  
 兼ネザル局所「ファンゴ」應用ニ於テハ手關節若クハ足關節ヲ超過セサル疾患ニ於テハ患  
 者ノ手若クハ足ヲ熱「ファンゴ」(攝氏四十乃至五十五度)ヲ充タセル器中ニ挿入セシムベ  
 シ最良ナルハ護膜囊ニモ其冷却スルヲ防クニハ全使用時間中熱湯中ニ没入シ得ベク其温  
 度ハ常ニ「ファンゴ」ノ温度ヨリモ約二度超過セシメサル可ラス他ノ部分ノ局部疾患ニ於  
 テハ患者ヲ裸出シ適宜熱「ファンゴ」ヲ當該體部ニ貼置スルヲ素ヨリ必要トス此場合ニハ  
 温湯ニ代ユルニ上述シタル三層ノ被巾ヲ用ヒテ可及的多ク熱「ファンゴ」ノ放冷スルヲ防  
 止スベシ而シテ「ファンゴ」ヲ接著シタル體部ニハ被巾ヲ以テ堅ク纏包シ其外ノ體部ハ唯輕  
 ク其上ヲ被フベキノミ之ニ反シテ局所的「ファンゴ」應用ト全身ノ纏包ヲ行フニ當リテハ  
 全身ノ患部ニ「ファンゴ」ヲ貼附シタル後ハ三層ノ被巾ヲ以テ全身ヲ被包スベシ

「ファンゴ」ヲ使用スルノ時半時乃至一時半ノ後ハ被巾ヲ除去シ粘土ヲ剝脫スベシ次デ微温  
 ノ清潔溶ヲ行ヒ且之ヲ點滴灌注シテ此處置ヲ結了シタル後ハ患者ヲシテ若干時間安靜ニ休  
 息セシムベシ

此用法ノ作  
 用

此用法ノ作用ニ關シテハ則チ化學的及理學的ノ兩作用ニ分ツ可シ他ノ溶料ヨリ化學的物  
 質ノ吸收ニ就テハ諸説區々一致セサルカ如ク「ファンゴ」ニ於テモ亦然リ要スルニ吸收ノ

ファンゴ

如何ハ使用ノ持續久シキヲ要シ其他「ファンゴ」ノ成形的性質ヲ現ハス者ニシテ若シ化學的物質概ノ吸收セラル、者ナルキハ「ファンゴ」ノ吸收ハ一時乃至一時半ノ間應用スルニ當リテハ使用時間短少ニ過ギサル他ノ溶料ニ比スレハ頗ル多量ナラサル可ラス畢竟スルニ此化學的物質ハ必スヤ甚シキ皮膚刺戟ヲ喚起セラル、者ナリ上段ニ記載シタル兩種ノ「ファンゴ」應用法ノ器械的溫熱的感應ハ最緊要ナル治療的事項タリ則チ全身纏包ヲ行ハサル局所的「ファンゴ」應用法ニ於テハ已ニ述ヘタルカ如ク其作用ハ久時間高熱度ヲ保續シ當該體部ヲ最緊密ニ粘著スル所ノ強劇ナル熱毒法ニ在リトス全身纏包及局所「ファンゴ」應用法ニ於テハ其作用ハ發汗の效用ナリ此發汗法ニ於ケル全身ノ影響ハ熱浴、蒸氣浴、他ノ全身粘土浴或ハ全身泥土浴及砂浴ニ比スレバ頗ル僅少ナリトス

伯林ノ「ドクトル」ダウツトソン氏ハ三百八十七名ノ患者ニ就テ之ヲ行ヒシカ其中二十二名ハ急性、八十一名ハ亞急性及二百八十四名ハ慢性病ナリシ而シテ其亞急性ハ六ヶ月以上ノ者ニシテ多クハ慢性ニ傾キ再發シタル者ニ係リ殘餘ノ二百八十四名ノ慢性症ハ半年以上ニシテ多クハ數十年患ヘタル者ナリキ氏ノ經驗ニ徴スレバ此療法ハ何レノ患者モ善ク之ニ堪ヘテ概ノ不快ノ副作用ヲ實驗セズ老幼ニ行フモ禁忌スベキヲナシ之ヲ治療上ニ用ユルニ當リテハ全身ノ纏包ヲ行フヘキヤ否ヤ「ファンゴ」使用ノ時間ノ長短及其休止時間ノ如何等ハ各人ニ從ヒ異ナラザル可ラズ其高年ノ動脈硬變患者及甚シク重症ナラザル心病患者ニモ必要ノ注意ヲ加フレバ障礙ヲ來タスヲナクシテ此法ヲ行フヲ得ベシ

此療法ヲ行フニ適スル患者ハ痲瘋質斯性淋毒性關節病、痛風、畸形關節炎、筋痲瘋質斯、諸種ノ神經痛殊ニ坐骨神經痛、神經炎等ナリ其他各種ノ滲出性病、外科的疾患、外傷後ニ行ヒ發汗法トシテ萎黃病、腎病ニ由來スル水腫狀態、梅毒ノ發汗法ニ用ユ

「ファンゴ」療法ノ作用ハ最モ通常ノ粘土浴、泥浴及砂浴ト比較スヘキ者ニシテ此等ノ浴ニ同シク「ファンゴ」療法モ一定ノ病ニ對スル特效藥トナスヘキ者ニ非ラス畢竟理學的療法ノ一ニ屬スル者タリ一種特異ノ用法タル「ファンゴ」療法即チ粘土ヲ病患アル局部ニ使用スル法ハ一長所トス蓋シ凡テ此ノ如キ處置ノ全身ニ及ボス影響ノ外此法ハ尙疾患部ニ及ボス器械的溫熱的作用及此成形的及保溫的性質粘土ノ化學的影響モ亦與カツテ力アレバナリ其他此「ファンゴ」療法ハ局所泥浴及砂浴ニ於ケルカ如ク按摩、體操等ノ如キ他ノ理學的治法ノ豫備療法ト爲スヘキ者タリ例之或患者ニ數週間按摩ヲ行ヒシモ毫モ寸效ナカリシニ當リ之ニ先タチテ局所「ファンゴ」療法ヲ行ヒ後チ按摩ヲ行ヒテ忽チ奏效アリシコトアルカ如シ此法ハ多クハ短時間ニハ奏效ヲ認メ難シ蓋シ經久ノ疾患ニ行フコト多ケレバナリダウツトソン氏ノ實驗セシ三百八十七名ノ患者中其無効ナリシ四十二名（此ハ療法ノ罪ニアラスノ應用ノ持續甚短カリシト他ノ原由トニ因レリ）ヲ除キ他ノ三百四十五名中三十三名ハ奏效セザリシモ三百二十二名ハ奏效アルヲ見タリ（少シク輕快セシモノ七十五名即チ約二十％著シク輕快セシモノ百五十三名即チ約四十五％全治セシモノ四十八名即チ約二十五％）故ニ統計上約九十％ハ奏效アリテ十％ハ無効ナルヲ見ル

此療法ノ價值ヲ定ムルニハ之ヲ行ヒタル當時ノ疾病ノ時期ヲモ參考セサル可ラス概ノ急性及亞急性病ニハ其他ノ者ニ比スレバ此法ハ暫時ニノ輕快或ハ治愈ヲ致スヲ認ム殊ニ急性淋毒性關節炎、腰痛、急性坐骨神經痛ニ於テ然リ亞急性病ニモ之ニ似タル效アリ著シク恢復期ヲ短縮ス之ニ反シ慢性病ニ於テハ此法ニ由リテ多クハ治愈シタルモノナシト雖モ尙少クモ苦痛ノ緩快或ハ著シキ輕快ヲ致セリ

此療法ハ凡テ強劇ノ局所溫卷法或ハ全身發汗法或ハ此兩法ヲ兼行スル場合ニハ應用シテ可ナリ

滋養食品

○「プラスモン」Mason(シーボルド氏乳汁蛋白)

「プラスモン」ハ新鮮ノ牛乳ノ「カゼイン」ヨリ採製シタル者ニ係リ頗ル多量ノ窒素ヲ含メル蛋白質ニ淡黄色無臭無味ノ粉末ヲナシ水ニ容易ニ溶解ス甚タ消化シ易シ種々ノ法ニ由リテ應用スベク本品ハ廉價ナルヲ以テ民間ノ常食ニ供スルニ足ルベシ「プラスモン」ハ一ハ溶液トナシ一ハ「プラスモン」麵包トナシテ用ユルヲ得ベシ「プラスモン」溶液ト硬形食品及飲料トヲ混和スル方法ハ素ヨリ甚多シ知覺過敏ナル患者ニハ「プラスモン」溶液ノ性質即チ其不透明性(乳樣混濁)并ニ粘滑性及膠樣性質ヲ隱蔽スルカ如キ物質ヲ撰用セサル可ラス(例之乳汁、柯々阿、米、小麥粉、馬鈴薯)然レモ本品ハ家政上ニ使用セラル、ニ至リテ復タ之ヲ外來生面ノ客トナサヌノ良友ト爲シテ主婦ノ歡迎ヲ被ムルニ至ラバ本品ハ廣ク應用セラ

結核藥

○「フルヲロフォルム」Fluoroforn.

本品ハ肺癆ノ強壯療法、授乳婦ノ乳汁分泌催進ニ賞用セララル

本品ハ諸動物性蛋白質食品ニ代用シ得ル者ニソ實ニ其價值ニ至リテハ肉類ニ優ル者タリ本品ハ孜々トノ動作スルモ尙身體ヲシテ運營力ヲ存セシムル者ナルガ故ニ其價額低廉ナルト其應用法甚廣キトヲ以テ庖厨ニ於テ汎ク日常食品トナシ賞用スベキ者タリ

大人ニハ一日三十乃至百五十瓦ヲ飲食品ニ加用シ小兒ニハ每食時一小刀尖ヲ加ヘ一日一乃至三咖啡匙ヲ用ユ

此劑ハ瓦私狀ニ水ニハ二、八%マテ溶解ス即チ「フルヲロフォルム」水トシテ治療上ニ應用セラル殆ト無臭無味ニ嚥下スルハ口蓋ニ輕キ搔感覺ヲ殘ス「フルヲロフォルム」水ハ無毒ニ毫モ消化機ヲ害セス一日四五回一咖啡匙乃至一食匙ヲ用ヒ一日量百瓦ニ達ス

「ドクトル」ステッフ氏ハ十四名ノ肺結核ニ用ヒシニ其中九名ノ者ニハ頗ル良效アリキ其患者ハ數年間存在セシ堅キ滲潤ナリシガ本品ニ由リテ喀痰減少、盜汗閉止、體重增加セリ他ノ五名ニ於テハ初メ本品ニ由リテ輕快セシモ遂ニ奏效ナカリキ此無効ノ者ハ空洞形成ト肺組織崩潰ノ傾向アル者ナリシ

末梢部ノ結核ニ於テハ本品大ニ效アリ即チ八歳ノ小兒ニモ六年以來結核性膝關節炎ニ罹リ瘻管ヨリ甚シク膿汁ヲ漏セル者ニ本品ヲ用ヒ二ヶ月ニシテ治セリ四年來右膝關節ノ結核ニ罹レル四十六歳ノ男子ニ於テ本品使用後四週ニ膝圍(四十仙迷)二仙迷ヲ減少シ同時ニ疼

プラスモン フルヲロフォルム



痛減退シタリ

○「プロテクチン」 *Protectin*.

本品ハクーン氏ニ從ヘハ一側面ニ「カウトシユク」ヲ含孕セル水密ナル防護被蓋ニシテ手術部ノ近傍或ハ他ノ身體部分例之、小裂瘡、皸裂ヲシテ感染ヲ防禦スルカ爲メニ用ヒラル

○「プルモフォルム」 *Pulmoform*. 「メチレン、グアヤコール」

本品ハ「フォルムアルデヒッド」ト「グアヤコール」ノ集成産物ニシテ黄色無臭無味ノ粉末ヲナシ酒精、依的兒、熱「ペンツヤール」ニ容易ニ溶解ス水及石油依的兒ニハ溶解セズレヲ、ジルベルスタイン氏ハ肺癆ニ一日四五回散劑トシテ〇・五—一、〇ヲ水ニテ服セシム

○「フルヨロール」 *Fluorol*.

本品ハ〇・二五%ノ「フルヨール」那篇留液ニノ眼科ニ於テ防腐藥トシテ用ヒラル

○福壽草 *Adonis amurensis et Radix*.

福壽草ハ本邦固有ノ産ニシテ毛茛科ニ列シ冬時花ヲ開キ普ク人ノ賞美スル所ナリ昨年春藥學士田原良純山本正己氏一種ノ糖原質ヲ發見シ醫學士猪子吉人氏「アドニン」 *Adonin*ト名ケタリ(一)有效成分ナル「アドニン」ハ無色無形ノ物質ニシテ其味苦ク窒素ヲ含マス水、亞爾簡兒及嘔囉仿謨ニ容易ニ溶ケ依的兒ニ溶ケ難シ原素分析ニ由レハ炭素六〇、八一%水素八、六〇%稀酸類ヲ以テ煮沸スルキハ二種ニ分解ス一ハ華爾斯様ノ化合物ニシテ依的兒ニ溶解シ一ハ砂糖ニシテ銅液ヲ還元ス(二)生理的效用「第一」蛙ノ心臟ヲ暴シ「アドニン」ノ水

心臟藥

溶液ヲ注入スルニ「ヂギタリス」類ノ作用ノ如ク初メ其鼓動強盛且ツ緩慢トナリ次テ不正ニ變シ所謂蠕動狀ヲナシ終ニ收縮期ノ靜止ヲ呈ハス「第二」兎ノ體重一基呂ニ付「アドニン」〇・〇三—〇・〇五ヲ靜脈中ニ注射スルトキハ血壓大ニ増進ス其量少ナケレハ則心動強盛且ツ緩慢トナルモ血壓ハ僅ニ昇騰スルニ過キス「第三」猪子吉人氏ハ自ラ福壽草浸(六、〇)一ニ〇、〇ヲ四時間ニ分服シ「ヂギタリス」様ノ作用アルハ毫モ疑ヲ容レスト結論セラレタリ(詳細ハ東京醫學會雜誌第(五卷第一號十二丁ニアリ)) (三)治療的效用三患者ノ病牀日誌ヲ掲ケ左ノ結論ヲセラレタリ即チ福壽草ノ有效成分ハ「アドニン」ニシテ其作用ハ實麥答利斯ニ均シ是ヲ以テ福壽草ハ凡テ實麥答利斯ヲ應用スル場合ニ投與スルヲ得ヘシト信ス

○福壽草カ莖ヲ生シ花ヲ開クヤ唯冬期ノミニ止マル然レモ其ノ根ハ終始絶ユルヲナシ○根ノ重量ハ莖ニ比スレハ遙カニ大ナリ殊ニ乾燥時ニ於テ著シ其ノ比較恰モ二四ト一トノ如シ

○根ハ莖ニ比スレハ有效成分ヲ含ムヲ稍多シ

○猪子氏ハ福壽草根ノ乾燥品ヲ貴フ生根ヲ乾燥スルニハ初メ水ヲ以テ能ク洗滌シ次テ大氣中ニ乾燥ス然ル後之ヲ細挫シ再ヒ大氣中ニ於テ十分乾燥シテ密瓶内ニ貯フ可シ

○右ノ乾根ハ浸劑トシ一日二、〇—二、〇ヲ用ユ同氏ハ苦味丁幾ニ配伍ス他ノ苦味劑ヲ混和スルモ害ナケレモ單寧ヲ含メル製劑ヲ禁ス例之ハ規那丁幾ノ如シ是レ單寧ニ由テ「アドニン」ノ沈降スル恐レアレハナリ又患者ニ依リテハ軟便若クハ下痢ヲ發スルヲアリ此ノ場合ニハ阿片丁幾ヲ加フベシ是レ迄右ノ分量ヲ四日乃至六日持長セルモ未タ集積作用ノ有無ヲ

解熱、鎮痛、  
痲質斯藥

知ル能ハス又普通ノ丁幾製法ニ由テ丁幾ヲ製セリ其一立方仙迷ハ乾根〇、二五ヲ含ム即チ二十五%ノ割合ナリ(此篇ハ醫科大學助教醫學士猪子吉人氏カ東京醫學會雜誌第五卷第一號及ヒ五號六號ニ述ヘラレタル抄録セル者ニ係ル詳細ハ同書ニ就テ見ルベシ)

〇「フェノコルム」  
(イ)鹽酸「フェノコルム」 Phenocollum Hydrochloricum  
鹽酸「アミド、アチエト、マフ、フエネナジン」  $C_6H_5O_2C_2H_5NH(OCC_2H_5NH_2)HCl$

**性狀** 本品ハ白色細微ノ結晶様粉末ニシテ約水十六分ニ溶解シ中性ナリ冷酒精ニ溶ケ難ク熱酒精ニ容易ニ溶解ス

**作用及應用** 解熱、鎮痛及痲質斯藥ニ善ク服用ニ堪ユ本品ハ毫モ血液ヲ害セス本品ノ服後尿ハ褐紅色乃至濃黑色ヲ呈シ之ヲ氣中ニ靜定シ過格魯兒鐵液ヲ加フルキハ尙ホ暗色トナル本品ハフオン、メーリング及ヘルテル氏ハ熱性病(肺炎、窒扶斯、肺癆)其他關節痲質斯ニ用ヒテ良效アリクツコ氏ハ麻拉利亞ニ八十四回用ヒタルニ五十二回ハ良效ヲ收メタリト

**用量** 一日數回〇、五—一、〇ヲ散劑或ハ溶液トナシ與ヘ一日量五、〇ナリ麻拉利亞ニハ一回〇、五—一日一、〇—一、五ナリ  
〇鹽酸「フェノコルム」〇、五 白糖〇、三  
右與十包、一日三回十包  
(ロ)醋酸「フェノコルム」 P. aceticum.

本品ハ針狀結晶塊ニシテ三分ノ水ニ容易ニ溶解シ弱亞兒加里性反應ヲ呈ス其溶解シ易キヲ以テ皮下注射ニ適ス用量ハ前者ノ如シ

(ハ)炭酸「フェノコルム」 P. carbonicum.  
本品ハ白色細微ノ結晶性粉末ニシテ冷水ニ溶解シ水ヲ加ヘ熱スルキハ炭酸ヲ放ツ殆ト無味ナルカ故ニ鹽酸「フェノコルム」ニ代ヘテ之ト同量ヲ内用スルニ適ス

(ニ)撒里矢爾酸「フェノコルム」 P. salicylicum 「ザロリン」  
本品ハ無色長針狀結晶ニシテ水ニ溶ケ難ク甘味アリ鹽酸「フェノコルム」ニ代用シテ一、〇—二、〇ヲ散劑トシテ内服セシム

〇古加乙涅 Cocainum  $C_{17}H_{21}NO_4$   
**來歴** 古加乙涅ハ南米ノペルボリウイヤ等ニ對スル「エリトロキシロン、コカ」ト稱スル灌木ノ葉中ニ含有スル類鹽基ニシテ千八百五十九年ニ「マン」氏ノ創製ニ係リ同六十二年シロツブ氏動物試驗ニヨリ凡テ局部殊ニ局處粘膜ノ知覺痲痺及反射機能著シク減少シ且ツ瞳孔散大スル效アルヲ確定セラレ今日ニ至リテハ鎮靜藥トシテ諸般ノ病殊ニ眼科的、外科的諸病ニ汎用セラル、ニ至レリ

(イ)鹽酸古加乙涅 C. hydrochloricum  $C_{17}H_{21}NO_4 \cdot HCl$   
**性狀** 鹽酸古加乙涅ハ白色無臭ノ小葉狀或ハ稜柱狀結晶或ハ結晶性ノ粉末ニシテ弱酸性反應ヲ徴シ其味少シク苦ク舌上ニ鈍麻ノ感覺ヲ起シ大約〇、五分ノ水及二分ノ酒精ニ溶解

局所知覺痲  
醉藥

フェノコルム 鹽酸フェノコルム 醋酸フェノコルム 炭酸フェノコルム 撒里矢爾酸  
エノコルム 古加乙涅 鹽酸古加乙涅 五二七

ス白金板上ニ熱スレハ固性物ヲ殘サス燃化ス可シ本品ニ少量ノ硫酸ヲ加フレハ泡沸シテ無色ニ溶解ス可シ其溶解ヲ重湯煎上ニ温ムルコト大約十分時間ノ後少量ノ水ヲ加ヘテ放冷スレハ夥シク安息香酸ノ結晶ヲ析出スベシ本品ノ水溶液ハ(1:10)ハ硝酸銀ニ由テ稀硝酸ニ溶解セザル白色ノ沈澱ヲ生ス本品ノ水溶液ニ加里滷液ヲ加フレハ白色結晶性ノ沈澱ヲ生ス然レモ其際安母尼亞性ノ臭氣ヲ發ス可ラス注意シテ貯フ可シ

**作用**

モッソー氏ノ實驗ニ由レハ冷血動物ニ多量ノ古加乙涅ヲ與フルキハ脊髓ヲ麻痺セシムト雖モ末梢部ノ運動及知覺神經ニ障害ヲ及ホサス然レモ脊髓ノ傳達及反射運動ヲ主トル神經細胞ハ其機能ヲ失フフアインベルグ氏ハ家兔ニ〇、〇六ヲ服セシムルニ角膜知覺脫失、瞳孔散大、眼瞼牽縮、眼球突出ヲ發シ〇、一八ヲ與フルキハ間代性及強直性痙攣ヲ發シ斃ルモッソー氏ノ說ニ犬ニ於ケル致死量ハ體重一基瓦ニ付〇、〇三人體ニ於ケル致死量ハ比較的大量ニシテフロツス氏ハ一、五ヲ服シタルモノヲ實驗セルモ一般ノ中毒症狀ヲ發スルノミニシテ死ニ至ラザリシト温血動物ニ對スル特異作用ハ痙攣及搐搦ノ發作ナリ同氏ハ古加乙涅ヲ以テ心臟及呼吸器ノ興奮劑ナリト而シテ致死ノ原因ハ胸筋及橫隔膜強直性靜止ニアリト又フルビアン氏ニ由ルニ皮膚ノ溫度ハ上昇スルモ直腸ノ溫度ハ却テ下降ス

古加乙涅ノ二乃至十%溶液一滴ヲ結膜囊内ニ點スレハ直ニ溫暖ノ感ヲ發シ以テ角膜結膜ノ知覺ヲ失ヒ眼門開大シ涙液ノ流出減シ結膜乾燥シ蒼白色ヲ呈ス虹彩眼筋等ノ知覺ハ減退スト雖モ全ク消失スルニ至ラス此ノ作用ハ十分間持續ス瞳孔ハ點入後直ニ散大ヲ始メ一時ノ後、極度ニ達シ二三時間ノ後、瞳孔縮小ス但シ散大中ト雖モ光線ノ強弱ニ由リ散大或ハ縮小ス又近點ノ遠隔スルヲ見ル

大學眼科  
部ノ實驗

○我醫科大學眼科部ニ於テ試驗シタル某氏ノ試驗報告ニ由レバ左ノ如シ即チ四%溶液ヲ點眼スルキハ初メ稍灼熱ヲ覺エ一二分時ノ後消失シ五分時ノ後、眼門開大、結膜脫色シテ虛血トナリ結膜角膜ノ知覺脫失ヲ起ス而シテ此ノ知覺脫失ハ眼球結膜及ヒ眼瞼結膜ニ於テ速カニ且ツ著シト雖モ角膜ノ知覺脫失ハ歐洲諸家ノ實驗ノ如ク速カナラザリシ即チ四%溶液ヲ一回點眼スル後五分時ニシテ結膜ノ知覺ハ既ニ全ク脫失セリト雖モ角膜ハ稍知覺ヲ減スルノミ再ヒ一滴ヲ點眼シ更ニ五分時ヲ經テ初メテ完全ナル知覺脫失ヲ發起セリ又三名ニ於テ十%ノ溶液ヲ試用セシニ共ニ結膜ニ於テハ速カニ知覺脫失セリト雖モ角膜ニ於テハ稍之ヲ減スルノミニシテ大抵知覺脫失ヲ起スコトナシ瞳孔散大ハ大約三十分ヲ經テ之ヲ發ス形狀正整ナリ又調節機衰弱ヲ起シ近點遠隔スルヲ見ル即チ五名ニ於テ十%溶液ヲ點眼セシニ點眼前ニ比スレハ平均近點一、六「ツオル」遠隔スルヲ見タリ眼球内壓ハ著シキ變化ナシト雖モ少シク増進セルヲ覺エタリ

**應用**

古加乙涅ノ效用ヲ概言スレバ局部知覺脫失及反射機減退ニアリ故ニ眼科的、外科的、齒科手術等ニ應用セリ  
古加乙涅ハ鎮痛藥トシ眼科諸病並ニ手術ニ用ユ例之、結膜諸病、角膜諸病、角膜異物抽出、斜視手術、虹彩切除術、內障眼抽出術、淚管切開等ニ用ユルカ如シ甲ノ目的ニハ一%乃至二%

鹽酸古加乙涅

ノ者ヲ點眼シ乙ノ目的ニハ二乃至四%ノ者ヲ每五分時ニ數回點眼スヘシ

「ドクトル」フアウ、フルレンバウム氏ハ外科患者五十名ニ十%古加乙涅溶液〇、五乃至一、ニハ豫メ貧血トナシ置クヘシトノルト氏ハ四%ノ古加乙涅溶液ヲ小切斷ヲ施スニハ其面ニ注キ或ハ筆ヲ以テ塗布スルヲ稱用シビルロート氏ハ第五對神經ノ第二枝ヲ切斷スルニ五%ノ溶液一筒ヲ注入セリ其注入スルニ當リテ針ノ疼痛ヲ感セサラシムルガ爲メ溶液ヲ僅ニ壓出シツ、針ヲ進入シタリトルストガルテン氏ハ二%ノ石炭酸水一〇〇中鹽酸古加乙涅〇、五ヲ溶解シタル者ヲ五十四名ニ試ミシユストレル氏ハ〇、〇二%ノ昇汞水一〇〇、〇中ニ鹽酸古加乙涅一、〇ヲ溶解シタル液ヲ注入シ八十餘名ニ實驗シ偉效アルヲ報告セリ〇醫學博士佐藤進氏ハ左ノ諸症ニ實驗シ其效用アルヲ報セラレタリ

順天堂佐藤博士ノ實驗

佐藤博士ハ近來古加乙涅ヲ用ヒ局所麻酔ノ效ヲ檢セシニ諸般ノ小手術殊ニ眼科手術ニ局所麻酔ノ效アルハ勿論、大ナル外科手術ニモ同效ヲ奏スル者トナシ將來、嚔囉仿謨ニ代ルヘキ良麻酔藥トナセリ同氏ノ之ヲ施用セシハビロゴツフ氏切斷術、陰囊水腫切開術、尿道切開術腫瘍剔出術、例之、上顎切除術、乳癌、纖維腫、粉質囊腫等諸他ノ小腫瘍其他大腫瘍切開及痔瘻切開等ナリ殊ニ乳癌ニハ古加乙涅ノミヲ用ヒタリ其用量ハ古加乙涅ノ十%ノ者ニ豫メ切截セントスル切線ヲ定メテ其各部ノ皮膚或ハ皮下ニ二筒乃至四筒ヲ一時ニ注入スルナリ局所ニ生スル麻痺持續ノ時間及其區域ノ廣ヲ正ク定メ難シト雖モ實驗スルニ十分乃至一五

局所麻酔ノ效益

分時間ノ後ニ至リ全ク局所麻痺ヲ生スルヲ知ル而シテ同氏ハ臀部ニ生セシ大ナル粉質囊腫剔出ノ際試ミシ者ニ就テ考フルニ囊腫剔出後刀尖ヲ以テ注入セシ部ヨリ外圍ニ向テ順次ニ皮膚ヲ刺穿シ其ノ知覺ヲ試ムルニ大約五仙迷ノ區域内ニハ疼痛ヲ感セサリシモ其區域外ニハ之ヲ感シタリト又創縁ニ縫綴ヲ施シタル後(前ノ穿刺ヨリ大約十五分ヲ經タル後)前ニ穿刺ノ疼痛ナカリシ部ヲ再ヒ刺穿セシニ疼痛ヲ感スルヲ殆ト平常ニ異ナルヲナキカ如シ若シ手術中、時間ヲ經テ麻酔ノ效ヲ失シ或ハ尚ホ深部ニ局所麻痺ヲ要スルキハ更ニ古加乙涅ヲ注入シテ妨ナカルヘシ古加乙涅ハ其部神經ノ多少、血行ノ遲速等ニ由テ其效ノ持續ニ多少長短アルヘシ米醫コーニング氏ノ試驗ニ由レハ上膊外皮下神經ノ近部ニ於テ皮下ニ古加乙涅ヲ注入シ其ノ上下兩部ヲ緊縛セシニ古加乙涅麻酔ノ時間、平生ニ比スレハ長ク持續セルヲ見タリ又前膊ニ驅血帶ヲ施シ貧血シタル部ニ古加乙涅ヲ注入セシニ麻酔部分甚タ狭ク僅ニ刺穿ノ近部ニ限局シタリト故ニ刺穿部ノ上下ニ於テ血液及淋巴等ノ運行ヲ妨ルキハ古加乙涅ヲ廣ク他部ニ向テ分配スルヲ少キカ故ニ麻酔ノ效ヲ持續スルヲ長ク驅血シタル部ハ全ク之ニ反スル者ナリ而シテ一回ニ用ユル量ハ四筒ヲ以テ極量トナセリ(一筒中古加乙涅〇、一瓦ヲ含ム)中毒症ヲ發スルヲ見タルヲナク唯輕キ嘔氣ヲ催セシ者アリシノミ

上述ノ如ク古加乙涅局所麻酔ハ外科術上大ニ便益ヲ奏シ上顎切除術及ビロゴツフ氏切斷術ノ如キ大手術ニ於テモ毫モ疼痛ヲ感セサルカ如キ最モ著效アルノミナラス上顎切除術ノ患者ニ咽喉及氣管ニ向テ流入セントスル血液ヲ自ラ絶ニス口外ニ排出スルカ故ニ氣管ニ流

入シテ窒息スルノ虞ナク介者ノ勞ヲ省ク大ナリ○古加乙涅ノ「コロ、ホルム」ニ優ル點ハ  
 (一)ニハ心臟病殊ニ脂肪變性?及呼吸器病殊ニ高度ノ肺氣腫ニハ「コロ、ホルム」ハ禁忌ナ  
 レ古加乙涅ハ害ナシ(二)ニハ介者ノ數ヲ減ス「コロ、ホルム」ノ吸入ニハ數人ノ介者ヲ要  
 スルモ古加乙涅ハ之ヲ要セス(三)ニハ口腔ノ手術例之口蓋破裂舌切除術其他氣管切開術及  
 上顎切除術等ニ於テハ麻醉中血液氣管中ニ流入シ窒息ノ恐アルカ故ニ「コロ、ホルム」ハ用  
 ユルコナク或ハ禁スト雖モ古加乙涅ハ禁忌セス(四)ニハ「コロ、ホルム」ハ全身麻醉ヲ起シ  
 呼吸血行ノ作用ニ許多ノ障害ヲ生シ危險症ヲ發スルコアリト雖モ古加乙涅ノ局所麻醉ハ此  
 危險ナシ

ビール氏ノ  
 脊髄古加乙  
 涅麻醉法

京都大學ノ革島彦一、尾見薰ノ兩氏ハ伊藤博士ノ許ニ於テビール氏ノ脊髄「コカイン」麻醉  
 ヲ二十一例ニ試用シ其來歴、注射方法、結果等ヲ東京醫學會雜誌第十五卷第十七號ニ詳論セ  
 ラレタリ其要ニ曰ク古加乙涅液ハ二%ニシテ毎回新ニ製シ之ヲ腰椎ノ部ニ於テ蜘蛛膜下ニ  
 ○、○二以下ヲ注入スルハ五分時以内ニ於テ總陰部神經及後股皮下神經分布ノ領域ニ於  
 テ疼痛麻痺ヲ起シ從テ溫神、冷神、觸覺輪、壓神、筋神ノ鈍麻ヲ催シ腱反射ヲ減退セシムルコ  
 一時間以上ニ及フ然レモ急性炎症ニ起因スル疼痛ヲ麻痺セシムルヲ得ス故ニ此法ハ關節切  
 除、腐骨摘出、切斷等ニ應用スヘク殊ニ歇兒尼亞手術、痔核手術ニ賞用スベシ諸種ノ副作用、  
 後作用ヲ認ムレモ危險症狀ニ陥ラス然レモ豫メ之ニ對スル設備ナキニ於テハ濫ニ此法ヲ行  
 フ可ラス

○前記ノ兩氏ハ第一回聯合醫學會ニ報告シテ曰クビール氏麻醉法ニハ不利アリ不利トハ古  
 加乙涅ノ爲メニ起ル不快作用ノ結果トシテ常ニ頭痛ヲ起シ時々惡心、發熱、疱疹等ヲ起ス且  
 注射後ニハ腦脊髓液ハ乳狀ニ濁濁シ多核ノ圓形細胞ヲ見ル依テ改良法トシテ此遊走スル圓  
 形細胞ノ毒物タル安知必林ヲ用ユベシ即チ古加乙涅○、○二安知必林○、五ノ混合液ヲ用ヒ  
 シニ頭痛アルモ輕ク腦脊髓液ハ微弱ノ濁濁ヲ呈シテ少數ノ單核細胞ヲ認ムルノミ故ニ尙一  
 層改良スルコトヲ得ント

古加乙涅局  
 所中毒ニ關  
 スル岡田和  
 一郎氏ノ調  
 査

醫學士岡田和一郎氏ハ古加乙涅局所麻醉ノ中毒患者百七十九名ヲ歐洲ノ醫史中ニ集メ實地  
 家ノ用ユル十%—五%—二%ノ液ハ危險ナリトシ試驗ノ後○、五—○、三—○、二%ノ液ヲ  
 以テスレバ危險ナク其效モ同一ナルヲ知レリ強弱ノ溶液共ニ注射ノ浮腫部ノミ麻醉シ其浮  
 腫部ノ廣狹ニ差ナシト小手術ニハ○、五%ノ者一筒ヲ用ヒ中手術ニハ○、三%ノ者二筒以上  
 ヲ用ヒ大手術ニハ○、二%ノ者十筒以上ヲ用ユルヲ宜シトセリ手術ハ注射直後ヲ撰ム可シ  
 ト東京醫學會雜誌第七卷第十三號ニ詳細報告セリ就テ見ルベシ

皮膚病ニ於  
 ケル實驗

○アレキサンドルバヨール氏ハ六十名ノ皮膚病、梅毒患者ニ十%ノ古加乙涅液或ハ一乃至  
 三%ノ軟膏或ハ十%ノ古加乙涅液ヲ一乃至二筒ヲ皮下ニ注入シ(一筒ニテ五六仙迷立方鎮  
 痛ノ效アリ)手術即チ硝酸銀棒腐蝕灼其他小手術スルニ凡テ無疼痛ナリシ此ノ六十名中  
 二名ハ使用後大衰弱ヲ呈シタリシモ其他障害ナシト報告セリ

○ルストガルテン氏ハ急性及ヒ次急性濕疹ノ疼痛アル者ニ二%ノ古加乙涅ヲ一晝夜ニ三回

齒科及咽喉  
科ニ於ケル  
應用

塗布シ良效ヲ得タリ又肛門坐藥トシテ肛門疼痛ニ〇、〇五ヲ混シ偉效アリト其他火傷ニ效アリ又之レヲ用ユルニ古加乙涅綿トナシ外用ニ供スルハ奏效速ニシテ直チニ疼痛ヲ鎮メ清潔適當ノ用法ナリ故ニ此綿ノ製法ヲ知得スルハ緊要ナリ即チ其法ハ古加乙涅ヲ吸收セシムル一定ノ綿量、一定ノ強度、既定ノ古加乙涅溶液ト之レヲ製スルニ要スル若干ノ熟練ナリ之ヲ製スルニ三〇ノ古加乙涅溶液ハ適度ノ者トス(其處方ノ例ハ下條ニアリ)

○齒科咽喉科手術ニハ其用尤モ汎シ之レニ用ユルニハ殊ニ喉頭検査ニハ十%乃至二十%ノ水溶液或ハ酒精溶液ヲ散霧器ニテ用ヒ或ハ局部ニ筆ヲ以テ塗布シ或ハ皮下ニ注入スマルチン氏ハ齒科手術ニ濃厚ノ古加乙涅液ヲ用ユルキハ中毒症ヲ發スルノ恐レアルヲ以テ安知必林ト古加乙涅ノ混合液即チ古加乙涅〇、〇四安知必林〇、四餉水一、〇ノ者ヲ齒齦ト齒ノ間ニ注入スルヲ稱用セリ

○ワイセンベルヒ氏ハ古加乙涅〇、一苦扁桃水一〇、〇ヲ瘧咳ニ十五乃至二十滴宛使用シ又一%ノ古加乙涅液ヲ諸方效ナキ喘息患者ニ使用シ偉效アルヲ報セリ明治十九年夏東京本郷駒込避病院ニ於テ數多ノ虎列刺患者ノ橫隔膜痙攣ニ皮下注入トナシ良效ヲ得タリ

○フランク、ユルリンス氏ハ古加乙涅ノ百倍溶液ヲ綿球ニ浸シ惡疽ニ用ヒ良效ヲ得タリ  
ヂヨン、スリツフ氏ハ惡疽ニ〇、〇〇五ヲ毎三時ニ與ヘ三日ノ後全治セリ又分娩初期ノ劇痛ニ四回用ヒ三回ハ劇痛去ルモ一回ハ其成績陰性ナリシ又排出期ニ三回試用スルモ更ニ效ナカリキ

妊婦嘔吐即  
チ惡疽ニ於  
ケル效

船暈病ニ於  
ケル實驗

「ドクトル」スウオニコー氏ハ妊婦嘔吐ノ諸藥效ナキ場合ニ左法ヲ行ヒ確效ヲ得ラレタリ即チ先ツ腔内ニ子宮鏡ヲ挿入シ其内ニ子宮ノ腔部ヲ固定シ子宮頸ノ口部ニ二十%本品溶液ヲ浸セル綿球ヲ子宮消息子(金屬製)ヲ以テ接著シ茲ニ之ヲ三分間放置スヘシ其奏效著明ニ一日中僅ニ三回輕キ惡心ヲ催セシノミ患婦ノ食慾亢進シ食餌ヲ用ユルニ堪ヘ吐出セス翌日モ亦此處置ヲ反覆シ爾來嘔吐常ニ消散セリ同氏ハ七十七名ニ此法ヲ行ヒシニ殆ト必ス同效アリ而シテ多クハ一回ニテ足レ又二三回ヲ要スルヲアリ

「ドクトル」ウエオット氏ハ船暈病ニ鹽酸古加乙涅ヲ六千八百三十八人ニ試用セリ即チ古加乙涅一、〇餉水九、〇ノ溶液トナシ供用シ其ノ嘔吐ヲ抑止スルヲ得タリト云フ但シ古加乙涅ハ船暈病ヲ治スル效ナキモ之ヲ豫防スル效アルガ故ニ發船セントスル際ニ用ユルヲ可トス

古加乙涅中  
毒症

其他嘔吐、胃痛、吐瀉、喘息等ニ效アリ  
○古加乙涅ヲ用ヒ中毒症ヲ發スルコト少ナキニアラズ時トノ頭痛、眩暈、惡心、行歩踉蹌等ヲ發スルコトアリ左ニ古加乙涅中毒ノ例ヲ掲クククチー氏ハ神經痛ニ古加乙涅一、二五ヲ皮下注入シ患者甚シク興奮舞踏狀ノ運動ヲナシ瞳孔散大シ脈搏亢進、頭痛、眩暈スル者ニ阿片丁幾及ヒ戶外ニ散步セシメ數日ヲ經テ治シタリ  
○コロムニン氏ハ一婦人ノ直腸ニ一、二ノ鹽酸古加乙涅ヲ注入シ患者遂ニ斃レタリ氏ハ分疎スルニ由ナク遂ニ自殺シタリト  
○一患者誤テ酸鹽古加乙涅四%溶液八、〇ヲ嚥下セシニ二十分時ノ後チ胃瘧、惡心、頭痛、搖動、視力減乏兩脚不隨トナリ言語モ亦不調トナリシモ猶知覺ヲ失セズ次チ大ニ發汗シ全軀虛憊シテ嘔

中毒療法

吐ヲ發シ脈搏間歇シテ窒息ノ狀ヲ呈セリ故ニ吐劑ヲ與ヘ胃部ニ芥子泥ヲ貼シ溫罨法與奮藥ヲ用ヒタリシニ漸次健全ニ復シタリト

古加乙涅ノ禁忌

○モツソ一氏ニ從ヘハ古加乙涅中毒ニハ直ニ依的兒嘔嚙仿謨ヲ與ヘ呼吸筋ノ強直ヲ防クヘク危險症去レハ抱水格魯刺兒ヲ與ヘ呼吸絶止スレハ人工呼吸ヲ施スヘシト○フアイン、ベルグ氏ハ古加乙涅ノ爲メニ痙攣ヲ發スル原因ヲ凡テ脈管運動神經ノ痙攣ト大腦皮質部ノ貧血ニ歸セリ由リテ之ヲ防ク爲メ依的兒、臭素加里、亞硝酸亞密兒ヲ用ユベシト

古加乙涅ノ習慣的誤用

○古加乙涅ノ習慣的誤用ハ特ニ米國ニ於テ屢、經驗スル者ニシテ古加乙涅ヲ連用スレハ爽快及健勝ノ一般感覺ヲ發起シ疲勞感情ヲ掃除シ精神ノ抑鬱ヲ制壓スルカ故ニ此ノ如キ人ニ於テハ漸次此慾ニ耽ルニ至ル者ナリ古加乙涅嗜喫者ハ神經性ニノ高度ノ振顫不眠トナリ食慾ヲ失ヒ悲哀スヘキ狀況ニ陥リ身體及精神ノ力モ攪亂ヲ致ス者トス古加乙涅嗜喫者ハ飲酒家及阿片喫用者ヨリモ其嗜慾ノ憐ムヘキ犧牲トナルコト少カラス「インヂアナ」土人ノ古加乙涅嗜喫者ノ如ク此習慣モ不定ノ發症ヲ以テ汚穢土色ノ皮膚ヲ呈シ眼目陷沒シ光輝ヲ發シ帶褐紫色ノ輪ヲ圍繞シ其話調ハ變シテ延長セル特徵ヲ現ハス

莫兒比涅習用ト兼發セル古加乙涅嗜喫者ニ於テハエルレンマイエル氏ニ從ヘハ古加乙涅ノ

效用ハ血管痙攣ナリト即チ血管運動性症候ヲ呈スル者ニシテ心悸亢進、心臟衰弱、呼吸困難顯著ヲ呈シ脈搏頻數トナル古加乙涅ノ奪却後此症候ニ加フルニ意思抑壓思想力ノ減弱ヲ發セリ莫兒比涅習用ヲ兼ネタル古加乙涅嗜喫者ノ豫後ハ合併ナキ莫兒比涅嗜喫者ヨリモ著ク不良ナリトス

○古加葉ハ古來ヨリ米國ノ土人使用スト雖モ麻酔ノ效ヲ要スルニアラス即チ土人ノ說ニ由レバ此古加葉ヲ咬ムルハ空腹トナラス即チ飢ヲ覺エス從テ事業ニ堪ヘ易ク且睡眠ヲ催スコト少シト又倦怠セルル咬ムルハ精神ヲ興起シ勇氣ヲ振起セシム其目的恰モ吾人カ煙艸、茶ヲ嗜ムト一般ナリト云フフォン、アンレーフ氏ノ說ニ由ルニ人體ニ古加乙涅〇、〇五—〇、一ヲ服スレハ睡眠及飢餓ノ感覺ヲ除キ呼吸脈搏增加シ精神力大ニ増進ス故ニ事業ヲ營ミ易シト雖モ體質ノ消耗ヲ止ムルヲ能ハスト

**用量** 點眼スルニハ一乃至二%「鼻ノ塗布、尿道、腔内ノ注入、洗滌ニハ二%」痙攣ノ塗布ニハ五%「他ノ目的ニハ十%乃至二十%ノ溶液」局所麻酔、小手術ニハ二乃至五%ノ液ヲ皮下ニ注射ス○本品ノ弱溶液ハ忽チ微菌ヲ生スルヲ以テ刺戟ヲ起シ發炎セシムベシ故ニ之ヲ貯フルニハ光ヲ防キ少シク石炭酸、撒里失爾酸 或ハ昇汞ノ溶液(昇汞ハ五千乃至一萬倍)ヲ加ヘ微菌ノ發生ヲ防止スベシ○喘息ノ吸入ニハ一%液約二十瓦「齒髓ノ知覺麻酔ニハ五乃至二十%」坐藥ニハ〇、〇三—〇、〇五ニ柯々阿酪二、〇「ブーシ」〇、〇一—〇、〇二「軟膏ニハ二乃至十%」皮下注射ニハ一乃至五%液ノ半筒乃至一筒ヲ用ユ○内用ニハ〇、〇一—〇、

○五ヲ溶液、丸劑トス近時鹽酸古加乙涅ニ代ヘテ外用ニハ貌魯謨水素酸古加乙涅ヲ賞用セリ(極量一回〇、〇五)一日〇、二)

(イ)鹽酸古加乙涅〇、三 水二五〇、〇  
桂皮水二〇〇、〇

右每二時一食匙(胃痛、嘔吐、妊娠嘔吐)

(ロ)鹽酸古加乙涅〇、一 苦扁桃水一〇、〇  
右一日數回十乃至十五滴(胃痛、嘔吐)

(ハ)鹽酸古加乙涅〇、二—〇、四 昇汞溶液

(一、〇水一〇〇〇、〇ノモノ)一〇、〇

右半筒乃至一筒皮下注射(局所麻醉)

(ニ)鹽酸古加乙涅二、〇 餛水一〇〇、〇

右點眼料(眼科諸病)

(ホ)古加乙涅三%溶液三〇、〇 綿三〇、〇

右綿ヲ徐々ニ同液ニ浸シ平等ニ乾シタル後チ亦擴散スベシ

(ヘ)古加乙涅三%溶液三〇、〇 硫酸莫兒比涅〇、七二 綿三〇、〇

右初メ莫兒比涅ヲ同液ニ溶解シ前ノ如ク調製スベシ齒痛アルモ其小片ヲ齒肉内ニ挿入スヘシ耳痛ニハ其綿ヲ適宜ニ切り水、阿片丁農又ハ酒精二三滴ヲ加ヘ濕シ注意シテ耳内ニ挿入スベシ(齒痛、耳痛)

(ト)鹽酸古加乙涅一、〇 餛水一〇、〇

右一日三回十滴(妊婦嘔吐)

(チ)鹽酸古加乙涅一、〇 再餛酒精二、〇 水八、〇

右十%古加乙涅液(喉頭咽頭ノ粘膜炎)

(リ)鹽酸古加乙涅二、〇 柯々阿酪二、〇

右爲坐藥五個(裏急後重、膀胱痙攣)

(ヌ)鹽酸古加乙涅〇、二 餛水一〇、〇

右點眼、尿道注入、火傷ノ塗布

(ル)鹽酸古加乙涅〇、五—一、〇「ヲ」ノリ  
ン」一八、〇 阿列布油二、〇

右爲軟膏、外用

(ヲ)鹽酸古加乙涅〇、二 石炭酸〇、一  
餛水一〇、〇

右四分一筒乃至半筒齒齦注射(齦齒)

(ヅ)鹽酸古加乙涅〇、一 甘草末五、〇

甘草恙二、〇

右爲百五十九一日三回五丸宛

(嘔吐、諸般ノ痙攣、咳嗽、喘息等)

其他左ノ抱合物アリ

(ロ)硼酸古加乙涅(ハ)貌魯謨水素酸古加乙涅(ニ)油酸古加乙涅(ホ)「フェニール」古加乙涅  
此「フェニール」古加乙涅ハ二分ノ古加乙涅ニ一分ノ石炭酸ヲ加ヘ熱シ製スル者ナリ (ヘ)「サッカリン」古加乙涅(ト)撒里失爾酸古加乙涅(チ)單  
寧酸古加乙涅(リ)硝酸古加乙涅(ヌ)「カンタリジン」酸古加乙涅(ル)古加乙涅乳

○「コロシンチジン」及「コロシンチン」Colocynthidin n. colocynthin.

此兩品ハ格魯魯聖篤越幾斯ヨリ水ヲ以テ分離製造シタル者ナリ「コロシンチジン」ニハ白色結



晶性粉末ニ依的兒及熱酒精ニ溶解ス「コロシンチン」ハ格魯聖篤實ノ糖原質ニシテ白色或ハ黄色ノ粉末ニシテ酒精ニ溶解ス此兩品ハ峻下劑トシテ用ユル者ニシテ果實ノ有毒性ヲ除却シタルモノナリ用量〇、〇五—〇、一ナリ

○「コルブリナ、レクリナタ」(強壯苦味劑ニシテ流動越幾斯十乃至二十滴)

○「コチルラナ」(祛痰劑)

○「コロリール」(局所麻醉藥)

○「コルリンソニア、カナデンジス」(鎮痙劑)

○「コリール」(局所麻醉藥トシテ小手術及齒科ニ用ユ)

○「コロロール」(防腐藥)

○「コモクラジア、インテグリア」(催眠ノ性ヲ有ス)

○「コルドール」(三貌魯謨ザロール) (結晶性末、難溶性、鎮痛鎮靜藥、一回〇、五—一、五)

○「コスバリン」(白色結晶塊、水易溶性、解熱劑、二、〇—三、〇)

○琥珀 *Succinum.*

本品ハ樹脂及琥珀酸ヨリ成リ黄色或ハ帶黃褐色透明或ハ不透明ノ脆キ塊片ニシテ破折面ハ貝殼狀ニシテ光輝アリ僅ニ酒精、依的兒、脂肪油及依的兒性油ニ溶解ス本品ハ蒸散ニ代用シ又價廉質斯ニ於テ蒸散法ニ用ユ

蒸散劑

○「コルヒチン」 *Cochinin.*

本品ハ「コルヒクム、アウツムナール」ノ主成分ニシテ其製法ニ從ヒ或ハ無形帶黃白色ノ粉末ヲナシ或ハ無色苦味アル結晶ヲナス本品ノ純粹ナル者ハ水、酒精、噶囉仿謨、「ベンツオール」ニ多少黄色ヲ以テ溶解シ依的兒ニ溶ケ難シ其結晶セル者ハ殆ト水ニ溶ケズ其販賣スル本品ハ多クハ不純ニシテ唯本品ノ純成分十乃至二十%ヲ含ムノミ

利尿并ニ變質劑

用量ニ從ヒ「コルヒチン」ハ利尿劑(〇、〇〇二—〇、〇〇三)或ハ下劑(〇、〇〇一五)トナシ用ユ可シ故ニ痛風ニ良效アリ又痛風ノ豫防藥トナシ且其發作ヲ制御スルニ用ヒ又慢性關節癱瘓質斯性神經痛ニ皮下注射ス但シ本品ハ漸徐ニ排泄セラル、カ故ニ體中ニ蓄積スルヲ以テ其應用ニ當リ注意ヲ加フ可シ用量ハ〇、〇〇〇五—〇、〇〇一—〇、〇〇二ヲ丸劑トス

○胡麻油 *Oleum sesami.*

近時ノールデン氏ハ厭フベキ臭味アリテ服用シ難キ肝油ニ代ヘテ胡麻油ヲ用ヒタルニ其效肝油ニ劣ラサルヲ見タリ胡麻油ハ無臭無味ナルヲ以テ服シ易キモ若シ之ヲ厭フ狀アル者ニハ服後麵包或ハ牛乳ヲ與ヘ或ハ珈琲又ハ「コンニヤック」ヲ服セシム用量ハ一日二三食匙ニテ足レリ或ハ其倍量ヲ用ユルモ可ナリ本品ハ肝油ノ如ク營養ヲ充進スル效アリテ慢性便秘、衰弱セル胃病患者(胃加答兒、神經性消化不良等)ニ與ヘテ殊ニ營養ヲ改善スルノ能アリ又常習便秘ニ前夜六十乃至七十立方仙迷ヲ灌腸スルハ翌朝ニ至リ始メハ油劑ヲ次ニ大便ヲ利スベシ

營養劑

琥珀 コルヒチン 胡麻油

○「コロムバン」 Colubinum.

本品ハ古倫撲根ヨリ製シ結晶性苦味ノ粉末ニメ水、酒精等ニ溶ケ易ク健胃苦味劑トス

○「コンドユランギン」(コンドユランゴ)皮ノ成分)

○「コネツシー」 Conessi.

本品ハ東印度ニ産スル「アボシナ」屬ノ「ホラルレナ、アンチジセンテリア」木ノ皮ニシテ皮ノ断面ニハ表皮層及栓層ヲ具ヘスノ硬皮様組織アルヲ以テ他物ト區別スベシ

醫療上ニハ此種子及皮ニノ眞ノ「コネツシー」種子ハ甚苦キモ榛實ヨリモ快シ此苦味ナル種子ハ赤痢及下血ニ用ヒ其他解熱劑トシテ甚賞用セラル此種子及皮ハ有效成分即チ「コネツシン」ヲ含有ス

○「コネツシン」 Conessin.  $C_{12}H_{10}N$ .

「コネツシン」ハ白色細微針狀ノ結晶ニメ百二十一度ニ溶融シ水ニ溶ケ難キモ酒精、依的兒、嘔囉仿謨ニ溶解シ易シ

本品ハ赤痢及下痢ノ特效劑トシテ解熱劑トシテ效否未タ詳ナラズ

○「コルラルゴール」 Collargolum.

本品ハ蔓陀羅華ノ主成分ニメ左品ヲ應用ス

貌魯謨水素酸「コニーン」ハ透明硝子様光輝アル結晶ニメ水ニ容易ニ溶解ス近時、外傷性強直症ニ應用シ發作ノ度數、持續及強度ヲ減少スルヲ見タリ其他神經症、慢性氣管枝ノ痙攣

鎮靜藥

症、并ニ虎列刺、癩癩等ニ用ユ之ヲ用ユルニハ謹慎ヲ加フ可シ是レ呼吸筋ヲ痙攣セシムル危險アレバナリ又本品ハ「ラノリン」ヲ加ヘテ肛門癢痒ニ賞用ス小兒ニハ〇、〇〇五—〇、一〇〇—〇、〇一〇—〇、〇三ヲ投ス

○「コルラルゴール」 Collargolum. 可溶性金屬銀 粘膠性金屬銀

本品ハ過剰ノ枸橼酸安母紐謨ヲ含メル硝酸銀溶液ニ硫酸鐵ヲ加ヘテ還元セシメ製ス此ノ水ニ溶解スル銀ハ軟膏狀トナシ「コルラルゴール」ト名ケテ販賣セラル

溶解性銀ノ 效用

性狀作用 クレーデ氏ハ此可溶性銀ノ治療的效用ニ就テ已ニ報告セラレタル所ニ由

レバ無腐敗の處置ハ身體ノ部分ト其患者ノ住地トニ從ヒテ必シモ實行ス可ラサルカ故ニ尙進ンテ防腐的創傷療法ヲ完成セシムル可ラズト而シテ氏ハ之ニ由リテ防腐藥トシテ已ニ二年前(千八百九十七年ヨリ)ヨリ鑛屬銀及其一二ノ銀鹽ヲ賞用シタルガ之ヲ以テ數千ノ患者ヲ治療シ效果ヲ收メタリ然レモ銀鹽ハ血液若クハ淋巴液中ヲ循環スル傳染病菌ヲ撲滅セントスルモ其效少クシテ僅ニ局所防腐藥ニ用ユルニ過キザルガ如キ諸症ニハ適セサル者トナセリ、蓋シ著明ノ防腐性質ヲ有スル鑛屬銀ハ病菌ヲ撲滅シ若クハ之ヲ損害スルニ必要ナルカ如キ微細ノ分子トナリテ身體中ニ輸入セラレザルカ故ニクレーデ氏ハ可溶性銀ノ變法ヲ案出セラレタルナリ

可溶性銀ハ純粹ノ鑛屬銀ニメ(銀化合物ノ極微ノ痕跡アルノミ)金屬性ノ光輝アル黑色輕鬆乾燥ノ粉末ニメ味ナク餽水ニハ殆ト全ク溶解シ鹽類ヲ含有スル水ニ於テハ不溶解性ノ銀鹽

クレーデ氏 可溶性銀ノ 性狀

コロムバン コネツシー コネツシン コニーン コルラルゴール

現出ス可溶性銀ハ蛋白ヲ含メル液殊ニ生活セル動物性ノ液ニ於テモ亦同シク溶解シ其中ニ在リテ久シク溶液トナリテ存ス鹽類及酸類ハ此動物性液ニ於テハ純粹ノ水溶液ニ於ケルヨリハ銀ニ影響スルコト頗ル僅微ナリ(故ニ之ヲ胃ヨリ服用セシムルカ或ハ灌腸液トシテハ一乃至二%ノ雞蛋白ヲ加フルヲ實用スルナリ)クレイデ氏ハ半年前ニ身體ヨリ採收シタル一、五%ノ蛋白ト〇、八%ノ鹽類トヲ含メル腹水液中ニ於テ分析上其一分中ニ一分ノ銀屬銀ヲ含有スルヲ認メタリ「リール」ノ水ニ一瓦ノ可溶性銀ヲ溶解スルキハ殆ト全ク無味ナル暗褐色ノ液ヲ得ベシ此液ハ褐色瓶ニ貯フベシ、  
 酸ヲ加フレバ水溶液ヨリ黒色海綿狀銀沈澱セラレテ水中ニハ再ヒ溶解セズ又許多ノ鹽類即チ食鹽等ニモ亦然リ唯枸橼酸安母紐膜ノ如キ一二ノ有機鹽ニ遇ヘバ粘膠狀ヲ呈シテ沈澱セラレ放置シテ殆ト無色ノ液ヲ傾瀉シタル後ハ再ヒ粘膠物溶解セラル  
 許多ノ敗血性傳染病ニ於テ之ヲ軟膏トナシ皮膚ニ塗擦シタル後チ之ヲ顯微鏡下ニ檢スルニ銀ノ小分子ハ遠ク皮下ノ脂肪層中ニ進入スルヲ見ル

**應用** 本品ハ内用及外用ノ消毒劑トス内用ニハ殊ニ銀鹽ノ内服血行ニ不快ノ副作用ヲ來タシタル場合ニ適スクレイデ氏ニ從ヘハ單純性并ニ併發性ノ鏈鎖狀球菌病及葡萄狀球菌病ニ於テ殊ニ軟膏トナシ用ヒテ奏效アリト乃チ氏ハ淋巴管炎、蜂窠織炎、敗血症及他ノ傳染病ト併發シタル敗血性諸症例之、腸傳染症、實布里里、丹毒、淋疾、猩紅熱、結核、室扶斯等ニ著效ヲ得タリ加答兒性粘膜炎ニ對シテハ可溶性銀杆ヲ用ユ則チ此杆ハ乳糖、亞拉比亞護膜、屈

球菌病ニ對スル可溶性銀軟膏ノ效用

利設林、可溶性銀ヲ配合シテ得タル者ナリ同氏(及其同僚)ハ急性期ニ於テハ殆ト常ニ一回ノ塗擦ニシテ二十四時乃至三十六時間内ニ傳染ヲ去リ或ハ緩快スルニ足リシモ慢性期ニ於テハ數回ノ塗擦(屢、毎日二回ニ及ブ)ヲ要シタルコトヲ報告セリ而シテ此軟膏ハ善ク清潔トナシタル皮膚ニ十五分乃至三十分間甚丁寧ニ擦入スベシ氏ハ實驗上可溶性銀ニ由リテ體中ノ敗血症ニ奏效シ得ル者タルヲ信セリ

又ドウレツキー氏ノ經驗ニ由レバ可溶性銀軟膏ハ葡萄狀球菌病、及鏈鎖狀球菌病ニ最良效アル者ナリ而シテ此軟膏ハ甚シク増進セザル急性敗血症、蜂窠織炎、淋巴管炎、淋巴腺炎、骨髓炎、癰腫、丹毒、敗血性猩紅熱、腐敗性氣管枝炎、蜂窠織性咽頭炎、其他產褥熱、骨盤及腹腔ノ重症淋毒性病症、淋毒性癩麻質斯、腦脊髓膜炎ニ塗擦シテ各效アルヲ見タリ

フスカル、ウエルレル氏ハ銀軟膏ヲ腺腫脹ノ局部ニ塗擦シタルニ殊效ヲ得タリキ氏ハ軟下疳、急性淋疾、梅毒性潰瘍ニ併發シタル十五名ノ鼠蹊腺炎ニ一日三回此軟膏ヲ鼠蹊部ニ十五分間塗擦シタルニ腫脹著シク減少シ忽チニ殆ト必ス便毒ノ消散スルヲ見タリ其他同氏モ前記ノドウレツキー氏ノ經驗シタル諸症ニ用ヒテ皆奏效ヲ收メタリ

クレイデ氏ハクレイデ氏銀軟膏ノ構成ヲ研究シテ灰白水銀軟膏ノ如ク製シタリ即チ軟膏ハ十五%ノ可溶性銀ヲ含ミ其配合ノ豚脂ニ八十%ノ蠟ト獸毛臭アルカ爲メニ少許ノ安息香加依的兒トヲ加ヘタリ善ク清潔トナシタル皮膚ニ丁寧ニ擦入スルキハ軟膏三分二ハ皮膚ヨリ吸收セラル

クレーデ氏可溶性銀軟膏ノ構成ヲ詳記スレハ左ノ如シ

○可溶性銀一五、〇

黃蠟十%

安息香加豚脂九十%

八五、〇

塗擦ノ方法ハ軟膏ヲ清潔健全ノ皮膚(即チ患部ニ塗擦セスノ健全部即チ通常背部或ハ臀部及上腿ノ皮膚ニ塗擦ス)ニ十分久シク且精密ニ行ヒ軟膏殆ト消失スルニ至ルマテ塗擦スベシ(約二十乃至三十分間持續シテ塗擦ス)塗擦シタル皮膚部分ヲ屢、顯微鏡下ニ檢セシ所ニ由レバ微細ノ銀分子ヲ深ク皮下脂肪組織内ニ追求シ得ベシ後來此銀分子ハ消散ス故ニ皮膚ヲ經テ本品ヲ攝取セラル、ハ疑ナシ急性症ニハ通常日晡時ニ塗擦スベシ

可溶性銀應用ノ第二ノ用法ハ丸劑ニシテ塗擦ヲ行フ能ハサル腐敗症或ハ甚久シク持長セザル可ラサル場合ニ此用法ヲ宜シトスクレーデ氏ハ可溶性銀〇、〇一ト乳糖〇、一屈利設林及ヒ水適宜ヲ以テ一九トセリ急性症ニハ初日二三回二九宛可及的空心時ニ與ヘ温湯或ハ茶一〇〇、〇一ニ〇〇、〇ヲ後服セシム氏ハ丹毒、慢性敗血性ノ結核并ニ腸胃ノ疾患ニ銀丸ヲ投シ良結果ヲ得タリ同氏ハ其際決シテ銀病ヲ發スルヲ實驗セザリシモ糞便ハ往々黒褐色トナレリ

○可溶性銀〇、五 乳糖五、〇 屈利設林 縮水 各適宜

右爲五十九、一日二三回食前水ヲ以テ二九宛内用

可溶性銀ノ丸劑

腹腔手術ニ於ケル銀丸ノ效用

外科的ニ用ユルカ爲メニクレーデ氏ハ一種ノ銀丸ヲ製セリ則チ小ナル可溶性銀丸ヲ新鮮及經久ノ開口創腔、瘻管、中耳、前額竇及楔狀骨竇ノ化膿、腹腔手術後ノ腹腔内、其炎症アル者ニ挿入シ又一分ト二百分ノ溶液ヲ速製シテ皮下注射ニ供シ或ハ一九ヲ縮水十立方仙迷ニ溶解シテ内服セシメタリ

クレーデ氏ハ數多ノ實驗ニ基キ腹腔、手術、ニ於テ其無腐敗性ナルト將タ已ニ腐敗性ナルトヲ問ハス腐敗症ノ發現ヲ可及的防止シ若クハ之ヲ輕減スルノ目的ヲ以テ左法ヲ實用スヘキヲ唱道セリ此法ハ可溶性銀ヲ含メル丸劑ヲ挿置スルニ在リ其丸劑ハ可溶性銀〇、〇五ト同量ノ乳糖及痕跡ノ屈利設林トヨリ成ル者タリ可溶性銀ハ漿液中ニ於テハ已ニ一分ト二十五分ノ比例ヲ以テ溶解シ且蛋白質含有ノ液ニ於テハ其中ニ鹽類ヲ存スルニ拘ラス溶在スルカ故ニ上記丸劑ノ一個或ハ數個ハ忽チ溶解シテ銀ハ病原的幻微有機體ト接觸シテ其防腐力ヲ發展スル者トスクレーデ氏ハ腹腔内ニハ四九以上ヲ挿入スルニ及ハサレモ十九以上用ユルモ損害ヲ來タス者ニ非スト爲セリ十六名ノ腹壁切開術患者中其十五名ハ治愈シテ退院シタルモ他ノ一名ハ腹壁切開治癒シタル後初メ十八日ハ無事ニ經過セシモ手術後五週ニシテ急性肺結核ヲ以テ斃レタリキ之ヲ剖檢セシニ毫モ腹膜炎ノ痕跡ヲ發見セサリシ而シテ可溶性銀(二九)ハ全ク吸收セラレテ淋巴腺中ニモ之ヲ認ムル能ハサリキ

クレーデ氏ハ可溶性銀ヲ含メル丸劑ヲ手術後分泌物分解ヲ起スヘキ子宮腔ニ挿入スルヲ賞用セリ然レモ裸出セル丸劑ハ忽チ子宮ヨリ排出セラル、ガ故ニ氏ハ之ヲ「ガーゼ」ニ包ミ挿

子宮手術後ニ於ケル銀丸ノ子宮内挿入ノ效用

入セリ則チ長徑二十乃至三十仙迷幅徑八仙迷ノ通常ノ「ムル」布ノ中央ニ一乃至三九ヲ載セタル後此「ムル」片ヲ其半分ノ長サニ折疊シ其兩片間ニ丸劑ヲ包ミ「ムル」ヲ以テ丸劑ヲ卷纏シテ長キ螺旋狀體トナシ細長ノ麥粒鉗子ヲ介シテ子宮内ニ送入シ其末端ハ腔部ヨリ露出セシメ然ル後チ腔部ニハ「イトロール」ヲ散布シ別ニ長キ「ムル」片ヲ腔内ニ挿置シ之ヲ緩カニ填充スベシ此腔内ノ「ガーゼ」ハ二十四時乃至四十八時ヲ經レハ新ニ交換スベキモ子宮内ノ「ガーゼ」ハ少クモ五日間挿置スベシ其他ノ處置ハ各症ニ從ヒ或ハ外陰部ノ清潔法ノ外ハ更ニ他法ヲ施サス或ハ毎日「イトロール」液(一分ト四千―八千分)ヲ以テ洗滌シ或ハ復ヒ子宮内ニ丸劑ヲ挿入ス之ニ由リテクレーデ氏ハ子宮ヲ全ク刺戟セス且ツ無痛無臭ニノ久シク消毒スルコトヲ得タリ

又銀丸ヲクレーデ氏ハ骨腔、複雜骨折、骨髓炎竈、關節腔、腦髓内ニモ丸劑其者ノミヲ用ヒ或ハ「ムル」ニ包ミテ挿置シタリ

第三ノ用法トシテクレーデ氏ハ可溶性銀〇、二ヲ含メル小桿トナシ深在ノ瘻管及子宮ノ傳染性疾患ニ賞用セリ

クレーデ氏ハ溶液トナシテ可溶性銀ヲ皮下注射シ又之ニ一乃至二%ノ雞蛋白ヲ加ヘ食前半時間内ニ内用セシメタリ其處方左ノ如シ

可溶性銀〇、五―二、〇) 餛水五〇、〇―二〇〇、〇) 蛋白〇、五―二、〇)  
右一日三回一茶匙或ハ一食匙ヲ水或ハ茶ニ加ヘ食前半時ニ服用セシム

溶解性銀ノ  
内用

氏ハ此用法ヲ三十名ノ傳染性腸加答兒、潜伏性腐敗症、汎發性結核、淋疾ニ用ヒタルニ淋疾ニ於テハ其半數ハ局所療法ヲ加ヘスモ治癒セリ

ゲ、ウオルフロム氏ハ自身ノ癰腫ニ可溶性銀ヲクレーデ氏軟膏トナシ塗擦シ良效ヲ得タリ初回塗擦ノ日ニ於テ(同軟膏三、〇ヲ三十分間上腿ニ擦入ス)頭痛ヲ起サス第二回ノ擦入後軟化シタル膿瘍周圍ノ硬結溶解シ皮下組織中ノ硬結部消散シタリキ

ウエルレル氏ハ可溶性銀ヲ水銀軟膏塗擦法ノ如ククレーデ氏銀軟膏トナシ三、〇ヲ急性腐敗症、慢性敗血性傳染及多發性慢性癰腫ニ塗擦シ良效ヲ收メタリ

重症ノ腦脊髓膜炎ノ流行ニ當リテシルメル氏ハ其九名ニクレーデ氏軟膏ヲ塗擦シテ治癒スルヲ見タリ而シテ五官機能ノ缺損ヲ貽サ、リキ其療法ハ初メ(一)三日間クレーデ氏軟膏一〇、〇宛塗擦シ(二)脊柱ニ劇痛アルキハ熱水罌法ヲ行ヒ(三)一般狀況佳良ニ赴クヤ速ニ鼻腔ヲ防腐的ニ清洗シ(四)大ニ不安ナルキハ少量ノ「トリヨナル」ヲ投シタリ

有馬才三氏ハ產褥熱ニ對シテ可溶性銀軟膏塗擦ノ效力ハ可溶性銀液注射ノ效ニ優レリ而シテ銀溶液ノ注射ハ注射部ニ炎症ヲ發シ久シク灰白暗色ノ斑ヲ殘シ不溶解分子ヲ沈著スト(產科婦人科雜誌第六卷第三冊)

左坐金藏氏ハ可溶性銀ノ靜脈内注射ニ就テ實驗セリ(注射部ハ四肢殊ニ左腕ノ正中靜脈ヲ良トス即チ患者ヲ床縁ニ偏セシメ左腕ヲ下垂シ靜脈ヲ怒張セシメ護謨管ニテ中心部ヲ緊縛ス而シテ稍強キ針ヲ有スル普通プラソツ氏注射器ヲ以テ注射ス注射前ニ五%石炭酸水ニテ

消毒シ殺菌水ヲ以テ數回洗滌シタル後藥液ヲ吸引ス次ニ肋手ヲシテ腕ヲ持タシメ靜脈ノ縱徑ニ沿テ中心部ニ向ヒテ注射針ヲ刺入ス此際血液ノ針ノ外端ヨリ滴出スルヲ見バ針ノ靜脈腔内ニ達セル者トス而シテ中心部ノ緊縛ヲ除キ針ヲ引キツ、速ニ藥液ヲ注入スベシ是レ針端ニテ靜脈反對側ノ内壁ヲ傷ケザランカ爲ナリ貧血家、脂肪過多ニシテ靜脈怒張少キモノニハ靜脈ノ正面ニ皮切ヲ施シテ注射ス

同氏ハ急性骨髓膜炎(十三歳男子)多發性化膿性筋炎(十四歳男子)急性骨髓炎、膿毒症、敗血性心内膜炎(十歳男兒)ニ此注射ヲ行ヒシニ皆著明ノ偉效ヲ以テ治セリ殊ニ第三ノ者ニ於テ然リトナシ大ニ「コルラルゴール」ヲ使用センコトヲ切論セリ(醫學中央雜誌第十五號)

ジッケルホーフ氏ハ獸醫學上ニクレーデ氏可溶性銀軟膏ヲ用テ殊效アルヲ見タリシガ氏ハ血斑病ヲ患フル四頭ノ馬ニ之ヲ用ヒタリ(其疾患ハ化膿作用ニ續發シタルアリ或ハ原發化膿ヲ證スル能ハザルアリテ發生セリ)其三頭ハ一回一%溶液五十立方仙迷(即チ可溶性銀〇、五)ノ靜脈内注射ヲ行ヒ一頭ハ二時間ヲ隔テ、五回同量(即チ十時間内ニ可溶性銀二、五)ヲ頸靜脈内ニ注射セシニ血斑病ノ諸症狀ハ注射後速ニ消失セリ同氏ハ他ノ膿性及敗血性疾患ニモ良結果ヲ收メタリキ馬ノ定型的肺炎ノ二例ニ於テハ可溶性銀ハ毫モ寸效ヲ呈セザリキ

**用量** 内用ニハ〇、五—二、〇 餉水五〇、〇—二〇〇、〇ノ溶液ニ一%ノ蛋白ヲ加ヘタル者ヲ一日量トス皮下注射ニハ本品一分餉水百分ニ一%蛋白ヲ加ヘタル液二、〇—一〇、〇ヲ用

ヒ室扶斯等ノ如キ重症傳染病ニハ内服ト同時ニ尙同量ヲ灌腸ス外用ニハ所謂クレーデ氏軟膏トス此軟膏ハ大人ニハ一回量三、〇、十六七歳ノ人ニハ二、〇小兒ニハ一回量一、〇ヲ塗擦スルニ本品ハ皮膚ヨリ全ク攝取セラル

○虎列刺豫防接種法

此法ハ虎列刺菌ノ培養物ヲ人體ノ皮下ニ注射シ以テ本菌ニ對スル免疫性ヲ得セシムルニ在リトス此法タルヤ初メハフキン氏ガ印度ニ於テ多數ノ人ニ實行シテ其有效ナルヲ唱ヘタル所ナリ次テコルレ氏ハ同一ノ試驗ヲ行ヒ其豫防接種法ヲ受ケタル人體ノ血液ハ本病ニ罹リテ治癒シ免疫性トナリタル人體ノ血液ト同一ノ殺菌性ヲ呈スルコトヲ證シ其有效ナルベキ理由ヲ述ベタリ

其注射材料及方法ハ左ノ如シ

(一)ハフキン氏法 先ツ第一回ノ注射トシテ本菌ヲ寒天斜面ニ二十四時間培養セルモノヲ嘔囉仿護蒸氣ニテ殺菌シ其一斜面全量ノ十二分ノ一ヲ皮下ニ注入シ次テ五日ヲ經タル後第二回注射トシテ生活セル本菌培養ノ一斜面量ノ十二分ノ一ヲ注射シ更ニ五日ヲ經テ第三回ニ同培養ノ八分ノ一ヲ注射ス

(二)コルレ氏法 本菌ノ一寒天斜面培養ヲ「ブリオン」ニ溶和シ之ヲ攝氏五十六度ニ一時間加熱シ又ハ嘔囉仿護ヲ以テ殺菌シ其十分ノ一量ヲ皮下ニ注入ス此法一回ノ注射ヲ以テ前法ト同一ノ免疫性ヲ呈セシメ得ベキヲ以テ敢テ反復注射スルノ必要ナシト云フ

注射ノ反應トシテハ局部及全身反應症ヲ起シ注射部ノ疼痛腫脹及發熱ヲ來スモ二三日ヲ經テ全治シ毫モ危險症狀ヲ發スルコトナシ

免疫ノ發起ハコルレ氏ニ從ヘハ一回ノ注射後第六日ヲ經テ既ニ其人體ノ血液ニ虎列刺殺菌性ヲ呈シ第十日乃至二十日ニ至リテ最強度ニ達シ其血清〇、〇〇〇一五立方仙迷ヲ「モルモット」ニ注射スレバ致死量十倍ノ虎列刺菌接種ニ對シ豫防シ得ルノ效力アリ而シテ爾後其免疫性ハ漸次ニ減弱スルト雖モ一ケ年ノ後モ全ク消失スルコトナシト

○虎列刺病ノ血清療法

虎列刺治療血清ハ北里博士ノ初メテ虎列刺患者ニ應用シタルモノニシテ之レヲ行フニハ先ヅ動物ヲ高度ニ免疫セシムルヲ要ス即山羊、綿羊又ハ馬ヲ撰ビ本菌ノ「プリオン」培養ノ數日以上ヲ經タルモノヲ攝氏六十度ニテ二十分間加温殺菌シタル者又「プリオン」培養ニ代フルニ寒天培養ノ者ヲ用キ初メ其一定少量ヲ皮下ニ注入シ漸次增量シテ注入シ終ニ高度ノ免疫ニ達セシメ他血清ノ如ク其血清ヲ採取シ以テ治療用ニ供ス

注射量ハ疾病ノ輕重ニ從ヒ輕キハ二〇、〇重キハ五〇、〇乃至六〇、〇立方仙迷ヲ三四回ニ分チ一二時間ヲ隔テ、胸側ノ皮下ニ注射ス

血清注射後一二時間ヲ經テ患者ノ煩悶減シ精神安靜トナリ多クハ就眠シ醒後大ニ爽快ヲ感ス而シテ心臟ノ衰弱ヲ恢復シ尿利ヲ促進シ吐瀉徐々減ジ來ルヲ見ル此血清ノ效ハ初期ノ患者ニ向テハ殊ニ著シクシテ其注射ハ發病後可及の時日ノ經過セザル期ニ於テスルヲ要ス已

ニ重症ニシテ末期ノ者ニ向テハ其效望ミ難シ

血清ノ副作用トシテハ蕁麻疹稀ニハ關節筋痛ヲ發スルコトアルモ敢テ危險ナシ

止瀉劑

○「コトイン」及「バラコトイン」*Cotinum et Paracotinum.*

性状及應用

「コトイン」及「バラコトイン」ハ「ポリウキヤ」國ノ樟料ニ屬スル樹皮ヲ製スル者ナリ「コトイン」及「バラコトイン」ハ中性淡黃色方形ノ結晶性物質ニシテ酒精、依的兒、嚼嚙仿謨ニ溶解スト雖モ冷水ニ溶解シ難シ但シ熱湯ニ稍溶解ス一、〇ヲ兎ニ與フルニ中毒作用ナシト雖モ味、苛烈刺戟性ニシテ體中ニ於テ變化スルコトナク尿中ニ排泄セラル「バラコトイン」ノ「コトイン」ニ異ナルハ生理的及醫治效用弱ナルノミ此二品ハ亞急性ノ下痢慢性下痢殊ニ肺癆下痢、歐洲虎列刺ニ用ヒ偉大ナル止瀉ノ效アリ「コト」皮及「バラコト」皮ハ屢、惡心嘔吐ノ副作用ヲ發スルヲ以テ使用セス

用量ハ〇、〇〇五—〇、〇〇八ヲ一日數回散或ハ合劑トシテ用ユ「コト」皮ハ〇、五ヲ一日三回内服セシム「コト」丁幾一分ト九分ノ割合ニ製シ一日四回四十滴宛用ユベシ

○「コトイン」〇、〇五—〇、〇八 稍酒精一〇、〇 單舍利別三〇、〇 餛水一二〇、〇 右每一乃至二時一食匙(下痢)

○「コサプリン」*Cosaprin.* (「フエウ」ヲ參考セヨ)

本品ハ安知歌貌林ノ硫酸誘導體ニシテ灰白色輕鬆無形無臭ノ粉末ヲナシ緩和鹽樣ノ味アリ水ニ甚溶ケ易ク其溶液ハ無色(濃溶液ハ鮮黃色ナリ)ニシテ弱酸性ナリ一ノ新熱劑ナリ

處方

コトイン及バラコトイン コサプリン

「コサブリン」及「フェヂン」ニ就テ「ドクトル」リチャルドロゼン氏カ實驗セシ所ニ由レバ左ノ如シ

精密ニ實驗スルニ右兩品ヲ使用シタル場合ニ於テ一日量六、〇ヲ投セシモ曾テ食思缺亡、胃部苦悶等ヲ發セシヲ見ヌ又惡心、胃腸症ニ罹リタル患者モ能ク服用ニ堪ヘタリ小兒及萎黃病患者モ亦然リ往々本品ニ對シテ過敏ナルモノアリト雖モ不快ノ副作用ヲ訴フルモノナシ大量ニ於テハ(一日五、〇—六、〇)甚シク發汗スルヲアリ

流行性感冒ニ本品一、〇ヲ毎二時、輕症ニハ毎三時ニ投シ小兒ニハ〇、二五—〇、五ヲ與ヘタリ而シテ大人ニ於ケル一日量ハ五、〇—六、〇ナリ翌日ニ至レバ患者已ニ著シク輕快シタルヲ以テ毎三時一、〇ヲ投シ第三日ニハ一日三回一、〇トセリ凡テノ場合ニ於テ發病後三日乃至四日ニシテ治癒セリ大量ヲ用ヒタレモ不快ノ副作用ヲ認タルコトナカリキ此ヲ以テ流行性感冒ノ經過ハ安知歌貌林及「フェナセチン」ト同一ナリシカ故ニ本品ハ安知歌貌林及「フェナセチン」ニ代用スルヲ得ベシ

其他急性筋痠麻質斯ニ六回(腰筋ノモノ二回、胸筋ノモノ三回、項筋ノモノ一回)ニ「コサブリン」一、〇ヲ毎三時ニ投セシニ數日ニシテ皆治癒ニ赴キタリ又天候ノ影響ヲ被ムル諸病即チ顔面神經痛、痠麻質斯痛等ニ一日量三、〇—五、〇ノ「コサブリン」ヲ用ヒシニ亦良效アリキ之ニ反シテ神經衰弱及歌私的里ニハ其效力甚疑ハシ(鎮靜藥トシテ)數回奏效アリシモノアレモ亦寸效ナカリシモノアリ

慢性痠麻質斯ニハ此兩品ヲ投スルモ毫モ輕快セズ故ニ此場合ニハ用ユルニ足ラズ「コサブリン」及「フェヂン」ハ流行性感冒及急性痠麻質斯性疾患ニ確效アルハ經驗上明ナル所ナリ則チ可及的、大量(毎二時「コサブリン」一、〇ヲ最良トス)ヲ投ス可シ已ニ輕快ニ赴カバ其用量ヲ減少シ一日三回一、〇トナスベシ然ルモハ普通ノ痠麻質斯劑ノ具フル不快ノ副作用ヲ免ル、ヲ得ベシ

○「コロニルリン」Coronilin.

本品ハ黃色ノ粉末ニシテ水ニ溶解ス「コロニルラ、スコルビライデス」ノ子實ノ糖原質ナリ作用ハ「ヂキタリン」ノ如シ心臟病及浮腫ニ一回〇、一—一日量〇、六ヲ丸劑或ハ溶液トナス

○「コカピリン」Cocapirin.

本品ハ安知必林一分ト古加乙涅千分トノ比例ニ於ケル混合物ニシテ大丸子トナシ咽頭炎及喉頭炎ニ賞用セラル毎丸安知必林〇、二古加乙涅〇、〇〇ニヲ含有ス此丸子三乃至四個ヲ舌上ニ致シ口内ニ融解ス

○「ゴノロール」Gonorel.

本品ハ東印度産ノ紫檀油中ニ含有セル酒精製抱合物ノ混合物ニシテ其作用ハ紫檀油ニ歸ス本品ハ九十%ノ紫檀油ヲ含メル無色ノ油ニシテ僅ニ紫檀油ノ如キ臭氣アリ三〇—三度乃至三〇—六度ニ沸騰シ比重ハ〇、九七九乃至〇、九八〇ニシテ七十%ノ酒精三分ニ溶解ス

本品ハマルチンフリードレンデル氏ガ本品ヲ投セシ數多ノ淋疾患者ニ於テ良效アルヲ確定

コロニルリン コカピリン ゴノロール



セシ所ナリ即チ劇甚ノ炎症アリテ局所療法ヲ禁忌スルカ或ハ合併症アルカ或ハ内用療法ニ由リテ局所療法ヲ補助セントスル場合ニハ本品ハ分泌及炎症狀(浮腫、潮紅、疼痛等)ニ頗ル良效アリ服後約一時間ニ一、二回腎臟部ノ疼痛ヲ訴ヘシ者アリシモ食後本品ノ膠囊ヲ服セシキハ痛ヲ訴フル者ナシ藥疹ハ未ダ曾テ實驗セズ是ヲ以テ本品ハ「サンタール」油ノ有效分ニ之ヨリ其無效有害ノ物質ヲ除ケル者トナスベク從來「サンタール」油ノ内用ニ對スル疑惑ヲ除クベキカ如シ

又ハ、マイスネル氏ハ本品ノ良效アリテ且無害ナルヲ動物試驗(家兔)ニ由リテ證セリ即チ二種ノ試驗ヲ行ヒ一方ノ動物ニハ「ゴノロール」ヲ與ヘ他方ノ動物ニハ「サンタール」油ヲ投シタリ此比較動物試驗ニ由リテ同氏ハ決斷シテ曰ク「サンタール」油ハ腎臟ニ不良ナル刺戟感應ヲ及ボス者ナルハ信ニ近シ然レモ「サンタール」油ヲ以テ眞ニ毒物ナリトハ認定ス可ラズ蓋シ二十五例中其十二例即チ殆ト五十%ハ腎臟症狀ヲ呈セザレバナリ之ニ反シテ「ゴノロール」ハ腎臟ヲ刺戟シ或ハ損害スル作用ヲ存セザルハ、正當ナルヲ信スヘキ者トス即チ「ゴノロール」ヲ以テ治療シタル十八例中未ダ曾テ腎臟刺戟症狀ヲ呈セザレバナリ故ニ動物試驗ニ徵スルニ「ゴノロール」ハ彼ノ「サンタール」油ノ眞ニ腎臟毒ト爲スヘキ者トシテ假定スヘキニ比スレバ應用スヘキ者トナスベシ

同氏ハ此事實ニ由リテ亦人體ニ於テ比較檢査ヲ行ヘリ即チ氏ガ實驗セシ例ハ知識ヲ具ヘタル自宅治療患者ニシテ自覺症ニ就テハ憶測ヲ夾マサル報告ヲ爲セリ全數十七例ノ初患淋疾

患者ニ行ヒシガ注射的療法ハ種々ナリシモ敢テ此處ニハ問ハス唯茲ニハ患者ノ健康ニ就テ「サンタール」油或ハ「ゴノロール」ノ優劣如何ヲ確定スレバ足ルヲ以テナリ即チ十七名中九名ニハ「ゴノロール」ヲ與ヘ八名ニハ「サンタール」油ヲ投セリ一回量一、〇ニノ一日量三、〇ナリキ兩藥共ニ膠囊ヲ以テ食後服セシメタリ「ゴノロール」ノ服用時ハ最少キハ十二日、最多キハ十八日ニシテ「サンタール」油ハ最短キハ四日最長キハ十一日ナリシ其成績ハ九名ノ「ゴノロール」服用患者中八名ハ更ニ自覺症ナク一名ハ第八日ニ於テ胃部壓重ヲ訴ヘタリシモ第九日ニハ消散セリ八名ノ「サンタール」服用患者中五名ハ服後劇甚ノ胃自覺症ヲ起シ其一名ニ於テハ第四日ニハ甚増劇シテ復タ服用ス可ラザルニ至リキ此自覺症ハ灼熱、口内變味、恰モ苛辣燥草ヲ薰セシカ如キ感覺ナリ二名ノ患者ハ全療法中一名ハ十日他ノ一名ハ十六日毫モ何ノ自覺症ヲモ起サ、リキ一患者ハ六日ノ後劇シキ下痢ヲ發セシカ故ニ休藥セシメタリ尿ハ諸患者ニ於テ悉ク毎日二回(三日間)檢査セシニ兩試驗ニ徵スルニ更ニ健康時ト異ナラザリキ強劇ノ局所療法ニ由來セリト爲スベキ症狀ノ輕快ニ關シテハ「ゴノロール」ト「サンタール」油トノ間ニ差異アルヲ確定スル能ハサリキ

是ニ由リテマイスネル氏ハ此試驗ニ由リテ結論シテ曰ク「サンタール」油ハ淋疾療法ニ於テ其精製劑即チ「ゴノロール」ハ「サンタール」油ニ比スレバ優レル者タリ蓋シ「ゴノロール」ニ於テハ胃障礙ヲ免レ得ルニ近ケレモ「サンタール」油ハ屢、困苦ナル症狀ヲ起シ時ト服用ヲ禁スベキコトアレバナリ

利尿劑

用量ハ一日三四回各〇、五若クハ〇、三ヲ含メル膠囊ヲ二週乃至四週間服用セシム此服用間強ク發汗スルヲ可及的避クベシ

○「コラ」Kola.

「コラ」ハ西部亞米利加ニ産スル胡桃類ニシテ其浸劑ヲ多量ニ服スレハ不眠症ヲ發ス催淫藥健胃劑ニ供ス又利尿ノ效アリ血管ノ緊張ヲ増進スルノ作用アリ衰弱症ノ強壯劑又偏頭痛ニ用ユ丁幾ハ本品一分ニ亞兒箇保兒五分ヲ加ヘ製ス此「コラ」精ハ本品一分酒精十分ヨリ成ル者ナリ其他、越幾斯、越列幾失兒ハ一分ト二分ノ比例トス

○「コラ」丁幾七、五 「コラ」末適宜

右爲五十九一日五乃至十五丸(利尿劑)

○「コラニン」Kolanin.

本品ハ「コラ」ニ合在スル糖原體ニシテ胃液中ニハ「デキストローゼ」「コロロート」及咖啡澁ニ分解セラル刺衝劑及利尿劑トシテ神經衰弱及歇私的里ニ錠劑(各〇、二)トナシ用ユドルンブルート氏ニ從ヘハ他ノ「コラ」製劑ヨリモ有效ナリト云フ用量ハ各錠〇、二ノ者ヲ毎二時—一時—半時ニ與フベシ

○「コントラエルファ」強壯劑トシテ、〇ヲ一回ニ用ユ

○「コンワルラリア、マヤリス」Convallaria majalis.

本植物ハ近時殊ニ其開花季ニ採收シテ調製シタル水製越幾斯トナシ心臟病ニ用ユルヲ實麥

心臟病藥

答利斯ノ如シ其花及莖ハ最有效ニシテ根ハ效分僅少ナリ此草ハ二種ノ糖原質即チ「コンワルラリン」及「コンワルラマリン」ヲ含有ス此越幾斯〇、五ヲ一回ニ投シ或ハ此花ノ浸劑(一〇、〇水二〇〇、〇)ヲ一日數回一食匙ヲ服セシム

○流動「コンワルラリアマヤリス」越幾斯

五、〇—一〇、〇 橙皮含適宜ヲ加ヘテ

全量七五、〇トス

右一日二三回一小兒匙(小兒ノ心臟病)

○「コンワルラリア、マヤリス」越幾斯六、

〇 杜松子越幾斯三、〇 甘草根末適宜

右爲六十九、石松子ヲ衣トス一日二

三回五丸宛

心臟調整藥

○「コンワルラリン」Convallarin.

性狀及應用

「コンワルラリン」ハ「コンワルラリア、マヤリス」ヨリ製スル者ニシテ水ニ溶解シ難ク亞兒箇兒ニ溶解スル結晶體ナリ其少量ヲ溫血動物ニ注射スルニ脈搏緩徐トナリ多量ヲ用ユレハ脈搏頻數細小次ニ不整トナリ遂ニ心臟麻痺ニ由リ斃ル其效用諸般ノ心臟病ニ由テ實麥多利斯ノ右ニ出ツト是レ實麥多利斯ノ如ク危險ノ副作用ナク且ツ腸胃ヲ害セザレハナリ又マラグラヤノ氏ハ十三名ノ心臟病者ニメルク氏ノ製劑〇、〇五—〇、〇六ヲ内服セシメ或ハ〇、〇一—〇、〇二ヲ皮下ニ注入スルヲ一日六回内九名ニ於テ效ヲ得タリ肋膜炎患者九名ニ試ムルモ更ニ效ナカリキ

コラ コラニン コンワルラリア、マヤリス コンワルラリン コンワルラマリン

○「コンワルラマリン」Convolvulin.

本品ハ「コンワルラリア、マヤリス」ノ有效成分ニシテ白色無形ノ粉末ヲナシ水及酒精ニ溶解シ依的兒、嘔囉仿謨及「アミールアルコホール」ニ溶解セズ本品ハ苦味アリテ後チニ甘シ本品ハ利尿劑及心臟劑トシテ心筋質ノ收縮ヲ整調シ實麥答利斯特異ナリ心臟ノ瞬間時靜止ヲ來スコナシ本品ハ疝痛ヲ起サ、ルヲ以テ「コンワルラリア」越幾斯ヨリモ優レリ皮下注射ニハ〇、〇〇五—〇、〇—〇、〇ニテ一日數回行ヒ内用ニハ〇、〇五—〇、〇六ヲ每一二時與ヘ一日量一、〇ナリ

○胡椒

本品ハ健胃驅風劑トシテ〇、三—〇、五ヲ用ユ又亞細亞丸ノ調製ニ供ス

○吳茱萸「カラハシカミ」

本品ハ古來支那ニ於テハ衝動、驅風、健胃、收斂、驅蟲等ニ效アリトシテ用ヒタリ藥學士慶松氏ハ「エボチン」ナル白色結晶物ヲ析出セリ丹波博士ハ此結晶製出時皮膚ニ觸ル、キハ甚シキ刺戟及痛痒アルヲ以テ皮膚刺戟劑トナサントメ三浦氏(謹之助)ニ送り用ヒシメタルニ同氏ハ知覺違常ニ其丁幾或ハ軟膏ヲ用ヒシニ效驗アリシト云フ

○「コフチス」(黃連ヲ見ヨ)

○「コラルリオワツア、オドントワツア」(發汗劑)

○「コルホルス、トリロクタリス」(熱候及尿閉ニ用ユ)

○「コルヌスフロリダ」(強壯健胃劑)

○「コルヌチン」(出血、子宮出血、月經過多ニ用ユ)

○「コンプレツム」(黃熱ノ特效劑トメ一六、〇水一〇〇〇、〇ノ者二〇〇、〇—二

五〇、〇ヲ十分間ニ服用)

○「コルリアミルチン」(興奮劑)

○「コルジルレレン」茶劑(消化不良及下痢ニ用ユ)

○「ゴゴ」(驅蟲劑)

○「コロニルラ」(心臟藥)

○「ゴメノール」Gomenol.

本品ハニウカレドニア島ニ産スル「メラロイカ、ウイリジフロラ」樹葉ノ依的兒性油ニシテ流動シ易ク薄荷様ノ臭味アリ六十%ノ「チネヲール」ト「タルベン」少許ノ「タルビネヲール」、醋酸、牛酪酸、縮草酸ノ痕跡トヲ含有ス有毒ノ「アルデヒツト」ヲ含マス本品ハレロウ及バストウ氏ハ肺結核并ニ小兒ノ氣管枝炎、痙咳ノ如キ呼吸器病、其他癱瘓質斯、神經痛、膀胱炎ニ與フ内用ニハ一膠囊ニ〇、二五ヲ容レ毎日四個乃至十個ヲ用ヒ膀胱炎ニハ二%ノ液ヲ注射ス痙咳ニハ皮下注射トス(又ハ腎筋内ニ注射ス)此注射ハ全ク疼痛ナシ四五日間毎日注射シ眞ノ痙咳發作全ク消散スルマテ持續スベシ痙咳ニ於テハ經過短縮シ最少キハ六日、平均十

二日乃至十五日ナリ但シ瘧咳發作休止後續發性氣管枝炎ノ咳嗽ハ約十日乃至十五日持續ス  
灌腸(一—二歳ニ三—五立方仙迷、二—三歳ニハ七—八立方仙迷、三—八歳ニハ十一—十五立  
方仙迷)スルコトアリ

○「ゴメノール」五、〇 殺菌阿列布油二〇、〇

右皮下注射ノ極量ハ小兒年齢ニ從ヒ左ノ如シ

第一歳乃至二歳 三乃至五立方仙迷

第二歳乃至三歳 七乃至八立方仙迷

第三歳乃至八歳 十乃至十五立方仙迷

數多ノ佛國醫家ハ本品ヲ無害ノ植物性防腐藥トシテ膠囊(〇、二五)、或ハ舍利別トナシ内用  
セシメタリ

「ゴメノール」膠囊ノ大人用量ハ毎日初メハ二乃至四個漸次十乃至十六個ニ増量ス

「ゴメノール」舍利別ハ大人ニ一日四乃至六食匙宛單用或ハ溫湯加用ス小兒ニハ(單用又ハ  
溫乳加用)左ノ如シ

第一歳—第三歳ニハ二十四時間—五咖啡匙

第四歳—第七歳ニハ二十四時間—六小兒匙

第八歳—第十五歳ニハ二十四時間—六食匙

○「ゴイアパイラ」(白帶下ニ用ユ)

○「ゴルツア」(下劑)

○「ゴフシビウム、ヘルバチエウム」(通經劑及墮胎劑)

○「ゴウアニア、ドミンヂシス」(苦味健胃劑)

○「コロミコ」(「コウジラド」ニ於テ赤痢及下痢ニ一、〇—五、〇ヲ用ユ)

○「ロッシン」*Kosmin, C<sub>12</sub>H<sub>18</sub>O<sub>10</sub>*

驅條劑

本品ハ屈蘇花ノ有效成分ニシテ黄色結晶性無臭ノ粉末ヲナシ強苦味アリテ酒精、嘔囉仿謨、依  
的兒、「ペンツオール」ニ殊ニ熱スルキハ容易ニ溶解シ水ニハ僅ニ溶解スルノミ所謂、「ペダ  
ール氏」「コッシン」ハフリユキグル氏ニ從ヘバ純品ニ非スト雖モ頗ル有效ノ者トス此不純ノ  
品ヲ驅條劑トシ、〇—二、〇ヲ「オブラート」或ハ薄荷油糖或ハ茴香油糖トナシ一日四回半  
時間ヲ隔テ、服セシメ最後ノ服後ニ適宜ノ蓖麻子油ヲ服セシムベシ

○「コッシン」酸那篤留謨ハ亦驅條劑トシ用ユ

○依的兒製劑

(イ)麻醉性依的兒 *Aether anaesthetics.*

本品ハ無色透明ノ嘔囉仿謨様ノ臭味アル液ニシテ水ニ溶ケス沸騰點ハ構成ニ從ヒ一〇—一  
三〇ナリ本品ハ局所刺戟、知覺麻醉ノ性アリ唯局所麻醉藥トシテ殊ニ痲質斯痛ニ外用ス  
ルノミ沸騰點ノ高度ナルト構成ノ異ナルトニ由リテ一般知覺麻醉藥トシテ用ヒス

○麻醉性依的兒三、〇 甘扁桃油二五、〇 薄荷油〇、五

局所麻醉藥

コッシン 麻醉性依的兒